

サイボウズ ガルーン

バージョン 3.5

管理者マニュアル

第 4.5 版

サイボウズ株式会社

はじめに

本書は、サイボウズ ガルーン バージョン 3.5.x の機能と、システム管理者が行う操作を説明しています。

対象読者

本書の対象読者は次のとおりです。

- システム管理者 : サイボウズ ガルーン バージョン 3.5.x を管理する権限を持つ管理者です。

本書で使用している表記

本書では、次の表記を使用しています。

表記	意味
注意	操作に注意が必要な事項や制限事項
補足	操作の補足説明や別の操作方法、知っている则便利な情報
[]	画面上のボタン、リンクまたはタブ
- ###ページ	参照先のページ

本書の作成環境

本書の作成環境は、次のとおりです。

- OS: Windows 7 SP1
- Web ブラウザー: Internet Explorer 8
- 製品バージョン: サイボウズ ガルーン バージョン 3.5.2

本書で掲載している画面表示は、お使いの Web ブラウザーによって異なります。

本書で使用している製品名称と略称

本書では、次の略称を使用しています。

略称	製品名
ガルーン	サイボウズ ガルーン バージョン 3.5.x
全文検索サーバー	サイボウズ 全文検索サーバー バージョン 1.0.x
デヂエ	サイボウズ デヂエ バージョン 8.0.x
ドットセールス	サイボウズ ドットセールス バージョン 1.1.x

本書の取り扱いについて

この文書内における掲載情報の二次利用においては、ご自身の判断と責任の下に行ってください。

サイボウズ株式会社は、それらの情報をご利用になることにより発生したあらゆる商業的損害・損失を含め一切の直接的、間接的、特殊的、付随的または結果的損失、損害について責任を負いません。

また、本文書を二次利用し作成した文書には、次のような当社の著作権表示文を記載してください。

「本文書は、サイボウズ株式会社による『サイボウズ ガルーン 管理者マニュアル』を一部引用しています。」

商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。

個別の商標・著作物に関する注記については、弊社の Web サイトを参照してください。

http://cybozu.co.jp/company/copyright/other_companies_trademark.html
なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。

- OpenSSL (Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.)
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(<http://www.openssl.org/>)
This product includes cryptographic software written by Eric Young
(eay@cryptsoft.com)
This product includes software written by Tim Hudson
(tjh@cryptsoft.com)

目次

はじめに	2
目次	4
1章 ガルーンを運用するための準備	12
1.1 システム管理画面にアクセスする	14
1.1.1 システム管理画面にアクセスする	14
1.2 標準データとサンプルデータを削除する	15
2章 ガルーンの管理のしくみ	16
2.1 ガルーンの試用期間	16
2.2 システム管理画面の機能	17
2.3 ガルーンの管理に必要な権限	17
2.3.1 ガルーン管理者	17
2.3.2 運用管理権限	18
2.3.3 アクセス権	18
2.4 ガルーン管理者を設定する	19
2.4.1 基本システムの管理権限を設定する	19
2.4.2 アプリケーションの管理権限を設定する	20
3章 基本システムの管理	22
3.1 お客様情報	22
3.2 アプリケーション	23
3.2.1 使用するアプリケーションを設定する	23
3.3 ユーザー	24
3.3.1 組織を管理する	24
3.3.2 ユーザーを管理する	26
3.3.3 ロールを管理する	31
3.3.4 組織やユーザーの運用管理権限を設定する	34
3.3.5 ユーザーデータの削除時間を設定する	35
3.3.6 組織、ユーザーおよびロールをファイルで管理する	36
3.3.7 パスワードに制限を設定する	36
3.4 認証	37
3.4.1 ガルーン認証機能	37

3.4.2	認証を管理する	39
3.4.3	認証を使用する	43
3.5	シングルサインオン	43
3.5.1	シングルサインオンを管理する	44
3.6	ファイル	45
3.6.1	ファイルの機能を設定する	45
3.6.2	MIME タイプを管理する	46
3.6.3	MIME タイプをファイルで管理する	47
3.7	画面	47
3.7.1	画面を設定する	47
3.7.2	アプリケーションメニューを設定する	49
3.7.3	「始めるメニュー」を設定する	51
3.7.4	Web メールを管理する	53
3.7.5	ドロップダウンリストの機能を設定する	54
3.8	カレンダー	54
3.8.1	カレンダーを管理する	55
3.8.2	拠点を設定する	58
3.8.3	イベントや拠点をファイルで管理する	60
3.9	通知	62
3.9.1	通知を管理する	62
3.10	ロギング	63
3.10.1	ログの出力条件を設定する	63
3.10.2	ログを確認する	64
3.10.3	ログを削除する	64
3.10.4	ログデータを CSV ファイルに書き出す	65
3.11	ライセンス	65
3.11.1	ライセンスを登録する	66
3.11.2	登録したライセンスを確認する	66
3.12	外部サーバー	67
3.12.1	システムメールアカウントを設定する	67
3.12.2	Web プロキシを設定する	68
3.13	ローカライズ	68
3.13.1	ローカライズの機能を設定する	68
3.13.2	ロケールを設定する	71
4章	各アプリケーションの管理	74

4.1	ポータル	74
4.1.1	ポータルを管理する	74
4.1.2	HTML ポートレットと PHP ポートレットを管理する	83
4.1.3	My ポータルの雛形を変更する	87
4.1.4	ポータルやポートレットの権限を管理する	88
4.1.5	ポートレットをファイルで管理する	89
4.2	スペース	92
4.2.1	スペースを管理する	92
4.2.2	カテゴリーをファイルで管理する	95
4.3	リンク集	96
4.3.1	共有リンクを管理する	96
4.3.2	共有リンクの権限を管理する	100
4.3.3	共有リンクをファイルで管理する	101
4.4	スケジュール	103
4.4.1	スケジュールの機能を設定する	103
4.4.2	予定メニューを管理する	104
4.4.3	施設を管理する	107
4.4.4	施設予約を管理する	111
4.4.5	予定の表示の設定を変更する	113
4.4.6	スケジュールの権限を管理する	114
4.4.7	期間を指定して予定を一括削除する	115
4.4.8	スケジュールや施設のデータをファイルで管理する	116
4.4.9	V-CUBE ミーティングを設定する	117
4.5	メッセージ	121
4.5.1	メッセージを管理する	121
4.6	掲示板	123
4.6.1	掲示板の機能を設定する	123
4.6.2	掲示板を管理する	123
4.6.3	掲示板の権限を管理する	128
4.6.4	掲示板をファイルで管理する	129
4.7	ファイル管理	131
4.7.1	ファイル管理を管理する	131
4.7.2	フォルダーやファイルを管理する	132
4.7.3	フォルダーの使用量を確認する	135
4.7.4	ファイル管理の権限を管理する	135
4.7.5	ファイル管理をファイルで管理する	136

4.8	メモ	138
4.8.1	メモの機能を設定する	138
4.9	電話メモ	139
4.9.1	電話メモを管理する	139
4.9.2	電話メモの権限を管理する	139
4.9.3	アクセス権をファイルで管理する	140
4.10	タイムカード	141
4.10.1	タイムカードの機能を設定する	141
4.10.2	タイムカードを修正する	142
4.10.3	タイムカードを印刷する	142
4.10.4	タイムカードデータを CSV ファイルに書き出す	142
4.11	アドレス帳	144
4.11.1	ブックを管理する	145
4.11.2	アドレス情報を管理する	146
4.11.3	アドレス帳の権限を管理する	149
4.11.4	アドレス帳をファイルで管理する	150
4.12	メール	152
4.12.1	メールの機能を設定する	152
4.12.2	メールサーバーを管理する	153
4.12.3	アカウントを管理する	155
4.12.4	メールの制限値を設定する	157
4.12.5	ユーザーの権限を設定する	158
4.12.6	メールをファイルで管理する	159
4.13	ワークフロー	161
4.13.1	ワークフローの利用ユーザーを管理する	163
4.13.2	ワークフローの機能を設定する	163
4.13.3	申請フォームを作成する	165
4.13.4	申請フォーム一覧を管理する	171
4.13.5	申請フォームを編集する	175
4.13.6	経路を管理する	180
4.13.7	経路を編集する	185
4.13.8	経路分岐を設定する	189
4.13.9	申請データを管理する	192
4.13.10	代理人を設定する	196
4.13.11	ワークフローの権限を管理する	196
4.13.12	ワークフローをファイルで管理する	198

4.14	マルチレポート	201
4.14.1	利用ユーザーを管理する	201
4.14.2	マルチレポートの機能を設定する	202
4.14.3	レポートフォームを作成する	202
4.14.4	レポートフォーム一覧を管理する	206
4.14.5	レポートフォームを編集する	210
4.14.6	絞込みを管理する	212
4.14.7	レポートを管理する	215
4.14.8	マルチレポートの権限を管理する	217
4.14.9	マルチレポートのデータをファイルで管理する	218
4.15	ネット連携サービス	220
4.15.1	ネット連携サービスの機能を設定する	220
4.15.2	使用するサービスを設定する	220
4.15.3	受信するイベントデータを設定する	221
4.16	RSS リーダー	222
4.16.1	RSS リーダーの機能を設定する	222
4.16.2	共有サイトを管理する	222
4.16.3	共有サイトをファイルで管理する	224
4.17	在席確認	225
4.17.1	在席確認の機能を設定する	225
4.17.2	ステータスを設定する	226
4.17.3	在席確認の代理人を設定する	227
4.17.4	代理人をファイルで管理する	228
4.18	お気に入り	229
4.18.1	お気に入りの機能を設定する	229
4.19	通知一覧	230
4.19.1	ポートレットの表示を設定する	230
4.19.2	外部システムからの通知を設定する	231
4.19.3	通知フィルタを管理する	232
4.19.4	通知を一括で削除する	233
4.20	ケータイ	235
4.20.1	ケータイの利用ユーザーを管理する	236
4.20.2	ケータイの機能を設定する	237
4.20.3	ケータイのログイン URL を設定する	238
4.20.4	利用ユーザーを CSV ファイルで管理する	238
4.21	全文検索	239

4.21.1 通信パスワードを設定する.....	239
4.21.2 全文検索サーバーの情報を確認する.....	240
4.21.3 全文検索を再初期化する.....	240
4.22 連携するサイボウズ製品を使用する.....	241
4.23 優先されるアクセス権.....	242
5章 ガルーンの保守.....	245
5.1 バックアップとリストア.....	245
5.1.1 OSのコマンドを使用してバックアップする.....	249
5.1.2 OSのコマンドを使用してリストアする.....	251
5.1.3 mysqldump を使用してバックアップする.....	253
5.1.4 mysqldump を使用してリストアする.....	256
5.2 サーバー間でのガルーンの移行.....	259
5.2.1 32 ビット OS または 64 ビット OS 同士で移行する.....	259
5.2.2 32 ビット OS から 64 ビット OS にガルーンを移行する.....	260
5.3 Administrator のパスワードを再設定する.....	263
付録A CSV ファイルの仕様.....	264
付録A.1 CSV ファイルを作成する場合の注意点.....	264
付録A.2 CSV ファイルのフォーマット.....	265
付録A.2.1 ユーザー.....	265
付録A.2.2 ファイル.....	271
付録A.2.3 カレンダー.....	271
付録A.2.4 ポータル.....	273
付録A.2.5 スペース.....	273
付録A.2.6 リンク集.....	274
付録A.2.7 スケジュール.....	276
付録A.2.8 掲示板.....	280
付録A.2.9 ファイル管理.....	282
付録A.2.10 電話メモ.....	284
付録A.2.11 タイムカード.....	285
付録A.2.12 アドレス帳.....	286
付録A.2.13 メール.....	287
付録A.2.14 ワークフロー.....	290
付録A.2.15 マルチレポート.....	294
付録A.2.16 RSS リーダー.....	297

付録 A.2.17	在席確認	297
付録 A.2.18	ケータイ	298
付録 B	コマンドラインでガルーンを管理する	299
付録 B.1	コマンドの実行手順	299
付録 B.1.1	Windows 環境でガルーンのコマンドを実行する	299
付録 B.1.2	Linux 環境でガルーンのコマンドを実行する	300
付録 B.2	組織、ユーザーおよびロールを CSV ファイルで管理する	300
付録 B.2.1	CSV ファイルを読み込むためのコマンドと引数	301
付録 B.2.2	CSV ファイルを書き出すためのコマンドと引数	302
付録 B.3	アプリケーションのデータを管理する	303
付録 B.3.1	削除したユーザーのデータを削除する	303
付録 B.3.2	予定を一括削除する	304
付録 B.3.3	期間を指定してメッセージを一括削除する	305
付録 B.3.4	期限切れの掲示を一括削除する	306
付録 B.3.5	期間を指定して掲示を一括削除する	307
付録 B.3.6	受信メールを削除する	308
付録 B.3.7	メッセージの変更および削除権限を削除する	309
付録 B.3.8	通知を削除する	310
付録 B.3.9	ガルーンを初期化する	311
付録 B.3.10	ログを一括削除する	313
付録 B.3.11	ログデータを CSV ファイルに書き出す	314
付録 B.3.12	実行ログ	315
付録 C	ログの出力仕様	317
付録 C.1	ログの構成	317
付録 C.2	基本システムのログ	317
付録 C.3	アプリケーションのログ	323
付録 D	データ入力仕様	394
付録 E	検索仕様	412
付録 E.1	複数の表示名を持つカテゴリ名やフォルダーの検索仕様	415
付録 F	エラーメッセージ	416
付録 G	タイムゾーン	488
付録 H	入出力可能なファイル	491

索引	493
----------	-----

1章 ガルーンを運用するための準備

ユーザーがガルーンを使い始める前に、システム管理者が行う作業を説明します。
作業の流れは次のとおりです。

STEP1	ローカライズに必要な項目を設定する 日本以外の拠点でガルーンを使用する場合は、ローカライズに必要な項目を設定します。 「ローカライズに必要な項目を設定する」 - 12 ページ
STEP2	基本的なデータを登録する ガルーンを使用するユーザーや、ユーザーが使用するサービス、会社情報などを設定します。 「1.1.1 システム管理画面にアクセスする」 - 14 ページ
STEP3	基本システムの初期設定を行う 「1.1.1 システム管理画面にアクセスする」 - 14 ページ 「3.2.1 使用するアプリケーションを設定する」 - 23 ページ
STEP4	アプリケーションごとに機能を設定する メールサーバーやアドレス帳などのアプリケーションごとに機能を設定します。 「4章 各アプリケーションの管理」 - 74 ページ

サイボウズに問い合わせる

「サポート」画面から、ガルーンに関する質問やトラブル、要望などを、サイボウズに問い合わせることができます。
「サポート」は、試用期間かサービスライセンスの有効期間内のみ使用できます。

操作手順:

- 1 画面右上の歯車アイコンをクリックします。
- 2 ドロップダウンリストから「サポート」を選択します。
- 3 「サポート」画面で、必要事項を入力し、[次へ >>]をクリックします。
- 4 [送信する]をクリックします。

ローカライズに必要な項目を設定する

バージョン 3.1.0 以降のガルーンは、ローカライズに関する項目が追加されています。
日本以外の拠点でガルーンを使用したり、初期設定以外の表示言語やタイムゾーンなどを使用したりする場合は、次の流れで設定を変更します。

STEP1:カレンダーを作成する

それぞれの活動拠点の休日や稼働日に合わせたカレンダーを作成します。作成したカレンダーは、ひとつの拠点に対してひとつだけ設定できます。

「3.8.1 カレンダーを管理する」 - 55 ページ

STEP2:選択可能な表示言語を設定する

ガルーンで複数の言語を使用するために、ローカライズの一般設定で選択可能な言語を設定します。

「3.13.1 ローカライズの機能を設定する」 - 68 ページ

STEP3:拠点を設定する

拠点ごとに稼働日や稼働時間などを設定します。

「3.8.2 拠点を設定する」 - 58 ページ

STEP4:ロケールを設定する

活動拠点によって、使用する言語や日時の表示形式が異なる場合は、拠点に合わせてロケールを設定します。

「3.13.2 ロケールを設定する」 - 71 ページ

拠点の設定例

東京と上海に拠点(本社と支店)を設定した例です。

拠点情報

拠点 項目	東京本社	上海支店
稼働日	月～土	月～金
稼働時間	9:00-12:00 13:00-18:00	9:00-12:00 13:00-18:00
カレンダー	Tokyo	Shanghai

スケジュール画面の例

The screenshot shows a calendar interface with two rows representing different locations. The top row is for Tokyo (UTC+09:00) and the bottom row is for Beijing (UTC+08:00). The Tokyo row shows a meeting on Nov 10th, and the Beijing row shows a meeting on Nov 9th. A bracket labeled '1)' spans across the meeting cells in both rows, indicating that users from different locations can check their availability.

1):異なる拠点に所属するユーザーの空き時間を確認できます。

補足

- ユーザーが使用しているタイムゾーンがサマータイムに対応している場合、ガルーンで使用する日時にもサマータイムが適用されます。

1.1 システム管理画面にアクセスする

システム管理者は、管理権限を持つユーザーでシステム管理画面にログインし、ガルーンのシステム管理に必要な項目を設定します。

はじめてシステム管理画面にログインする場合は、先に Web ブラウザーの設定を確認します。Web ブラウザーの設定方法は、弊社の Web サイトで紹介しています。

<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webbrowser/>

運用開始前に設定する項目

ガルーンの運用を開始する前に、次の項目を設定します。

- ユーザー、組織、および役職
- ロール
- ユーザーが利用するアプリケーション
- 会社情報
- 認証方式
- パスワードポリシー

1.1.1 システム管理画面にアクセスする

システム管理画面にアクセスし、ガルーンの機能に関する設定を行います。

次の環境でガルーンをインストールした場合を例に、システム管理画面のアクセス URL を説明します。

- インストール識別子: cbgrn
- インストールディレクトリー
 - Windows 環境: C:\inetpub\scripts
 - Linux 環境: /var/www/cgi-bin

システム管理画面のアクセス URL は次のとおりです。

Windows 環境

http://(サーバーの IP アドレス またはホスト名)/scripts/cbgrn/grn.exe/system/index

Linux 環境

http://(サーバーの IP アドレス またはホスト名)/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/system/index

注意

- システム管理画面へのアクセスに、シングルサインオンや LDAP 認証は使用できません。

1.2 標準データとサンプルデータを削除する

ガルーンを初期化し、インストールしたデータを削除します。

ガルーンの Administrator のパスワードと、データベース接続ユーザーのパスワードを設定し、ガルーンを初期化します。

初期化の手順は、次のマニュアルを参照してください。

Windows 環境:『サイボウズ ガルーン インストールマニュアル』「初期化する」

Linux 環境:『サイボウズ ガルーン インストールマニュアル』「初期化する」

注意

- ガルーンを初期化すると、標準データやサンプルデータ以外のデータもすべて削除されます。

2章 ガルーンの管理のしくみ

2.1 ガルーンの試用期間

ガルーンの試用期間は、ガルーンをインストールしてから 60 日間です。試用期間を過ぎると、ガルーンを購入するまで、ユーザーはガルーンを利用できません。

補足

- 試用期間終了後、ガルーンを購入するまでの表示言語は、ユーザーが設定した言語によって異なります。
 - 「日本語」、「English」または「中文(簡体)」を設定した場合：設定した言語で画面が表示されます。
 - 「ブラウザの設定を優先する」を設定した場合：Web ブラウザーで設定されている言語で画面が表示されます。ガルーンが対応していない言語が Web ブラウザーに設定されている場合は、OS に設定されている言語が適用されます。

サービスライセンスの有効期間

サービスライセンスの終了日から 30 日を経過して、継続サービスライセンスを申し込まない場合、次のサービスは停止します。

- バージョンアップサービス
- サイボウズネット連携サービス（日本語のみ）
- テクニカルサポートサービス（日本語のみ）
- アーカイブライブラリサービス
- サイボウズからのお知らせサービス（日本語のみ）
- 追加アプリケーションサービス：
 - ガルーン ワークフロー
 - ガルーン マルチレポート
 - ガルーン 全文検索サーバー
 - ガルーン ケータイ
 - ガルーン リマインダー
 - ガルーン 連携 API

補足

- サービスライセンスの提供内容については、弊社 Web サイトを参照してください。
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/price/licence/service.html>
上記のページは日本語のみで提供されています。
- サービスが停止すると、「重要なお知らせ」画面に通知が表示されます。
- サービスライセンスの有効期間が終了すると、画面の表示言語はガルーンをインストールしたときに設定した言語になります。

2.2 システム管理画面の機能

システム管理画面は、機能ごとに次のタブに分かれています。

- お知らせ
- 基本システムの管理
- 各アプリケーションの管理

お知らせ

次の情報を確認できます。

- ガルーンのリценズ情報
- サイボウズからのお知らせ
- サーバーの動作環境

基本システムの管理

次の項目を設定します。

- 設定認証方式
- 外部サーバー
- 組織やユーザーなど

各アプリケーションの管理

ポータルやスケジュールなど、ガルーンのアプリケーションを管理します。

2.3 ガルーンの管理に必要な権限

2.3.1 ガルーン管理者

ガルーンの管理権限を持つユーザーを、ガルーン管理者と呼びます。ガルーンは次の管理者によって管理されません。

システム管理者

Administrator と、Administrators グループ(ロール)に所属するユーザーです。この管理者はガルーンシステム全体を管理します。

基本システム管理者

基本システム管理者は、Administrator から管理権限を与えられたユーザーです。この管理者は、使用するアプリケーションやローカライズなどを設定します。

アプリケーション管理者

アプリケーション管理者は、Administrator から個別のアプリケーションに対する管理権限を与えられたユーザーです。

運用管理者

運用管理者は、Administrator やアプリケーション管理者からアプリケーションの運用管理権限を与えられたユーザーです。
この管理者は、Administrator やアプリケーション管理者が指定したアプリケーションをユーザー画面で管理します。

ロールとは？

ロールは、役職や役割などで分類されたユーザーのグループです。ガルーンでは、ロールに管理権限やアクセス権を設定できます。

ロールの使用例

人事部や経理部などの部長に「部長」というロールを割り当てた場合の例です。
「部長」ロールに、掲示板の 카테고리A に対するアクセス権を設定します。
「部長」ロールに割り当てられたユーザーに、掲示板の 카테고리A に対するアクセス権が適用されます。

Administrators ロールとは？

Administrators ロールは、ガルーンの初期設定で用意されているロールです。Administrators ロールに所属するユーザーは、Administrator としてガルーンシステムのシステム全体を管理できます。

2.3.2 運用管理権限

運用管理権限は、掲示板やファイル管理などのカテゴリやフォルダーを管理する権限です。運用管理権限は、カテゴリまたはフォルダーに設定します。

運用管理権限を付与されたユーザーのユーザー画面には、管理機能のメニューが表示されます。

ユーザー画面の例:



a): 管理機能のメニュー

2.3.3 アクセス権

アクセス権は、ユーザーがアプリケーションの機能を使用するために必要な権限です。

アクセス権は、セキュリティモデルと権限を付与する対象(組織、ロールまたはユーザー)を組み合わせて設定します。アプリケーションによっては使用権限を設定できません。

セキュリティモデル

次のどちらかのセキュリティモデルを設定します。

- REVOKE: アクセスを禁止する組織、ロールまたはユーザーを設定します。
- GRANT : アクセスを許可する組織、ロールまたはユーザーを設定します。

使用権限

使用権限は、閲覧、書き込み、削除などの機能を使用する権限です。使用権限は、組織、ユーザーおよびロールごとに設定できます。

2.4 ガルーンの管理者を設定する

Administrators ロールを所持するユーザーだけが、管理権限を設定できます。

2.4.1 基本システムの管理権限を設定する

基本システムの管理権限を追加する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [管理権限]をクリックします。
- 3 [基本システムの管理権限]をクリックします。
- 4 [追加する]をクリックします。
- 5 基本システムの管理権限を追加する組織、ユーザー、またはロールを選択します。
- 6 [↓追加]をクリックします。
- 7 必要に応じて手順5と6を繰り返し、[追加する]をクリックします。
- 8 組織、ユーザー、またはロールの[変更]をクリックします。
- 9 基本システムの管理者に許可する管理項目を選択します。
- 10 [変更する]をクリックします。

基本システムの管理権限を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [管理権限]をクリックします。
- 3 [基本システムの管理権限]をクリックします。
- 4 組織、ユーザー、またはロールの[変更]をクリックします。

- 5 基本システムで管理する項目を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

基本システムの管理権限を削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [管理権限]をクリックします。
- 3 [基本システムの管理権限]をクリックします。
- 4 権限を削除する組織、ユーザー、またはロールを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 手順4で[すべて削除]をクリックし、[はい]をクリックすると、基本システムのすべての管理権限の設定が削除されます。

2.4.2 アプリケーションの管理権限を設定する

アプリケーションの管理権限を追加する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [管理権限]をクリックします。
- 3 [アプリケーションの管理権限]をクリックします。
- 4 [追加する]をクリックします。
- 5 アプリケーションの管理権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択します。
- 6 [↓追加]をクリックします。
- 7 必要に応じて手順5と6を繰り返し、[追加する]をクリックします。
- 8 組織、ユーザー、またはロールの[変更]をクリックします。
- 9 アプリケーションの管理者に許可する管理項目を選択します。
- 10 [変更する]をクリックします。

アプリケーションの管理権限を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [管理権限]をクリックします。

- 3 [アプリケーションの管理権限]をクリックします。
- 4 組織、ユーザー、またはロールの[変更]をクリックします。
- 5 アプリケーションの管理権限を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

アプリケーション管理権限を削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [管理権限]をクリックします。
- 3 [アプリケーションの管理権限]をクリックします。
- 4 組織、ユーザー、またはロールを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 手順4で[すべて削除]をクリックし、[はい]をクリックすると、アプリケーションのすべての管理権限の設定が削除されます。

3章 基本システムの管理

3.1 お客様情報

ガルーンの試用や購入の申し込み、問い合わせなどに、お客様情報が必要です。
「お客様情報の変更」画面で、必要な情報を設定します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [お客様情報]をクリックします。
- 3 [お客様情報の確認]をクリックします。
- 4 [変更する]をクリックします。
- 5 お客様情報を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

ロゴの指定方法

初期設定で設定されているロゴ(ガルーンのロゴ)を変更する場合は、次のいずれかでロゴを指定します。

- URL: ロゴの保存先とファイル名を URL で指定します。
- ファイル: 画像ファイルを添付します。

画面例:



a)

a): ロゴ

注意

- ロゴの画像ファイルは、URL で指定することを推奨します。ロゴの画像ファイルをファイル形式で指定すると、サーバーのパフォーマンスが低下する可能性があります。

補足

- ロゴ(URL)とロゴ(ファイル)の両方を設定した場合は、URL に設定した画像が優先されます。
- ロゴ(ファイル)に設定した画像を削除するには、「お客様情報の変更」画面で「削除する」のチェックボックスを選択し、[変更する]をクリックします。

3.2 アプリケーション

3.2.1 使用するアプリケーションを設定する

アプリケーションの使用を開始または停止する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [アプリケーション]をクリックします。
- 3 [アプリケーション一覧]をクリックします。
- 4 アプリケーションの[使用停止]または[使用開始]をクリックします。

補足

- アプリケーションを使用する場合は、[使用開始]をクリックします。
- 停止したアプリケーションは、アプリケーションの管理画面やユーザー画面に表示されません。

アプリケーションの名称を変更する

名称を変更すると、ユーザー操作画面に表示されるアプリケーション名が変更されます。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [アプリケーション]をクリックします。
- 3 [アプリケーション一覧]をクリックします。
- 4 変更するアプリケーションの名称をクリックします。
- 5 アプリケーション名を入力します。
- 6 [変更する]をクリックします。

補足

- 表示言語ごとにアプリケーション名を設定できます。

アプリケーションのプレビューを表示する

プレビューを表示すると、ユーザー画面の表示を確認できます。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [アプリケーション]をクリックします。
- 3 [アプリケーション一覧]をクリックします。

- 4 アプリケーションの[プレビュー]をクリックします。
- 5 各アプリケーションのプレビュー画面を確認します。

アプリケーションを再初期化する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [アプリケーション]をクリックします。
- 3 [アプリケーション一覧]をクリックします。
- 4 アプリケーションの[再初期化]をクリックします。
- 5 [はい]をクリックします。

補足

- アプリケーションを再初期化すると、今まで設定したデータは削除されます。

3.3 ユーザー

ガルーンを使用するユーザーや、ユーザーが所属する組織などを管理します。

3.3.1 組織を管理する

組織を追加する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 [子組織を追加する]をクリックします。
- 6 組織の情報を入力します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- 組織コードは固有である必要があります。
- 「組織名」の[表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語で組織名を追加できます。
- 「組織コード」の[⇒他の組織コードを確認する]をクリックすると、ガルーンで使用されている組織コードの一覧が表示されます。

組織情報を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 組織情報を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

組織に所属するユーザーを変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 [所属ユーザーを変更する]をクリックします。
- 6 組織に所属するユーザーを変更します。
- 7 [所属させる]をクリックします。

子組織の表示順を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 [子組織を順番変更する]をクリックします。
- 6 子組織の表示順を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

補足

- (トップ)で[子組織を順番変更する]をクリックすると、(トップ)の子組織の表示順を変更できます。

組織を移動する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [組織を移動する]をクリックします。
- 7 移動先の親組織を選択します。
- 8 [移動する]をクリックします。

組織を削除する

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

所属している組織がないユーザーは、組織に未所属のユーザーになります。

3.3.2 ユーザーを管理する

ユーザーを追加する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 [ユーザーを追加する]をクリックします。
- 6 ユーザーの情報を入力します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- ユーザーデータの削除が完了するまで、同じログイン名のユーザーを追加できません。ユーザーのデータを削除する時間帯の設定については、次のページを参照してください。
「3.3.5 ユーザーデータの削除時間を設定する」 - 35 ページ

名前の英語表記とは？

標準のユーザー名の言語が、個人設定の「ユーザー名を表示する言語」に設定している言語と異なる場合、「英語表記」に設定した名前が表示されます。

英語表記は、標準のユーザー名の後に表示することもできます。

補足

- 英語表記の入力欄を使用する場合は、ローカライズの一般設定で設定を変更する必要があります。
「3.13.1 ローカライズの機能を設定する」 - 68 ページ
- 3.1.0 より前のバージョンから 3.1.0 以降のガルーンにバージョンアップしたとき、英語表記には何も設定されません。
- 英語表記に何も設定されていない場合は、標準の名前が表示されます。

ロケールとは？

ロケールは、言語や地域の設定情報です。ロケールごとに、画面の表示言語や日時の表示形式を設定します。ユーザーを追加または変更する場合は、ユーザーが活動する国や地域に合ったロケールを選択します。

「3.13.2 ロケールを設定する」 - 71 ページ

拠点とは？

拠点とは、業務や営業など活動の中心になる場所です。拠点ごとに稼働日や稼働時間などを設定します。海外の支店、24 時間稼働している工場など、拠点ごとに稼働日や稼働時間が異なる場合、ユーザーが活動する場所に合った拠点を選択します。

「3.8.2 拠点を設定する」 - 58 ページ

優先する組織とは？

ユーザーを選択するドロップダウンリストには、そのユーザーの所属組織がすべて表示されます。

所属組織が多いユーザーは、ドロップリスト内に大量の組織が表示され、選択が難しくなります。

優先する組織は、宛先入力などの組織選択のドロップダウンリストで「(優先する組織)」と表示されます。

よく選択するユーザーが所属する組織を「優先する組織」として設定すると、宛先や参加者を選択しやすくなります。

表示優先度とは？

ユーザーの一覧画面では、「表示優先度」に設定した番号の昇順で、ユーザーが表示されます。

次の場合は、登録した順にユーザーが表示されます。

- 「表示優先度」に同じ数値が設定されている場合
- 「表示優先度」を設定しない場合

Web ブラウザーからユーザーを登録した場合は、最後に登録したユーザーは最下部に表示されます。

CSV ファイルで登録した場合、ユーザーは CSV ファイルの記載順で表示されます。

同じ組織のユーザーに表示優先度が設定されている場合、優先度の数値が最も大きい(表示優先度が最も低い)ユーザーの下に、表示優先度を設定されていないユーザーが表示されます。

使用の停止とは？

「使用の停止」を設定されたユーザーは、ガルーンにログインできません。

不正なアクセスを防ぐため、休職や出向などで長期間ガルーンにログインしないユーザーの使用を停止することを推奨します。

補足

- 「使用の停止」に設定されたユーザーは、ライセンスが必要な人数として扱われません。
- 「停止する」のチェックを外すと、そのユーザーは再びガルーンを使用できるようになります。
- 「組織／ユーザーの設定」画面の[<使用停止中のユーザー>]をクリックすると、使用を停止されているユーザーの一覧が表示されます。

ユーザー情報を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 ユーザー情報を変更するユーザーが所属する組織を選択します。
- 5 ユーザーを選択します。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 ユーザー情報を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

補足

- ユーザーを選択した後に[所持ロールを変更する]をクリックして、ロールの所持を変更する

ユーザーが所属する組織を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 設定を変更するユーザーが所属する組織を選択します。
- 5 ユーザーを選択します。
- 6 [所属組織を変更する]をクリックします。
- 7 組織を選択し、[↓この組織を所属に追加する]をクリックします。
- 8 [変更する]をクリックします。

補足

- 「ユーザー情報の変更」画面で、「所属組織」の[所属組織を変更する]をクリックしても、ユーザーの所属する組織を設定できます。

所属する組織からユーザーを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 削除するユーザーが所属する組織を選択します。
- 5 削除するユーザーを選択します。
- 6 [所属から外す]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

ユーザーを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 ユーザーを選択します。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

削除されたユーザーに関するデータの処理

削除されたユーザーが作成したデータや、削除されたユーザーのユーザー名は、次のように処理されます。

- メモやリンク集など、ほかのユーザーと共有しないデータは、指定した時間に自動的に削除されます。
- スケジュールやメッセージなどほかのユーザーと共有するデータは、削除されません。
- ワークフローで、代理申請者を設定していないユーザーを削除すると、そのユーザーが作成した申請データの変更や削除ができません。
- 削除されたユーザーは、名前の後に「(削除されたユーザー)」が表示されます。
- 削除されたユーザーの名前は、標準で設定されたユーザー名で表示されます。

ユーザー情報の項目を追加する

ユーザー情報にカスタマイズ項目を追加します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。

- 3 [ユーザー情報の項目]をクリックします。
- 4 [カスタマイズ項目を追加する]をクリックします。
- 5 カスタマイズ項目を追加します。
- 6 [追加する]をクリックします。

補足

- 項目コードは固有である必要があります。
- ユーザー情報の項目の項目コードに有効な文字：
 - 半角英数字
 - 「_」(アンダーバー)
- 組み込み項目はユーザー情報に追加できません。

ユーザー情報の項目を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [ユーザー情報の項目]をクリックします。
- 4 内容を変更する項目を選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 カスタマイズ項目を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

補足

- 「アプリケーション一覧」で、「在席確認」を使用停止にしても、「ユーザー情報の項目」画面では、「在席情報」の項目が表示されます。
- 組み込み項目の次の項目は編集できません。
 - 項目名
 - 項目コード

ユーザー情報の項目の表示順を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [ユーザー情報の項目]をクリックします。
- 4 [カスタマイズ項目を順番変更する]をクリックします。
- 5 カスタマイズ項目の表示順を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

補足

- 組み込み項目の表示順は変更できません。

ユーザー情報の項目を削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [ユーザー情報の項目]をクリックします。
- 4 カスタマイズ項目の項目名を選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 組み込み項目は削除できません。
- ユーザー情報の項目を削除すると、登録した情報も削除されます。

3.3.3 ロールを管理する

ロールを追加する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [ロールの設定]をクリックします。
- 4 [ロールを追加する]をクリックします。
- 5 ロールの情報を入力します。
- 6 [追加する]をクリックします。

ガルーンにあらかじめ設定されているロール

初期設定では次のロールが設定されています。

動的ロール

所属するユーザーが流動的なロールです。ロール一覧には表示されません。

次のロールがあります。

- Everyone:
すべてのユーザーが持つロールです。LoginUser と同じ動作をします。
- LoginUser:
ログインしているユーザーが持つロールです。

- Owner:
現在、このロールに該当するユーザーはありません。
- CommandLine:
コマンドラインから実行したときに持つロールです。

静的ロール

所属するユーザーが固定されているロールです。

- Administrators:
アドミニストレーター権限を持つロールです。

ロールを所持するユーザーを追加する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [ロールの設定]をクリックします。
- 4 ロールを選択します。
- 5 [ロールを所持させる]をクリックします。
- 6 組織を選択します。
- 7 ロールを所持するユーザーを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

ユーザーの所持するロールを設定する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 ユーザーを選択します。
- 6 [所持ロールを変更する]をクリックします。
- 7 選択したユーザーに所持させるロールを設定します。
- 8 [変更する]をクリックします。

ロール情報を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。

- 3 [ロールの設定]をクリックします。
- 4 ロールを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 ロール情報を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

補足

- ロールを選択した後に[ロールを所持させる]をクリックして、ロールを所持するユーザーを変更する

ロールの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [ロールの設定]をクリックします。
- 4 [ロールを順番変更する]をクリックします。
- 5 ロールの表示順を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

ロールを所持するユーザーを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [ロールの設定]をクリックします。
- 4 ロールを選択します。
- 5 ユーザーを選択します。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

ロールを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [ロールの設定]をクリックします。
- 4 ロールを選択します。

- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 手順4で[全ロールを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、管理者が追加したロールがすべて削除されます。

3.3.4 組織やユーザーの運用管理権限を設定する

組織、ユーザー、またはロールに、運用管理権限を設定する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 [運用管理権限を設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 運用管理権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択します。
- 8 [↓追加]をクリックします。
- 9 「運用管理者の設定」にチェックを入れます。
- 10 [追加する]をクリックします。

補足

- 「運用管理者の設定」の権限を付与されたユーザーは、運用管理者を追加または削除できます。

組織に対する運用管理権限を削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [組織/ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 [運用管理権限を設定する]をクリックします。
- 6 運用管理権限の対象を選択します。
- 7 [削除する]をクリックします。
- 8 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 6 で[すべて削除]をクリックし、[はい]をクリックすると、組織に対するすべての運用管理権限が削除されます。

3.3.5 ユーザーデータの削除時間を設定する

ガルーンから削除されたユーザーのデータを、自動的に削除する時間帯を設定します。初期設定では、データを削除する時間帯は 8 時から 12 時 (UTC23:00 から UTC03:00) に設定されています。ユーザーデータを削除する時間帯は、次の時間帯を避けて設定することを推奨します。

- ユーザーがガルーンを使用する時間帯
- ガルーンのデータをバックアップする時間帯
- 0:00 前後の時間帯

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [ユーザーデータの削除時間の設定]をクリックします。
- 4 [変更する]をクリックします。
- 5 ユーザーデータを削除する時間帯を設定します。
- 6 [変更する]をクリックします。

注意

- 削除されたユーザーデータは元に戻せません。
- ユーザーデータを削除する時間帯に、24 時間以上の時間帯は設定できません。
- 削除処理中はガルーンへの負荷が高くなり、業務に支障をきたす場合があります。
- バックアップ中は、ユーザーデータを削除できません。
- ユーザーデータの削除中にバックアップすると、削除処理が終了します。
- ほかに動作するタスクがあると、処理が実行されない可能性があります。

補足

- ユーザーデータの削除が完了するまで、同じログイン名のユーザーを追加できません。

ユーザーの削除を取り消す

「ユーザーデータの削除時間の設定」画面で、削除を中止するユーザーを選択し、[復旧する]をクリックすると、ユーザーの削除を取り消しできます。

ユーザーをすぐに削除する

「ユーザーデータの削除時間の設定」画面で、即時に削除するユーザーを選択し、[削除する]をクリックすると、ユーザーを即時に削除できます。

3.3.6 組織、ユーザーおよびロールをファイルで管理する

データを CSV ファイルから読み込む

CSV ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みが中止されます。途中まで読み込まれた内容はガルーンに反映されません。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込むデータを選択します。
- 5 読み込むファイルを選択します。
- 6 読み込む方法を選択します。
- 7 [次へ >>]をクリックします。
- 8 CSV ファイルの内容を確認し、[読み込む]をクリックします。

注意

- バージョン 3.0 以前のフォーマットを使用すると、ローカライズに関する情報を読み込めません。
- CSV ファイルから組織データを読み込む場合、CSV ファイルの現組織コードにない組織コードの組織は削除されます。

データを CSV ファイルに書き出す

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出すデータを選択します。
- 5 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 6 ファイルを保存します。

注意

- バージョン 3.0 以前のフォーマットを使用すると、ローカライズに関する情報を書き出せません。

3.3.7 パスワードに制限を設定する

パスワードに制限を設定すると、パスワードが強固になり、セキュリティの向上が見込めます。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ユーザー]をクリックします。
- 3 [パスワードの制限]をクリックします。
- 4 パスワードの制限を設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

補足

- パスワードに有効期限を設定すると、指定した期間の終了後にパスワードの変更が必要です。
- 有効期限の通知を設定すると、ユーザーがユーザー画面にログインするとき、パスワードの期限が表示されます。
- パスワードに使用できる特殊文字は次のとおりです。
`~!@#\$%^&*()_+-={}|[]\:";'<>? ,./

3.4 認証

3.4.1 ガルーンの認証機能

ガルーンが対応している認証機能は次のとおりです:

- ログイン認証
- セッション認証

ログイン認証とセッション認証を組み合わせると、次のような認証方法を設定できます。

例:

- ログイン時:LDAP サーバーで認証します。
- ログイン後:「標準認証」や「オープン統合認証 ver.2」で認証します。

ログイン認証

ユーザーがガルーンにログインするときの認証方法を設定します。

次の場合に設定します:

- シングルサインオンで、ほかのシステムからガルーンにログインする。
- ログイン時にだけ「認証データベース」を切り替える。
- ログイン時に LDAP サーバーで認証する。

ログイン認証で利用できる認証方法は次のとおりです:

- 標準認証
- 環境変数認証

セッション認証

ガルーンにログインしたあとの、認証情報の保持の方法を設定します。

セッション認証で利用できる認証方法は次のとおりです：

- 標準認証
- 環境変数認証
- サイボуз共通認証
- オープン統合認証 ver.2
- オープン統合認証 ver.1

認証データベース

認証方法に合わせて、認証情報の参照先を切り替えられます。

- 標準データベース:ガルーンで認証する
- 認証データベース:LDAP サーバーで認証する

注意

- Windows 環境で SSL を使用する場合は、弊社の Web サイトで制限事項を確認してください。
<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/4139>
- SSL を使用して LDAPS サーバーに接続する場合は、ガルーンの設定を変更する必要があります。詳細は弊社の Web サイトを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/sslsetup.html>

補足

- LDAP サーバーで認証するには、認証データベースを追加して、LDAP サーバーを指定することが必要です。

認証方法について

標準認証

ガルーンの認証情報を使って認証します。認証結果は Cookie に保存されます。

環境変数認証

環境変数に設定された情報で認証します。この認証方法は、多くのシングルサインオン製品で採用されています。

サイボуз共通認証

認証結果を Cookie に保存します。認証情報は、Office シリーズ、デヂエ、メールワイズなどのサイボуз製品間で共有されます。

オープン統合認証 ver.2

認証結果を Cookie に保存します。認証情報は、ガルーンと他社製品の間で共有されます。

認証情報は、Office シリーズ、デヂエ、メールワイズなどのサイボуз製品間でも共有されます。

次の項目は、連携対象の製品と同一の値を設定します。

- Cookie 名

- 統合認証パスワード
- 統合認証パスワード(確認用)
- 発行ドメイン

補足

- 他社の製品とのシングルサインオンを設定する場合は、サイボウズ オフィシャルパートナーにお問い合わせください。
- オープン統合認証 ver.2 のセキュリティは、サイボウズ共通認証やオープン統合認証 ver.1 のセキュリティよりも強化されています。
認証情報を共有する製品がオープン統合認証 ver.2 に対応している場合は、ガルーンでもオープン統合認証 ver.2 を使用することを推奨します。

オープン統合認証 ver.1

認証結果を Cookie に保存します。認証情報は、ガルーンと他社製品の間で共有されます。

次の項目は、連携対象の製品と同一の値を設定します。

- 統合認証パスワード
- 統合認証パスワード(確認用)
- Cookie 発行ドメイン
- Cookie 発行パス

注意

- セキュリティ対策として、Cookie 発行パスは、必要な範囲だけを指定することを推奨します。

補足

- バージョン 2.5.2 以前のガルーンでオープン統合認証を設定していた場合は、バージョンアップ時に、自動的にオープン統合認証 ver.1 が設定されます。

3.4.2 認証を管理する

認証を追加する

ログイン認証を追加する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [認証]をクリックします。
- 3 [ログイン認証]をクリックします。
- 4 [ログイン認証を追加する]をクリックします。
- 5 ログイン認証の形式を確認し、[次へ >>]をクリックします。
- 6 ログイン認証を設定します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- 「ログイン認証一覧」画面で [使用する] をクリックして、追加したログイン認証を使用します。

「この文字列までを除外して認証」または「この文字列以降を除外して認証」とは？

環境変数の値から除外する文字列がある場合、除外する文字列を指定します。

- この文字列までを除外して認証：
先頭から指定した文字列までを環境変数の値から除外した値で認証します。
- この文字列以降を除外して認証：
指定した文字列から末尾までを環境変数の値から除外した値で認証します。

セッション認証を追加する

操作手順：

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [認証]をクリックします。
- 3 [セッション認証]をクリックします。
- 4 [セッション認証を追加する]をクリックします。
- 5 セッション認証の形式を選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 6 セッション認証を設定します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- 「ログイン認証一覧」画面で [使用する] をクリックして、追加したログイン認証を使用します。

認証を変更する

ログイン認証を変更する

操作手順：

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [認証]をクリックします。
- 3 [ログイン認証]をクリックします。
- 4 ログイン認証を選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 ログイン認証の設定を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

セッション認証を変更する

操作手順：

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。

- 2 [認証]をクリックします。
- 3 [ログイン認証]をクリックします。
- 4 セッション認証を選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 セッション認証の設定を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

認証を削除する

ログイン認証を削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [認証]をクリックします。
- 3 [ログイン認証]をクリックします。
- 4 ログイン認証を選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

セッション認証を削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [認証]をクリックします。
- 3 [ログイン認証]をクリックします。
- 4 セッション認証を選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 標準認証は削除できません。

認証データベースを追加する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [認証]をクリックします。
- 3 [認証データベース]をクリックします。
- 4 [認証データベースを追加する]をクリックします。

- 5 認証データベースの形式を確認し、[次へ >>]をクリックします。
- 6 認証データベースを設定します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- LDAP サーバーの仕様によっては、空のパスワードによるユーザーのログインを禁止する必要があります。
- 認証データベースの形式に LDAPS を使用する場合は、ポート番号を設定する必要はありません。

認証データベースを変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [認証]をクリックします。
- 3 [認証データベース]をクリックします。
- 4 認証データベースを選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 認証データベースの設定を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

補足

- 標準データベースは変更できません。
- 認証データベースの形式に LDAPS を使用する場合は、ポート番号を設定する必要はありません。

認証データベースを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [認証]をクリックします。
- 3 [認証データベース]をクリックします。
- 4 認証データベースを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 標準データベースは削除できません。

3.4.3 認証を使用する

ログイン認証を使用する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [認証]をクリックします。
- 3 [ログイン認証]をクリックします。
- 4 対象のログイン認証の [使用する]をクリックします。

補足

- 使用中のログイン認証は「使用中」と表示されます。
- ログイン認証は無効にできません。使用中のログイン認証を無効にするには、ほかのログイン認証に変更するか、使用中のログイン認証を削除します。

セッション認証を使用する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [認証]をクリックします。
- 3 [セッション認証]をクリックします。
- 4 対象のセッション認証の [使用する]をクリックします。

注意

- オープン統合認証 ver.1、またはオープン統合認証 ver.2 を使用する場合は、標準認証も有効にする必要があります。

補足

- 使用中のセッション認証は「使用しない」と表示されます。
- セッション認証の使用を停止するときは、[使用しない] をクリックします。

3.5 シングルサインオン

「シングルサインオン」は、ガルーンにログインしているユーザーの認証情報を、ガルーンからほかのシステムに渡す機能です。

一度ガルーンにログインしたユーザーは、ガルーンからほかのシステムにアクセスするときに、認証のためにパスワードを入力する必要がなくなります。

ガルーンのシングルサインオン機能で利用できる認証方法:

- GET 認証
フォーム認証です。システムは URL に設定されたパラメーターでユーザーを認証します。
ログインユーザーのユーザー情報が、URL のパラメーターとして送信されます。

- POST 認証
フォーム認証です。システムは Web ページから送信 (POST) されたパラメーターでユーザーを認証します。ログインユーザーのユーザー情報が、POST Method で送信されます。

補足

- GET 認証は URL にユーザー情報が表示されます。使用するシステムに問題がないかどうか、注意が必要です。

3.5.1 シングルサインオンを管理する

シングルサインオンを追加する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [シングルサインオン]をクリックします。
- 3 [シングルサインオンの設定]をクリックします。
- 4 [追加する]をクリックします。
- 5 シングルサインオンを設定します。
- 6 [追加する]をクリックします。

補足

- 「個人設定を許可する」を選択して、項目の変更をユーザーに許可します。

シングルサインオンを変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [シングルサインオン]をクリックします。
- 3 [シングルサインオンの設定]をクリックします。
- 4 シングルサインオンを選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 シングルサインオンの設定を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

シングルサインオンを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [シングルサインオン]をクリックします。
- 3 [シングルサインオンの設定]をクリックします。

- 4 シングルサインオンを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 4 で[全シングルサインオンを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、すべてのシングルサインオンの設定が削除されます。

3.6 ファイル

ファイルのサイズ制限、バージョン管理の上限値、MIME タイプなどを設定します。

3.6.1 ファイルの機能を設定する

ファイルの「一般設定」画面で、次の設定を変更できます。

保存サイズの上限

ファイルサイズの上限值を設定します。

「無制限」を設定すると、ガルーンで使用しているプログラムが対応できる最大の値が適用されます。バージョン 3.5.x のガルーンでは、300MB が適用されます。

次のアプリケーションで、登録または添付するファイルのファイルサイズが制限されます。

- ファイル管理
- メモ
- メッセージ
- 掲示板
- アドレス帳

次の項目に添付するファイルのファイルサイズが制限されます。

- お客様情報
- アプリケーションメニュー
- ユーザー情報

バージョン管理の上限

ファイルをバージョン管理する世代数の、上限値を設定します。

ロックをかける時間

編集中のファイルにロックをかける時間を設定します。

ロック機能を使用するかどうか

ユーザーがファイルを編集しているとき、ほかのユーザーがファイルを編集できないようにします。

ファイル一括添付を使用するかどうか

ファイルを追加したり添付したりするときに、一度に複数のファイルを選択できるようにします。

注意

- バージョン 2.5.4 以前のガルーンでは、ファイルの一括添付機能を使用できません。
- ファイル一括添付は、ガルーンを運用するサーバーに認証(例:Windows 認証)を設定している場合は無効です。ファイル一括添付を「使用する」に設定しても、ファイルを一括で添付できません。

補足

- 複数のファイルを一括で添付するには、バージョン 9.0.115.0 以降の Adobe Flash Player が必要です。
- リモートサービスを使用している場合、Web ブラウザーによっては、ファイルを一括で添付できない場合があります。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 必要な機能を設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

3.6.2 MIMEタイプを管理する

MIME タイプは、形式が「タイプ名/サブタイプ名」の文字列です。MIME タイプを使用して、ガルーン上にあるファイルを Web ブラウザーで処理するときの処理方法を設定します。

MIME タイプを追加する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル]をクリックします。
- 3 [MIME タイプ]をクリックします。
- 4 [MIME タイプを追加する]をクリックします。
- 5 MIME タイプを設定します。
- 6 [追加する]をクリックします。

補足

- MIME タイプはファイルの拡張子ごとに設定します。

MIME タイプを変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル]をクリックします。
- 3 [MIME タイプ]をクリックします。

- 4 MIME タイプを選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 MIME タイプの設定を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

MIME タイプを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル]をクリックします。
- 3 [MIME タイプ]をクリックします。
- 4 MIME タイプを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 4 で[全 MIME タイプを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、すべての MIME タイプが削除されます。

3.6.3 MIMEタイプをファイルで管理する

CSV ファイルを使用して、MIME タイプの読み込み、または書き出しができます。

補足

- CSV ファイルの読み込み中にエラーが発生すると、読み込みが中止されます。途中まで読み込まれた内容はガルーンに反映されません。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル]をクリックします。
- 3 [MIME タイプの読み込み]または[MIME タイプの書き出し]をクリックします。
- 4 読み込む方法または書き出す方法を選択します。
- 5 データを CSV ファイルから読み込むか、CSV ファイルに書き出します。

3.7 画面

3.7.1 画面を設定する

表示に関する次の初期値を変更します。

- 入力欄や表示欄に表示する件数や表示幅
- メールアドレスのリンク先のアプリケーション:
画面上でメールアドレスをクリックしたときの動作を設定します。
- 画像ファイルの表示方法:
メールの本文やフォローを表示したとき、画像ファイルと本文と一緒に表示するかどうかを設定します。
- ファイルに出力する文字コード
- ユーザー名の後に表示する情報:
ユーザー名の後に、別言語で設定している名前や優先する組織を表示するかどうかを設定します。ユーザー名は、次のいずれかのパターンで表示できます。
 - ユーザー名
 - ユーザー名(英語表記)
 - ユーザー名; 優先する組織名
 - ユーザー名(英語表記); 優先する組織名

補足

- 設定した内容は、設定を変更したあとに追加したユーザーの初期値に反映されます。すでに存在するユーザーには反映されません。
- 個人設定での設定の変更が許可されている場合、ユーザーは自分で画面の設定を変更できます。
- 個人設定で設定した表示件数は、システム管理の画面にも反映されます。
- ガルーンにログインしているユーザーの「ユーザー名を表示する言語」と同じ言語の「名前(別言語)」に、ユーザー名が設定されていなかった場合は、「表示名」に設定されているユーザー名が表示されます。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 必要な設定を変更します。
- 5 [設定する]をクリックします。

画面のデザインを変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [デザインの設定]をクリックします。
- 4 ユーザーの初期設定に使用する画面のデザインを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。

ヘッダーに表示するメニューを変更する

次の設定を変更できます。

- アプリケーションメニューの表示:
ユーザーの操作画面にアプリケーションメニューを表示するかどうかを設定します。
- アプリケーションメニューの表示形式:
アプリケーションメニューにアイコンを表示するかどうかを設定します。
- 「始めるメニュー」の表示:
ユーザーの操作画面に「始めるメニュー」を表示するかどうかを設定します。
- 個人設定:
ヘッダーに表示するメニューを個人設定で変更できるかどうかを設定します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [ヘッダーとフッターの設定]をクリックします。
- 4 アプリケーションメニューと始めるメニューの設定を変更します。
- 5 [設定する]をクリックします。

3.7.2 アプリケーションメニューを設定する

画面例:



a): アプリケーションメニュー

メニューを追加する

ガルーンのアプリケーションや Web サイトへのリンクを、メニューとして追加します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [アプリケーションメニュー一覧]をクリックします。
- 4 [メニューを追加する]をクリックします。
- 5 アプリケーションメニューのメニューを設定します。
- 6 [追加する]をクリックします。

補足

- 「タイトル」の[表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でメニュー名を追加できます。
- アイコンの URL とアイコンのファイルの両方を設定した場合は、URL に設定した画像が優先されます。
- アイコンのファイルを設定すると、ガルーンの動作が遅くなる場合があります。

メニューを変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [アプリケーションメニュー一覧]をクリックします。
- 4 メニューを選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 アプリケーションメニューを変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

補足

- アプリケーション内のリンクのタイトルを空にすると、初期設定の名称に初期化されます。

メニューの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [アプリケーションメニュー一覧]をクリックします。
- 4 [メニューを順番変更する]をクリックします。
- 5 アプリケーションメニューの表示順を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

メニューを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [アプリケーションメニュー一覧]をクリックします。
- 4 メニューを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

アプリケーションメニューを初期化する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。

- 3 [アプリケーションメニュー一覧]をクリックします。
- 4 [メニューを初期化する]をクリックします。
- 5 [はい]をクリックします。

3.7.3 「始めるメニュー」を設定する

画面例:



a):「始めるメニュー」

メニューを追加する

「始めるメニュー」に、ガルーンのアプリケーションや Web サイトへのリンクを追加します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [始めるメニュー一覧]をクリックします。
- 4 [メニューを追加する]をクリックします。
- 5 「始めるメニュー」のメニューを設定します。
- 6 [追加する]をクリックします。

補足

- [表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でメニュー名を追加できます。

メニューを変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [始めるメニュー一覧]をクリックします。
- 4 メニューを選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。]
- 6 「始めるメニュー」の設定を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

補足

- アプリケーション内のリンクのタイトルを空にすると、初期設定の名称に初期化されます。

メニューの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [始めるメニュー一覧]をクリックします。
- 4 [メニューを順番変更する]をクリックします。
- 5 メニューの表示順を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

メニューを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [始めるメニュー一覧]をクリックします。
- 4 メニューを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

「始めるメニュー」を初期化する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。

- 3 [始めるメニュー一覧]をクリックします。
- 4 [メニューを初期化する]をクリックします。
- 5 [はい]をクリックします。

3.7.4 Webメールを管理する

「メールアドレスのリンク先アプリケーション」で使用する、Webメールの候補を設定します。

Webメールを追加する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [Webメール]をクリックします。
- 4 [Webメールを追加する]をクリックします。
- 5 Webメールを設定します。
- 6 [追加する]をクリックします。

補足

- 実際に使用する URL は、各 Webメールの提供元にお問い合わせください。
- 無効な URL を設定した場合は、メールアドレスのリンク先アプリケーションの設定にかかわらず、Webブラウザで設定しているメールソフトが起動します。

Webメールを変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [Webメール]をクリックします。
- 4 Webメールを選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 Webメールの設定を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

Webメールを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。

- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [Web メール]をクリックします。
- 4 Web メールを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

3.7.5 ドロップダウンリストの機能を設定する

ユーザーの操作画面に表示される、次のドロップダウンリストを設定します。

- 組織
- ユーザー
- 施設グループ
- 施設

「ドロップダウンリストの設定」画面で、次の設定を変更できます。

- 個人設定:
ドロップダウンリストの設定を個人設定で変更できるかどうかを設定します。
- 表示件数:
ドロップダウンリストに表示される、最近選択した項目の件数を設定します。
- 履歴の削除:
ドロップダウンリストに表示される、最近選択した項目を削除します。

補足

- 「履歴の削除」を選択すると、ドロップダウンリストで選択した項目の選択履歴を削除できます。
- 履歴を削除すると、履歴内容を復旧できません。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [画面]をクリックします。
- 3 [ドロップダウンリストの設定]をクリックします。
- 4 必要な機能を設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

3.8 カレンダー

カレンダーには、次の種類があります。

- 標準のカレンダー:
ガルーンの初期設定で設定されているカレンダーです。標準のカレンダーに、イベントとして「祝日」、「就業日」および「メモ」(システムメモ)を登録できます。

- システムカレンダー：
基本システム管理者が作成するカレンダーです。システムカレンダーに、イベントとして「祝日」、「就業日」および「メモ」(システムメモ)を登録できます。
- My カレンダー：
ユーザーが作成するカレンダーです。My カレンダーに、イベントとして「記念日」や「メモ」(ユーザーメモ)を登録できます。

補足

- 初期設定の祝日は日本のカレンダーに基づいて設定されています。
- スケジュールの「一般設定」画面で祝日を表示しない設定にすると、ユーザー画面に祝日が表示されません。
「4.4.1 スケジュールの機能を設定する」 - 103 ページ
- ユーザーは、自分が使用するカレンダーを個人設定で選択できます。

3.8.1 カレンダーを管理する

カレンダーを追加する

システムカレンダーを追加します。

操作手順：

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [カレンダー]をクリックします。
- 3 [カレンダーの設定]をクリックします。
- 4 [カレンダーを登録する]をクリックします。
- 5 カレンダーを設定します。
- 6 [登録する]をクリックします。

イベントを追加する

システムカレンダーにイベントを追加します。

カレンダーに追加したイベントは、スケジュールやカレンダーポートレットに反映されます。

操作手順：

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [カレンダー]をクリックします。
- 3 [カレンダーの設定]をクリックします。
- 4 カレンダーを選択します。
- 5 [イベントを登録する]をクリックします。
- 6 イベントを設定します。
- 7 [登録する]をクリックします。

3章 基本システムの管理

イベントタイプによって、カレンダー上の表示が異なります。

標準カレンダーとシステムカレンダーに設定できるイベントタイプは次のとおりです。

- 祝日:
平日や土曜日を祝日として設定できます。
イベント名と、祝日を表すアイコンが表示されます。背景色は日曜日と同じ色(赤)です。
- 就業日:
土曜日や祝日を平日として設定できます。
イベント名と、就業日を表すアイコンが表示されます。背景色は平日と同じ色(白)です。
- メモ:
スケジュールに、メモに入力された文字列を表示します。
イベント名が表示されます。背景色は変わりません。

イベントタイプの設定例:

11/20(日)	11/21(月)	11/22(火)	11/23(水)	11/24(木)	11/25(金)	11/26(土)
					創立記念日	
		★10:00-11:00 ミーティング				臨時操作
					ユーザー会	

- a): 祝日
- b): 就業日
- c): メモ

イベントを変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [カレンダー]をクリックします。
- 3 [カレンダーの設定]をクリックします。
- 4 カレンダーを選択します。
- 5 イベントの日付を選択します。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 イベントの設定を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

カレンダーの表示名を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [カレンダー]をクリックします。
- 3 [カレンダーの設定]をクリックします。
- 4 カレンダーを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 カレンダーの表示名を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

補足

- 「標準のカレンダー」の表示名は変更できません。

カレンダーやイベントを削除する

カレンダーを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [カレンダー]をクリックします。
- 3 [カレンダーの設定]をクリックします。
- 4 カレンダーを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 「標準のカレンダー」は削除できません。
- カレンダーを削除すると、カレンダーのイベントも削除されます。

イベントを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [カレンダー]をクリックします。
- 3 [カレンダーの設定]をクリックします。
- 4 カレンダーを選択します。

- 5 イベントの日付を選択します。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 手順5で[カレンダー内の全イベントを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、選択しているカレンダーのすべてのイベントが削除されます。

3.8.2 拠点を設定する

海外の支社や24時間稼働する工場など、拠点ごとに業務時間が異なる場合があります。ガルーンでは、拠点ごとに、稼働日や稼働時間などを設定できます。

拠点ごとに次の項目を設定します。

- 拠点名:
[表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語で拠点名を追加できます。
- 拠点コード:
拠点コードは固有である必要があります。
- 稼働日:
拠点で業務を行う日を、曜日で設定します。休日に稼働する、平日に休業するなど、業務に合わせて稼働日を設定します。
- 稼働時間:
拠点で業務を行う時間帯を設定します。例えばランチタイムを除外して、午前と午後に分けて時間帯を設定することもできます。
- カレンダー
 - 使用するカレンダー:
カレンダーが複数設定されている場合、使用するカレンダーを指定します。
 - カレンダーの就業日を適用する:
使用するカレンダーに設定された就業日を、拠点に適用する場合に選択します。
就業日については、次のページを参照してください。
「イベントを追加する」 - 55 ページ

補足

- カレンダーの就業日を適用しない場合、就業日はメモとしてカレンダーに表示されます。
- 非稼働時間は、ユーザーのスケジュールの画面でグレー表示されます。

稼働時間の設定例:

ユーザー	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
高橋 健太 (UTC+09:00) 東京											
藤井 亮平 (UTC+08:00) 北京											
磯野 花織 (UTC-08:00) ロサンゼルス											

設定の優先順位

タイムゾーン

タイムゾーンの設定は、次の順に優先されます。

1. ユーザーが自分で設定したタイムゾーン
2. Web ブラウザーが使用している言語に対応したタイムゾーン:
言語が日本語、英語または中国の場合に有効です。
3. ロケールの初期値として設定されているタイムゾーン

稼働日と稼働時間

基本システムや個人設定などで設定されている稼働日や稼働時間がほかの設定と異なる場合、次の順に設定が優先されます。

1. ユーザーが個人設定で設定した稼働日と稼働時間
2. ユーザーに適用されている拠点の稼働日と稼働時間

拠点を追加する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [カレンダー]をクリックします。
- 3 [拠点の設定]をクリックします。
- 4 [拠点を追加する]をクリックします。

- 5 拠点を設定します。
- 6 [設定する]をクリックします。

補足

- 拠点コードは固有である必要があります。

拠点の設定を変更する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [カレンダー]をクリックします。
- 3 [拠点の設定]をクリックします。
- 4 設定を変更する拠点名をクリックします。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 拠点の設定を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

拠点を削除する

ユーザーが使用している拠点を削除すると、その拠点の情報はユーザー独自の設定として継承されます。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [カレンダー]をクリックします。
- 3 [拠点の設定]をクリックします。
- 4 削除する拠点の拠点名をクリックします。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 複数の拠を一括で削除する場合は、手順 4 で削除する拠点のチェックボックスを選択します。

3.8.3 イベントや拠点をファイルで管理する

イベントデータを CSV ファイルで管理する

CSV ファイルを使用して、イベントデータを読み込みまたは書き出します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [カレンダー]をクリックします。
- 3 [カレンダーの設定]をクリックします。
- 4 カレンダーを選択します。
- 5 [イベントを読み込む]または[イベントを書き出す]をクリックします。
- 6 読み込む方法または書き出す方法を選択します。
- 7 データを CSV ファイルから読み込むか、CSV ファイルに書き出します。

補足

- すでに登録されているイベントがある場合、読み込んだイベントは追加されます。
- CSV ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みは中止します。途中まで読み込まれた内容は、ガルーンに反映されません。

拠点のデータを CSV ファイルから読み込む

拠点名または拠点のデータを CSV ファイルから読み込みます。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [カレンダー]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込むデータを選択します。
- 5 読み込む方法を選択し、[次へ>>]をクリックします。
- 6 [読み込む]をクリックします。

拠点のデータを CSV ファイルに書き出す

拠点名または拠点のデータを CSV ファイルに書き出します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [カレンダー]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出すデータを選択します。
- 5 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 6 ファイルを保存します。

3.9 通知

3.9.1 通知を管理する

最新情報の通知や、確認済みの通知の保存期間を設定します。
保存期間を過ぎた通知は自動的に削除されます。

通知の保存期間を設定する

次の設定を変更できます。

- 通知データの保存期間の上限:
ユーザーが「個人設定」で設定する「通知の保存期間の設定」の最大値を設定します。
通知データの保存期間の上限値は、最新情報の通知に反映されます。
- 確認済み通知データの保存期間の上限

補足

- 保存期間の上限値は、設定したあとに追加したユーザーの「個人設定」の初期値に反映されます。
「個人設定」の初期値に設定される値:
 - 上限値が「30」以上か、「(無制限)」の場合 :「30」
 - 上限値が「15」以下か、「(保存しない)」の場合: 上限値と同じ値
- ユーザーは、個人設定で確認済み通知データを保存できる日数を設定します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [通知]をクリックします。
- 3 [通知の保存期間の設定]をクリックします。
- 4 各上限値の設定を変更します。
- 5 [設定する]をクリックします。

「サイボウズからののお知らせ」を受信する

次の画面にサイボウズからののお知らせが表示されます。

- 「お知らせ」画面の「重要なお知らせ」
- システム管理者の通知一覧

補足

- 「サイボウズからののお知らせ」は、日本語で提供されます。
- 「サイボウズからののお知らせ」を受信するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。

- 2 [通知]をクリックします。
- 3 [サイボウズからのお知らせ]をクリックします。
- 4 「受信」の「サイボウズからのお知らせを受信する」を選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。

3.10 ロギング

ログには、ユーザーのログイン情報、ガルーンの基本システムの動作、ユーザーがポータルやスケジュールなどの各アプリケーションを使用した際の動作などが記録されます。

注意

- ログデータが大量に保存されていると、次の機能を使用した場合にサーバーに高い負荷がかかる恐れがあります。
 - ログ一覧へのアクセス
 - ログの検索
 - ログの CSV ファイル書き出し
 - ログの一括削除

補足

- サーバーの負荷を軽減するために、次の方法を推奨します。
 - サーバーに負荷がかかる機能は、ユーザーのアクセスが少ない時間帯に使用する。
 - ガルーンのログを定期的にサーバーから削除する。
- ログを保存するには、あらかじめロギングの設定が必要です。

3.10.1 ログの出力条件を設定する

ログを出力する条件を設定します。

設定する条件:

- 対象
- カテゴリ(基本システムまたは各アプリケーション)
- 深刻度
- 出力先

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ロギング]をクリックします。
- 3 [ログ一覧]をクリックします。
- 4 [ログを設定する]をクリックします。
- 5 ログを出力するカテゴリを選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 6 出力するログの深刻度と、出力先を選択します。
- 7 [設定する]をクリックします。

3.10.2 ログを確認する

この操作は、ガルーンを運用するサーバーに高い負荷をかける場合があります。ガルーンにアクセスするユーザーが少ない時間帯に実行することを推奨します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ロギング]をクリックします。
- 3 [ログ一覧]をクリックします。
- 4 ログを確認するカテゴリと深刻度を選択します。
- 5 ログの内容を選択します。
- 6 ログの詳細を確認します。

3.10.3 ログを削除する

選択したログを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ロギング]をクリックします。
- 3 [ログ一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 削除するログを選択します。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

カテゴリと期間を指定してログを削除する

選択したカテゴリに保存されている、指定した日付以前のすべてのログが削除されます。

この操作は、ガルーンを運用するサーバーに高い負荷をかける場合があります。ガルーンにアクセスするユーザーが少ない時間帯に実行することを推奨します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ロギング]をクリックします。
- 3 [ログ一覧]をクリックします。
- 4 [期間を指定して削除する]をクリックします。
- 5 カテゴリと削除する期間を指定します。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

3.10.4 ログデータをCSVファイルに書き出す

CSV ファイルに書き出すログデータを、次の条件で絞り込みます。

- カテゴリ
- 深刻度
- 期間:
開始日から終了日の間に出力されたログを、CSV ファイルに書き出します。

この操作は、ガルーンを運用するサーバーに高い負荷をかける場合があります。ガルーンにアクセスするユーザーが少ない時間帯に実行することを推奨します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ロギング]をクリックします。
- 3 [ログの書き出し]をクリックします。
- 4 ログを書き出す条件を指定します。
- 5 [書き出す]をクリックします。
- 6 ファイルを保存します。

3.11 ライセンス

ガルーンを継続的に利用するには、ライセンス情報を登録する必要があります。

ガルーンの試用期間

ガルーンの試用期間は、インストール後 60 日間です。試用期間を過ぎ、ユーザーライセンスのキーを登録しない場合、ユーザーはガルーンを利用できません。

管理者の操作は次のように制限されます。

- Administrators ロールに所属せず、ライセンスの管理権限がない管理者は、次の画面のみにアクセスできます。
 - 「お知らせ」画面
- Administrators ロールを持つ管理者と、ライセンスの管理権限を持つ管理者は、次の画面にアクセスできます。
 - 「お知らせ」画面
 - 「基本システムの管理」の「ライセンスの管理」画面

補足

- 試用期間終了後、有効なサービスライセンスを登録しない場合の表示言語は、個人設定で設定した言語によって異なります。
 - 「日本語」、「English」または「中文(簡体)」を設定した場合:
設定した言語で画面が表示されます。
 - 「ブラウザーの設定を優先する」を設定した場合:
Web ブラウザーで設定されている言語で画面が表示されます。Web ブラウザーにガルーンが対応していない言語が設定されていた場合は、OS に合わせて「日本語」、「English」または「中文(簡体)」が表示言語に適用されます。

サービスライセンスの有効期間

サービスライセンスの終了日から 30 日を経過して、継続サービスライセンスのキーを登録しない場合、次のサービスは停止します。

- バージョンアップサービス
- サイボузネット連携サービス（日本語のみ）
- テクニカルサポートサービス（日本語のみ）
- アーカイブライブラリサービス
- サイボузからのお知らせサービス（日本語のみ）
- 追加アプリケーションサービス：
 - ガルーン 3 ワークフロー
 - ガルーン 3 マルチレポート
 - ガルーン 3 全文検索サーバー
 - ガルーン 3 ケータイ
 - ガルーン 3 リマインダー
 - ガルーン 3 連携 API

補足

- サービスが停止すると、「重要なお知らせ」画面に通知が表示されます。
- マルチランゲージサービスは、サービスライセンス終了後も使用できます。
- サービスライセンスの有効期間が終了すると、画面の表示言語はガルーンをインストールしたときに設定した言語になります。
- サービスライセンスの提供内容については、弊社 Web サイトを参照してください。
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/price/licence/service.html>
上記のページは日本語のみで提供されています。

3.11.1 ライセンスを登録する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ライセンス]をクリックします。
- 3 [ライセンスの管理]をクリックします。
- 4 [ライセンスを登録する]をクリックします。
- 5 ライセンスの情報を入力し、[登録する]をクリックします。

補足

- 登録したライセンスは削除できません。

3.11.2 登録したライセンスを確認する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ライセンス]をクリックします。

- 3 [ライセンスの管理]をクリックします。
- 4 [ライセンスの登録履歴]をクリックします。
- 5 登録されたライセンスの情報を確認します。

3.12 外部サーバー

3.12.1 システムメールアカウントを設定する

システムメールアカウントは、ガルーンのシステムがメールを送信するために使用するメールアカウントです。システムメールアカウントを設定すると、次の機能が利用できます。

- スケジュールの予定通知のメール転送
- 電話メモのメール転送
- Web 会議システムの登録者と招待者への E-mail の送信

「システムメールアカウントの設定」画面で、次の機能を設定します。

- システムメールアカウント:
システムメールアカウントを使用するかどうかを設定します。
- システムメールアドレス:
システムからメールを送信する場合の差出人(アカウント)です。
- 送信メールサーバー名(SMTP)
- 送信メールサーバーポート番号
- SSL の使用:
メールサーバーとの通信に SSL を使用する場合はチェックを入れます。
- タイムアウトまでの時間
- SMTP 認証方法
- POP before SMTP:
受信後に送信を行う(POP before SMTP)場合に設定します。
送信メールサーバーに POP before SMTP が設定されている必要があります。

補足

- ポート番号は半角の数字で入力します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [外部サーバー]をクリックします。
- 3 [システムメールアカウントの設定]をクリックします。
- 4 「システムメールアカウント」の「使用する」を選択します。
- 5 必要な項目を設定します。
- 6 [設定する]をクリックします。

3.12.2 Webプロキシを設定する

Webプロキシサーバーを経由したリクエストのみを許可する場合は、使用する Web プロキシサーバーを設定します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [外部サーバー]をクリックします。
- 3 [Web プロキシの設定]をクリックします。
- 4 必要な項目を設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

注意

- Windows 環境で SSL を使用する場合は、弊社の Web サイトで制限事項を確認してください。
<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/4139>
- SSL を使用して LDAPS サーバーに接続する場合は、ガルーンの設定を変更する必要があります。詳細は弊社の Web サイトを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/sslsetup.html>

補足

- 例外アドレスに 2 個以上のアドレスを入力する場合は、アドレスの間に「;」(セミコロン)を記述する必要があります。

3.13 ローカライズ

3.13.1 ローカライズの機能を設定する

ローカライズの「一般設定」画面で、次の設定を変更できます。

- 選択可能な言語:
ユーザーが言語を選択する場合に、選択可能な言語を指定します。
- よく使うタイムゾーン:
使用頻度が高いタイムゾーンを、「よく使うタイムゾーン」に追加できます。「よく使うタイムゾーン」の設定は、タイムゾーンを選択するドロップダウンリストに反映されます。

ドロップダウンリストの例:

a): よく使うタイムゾーン

- 印刷用のロケール:
タイムカードやスケジュールなどを印刷するときの、言語や日時の表示形式を設定します。
印刷画面では、日付の表記をログインユーザーの設定で表示するかシステムの設定で表示するかを選択できます。
次の項目を設定できます。
 - 言語
 - 日付の長い形式
 - 日付の短い形式
 - 時刻の形式
- 個人設定: ユーザーが個人設定でロケールや拠点の設定を変更できるかどうかを設定します。
- ユーザー情報: ユーザー名の英語表記の入力欄を使用するかどうかを設定します。
- ロケールの初期値: ユーザーが使用する表示言語とタイムゾーンの初期値を設定します。

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ローカライズ]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 必要な機能を設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

ロケールの設定の優先順位

ロケールの設定(日付および時刻の形式)は、次の順に優先されます。

1. ユーザーが個人設定で設定した日付および時刻の形式
2. Web ブラウザーが使用している言語に対応した日付および時刻の形式:
言語が日本語、英語または中国語の場合に有効です。
3. ローカライズの「一般設定」画面で設定されている日付および時刻の形式

Web ブラウザーの言語設定を優先した場合の日時の表示形式

言語に「(ブラウザーの設定を優先する)」を選択した場合の、言語と日時の形式は次のとおりです。

種類 \ 言語	日本語(ja)	英語(en)	中国語(zh)
日付の長い形式	2012年3月6日(火)	Tuesday, March 6, 2012	2012年3月6日(星期三)
日付の短い形式	3/6(火)	Tue. Mar. 6	3/6(三)
時刻の形式	13:25	13:25	13:25

補足

- ローカライズの「一般設定」画面の設定を使用している場合も、上記のように表示されます。
- 画面を表示するフォントに英語のフォントを割り当てると、\ (円の通貨記号) が \ (バックスラッシュ) で表示されま

日本語と中国語を併用する場合の注意点

日本語と中国語が混在する画面を Internet Explorer 6 で表示すると、文字化けする場合があります。

画面を表示するフォントに英語のフォントを割り当てると、文字化けを回避できます。フォントを割り当てる場合は、common.ini ファイル(設定ファイル)を変更します。

標準のインストール先ディレクトリーにガルーンをインストールすると、次のディレクトリーに common.ini ファイルが保存されます。

- Windows 環境:
C:\inetpub\scripts\cbgrn
- Linux 環境:
/var/www/cgi-bin/cbgrn

操作手順:

- 1 ガルーンがインストールされているサーバーマシンの Web サーバーを停止します。
- 2 common.ini ファイルを開きます。
- 3 [I18N]セクションに次の記述を追加します。
force_en_ie6 = "1"
- 4 common.ini ファイルを保存します。
- 5 ガルーンがインストールされているサーバーマシンの Web サーバーを起動します。

補足

- 画面を表示するフォントに英語のフォントを割り当てると、\ (円の通貨記号) が \ (バックスラッシュ) で表示されま

ユーザーが選択する言語と表示名について

ガルーンの管理者は、ポータル名やカテゴリ名などを複数の言語で設定できます。ユーザーが選択した言語の表示名が設定されていない場合は、標準の表示名が表示されます。

次の項目は複数の言語で表示名を設定できます。

- アプリケーションメニューのメニュー
 - アプリケーション内へのリンクのタイトル

- 任意の URL へのリンクのタイトル
- 始めるメニューのメニュー
 - アプリケーション内へのリンクのタイトル
 - 任意の URL へのリンクのタイトル
- 拠点名
- ポータル名
- HTML ポートレット名
- PHP ポートレット名
- ロケール名
- スペースのカテゴリ名
- リンク集の共有カテゴリ名
- 組織名
- 施設名
- 施設グループ名
- 掲示板のカテゴリ
- ファイル管理のフォルダー名
- アドレス帳のブック名
- ワークフローのカテゴリ名
- マルチレポートのカテゴリ名

「標準」とは？

各ユーザーが使用する言語で表示名が登録されていない場合は、標準に設定された表示名が表示されます。

組織名の設定と表示例：

組織名の設定				表示される組織名 (言語:組織名)
標準	日本語	English	中文(簡体)	
Tokyo headquarters	本社	head office	总公司	日本語: 本社 English: head office 中文(簡体): 总公司
Tokyo headquarters	—	head office	总公司	日本語: Tokyo headquarters English: head office 中文(簡体): 总公司
Tokyo headquarters	本社	—	总公司	日本語: 本社 English: Tokyo headquarters 中文(簡体): 总公司
Tokyo headquarters	本社	head office	—	日本語: 本社 English: head office 中文(簡体): Tokyo headquarters

補足

- バージョン 3.0.0 以前のガルーンで設定した名称やタイトルは、「標準」に設定されます。

3.13.2 ロケールを設定する

ガルーンを使用する地域や言語によって、日時の表示形式が異なる場合があります。

地域別または言語別に分けられた設定や情報をロケールといいます。

3章 基本システムの管理

ロケールごとに、次の項目を設定できます。

- 言語
- 日付の長い形式
- 日付の短い形式
- 時刻の形式

日付と時刻の形式の例：

下書き ごみ箱	タイトル	差出人	更新日時	備考
	★ カタログの管理について	Fujii Ryohei	12:53	a)
	★ 健康診断のご案内	和田 一夫	01/27(金)	b)
	★ パスワードの送付	加藤 美咲	2011年12月26日(月)	c)

- a) :時刻の形式
- b) :日付の短い形式
- c) :日付の長い形式

補足

- 次の日時には、ロケールで設定した形式は適用されません。
 - 日付を選択するカレンダーの年と月
 - 「スケジュールの登録」画面や検索画面などで、期間を指定するときに使用する日付
 - CSV ファイル内の日時の項目
- ロケールの設定の優先順位については、次のページを参照してください。
「ロケールの設定の優先順位」 - 69 ページ

ロケールを追加する

操作手順：

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ローカライズ]をクリックします。
- 3 [ロケールの設定]をクリックします。
- 4 [ロケールを追加する]をクリックします。
- 5 ロケールを設定します。
- 6 [設定する]をクリックします。

補足

- ロケールコードは固有である必要があります。

ロケールの設定を変更する

操作手順：

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ローカライズ]をクリックします。
- 3 [ロケールの設定]をクリックします。

- 4 設定を変更するロケール名をクリックします。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 ロケールの設定を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

補足

- システム管理者がロケールの設定を変更すると、ユーザーの個人設定に反映されます。

ロケールを削除する

操作手順:

- 1 [基本システムの管理]をクリックします。
- 2 [ローカライズ]をクリックします。
- 3 [ロケールの設定]をクリックします。
- 4 削除するロケールのロケール名をクリックします。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 複数のロケールを一括で削除する場合は、手順 4 で削除するロケールのチェックボックスを選択します。

4章 各アプリケーションの管理

4.1 ポータル

ポータルは、ガルーンの機能を使いやすい場所に配置し、表示させるアプリケーションです。

ポータルに配置する各機能を、ポートレットと呼びます。

ポータルには、次の種類があります。

- システム設定ポータル:
システム管理者が設定するポータルです。システム設定ポータルは組織ごとに作成できます。
ポータルや、ポータルに配置したポートレットはアクセス権を設定できます。アクセス権を設定すると、ポータルやポートレットを使用する組織やユーザーを制限できます。
- My ポータル:
ユーザーが設定するポータルです。ユーザーは、必要なポートレットやよく使うポートレットを、My ポータルの使いやすい場所に配置できます。
My ポータルは、作成したユーザーのみが使用できます。ほかのユーザーと共有できません。

補足

- ユーザーは、システム設定ポータルを変更したり非表示にしたりすることはできません。
- My ポータルの雛形を使用すると、My ポータルをかんたんに作成できます。My ポータルの雛形はシステム管理者かアプリケーション管理者のみが作成できます。

4.1.1 ポータルを管理する

次のポートレットをポータルに追加できます。

アプリケーションメニュー

アイコンをクリックすると、各アプリケーションの画面が表示されます。

お知らせ

社内の共通のお知らせなどが表示されます。

カレンダー

カレンダーが表示されます。

カレンダーの表示を切り替えると、同じポータルに配置したスケジュールポートレットの表示も切り替わります。

お探し物

インターネット検索サイトで検索します。

送信リンク

メールやメッセージを送信します。

リンク集

リンク集が表示されます。表示するカテゴリを指定できます。

スケジュール(グループ日表示)

1日のスケジュールが、グループごとに表示されます。

スケジュール(グループ週表示)

1週間のスケジュールが、グループごとに表示されます。

スケジュール(日表示)

1日のスケジュールが、ユーザーごとに表示されます。

スケジュール(週表示)

1週間のスケジュールが、ユーザーごとに表示されます。

スケジュール(月表示)

1ヶ月のスケジュールが、ユーザーごとに表示されます。

スケジュール(年表示)

1年間のスケジュールが、ユーザーごとに表示されます。

スケジュール検索

ユーザー名や施設名で、スケジュールを検索します。

メッセージ

メッセージが表示されます。表示するフォルダーを指定できます。

未確認メッセージ

閲覧状況確認メッセージが表示されます。[確認しました]をクリックすると、一覧から削除されます。

メッセージ閲覧状況

メッセージの閲覧状況を確認します。標題をクリックすると、メッセージを閲覧できます。

掲示板

掲示板が表示されます。表示するカテゴリを指定できます。

ファイル管理

ファイル管理が表示されます。表示するフォルダーを指定できます。

メモ

メモを作成します。[保存する]をクリックすると、メモとして保存できます。

電話メモ

電話メモが表示されます。電話メモが登録されているかどうかを確認します。

タイムカード

タイムカードが表示されます。入社時刻や、退社時刻をタイムカードに記録します。

ToDo リスト

未完了の ToDo リストが表示されます。

締切日を過ぎた ToDo は赤色の太字で表示されます。

締切日当日の ToDo は青色の太字で表示されます。

ユーザー名簿

ユーザー名簿が表示されます。ユーザー名をクリックすると、ユーザー情報を確認できます。

アドレス帳検索

アドレス帳の各ブックからアドレスを検索します。

在席情報

自分の在席情報を確認または変更します。

新着メール情報

新着メールの件数が表示されます。表示するアカウントを指定できます。

メール

メールの一覧が表示されます。表示するアカウントやフォルダーを指定できます。

ワークフロー

指定したフォルダーの申請が一覧で表示されます。

指定できるフォルダーは次のとおりです。

- 受信一覧
- 送信一覧
- 下書き

補足

- 「ワークフロー」ポートレットは、試用期間中か、利用ユーザーを登録するまで表示されません。

マルチレポート

指定したフォルダーや、絞込で絞り込んだレポートが、一覧で表示されます。
指定できるフォルダーまたは絞込は次のとおりです。

- 受信一覧
- 送信一覧
- 下書き
- いずれかの絞込

補足

- 「マルチレポート」ポートレットは、試用期間中か、利用ユーザーを登録するまで表示されません。

天気予報

天気予報が表示されます。表示する地域を選択できます。

補足

- このサービスは日本語のみで提供されています。
- 日本国内の天気予報が表示されます。

企業検索

企業名で企業情報を検索します。

補足

- このサービスは日本語のみで提供されています。
- 日本国内の企業の情報を検索できます。

郵便番号検索

郵便番号で住所を検索します。

補足

- このサービスは日本語のみで提供されています。
- 日本国内の郵便番号を検索できます。

地図検索

住所で地図を検索します。

補足

- このサービスは日本語のみで提供されています。
- 日本国内の地図を検索できます。

路線検索

出発地と目的地の駅名で路線を検索します。

補足

- このサービスは日本語のみで提供されています。

- 日本国内の路線を検索できます。

RSS リーダーサイト一覧

RSS リーダーに登録されているサイトが表示されます。

RSS リーダー記事一覧

指定したサイトの最新の記事が表示されます。

在席情報

自分の在席情報が表示されます。自分の在席状況を変更できます。

お気に入り

お気に入りの一覧が表示されます。お気に入りに登録した項目をアプリケーションで絞り込んで表示できます。

最新情報

通知が表示されます。更新通知に設定したファイルや掲示、予定などの変更を確認できます。

確認済みの通知

確認済みの通知が表示されます。最新情報から削除した通知を確認できます。

全文検索

キーワードでガルーンのデータを検索します。

ポータルを作成する

次の手順でポータルを作成します。

- Step 1. ポータルを追加する
- Step 2. ポータルにポートレットを追加する
- Step 3. ポートレットの設定を変更する
- Step 4. ポートレットのアクセス権を設定する
- Step 5. ポートレットの表示順を変更する
- Step 6. ポートレットを公開する
- Step 7. ポータルのアクセス権を設定する
- Step 8. ポータルの表示を確認する
- Step 9. ポータルを公開する

補足

- アプリケーションの設定が必要な場合は、ポータルを作成する前に設定します。
- 次の単位でアクセス権を設定できます。
 - ポータルごと

- ポートレットごと
- ポートレットごとに表示内容を変更できます。

STEP1 ポータルを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [ポータルの一覧]をクリックします。
- 4 [ポータルを追加する]をクリックします。
- 5 ポータル名を入力します。
- 6 [追加する]をクリックします。

補足

- [表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でポータル名を追加できます。

STEP2 ポートレットを配置する

操作手順:

- 1 「ポータルの一覧」画面で、ポータルを選択します。
- 2 「ポートレット一覧」の上段、左段、中央段または右段で、[この位置に追加]をクリックします。
- 3 ポートレットを選択します。
- 4 [追加する]をクリックします。

STEP3 ポートレットの設定を変更する

操作手順:

- 1 「ポータルの詳細」画面で、設定を変更するポートレットの[設定]をクリックします。
- 2 ポートレットの設定を変更します。
- 3 [変更する]をクリックします。

補足

- 設定できる項目はポートレットごとに異なります。

表示名を変更する

ポータル名を変更する場合

操作手順:

- 1 「ポータルの詳細」画面で、表示名を変更するポータルの[ポータル名を変更する]をクリックします。
- 2 ポータルの表示名を変更します。
- 3 [変更する]をクリックします。

補足

- [表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でポータルが表示名を追加できます。

ポートレット名を変更する場合

操作手順:

- 1 「ポータルの詳細」画面で、表示名を変更するポートレットの[表示名]をクリックします。
- 2 ポートレットの表示名を変更します。
- 3 [変更する]をクリックします。

補足

- [表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でポートレットの表示名を追加できます。

STEP4 ポートレットのアクセス権を設定する

ポートレットの閲覧権限を設定します。

操作手順:

- 1 「ポータルの詳細」画面で、アクセス権を変更するポートレットの[アクセス権]をクリックします。
- 2 [追加する]をクリックします。
- 3 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 4 [追加する]をクリックします。

補足

- 手順2の後に表示される「アクセス権の設定」画面で、権限の設定を削除できます。

STEP5 ポートレットの表示順を変更する

操作手順:

- 1 「ポータルの詳細」画面で、[順番変更]をクリックします。
- 2 ポートレットの表示順を変更します。
- 3 [変更する]をクリックします。

ポートレットを移動する

操作手順:

- 1 「ポータルの詳細」画面で、移動するポートレットの[段の移動]をクリックします。
- 2 ポートレットの位置を変更します。
- 3 [移動する]をクリックします。

STEP6 ポートレットを公開する

操作手順:

- 1 「ポータルの詳細」画面で、公開するポートレットの[公開]をクリックします。

2 [はい]をクリックします。

補足

- [非公開]をクリックすると、ポートレットは非公開になります。
- 公開したポートレットのみがユーザーに表示されます。

すべてのポートレットを公開する

操作手順:

- 1 「ポータルの詳細」画面で、「ポートレット一覧」の[すべて公開する]をクリックします。
- 2 [はい]をクリックします。

補足

- ポータルを公開するまでは、ユーザーはポートレットにアクセスできません。

STEP7 ポータルのアクセス権を設定する

ポータルの閲覧権限を設定します。

操作手順:

- 1 「ポータルの詳細」画面で、[アクセス権を設定する]をクリックします。
- 2 [追加する]をクリックします。
- 3 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 4 [追加する]をクリックします。

補足

- ポータルのアクセス権を組織に対して設定した場合、設定したアクセス権は、子組織には継承されません。
- 手順2の後に表示される「アクセス権の一覧」画面で、権限の設定を削除できます。

STEP8 ポータルの表示を確認する

操作手順:

- 1 「ポータルの詳細」画面で、[ポータルの表示を確認する]をクリックします。

次の点を確認します。

- ポータルが設定したとおりに表示されますか？
- ポータルを操作したとき、正常に動作しますか？

STEP9 ポータルを公開する

操作手順:

- 1 「ポータルの詳細」画面で、[ポータルをユーザーに公開する]をクリックします。
- 2 [はい]をクリックします。

補足

- [ポータルを非公開にする]をクリックすると、ポータルは非公開になります。
- 公開したポータルのみがユーザーに表示されます。

ポータルの表示設定を変更する

最初に表示するポータルを設定する

ログインしたときに最初に表示するポータルを設定します。最初に表示するポータルは、組織ごとに設定できます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [最初に表示するポータル]をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 最初に表示するポータルを選択します。
- 7 [設定する]をクリックします。

補足

- 手順4で「(トップ)」を選択すると、すべての組織に反映されます。ただし、各組織に対する設定が優先されます。
- 手順6で「(未設定)」を選択すると、ポータルの表示順で先頭に設定されているポータルが最初に表示されます。

ポータルの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [ポータルの表示順]をクリックします。
- 4 ポータルの表示順を変更します。
- 5 [変更する]をクリックします。

ポータルを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [ポータルの一覧]をクリックします。
- 4 ポータルを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。

6 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 4 で[全ポータルを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、すべてのポータルが削除されます。

4.1.2 HTMLポートレットとPHPポートレットを管理する

ポートレットを作成する

次のポートレットを作成できます。

- HTML ポートレット:
HTML を使用してポートレットを作成します。
- PHP ポートレット:
PHP を使用してポートレットを作成します。

注意

- ガルーンのエラーレベルが変更されたことによって、古いバージョンの PHP を使用している PHP ポートレットを使うとエラーが発生する場合があります。
対応するガルーンと PHP のバージョンは、次のとおりです。
 - ガルーンバージョン 3.1.0 まで: PHP4
 - ガルーンバージョン 3.1.0 以降: PHP5
- バージョン 3.5.0 より前のガルーンを最新のガルーンにバージョンアップすると、PHP ポートレットは非公開に設定されます。バージョンアップ後も同じ PHP ポートレットを使用する場合は、エラーが発生しないことを確認してから公開してください。

ポートレットグループを追加する

HTML ポートレットや PHP ポートレットを用途別にグループ化できます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [ポートレットグループ]をクリックします。
- 4 [ポートレットグループを追加する]をクリックします。
- 5 ポートレットグループ名を入力します。
- 6 [追加する]をクリックします。

補足

- 「グループ名」の[表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でグループ名を追加できます。
- ポートレットを追加するときに、追加したポートレットグループを、グループ欄で選択できます。

HTML ポートレットを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [HTML ポートレット]をクリックします。
- 4 [HTML ポートレットを追加する]をクリックします。
- 5 HTML ポートレットを設定します。
- 6 [追加する]をクリックします。

補足

- 次のタグは不要です。
 - <html>と</html>
 - <head>と</head>
 - <body>と</body>
- 「ポートレット名」の[表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でポートレット名を追加できます。
- 「My ポータル」の「My ポータルでの利用を許可する」にチェックを入れると、追加した HTML ポートレットをユーザーが My ポータルで使用できるようになります。

PHP ポートレットを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [PHP ポートレット]をクリックします。
- 4 [PHP ポートレットを追加する]をクリックします。
- 5 PHP ポートレットを設定します。
- 6 [追加する]をクリックします。

補足

- 「ポートレット名」の[表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でポートレット名を追加できます。
- 「My ポータル」の「My ポータルでの利用を許可する」にチェックを入れると、追加した PHP ポートレットをユーザーが My ポータルで使用できるようになります。

使用できるキーワード

HTML ポートレットや PHP ポートレットに、キーワードを使用できます。

キーワードは、ポートレットを使用するユーザーのユーザー情報に置き換わります。

次のキーワードを使用できます。

- %Name%:
ユーザー名

- %ID%:
ガルーンのシステム内で使用されているユーザーID
- %Account%:
ログイン名
- %Mail%:
ユーザー情報に登録されている E-mail
- %Password%:
パスワード
- %session_password%:
パスワード
- %Tel%:
ユーザー情報に登録されている連絡先
- %URL%:
ユーザー情報に登録されている URL

ポートレットを変更する

ポートレットグループを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [ポートレットグループ]をクリックします。
- 4 ポートレットグループを選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 ポートレットグループを変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

HTML ポートレットを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [HTML ポートレット]をクリックします。
- 4 ポートレットを選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 HTML ポートレットを変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

PHP ポートレットを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。

- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [PHP ポートレット]をクリックします。
- 4 ポートレットを選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 PHP ポートレットを変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

ポートレットを削除する

次のポートレットグループやポートレットを削除できます。

- ポートレットグループ
- ポータルに配置されたポートレット
- HTML ポートレット
- PHP ポートレット

ポートレットグループを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [ポートレットグループ]をクリックします。
- 4 削除するポートレットグループを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 4 で[全ポートレットグループを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、すべてのポートレットグループが削除されます。

ポータルに配置されたポートレットを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [ポータルの一覧]をクリックします。
- 4 ポートレットを削除するポータルを選択します。
- 5 削除するポートレットの[削除]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

HTML ポートレットを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [HTML ポートレット]をクリックします。
- 4 ポートレットを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 4 で[全 HTML ポートレットを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、すべての HTML ポートレットが削除されます。

PHP ポートレットを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [PHP ポートレット]をクリックします。
- 4 ポートレットを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 4 で[全 PHP ポートレットを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、すべての PHP ポートレットが削除されます。

4.1.3 Myポータルの雛形を変更する

ユーザーが My ポータルを作成しやすいように、My ポータルの雛形を変更します。

My ポータルの雛形には、ユーザーが良く使うポートレットを配置します。

作成した雛形は、ユーザーが My ポータルを作成するときの初期状態になります。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [My ポータルの雛形]をクリックします。
- 4 My ポータルの雛形を変更します。

補足

- 雛形は一つだけ設定できます。
- ポートレットの追加や変更方法は、通常のポートレットと同じです。

My ポータルの雛形を初期化する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [My ポータルの雛形]をクリックします。
- 4 [初期化する]をクリックします。
- 5 [はい]をクリックします。

4.1.4 ポータルやポートレットの権限を管理する

ポータルの使用権限やアクセス権などの権限を設定します。

補足

- 組織に対して権限を設定した場合、設定した権限は、子組織には継承されません。

My ポータルの使用権限を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [My ポータルの使用権限]をクリックします。
- 4 [追加する]をクリックします。
- 5 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。

補足

- My ポータルを使用する権限を削除されたユーザーは、過去に作成した My ポータルを使用できなくなります。
- 手順 3 の後に表示される「My ポータルの使用権限」画面で、権限の設定を削除できます。

ポータルの運用管理権限を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。

- 3 [ポータルの運用管理権限]をクリックします。
- 4 ポータルを選択します。
- 5 [追加する]をクリックします。
- 6 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- ポータルを管理するためのメニューが、運用管理権限が与えられたユーザーの「ポータル」画面に表示されます。
- 手順 4 の後に表示される「運用管理権限の一覧」画面で、権限を削除できます。

ポートレットグループの運用管理権限を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [ポートレットグループの運用管理権限]をクリックします。
- 4 ポートレットグループを選択します。
- 5 [追加する]をクリックします。
- 6 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- 運用管理権限が与えられたユーザーの「ポータル」画面に、[HTML ポートレットの設定]が表示されます。
- 手順 4 の後に表示される「運用管理権限の一覧」画面で、権限を削除できます。

4.1.5 ポートレットをファイルで管理する

次のポートレットデータを XML ファイルで管理できます。

- HTML ポートレット
- PHP ポートレット

次のポートレットの表示名データを CSV ファイルで管理できます。

- HTML ポートレット名
- PHP ポートレット名

ポートレットのデータを XML ファイルから読み込む

HTML ポートレットまたは PHP ポートレットのデータを XML ファイルから読み込みます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込むデータを選択します。
- 5 読み込むファイルを指定し、[読み込む]をクリックします。

ポートレットのデータを XML ファイルに書き出す

HTML ポートレットまたは PHP ポートレットのデータを XML ファイルに書き出します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出すデータを選択します。
- 5 ポートレットを選択し、[←追加]をクリックします。
- 6 [次へ >>]をクリックします。
- 7 [書き出す]をクリックします。
- 8 ファイルを保存します。

ポートレットの表示名を CSV ファイルから読み込む

HTML ポートレットまたは PHP ポートレットの表示名を CSV ファイルから読み込みます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込むデータを選択します。
- 5 読み込む方法を選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 6 プレビューされたファイルの内容を確認し、[読み込む]をクリックします。

補足

- CSV ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みが中止されます。途中まで読み込まれた内容はガルーンに反映されません。

ポートレットの表示名を CSV ファイルに書き出す

HTML ポートレットまたは PHP ポートレットの表示名を CSV ファイルに書き出します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ポータル]をクリックします。
- 3 [ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出すデータを選択します。
- 5 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 6 ファイルを保存します。

4.2 スペース

スペースは、組織を横断したメンバーでプロジェクトを推進するためのアプリケーションです。所属する組織にかかわらず、チームやグループの情報の共有や、コラボレーションに役立ちます。

スペースのメンバーは、次の機能を使用できます。

- **ディスカッション:**
スペースのメンバーが意見を交換するための機能です。プロジェクトを推進する過程で発生する議題ごとにディスカッションを追加すると、議論やアイデアを整理できます。
- **共有 ToDo:**
ToDo に担当者を割り当てて進捗を管理する機能です。ToDo に複数の担当者を割り当てると、タスクを共有できます。
各メンバーの ToDo の件数や進捗は一覧で確認できます。必要に応じて ToDo の担当者や締切日を変更すると、プロジェクトを円滑に進めることができます。

4.2.1 スペースを管理する

ガルーンの管理者は、すべてのスペースを変更、移動、および削除できます。

スペースとカテゴリーは、「カテゴリーの設定」画面で管理します。

補足

- スペースの一覧の上の「使用データ量」に、ディスクの使用量が表示されます。使用データ量は、選択しているカテゴリー内のスペース、ディスカッション、共有 ToDo、コメント、および添付ファイルのデータの合計です。
-  アイコンが表示されているスペースは非公開のスペースです。ガルーンの管理者と、スペースに参加しているメンバーのみが閲覧できます。
- スペースは、そのスペースに参加しているメンバーだけが変更できます。

カテゴリーを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スペース]をクリックします。
- 3 [カテゴリーの設定]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [追加する]をクリックします。
- 6 カテゴリーを設定します。
- 7 追加する]をクリックします。

補足

- カテゴリーコードは固有である必要があります。
- [表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でカテゴリー名を追加できます。

カテゴリを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スペース]をクリックします。
- 3 [カテゴリの設定]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [カテゴリの詳細]または[詳細]をクリックします。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 カテゴリの設定を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

サブカテゴリの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スペース]をクリックします。
- 3 [カテゴリの設定]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [サブカテゴリを順番変更する]をクリックします。
- 6 サブカテゴリの表示順を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

カテゴリを移動する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スペース]をクリックします。
- 3 [カテゴリの設定]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [カテゴリの詳細]または[詳細]をクリックします。
- 6 [移動する]をクリックします。
- 7 移動先のカテゴリを選択します。
- 8 [移動する]をクリックします。

補足

- 「ルート」は移動できません。

スペースを移動する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スペース]をクリックします。
- 3 [カテゴリの設定]をクリックします。
- 4 移動するスペースが保存されているカテゴリを選択します。
- 5 移動するスペースのチェックボックスを選択します。
- 6 [移動する]をクリックします。
- 7 移動先のカテゴリを選択します。
- 8 [移動する]をクリックします。

カテゴリを削除する

削除したカテゴリは元に戻せません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スペース]をクリックします。
- 3 [カテゴリの設定]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [カテゴリの詳細]または[詳細]をクリックします。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- スペースやサブカテゴリがあるカテゴリは削除できません。
- 「ルート」は削除できません。

スペースを削除する

管理者は、自分が参加しているスペースをシステム管理画面から削除できます。
削除したスペースは元に戻せません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スペース]をクリックします。
- 3 [カテゴリの設定]をクリックします。
- 4 削除するスペースが保存されているカテゴリを選択します。

- 5 削除するスペースのチェックボックスを選択します。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- ユーザー画面の「スペースの詳細」画面で[削除する]をクリックしても、スペースを削除できます。

4.2.2 カテゴリーをファイルで管理する

次のデータを CSV ファイルで管理できます。

- カテゴリー
- カテゴリー名

データを CSV ファイルから読み込む

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スペース]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込むデータを選択します。
- 5 読み込む方法を選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 6 CSV ファイルの内容を確認し、[読み込む]をクリックします。

補足

- CSV ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みが中止されます。途中まで読み込まれた内容はガルーンに反映されません。

データを CSV ファイルに書き出す

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スペース]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出すデータを選択します。
- 5 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 6 ファイルを保存します。

4.3 リンク集

次の順番でリンク集を設定できます。

1. リンクをクリックしたときのウインドウの開き方を設定する
2. 共有リンク集を設定する
3. 共有リンク集のカテゴリに対するアクセス権を設定する
4. 共有カテゴリの運用管理者を設定する

4.3.1 共有リンクを管理する

リンク先の表示方法を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 「リンク先を別ウインドウで開く」で、リンク先の Web サイトの表示方法を選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。

補足

- 手順 4 で選択できる Web サイトの表示方法は、次のとおりです。
 - タイトル/URL:
リンクのタイトルや URL をクリックすると、新しいタブに Web サイトが表示されます。
アイコンをクリックすると、同じウインドウに Web サイトが表示されます。
 - アイコン:
アイコンをクリックすると、新しいタブにリンク先の Web サイトが表示されます。
タイトルや URL をクリックすると、同じウインドウに Web サイトが表示されます。

共有リンクや共有カテゴリを設定する

共有リンクを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [共有リンク集]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [共有リンクを追加する]をクリックします。
- 6 リンクを設定します。
- 7 [追加する]をクリックします。

共有リンクに次の文字を使用できます。

- a-z
- A-Z
- 0-9
- 記号:
% : / ? # [] @ ! \$ & ' () * + , ; = - . _ ~

共有リンクに区切り線を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [共有リンク集]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [共有区切り線を追加する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

共有カテゴリーを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [共有リンク集]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [共有カテゴリーを追加する]をクリックします。
- 6 共有カテゴリーを設定します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- カテゴリーコードは固有である必要があります。
- [表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でカテゴリー名を追加できます。

共有リンクや共有カテゴリーを変更する

共有リンクを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [共有リンク集]をクリックします。
- 4 共有リンクを変更するカテゴリーを選択します。

- 5 共有リンクの[詳細]をクリックします。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 共有リンクの設定を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

共有カテゴリを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [共有リンク集]をクリックします。
- 4 変更するカテゴリを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 共有カテゴリの設定を変更します。
- 8 変更する]をクリックします。

表示順を変更する

共有リンクの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [共有リンク集]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [共有リンク/区切り線を順番変更する]をクリックします。
- 7 共有リンクや区切り線の表示順を変更します。
- 8 変更する]をクリックします。

共有カテゴリの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [共有リンク集]をクリックします。
- 4 サブカテゴリの表示順を変更するカテゴリを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。

- 6 [サブカテゴリを順番変更する]をクリックします。
- 7 サブカテゴリの表示順を変更します。
- 8 変更する]をクリックします。

共有リンクや共有カテゴリを移動する

共有リンクを移動する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [共有リンク集]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 移動する共有リンクの[詳細]をクリックします。
- 6 [移動する]をクリックします。
- 7 移動先のカテゴリを選択します。
- 8 [移動する]をクリックします。

共有カテゴリを移動する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [共有リンク集]をクリックします。
- 4 移動するカテゴリを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [移動する]をクリックします。
- 7 移動先のカテゴリを選択します。
- 8 [移動する]をクリックします。

補足

- 「ルート」は移動できません。

共有リンクや共有区切り線を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [共有リンク集]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。

- 5 削除する共有リンクや共有区切り線にチェックを入れます。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

共有カテゴリーを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [共有リンク集]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

注意

- 共有カテゴリーを削除すると、その共有カテゴリー内の共有リンクも削除されます。
- 削除された共有カテゴリーや共有リンクを元に戻せません。

補足

- 15階層以上のサブカテゴリーを持つカテゴリーは、削除できません。サブカテゴリーを14階層以下に減らしてから削除します。
- 「ルート」は削除できません。

4.3.2 共有リンクの権限を管理する

カテゴリーに対するアクセス権を設定する

組織、ユーザー、またはロールごとに、次の権限を設定できます。

- 閲覧権限

補足

- リンク集のカテゴリーに設定したアクセス権は、サブカテゴリーには継承されません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [アクセス権の設定]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。

- 7 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 手順 5 の後に表示される「アクセス権の一覧」画面で、権限の設定を削除できます。

カテゴリの運用管理権限を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [運用管理権限の設定]をクリックします。
- 4 運用管理権限を追加するカテゴリを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 共有リンク集を管理するためのメニューが、運用管理権限が与えられたユーザーの「共有リンク集」画面に表示されます。
- 手順 5 の後に表示される「運用管理権限の一覧」画面で、権限を削除できます。

4.3.3 共有リンクをファイルで管理する

次のデータを CSV ファイルで管理できます。

- 共有リンクと区切り線
- アクセス権

補足

- CSV ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みが中止されます。途中まで読み込まれた内容はガルーンに反映されません。

共有リンクや区切り線を CSV ファイルで管理する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [共有リンク集]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [共有リンク/区切り線を読み込む]または[共有リンク/区切り線を書き出す]をクリックします。

- 6 読み込む方法、または書き出す方法を指定します。読み込みの場合は[次へ >>]をクリックします。
- 7 [読み込む]または[書き出す]をクリックします。

アクセス権を CSV ファイルで管理する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [リンク集]をクリックします。
- 3 [アクセス権の読み込み]または[アクセス権の書き出し]をクリックします。
- 4 読み込む方法、または書き出す方法を指定します。読み込みの場合は[次へ >>]をクリックします。
- 5 [読み込む]または[書き出す]をクリックします。

補足

- CSV ファイルに記述されているカテゴリーがガルーンに登録されていない場合は、エラーが発生します。

4.4 スケジュール

はじめてスケジュールを使用する場合は、次の順番でスケジュールを設定します。

- 1.スケジュールの機能を設定する
- 2.予定メニューを作成する
- 3.予定メニュー連携を設定する
- 4.施設予約を設定する
- 5.施設グループを設定する
- 6.施設を設定する
- 7.スケジュールのアクセス権を設定する
- 8.運用管理権限を設定する

補足

- 予定メニューは、予定のタイトルの前に表示される文字列です。
- 予定メニュー連携は、「予定の詳細」画面で、予定メニューと連携して動作する機能です。

4.4.1 スケジュールの機能を設定する

スケジュールの「一般設定」画面で、次の設定を変更できます。

- 予定(予約)を設定する単位
- 繰り返し予定の登録期間
- 非公開の予定の登録をユーザーに許可するかどうか
- 非公開の予定を完全に隠すかどうか:
非公開の予定を完全に隠すと、公開対象以外のユーザーは、非公開の予定が登録されていることがわかりません。
- 組織の予定を表示するかどうか:
「表示する」に設定をすると、組織の予定を登録できます。
- 祝日を表示するかどうか
- 「(全施設)」を表示するかどうか:
多くの施設や施設グループを登録している場合、「(全施設)」のリンクを表示しない設定を推奨します。「(全施設)」のリンクを表示すると、パフォーマンスが低下する恐れがあります。
- 予定のタイトルの前または後に、施設名を表示するかどうか

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 設定を変更します。
- 5 [設定する]をクリックします。

補足

- 予定を公開していないユーザーに対して、非公開の予定は「予定あり」と表示されます。

4.4.2 予定メニューを管理する

予定メニューを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [予定メニューの設定]をクリックします。
- 4 予定メニューを設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

補足

- 各行に1つの予定メニューを登録します。
- 予定メニューを登録すると、次の操作ができます。
 - 予定の登録時に予定メニューをタイトル欄から選択する
 - 登録したメニューに連携機能を付与する
- ユーザーは、個人設定で予定メニューを追加できます。
- ユーザーが追加した予定メニューは、ガルーンの管理者が追加した予定メニューより上に表示されます。

予定メニューを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [予定メニューの設定]をクリックします。
- 4 予定メニューを変更します。
- 5 [設定する]をクリックします。

予定メニューを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [予定メニューの設定]をクリックします。
- 4 予定メニューを削除します。

5 [設定する]をクリックします。

予定メニュー連携を追加する

特定の予定メニューを選択したとき、その予定の「予定の詳細」画面で実行する動作を、HTML タグで記述します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [予定メニュー連携]をクリックします。
- 4 [予定メニュー連携を追加する]をクリックします。
- 5 予定メニュー連携を設定します。1 行あたり 1 メニューを記述します。
- 6 [追加する]をクリックします。

補足

- あらかじめ、予定メニューを登録する必要があります。
- 次のタグは不要です。
 - <html>と</html>
 - <head>と</head>
 - <body>と</body>

使用できるキーワード

予定メニュー連携に、キーワードを使用できます。

キーワードは、スケジュールを使用するユーザーのユーザー情報に置き換わります。

次のキーワードを使用できます。

- %Name%:
ユーザー名
- %ID%:
ガルーンのシステム内で使用されているユーザーID
- %Account%:
ログイン名
- %Mail%:
ユーザー情報に登録されている E-mail
- %Password%:
パスワード
- %session_password%:
パスワード
- %Tel%:
ユーザー情報に登録されている連絡先
- %URL%:
ユーザー情報に登録されている URL

予定メニュー連携を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [予定メニュー連携]をクリックします。
- 4 予定メニュー名を選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 予定メニュー連携の設定を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

予定メニュー連携の表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [予定メニュー連携]をクリックします。
- 4 [予定メニュー連携を順番変更する] をクリックします。
- 5 予定メニュー連携の表示順を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

予定メニュー連携を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [予定メニュー連携]をクリックします。
- 4 削除する予定メニューを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 4 で[全予定メニュー連携を削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、すべての予定メニュー連携が削除されます。
- 複数の予定メニュー連携を一括で削除する場合は、手順 4 で削除する予定メニュー連携のチェックボックスを選択します。

4.4.3 施設を管理する

施設グループを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設/施設グループ]をクリックします。
- 4 施設グループを選択します。
- 5 [子施設グループを追加する]をクリックします。
- 6 施設グループを設定します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- 予定を登録するときに、追加した施設グループを施設欄で選択できます。
- 3階層まで施設グループを作成できます。
- 施設グループコードは固有である必要があります。
- [表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語で施設グループ名を追加できます。
- メモ欄には、HTML タグを記述できます。

施設グループを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設/施設グループ]をクリックします。
- 4 施設グループを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 施設グループの設定を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

施設グループの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設/施設グループ]をクリックします。

- 4 施設グループを選択します。
- 5 [子施設グループを順番変更する]をクリックします。
- 6 子施設グループの表示順を変更します。
- 7 変更する]をクリックします。

施設グループを移動する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設/施設グループ]をクリックします。
- 4 施設グループを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [施設グループを移動する]をクリックします。
- 7 移動先の施設グループを選択します。
- 8 [移動する]をクリックします。

補足

- 子施設グループがある場合は、子施設グループも一緒に移動されます。

施設グループを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設/施設グループ]をクリックします。
- 4 施設グループを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 子施設グループもすべて削除されます。
- 施設グループのみが削除されます。削除する施設グループに所属している施設は削除されません。
- 所属する施設グループが削除された施設は、「(施設グループに未所属の施設)」に所属します。

施設を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設/施設グループ]をクリックします。
- 4 施設グループを選択します。
- 5 [施設を追加する]をクリックします。
- 6 施設を設定します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- 施設コードは固有である必要があります。
- 施設は 1 つの施設グループのみに所属できます。
- [表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語で施設名を追加できます。

施設を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設/施設グループ]をクリックします。
- 4 施設グループを選択します。
- 5 施設を選択します。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 施設の設定を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

所属する施設グループを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設/施設グループ]をクリックします。
- 4 施設グループを選択します。
- 5 施設を選択します。
- 6 [施設グループを変更する]をクリックします。
- 7 移動先の施設グループを選択します。

8 [変更する]をクリックします。

選択した施設を施設グループから外す

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設/施設グループ]をクリックします。
- 4 施設グループを選択します。
- 5 施設を選択します。
- 6 [施設グループから外す]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

施設の表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設/施設グループ]をクリックします。
- 4 施設グループを選択します。
- 5 [施設を順番変更する]をクリックします。
- 6 施設の表示順を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

施設を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設/施設グループ]をクリックします。
- 4 施設グループを選択します。
- 5 施設を選択します。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

4.4.4 施設予約を管理する

次の設定を変更できます。

- 設定の継承:
親の施設グループの設定を継承するかどうかを設定します。
- 予約設定の可能な期間
- 予約設定の可能な最大時間
- 予約を変更できるユーザー
- 一覧でのメモの表示:
施設や施設グループの一覧画面でメモを表示するかどうかを設定します。
- 繰り返しの施設予約:
施設の繰り返し予定を登録できるかどうかを設定します。

補足

- 運用管理権限を持つユーザーは、施設予約の設定にかかわらず、自分に権限がある施設や施設グループの予約を登録および変更できます。
- 繰り返し予定に登録した施設は、「繰り返しの施設予約」のチェックボックスの選択を外しても、予定期間が終了するまで繰り返しの施設予約が有効です。
- 施設を追加すると、施設予約の設定の初期値に所属する施設グループの設定内容が継承されます。

施設予約の設定を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設予約の設定]をクリックします。
- 4 施設グループを選択します。
- 5 施設名または施設グループ名を選択します。
- 6 選択した施設または施設グループの予約に関する設定を変更します。

設定の継承とは？

- 施設グループが複数の階層を持っている場合、設定が次のように継承されます:
 - 1 つ上の階層の施設グループの設定が継承されます。
 - 1 つ上の施設グループが、その親の施設の設定を継承している場合、さらに上の階層の施設グループの設定が継承されます。
- 上の階層に施設グループがない場合は、初期値が継承されます。
- 施設や施設グループを移動する場合、変更先の親施設グループの設定が継承されます。
- 親施設グループの設定を変更すると、設定を継承している施設グループや施設に、変更した内容が反映されます。
- 施設を追加すると、施設予約の設定の初期値は、所属する施設グループの設定内容が継承されます。

補足

- 「繰り返しの施設予約」を無効にしても、すでに登録された繰り返し予定の施設予約は有効です。

施設予約の設定を初期化する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設予約の設定]をクリックします。
- 4 設定を初期化する施設が所属する施設グループを選択します。
- 5 [設定を初期化する]をクリックします。
- 6 施設予約の設定を変更します。
- 7 [初期化する]をクリックします。

施設の一覧でのメモ表示を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設予約の設定]をクリックします。
- 4 施設グループを選択します。
- 5 施設名または施設グループ名を選択します。
- 6 「一覧でのメモ表示」の「表示する」を選択します。
- 7 [変更する]をクリックします。

施設予約のカスタマイズ項目を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設予約情報の項目]をクリックします。
- 4 [カスタマイズ項目を追加する]をクリックします。
- 5 カスタマイズ項目を設定します。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 [設定する]をクリックします。

施設予約のカスタマイズ項目を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。

- 3 [施設予約情報の項目]をクリックします。
- 4 「カスタマイズ項目」の項目を選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 カスタマイズ項目の設定を変更します。
- 7 [設定する]をクリックします。

施設予約のカスタマイズ項目の表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設予約情報の項目]をクリックします。
- 4 [カスタマイズ項目を順番変更する]をクリックします。
- 5 カスタマイズ項目の表示順を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

施設予約のカスタマイズ項目を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設予約情報の項目]をクリックします。
- 4 「カスタマイズ項目」の項目を選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

4.4.5 予定の表示の設定を変更する

施設の予約情報の表示設定を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設予約情報の項目]をクリックします。
- 4 項目を選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 施設予約情報の項目の表示設定を変更します。

7 [変更する]をクリックします。

補足

- 組み込み項目に対しては、一覧表示に標準で表示するかどうかのみを設定できます。
- 「施設予約情報の項目」画面で、次の各欄を選択して[設定する]をクリックしても、設定を変更できます。
 - 「使用する」
 - 「一覧表示」
 - 「一覧での項目名表示」

4.4.6 スケジュールの権限を管理する

スケジュールのアクセス権を設定する

組織、ユーザー、ロール、施設、または施設グループごとに、次の権限を設定できます。

- 閲覧権限
- 追加権限
- 変更権限
- 削除権限

1人のユーザーのスケジュールに対し、複数のアクセス権を設定できます。次のアクセス権を設定できます。

- 組織としてのアクセス権
- 組織の所属ユーザーとしてのアクセス権
- ロールとしてのアクセス権

注意

- 閲覧権限のみ設定されているユーザーも、自分が参加している予定を変更または削除できます。

補足

- スケジュールのアクセス権を、施設と、所属している施設グループの両方に設定している場合、アクセス権の優先順は次のとおりです。
 - 1.親施設グループ
 - 2.子施設グループ
 - 3.施設
- 重複したアクセス権については、次のページを参照してください。
「4.23 優先されるアクセス権」-242 ページ

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [アクセス権の設定]をクリックします。
- 4 アクセス権を設定する組織やユーザーなどを選択します。
- 5 [追加する]をクリックします。
- 6 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。

- 7 追加する状態を選択します。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 手順 4 の後に表示される「アクセス権の一覧」画面で、権限の設定を削除できます。
- 手順 4 の後に表示される「アクセス権の一覧」画面で、アクセス権の[変更]をクリックすると、権限を変更できます。

施設の運用管理権限を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [施設/施設グループ]をクリックします。
- 4 施設グループを選択します。
- 5 [運用管理権限を設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 施設や施設グループを管理するためのメニューが、運用管理権限が与えられたユーザーの「スケジュール」画面に表示されます。
- 運用管理権限を持つユーザーは、「施設予約の設定」にかかわらず、権限のある施設や施設グループの予約を登録、または変更できます。
- 手順 5 の後に表示される「運用管理権限の一覧」画面で、権限を削除できます。

4.4.7 期間を指定して予定を一括削除する

削除した予定を元に戻すことはできません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [スケジュールの一括削除]をクリックします。
- 4 日時を指定する
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 指定した日時より前に登録されているすべての予定が削除されます。

4.4.8 スケジュールや施設のデータをファイルで管理する

次のデータを CSV ファイルで管理できます。

- 予定
- 施設情報
- 施設名
- 施設グループ情報
- 施設グループ名
- アクセス権

データを CSV ファイルから読み込む

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込むデータを選択します。
- 5 読み込む方法を選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 6 CSV ファイルの内容を確認し、[読み込む]をクリックします。

補足

- CSV ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みが中止されます。途中まで読み込まれた内容はガルーンに反映されません。
- 登録者の情報は読み込みません。

データを CSV ファイルに書き出す

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出すデータを選択します。
- 5 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 6 ファイルを保存します。

補足

- 登録者の情報も一緒に書き出すことができます。

4.4.9 V-CUBE ミーティングを設定する

V-CUBE ミーティングは、Web 会議室(インターネット上の仮想会議室)を使用して、会議やミーティングを開くためのサービスです。

指定されたアドレスにアクセスすると、離れた拠点にいるユーザーや、ガルーンにアクセスできない参加者も会議に参加できるようになります。

クライアントコンピューターに Web カメラとヘッドセットを設定すれば、参加者同士で顔を見ながら、映像と音声による Web テレビ会議を実施できます。

注意

- Windows 環境にガルーンをインストールしている場合は、V-CUBE ミーティングを利用できません。

補足

- V-CUBE ミーティングは、株式会社バイキューブの V-CUBE を使用しています。

V-CUBE ミーティングの設定に必要な準備

ガルーンで V-CUBE ミーティングを設定する前に、次の準備が必要です。

V-CUBE ミーティングの利用を申し込む

あらかじめ V-CUBE ミーティングの利用を申し込んでください。V-CUBE ミーティングを申し込んでからサービスを利用できるようになるまで、数日かかる場合があります。

ユーザー情報にメールアドレスを設定する

Web 会議の参加者には、Web 会議室へのログインに必要な情報がメールで送信されます。システム管理者は、Web 会議室を使用するすべてのユーザーのメールアドレスを、あらかじめ設定しておく必要があります。

補足

- V-CUBE ミーティングの利用を申し込む場合は、販売元またはサイボウズ オフィシャルパートナーにお問い合わせください。
 - サイボウズ オフィシャルパートナー:
<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>
 上記のページは日本語のみで提供されています。

Web 会議を使用できるようになるまでの作業の流れ

STEP1	<p>V-CUBE ミーティングの設定に必要な情報を取得する</p> <p>V-CUBE ミーティング利用を申し込んだときに発行される、次の情報を取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> アクセス URL ログイン ID パスワード 会議室 ID(room ID)
-------	---

STEP2	V-CUBE ミーティング連携を設定する V-CUBE ミーティング連携を有効にします。 「V-CUBE ミーティング連携を設定する」 - 118 ページ
-------	---

STEP3	Web 会議室を設定する 「Web 会議室を追加する」 - 119 ページ
-------	--

補足

- V-CUBE ミーティング上に Web 会議室を開設できるようになると、弊社から、Web 会議室の設定に必要な情報を記載したメールをお送りします。V-CUBE ミーティングを設定するときは、このメールに記載された情報を使用します。
- 送信されるメールには、「管理者パスワード」が記載されています。このパスワードは V-CUBE の管理画面にログインする際に使用します。ガルーンでは使用しません。

V-CUBE ミーティング連携を設定する

「V-CUBE ミーティング連携の設定」画面で、次の項目を設定します。

- V-CUBE ミーティング連携の設定
 - 連携:
V-CUBE ミーティング連携を利用する場合は、チェックボックスを選択します。
 - 招待 URL の表示:
「予定の詳細」画面に、Web 会議室のアクセス URL を表示する場合は、チェックボックスを選択します。
 - 招待 URL の E-mail 通知:
予定の参加者に、Web 会議室のアクセス URL や、開催時間などをメールで通知する場合は、チェックボックスを選択します。
 - 外部招待者入力欄表示行数:
「予定の登録」画面や「予定の変更」画面に表示する、外部招待者の入力欄の数を指定します。
- ログイン設定
次の項目は、V-CUBE ミーティングの利用を申し込んだ時に指定された値を入力します。
 - V-CUBE ミーティング URL: V-CUBE ミーティングを利用した Web 会議室にアクセスするための URL です。
 - ログイン ID: Web 会議室に入室するためのログイン ID です。
 - パスワード: Web 会議室に入室するためのパスワードです。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [スケジュール]をクリックします。
- 3 [V-CUBE ミーティング連携の設定]をクリックします。
- 4 必要な機能を設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

弊社から送信されるメールの例:

この度はご注文を頂きまして誠にありがとうございます。

ご注文の環境を作成いたしました。
以下の案内にしたがって環境の設定をしてください。

▼設定方法

<http://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gcom>

ログイン ID: **1234567	_____	a)
部屋 KEY : **1234567-1-1234	_____	b)
初期ログインパスワード: 45hq4KbCV3	_____	c)
初期管理者パスワード : ammFRNUJT2	_____	d)
入力用 URL : https://cybozu.nice2meet.us/	_____	e)

- a) : 「ログイン ID」に設定する ID です。
- b) : 部屋 KEY(会議室 ID): 施設コードに設定するコードです。
- c) : パスワード: 「パスワード」に設定するパスワードです。
- d) : V-CUBE の管理画面にログインするためのパスワードです。
- e) : 「V-CUBE ミーティング URL」に設定する URL です。

注意

- V-CUBE ミーティング連携は、Galaxy ケータイに対応していません。

Web 会議室を追加する

V-CUBE ミーティング連携を利用した Web 会議室(Web 会議システムを使用する施設)を追加します。

施設を追加する手順は、通常の施設と同様です。

「4.4.3 施設を管理する」 - 107 ページ

通常の施設情報のほかに、V-CUBE ミーティングに関連する次の項目を設定します。

- 施設コード:
V-CUBE ミーティングの利用が可能になったことを通知するメールに、会議室 ID(room ID)が記載されています。
この会議室 ID を施設コードとして設定します。
- V-CUBE ミーティング連携:
「連携する」のチェックボックスを選択します。
- 参加可能ユーザー数の上限:
1 回の Web 会議に参加できる参加者の最大人数を設定します。参加人数を限定する必要がなければ、999 を設定します。

Web 会議室を使用した予定の画面例:

施設

施設検索

(全施設)

Web会議室A ← 追加

第1会議室

第2会議室

Web会議室A

Web会議室B

削除 →

所属施設グループ: Web会議室

施設情報の詳細...

Web会議

パスワード 設定しない 設定する

外部招待者	名前	メール	言語	タイムゾーン
			予約者と同じ ▼	予約者と同じ ▼
			予約者と同じ ▼	予約者と同じ ▼
			予約者と同じ ▼	予約者と同じ ▼
			予約者と同じ ▼	予約者と同じ ▼
			予約者と同じ ▼	予約者と同じ ▼

注意

- ガルーンの予定の参加者と外部招待者の合計が V-CUBE ミーティングの参加可能ユーザー数を超えると、予定の登録や変更ができません。

4.5 メッセージ

4.5.1 メッセージを管理する

メッセージの機能を設定する

メッセージの「一般設定」画面で、次の機能を変更できます。

- 閲覧確認機能の初期値:
ユーザーが「メッセージの作成」画面で選択する、「閲覧状況を確認する」の初期状態を設定します。
- ユーザー画面での書式編集の使用:
ユーザー画面でメッセージを作成したりフォローを書き込んだりするときに、書式編集を使用できるかどうかを設定します。
- 閲覧確認機能の動作モード:
次の動作モードを選択できます。
 - 手動:
「メッセージの詳細」画面の[確認しました]をクリックすると、閲覧済みとして扱われます。
 - 自動:
「メッセージの詳細」画面を表示すると、閲覧済みとして扱われます。
- フォローのアンカー機能の使用:
メッセージのフォローでアンカー機能を使用できるかどうかを設定します。
アンカー機能とは、フォローに「>>1」のように記入すると、記入したフォローにリンクが設定される機能です。

補足

- Macintosh 版の Safari では、書式編集を使用できません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メッセージ]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 設定を変更します。
- 5 設定する]をクリックします。

メッセージを閲覧する

メッセージを検索し、各メッセージの詳細を確認します。メッセージの添付ファイルを確認することもできます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メッセージ]をクリックします。
- 3 [メッセージの検索]をクリックします。

- 4 検索条件を指定し、[検索する]をクリックします。
- 5 メッセージを選択し、内容を閲覧します。

メッセージを削除する

指定した日付以降に更新されていないすべてのメッセージを削除します。
削除したメッセージを元に戻せません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メッセージ]をクリックします。
- 3 [メッセージの一括削除]をクリックします。
- 4 日付を指定します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

4.6 掲示板

次の順番で掲示板を設定できます。

- 1 掲示板の機能を設定する
- 2 カテゴリーを作成する
- 3 カテゴリーに対するアクセス権を設定する
- 4 運用管理権限を設定する
- 5 通知先を設定する

4.6.1 掲示板の機能を設定する

掲示板の「一般設定」画面で、次の設定を変更できます。

- フォロー書き込み許可の初期状態
ユーザーが「掲示を書き込む」画面で選択する、「フォローの書き込み」の初期状態を設定します。
- ユーザー画面での書式編集の使用:
ユーザー画面で掲示を作成したりフォローを書き込んだりするときに、書式編集を使用できるかどうかを設定します。
- フォローのアンカー機能の使用:
メッセージのフォローでアンカー機能を使用できるかどうかを設定します。
アンカー機能とは、フォローに「>>1」のように記入すると、記入したフォローにリンクが設定される機能です。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 設定を変更します。
- 5 [設定する]をクリックします。

補足

- Macintosh 版の Safari では、書式編集を使用できません。

4.6.2 掲示板を管理する

カテゴリーを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [カテゴリの設定]をクリックします。

- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [カテゴリを追加する]をクリックします。
- 6 カテゴリーを設定します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- カテゴリーコードは固有である必要があります。
- [表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でカテゴリ一名を追加できます。

カテゴリを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [カテゴリの設定]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [カテゴリの詳細]をクリックします。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 カテゴリーの設定を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

サブカテゴリの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [カテゴリの設定]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [サブカテゴリを順番変更する]をクリックします。
- 6 サブカテゴリの表示順を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

カテゴリや掲示を移動する

カテゴリを移動する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。

- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [カテゴリの設定]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [移動する]をクリックします。
- 7 移動先のカテゴリを選択します。
- 8 [移動する]をクリックします。

補足

- 「ルート」は移動できません。

掲示を移動する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [掲示の管理]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 掲示を選択します。
- 6 [移動する]をクリックします。
- 7 移動先のカテゴリを選択します。
- 8 [移動する]をクリックします。

カテゴリの更新通知先を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [通知の設定]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 通知を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 「ON(更新通知の解除を許可しない)」を選択すると、ユーザーは、そのカテゴリ内の各掲示の更新通知を解除できません。
- 更新通知に対して通知フィルタを設定できます。通知フィルタの設定は、強制通知を含むすべての通知に適用されます。

- 設定された通知先は、手順 5 の後に表示される「通知先の一覧」画面で、変更または削除できます。

強制通知の設定を変更する

更新通知の解除を許可するかどうかを設定します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [通知の設定]をクリックします。
- 4 強制通知のセキュリティモデルを変更するカテゴリを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 「強制通知」の[変更]をクリックします。
- 7 「OFF(更新通知の解除を許可する)」か「ON(更新通知の解除を許可しない)」を選択します。
- 8 [変更する]をクリックします。

補足

- 強制通知を「ON(更新通知の解除を許可しない)」にすると、ユーザーは掲示ごとの更新通知を解除できません。

カテゴリを削除する

削除したカテゴリや掲示は元に戻せません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [カテゴリの設定]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [カテゴリの詳細]をクリックします。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 掲示やサブカテゴリがあるカテゴリを、削除できません。
- 「ルート」は削除できません。

掲示を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。

- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [掲示の管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 掲示を選択します。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 「掲示の管理」画面で、掲示の種類を選択して[絞り込む]をクリックすると、掲示を絞り込んで表示できます。次の絞り込みを使用できます。
 - 公開中の掲示
 - 掲示開始待ちの掲示
 - 期限切れの掲示

すべての掲示を削除する

すべての掲示待ちの掲示を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [掲示の管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [掲示待ち掲示を削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

すべての期間切れの掲示を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [掲示の管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [期限切れ掲示を削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

すべての公開中の掲示を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。

- 3 [掲示の管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [公開中の掲示を削除する]をクリックします。
- 6 .削除の基準となる日を指定します。指定した日付より前に更新された掲示が削除されます。
- 7 [削除する]をクリックします。
- 8 [はい]をクリックします。

指定したカテゴリー内のすべての掲示を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [掲示の管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [カテゴリ内の全掲示を削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

4.6.3 掲示板の権限を管理する

カテゴリーのアクセス権を設定する

組織、ユーザー、またはロールごとに、次の権限を設定します。

- 閲覧権限
- 書き込み権限
- フォローの書き込み権限

補足

- 掲示板のカテゴリーに設定したアクセス権は、サブカテゴリーには継承されません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [アクセス権の設定]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 追加する状態を選択します。
- 9 [追加する]をクリックします。

補足

- 手順 5 の後に表示される「アクセス権一覧」画面で、権限の設定を削除できます。
- 手順 5 の後に表示される「アクセス権一覧」画面で、アクセス権の[変更]をクリックすると、権限を変更できます。

カテゴリの運用管理権限を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [運用管理権限の設定]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- カテゴリや掲示を管理するためのメニューが、運用管理権限が与えられたユーザーの「掲示板」画面に表示されます。
- 運用管理権限が与えられたユーザーは、自分以外のユーザーが作成した掲示の内容も変更できます。
- 手順 5 の後に表示される「運用管理権限の一覧」画面で、権限を削除できます。

4.6.4 掲示板をファイルで管理する

次のデータを CSV ファイルで管理できます。

- カテゴリ
- カテゴリ名
- アクセス権
- 通知設定

データを CSV ファイルから読み込む

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込むデータを選択します。
- 5 読み込む方法を選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 6 CSV ファイルの内容を確認し、[読み込む]をクリックします。

補足

- CSV ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みが中止されます。途中まで読み込まれた内容はガルーンに反映されません。
- CSV ファイルからアクセス権データを読み込むときには、次の点に注意してください。
 - CSV ファイルに記述されているカテゴリーがガルーンに登録されていない場合は、エラーが発生します。
 - 既存のアクセス権データとの差分を読み込みます。

データを CSV ファイルに書き出す

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [掲示板]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出すデータを選択します。
- 5 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 6 ファイルを保存します。

4.7 ファイル管理

次の流れでファイル管理を設定します。

1. ファイルを保管するためのフォルダーを作成する
2. フォルダーに対するアクセス権を設定する
3. フォルダーの運用管理を行うユーザー(運用管理者)を設定する
4. ファイルが保管されたときの通知先を、フォルダーごとに設定する

4.7.1 ファイル管理を管理する

ファイル管理の「一般設定」画面で、次の機能を変更できます。

- 削除したファイルの復旧可能期間
- ダウンロードサイズの上限值
複数のファイルを1つの zip ファイルとしてまとめてダウンロードするときに、1度にダウンロードできるファイルサイズの上限值を設定します。ダウンロードサイズは、zip ファイルに圧縮される前のファイルサイズの合計値です。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 設定を変更します。
- 5 [変更する]をクリックします。

フォルダーの更新通知先を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [通知の設定]をクリックします。
- 4 フォルダーを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 通知先として設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- ユーザーの「更新通知の設定」画面では、更新通知を設定したフォルダーのフォルダー名の末尾に「*」が表示されています。
- 設定された通知先は、手順 5 で表示される「通知先の一覧」画面で、変更または削除できます。

4.7.2 フォルダーやファイルを管理する

フォルダーを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [フォルダの設定]をクリックします。
- 4 フォルダーを選択します。
- 5 [サブフォルダを追加する]をクリックします。
- 6 フォルダーを設定します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- フォルダーコードは固有である必要があります。
- [表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でフォルダ一名を追加できます。

フォルダーを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [フォルダの設定]をクリックします。
- 4 フォルダーを選択します。
- 5 [フォルダの詳細]をクリックします。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 フォルダーの設定を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

サブフォルダーの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [フォルダの設定]をクリックします。
- 4 [サブフォルダを順番変更する]をクリックします。
- 5 サブフォルダーの表示順を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

フォルダーやファイルを移動する

フォルダーを移動する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [フォルダの設定]をクリックします。
- 4 フォルダーを選択します。
- 5 [フォルダの詳細]をクリックします。
- 6 [移動する]をクリックします。
- 7 移動先のフォルダーを選択します。
- 8 [移動する]をクリックします。

ファイルを移動する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [フォルダの設定]をクリックします。
- 4 フォルダーを選択します。
- 5 ファイルを選択します。
- 6 [ファイルを移動する]をクリックします。
- 7 移動先のフォルダーを選択します。
- 8 [移動する]をクリックします。

フォルダーやファイルを削除する

フォルダーを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [フォルダの設定]をクリックします。
- 4 フォルダーを選択します。
- 5 [フォルダの詳細]をクリックします。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

注意

- 削除したフォルダーは元に戻せません。

補足

- フォルダーを削除すると、そのフォルダー内のファイルやサブカテゴリも削除されます。
- 「ルート」は削除できません。

ファイルを削除する

ごみ箱以外のフォルダーから削除したファイルは、ごみ箱に移動されます。

ごみ箱内のファイルは、指定した期間を過ぎると自動的に削除されます。

ごみ箱から削除したファイルは、すぐに削除されます。

注意

- 次のファイルは元に戻せません。
 - 指定した期間を過ぎたファイル
 - ごみ箱から削除されたファイル

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [フォルダの設定]をクリックします。
- 4 フォルダーを選択します。
- 5 ファイルにチェックを入れます。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [[はい]をクリックします。

削除したファイルを元に戻す

ごみ箱に移動したファイルを、移動前に保存されていたフォルダーに戻します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [フォルダの設定]をクリックします。
- 4 フォルダーを選択します。
- 5 [ごみ箱]をクリックします。
- 6 ファイルにチェックを入れます。
- 7 [元に戻す]をクリックします。

補足

- 元に戻せる期間は、設定によって異なります。

4.7.3 フォルダの使用量を確認する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [フォルダの設定]をクリックします。
- 4 フォルダを選択します。
- 5 [フォルダの詳細]をクリックします。
- 6 [使用量の一覧]をクリックします。
- 7 フォルダとサブフォルダの使用量を確認します。

4.7.4 ファイル管理の権限を管理する

フォルダのアクセス権を設定する

組織、ユーザー、またはロールごとに、次の権限を設定できます。

- 閲覧権限
- 書き込み権限

補足

- ファイル管理の権限には、次の制限があります。
 - 親フォルダからサブフォルダに継承される使用権限は、閲覧権限のみです。
 - 親フォルダの閲覧権限がなく、サブフォルダの閲覧権限のみを持つ組織、ユーザー、またはロールは、サブフォルダにもアクセスできません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [アクセス権の設定]をクリックします。
- 4 フォルダを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 追加する状態を選択します。
- 9 [追加する]をクリックします。

補足

- 手順5の後に表示される「アクセス権の一覧」画面で、権限の設定を削除できます。
- 手順5の後に表示される「アクセス権の一覧」画面で、アクセス権の[変更]をクリックすると、権限を変更できます。

フォルダーの運用管理権限を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [運用管理権限の設定]をクリックします。
- 4 フォルダーを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- フォルダーを管理するためのメニューが、運用管理権限が与えられたユーザーの「ファイル管理」画面に表示されます。
- 運用管理権限が与えられたユーザーは、ほかのユーザーが編集中のファイルのロックを解除できます。
- 手順5の後に表示される「運用管理権限の一覧」画面で、権限を削除できます。

4.7.5 ファイル管理をファイルで管理する

次のデータを CSV ファイルで管理できます。

- フォルダー
- フォルダー名
- アクセス権
- 通知設定

データを CSV ファイルから読み込む

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込むデータを選択します。
- 5 読み込む方法を選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 6 CSV ファイルの内容を確認し、[読み込む]をクリックします。

補足

- CSV ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みが中止されます。途中まで読み込まれた内容はガルーンに反映されません。
- CSV ファイルからアクセス権データを読み込むときに、次の点に注意してください。
 - CSV ファイルに記述されているフォルダーがガルーンに登録されていない場合は、エラーが発生します。

- 既存のアクセス権データとの差分を読み込みます。

データを CSV ファイルに書き出す

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ファイル管理]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出すデータを選択します。
- 5 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 6 ファイルを保存します。

4.8 メモ

4.8.1 メモの機能を設定する

メモの「一般設定」画面で、次の機能を変更できます。

- 利用できる総ファイルサイズ：
総ファイルサイズは、次のファイルサイズの合計です。
 - フォルダーに追加したファイル
 - メモに添付したファイル
- ユーザー画面での書式編集の使用：
ユーザー画面でメモを作成するときに、書式編集を使用できるかどうかを設定します。

補足

- Macintosh 版の Safari では、書式編集を使用できません。

操作手順：

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メモ]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 設定を変更します。
- 5 [設定する]をクリックします。

4.9 電話メモ

次の順番で電話メモを設定します。

- 1.電話メモのシングルサインオンを設定する
- 2.電話メモに対するユーザーのアクセス権を設定する

4.9.1 電話メモを管理する

電話メモにシングルサインオンを設定します。

「電話メモ」画面でユーザーがユーザー名をクリックしたとき、そのユーザーは指定したアプリケーションにシングルサインオンでログインできます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [電話メモ]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 「シングルサインオン」から、シングルサインオン名を選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。

補足

- あらかじめ、電話メモのためのシングルサインオンを追加しておく必要があります。

4.9.2 電話メモの権限を管理する

1人のユーザーの電話メモに対し、複数のアクセス権を設定できます。次のアクセス権を設定できます。

- 組織としてのアクセス権
- 組織の所属ユーザーとしてのアクセス権
- ロールとしてのアクセス権

組織、ユーザー、またはロールごとに、次の権限を設定できます。

- 閲覧権限
- 編集権限
- 登録権限

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [電話メモ]をクリックします。
- 3 [アクセス権の設定]をクリックします。
- 4 電話メモのアクセス権を設定する組織、ユーザーまたはロールを選択します。
- 5 [追加する]をクリックします。

- 6 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 7 追加する状態を選択します。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 重複したアクセス権については、次のページを参照してください。
「4.23 優先されるアクセス権」-242 ページ
- 手順 4 の後に表示される「アクセス権の一覧」画面で、権限の設定を削除できます。
- 手順 4 の後に表示される「アクセス権の一覧」画面で、アクセス権の[変更]をクリックすると、権限を変更できます。

4.9.3 アクセス権をファイルで管理する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [電話メモ]をクリックします。
- 3 [アクセス権の読み込み]または[アクセス権の書き出し]をクリックします。
- 4 データを読み込む場合は読み込む方法を指定し、[次へ >>]をクリックします。
データを書き出す場合は書き出す方法を指定します。
- 5 [読み込む]または[書き出す]をクリックします。

補足

- 既存のアクセス権データとの差分を読み込みます。
- CSV ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みが中止されます。途中まで読み込まれた内容はガルーンに反映されません。

4.10 タイムカード

4.10.1 タイムカードの機能を設定する

タイムカードの「一般設定」画面で、次の設定を変更できます。

- タイムカードの自動打刻を利用する:
ユーザーの出勤時刻と退社時刻を自動的に記録します。
 - 出勤:ユーザーがガールーンにその日最初にアクセスした時刻
 - 退社:ユーザーがガールーンにその日最後にアクセスした時刻
- 集計の開始日:
月度が始まる日を設定します。
- 月度の表示:
集計開始日の月と、設定した値を加算した月が、月度になります。
月度の表示と、集計の開始日の例:
 - タイムカードの設定:
 - 月度の表示:1
 - 集計の開始日:15 日
 - ユーザーの「タイムカード」画面の表示:
 - ユーザーがガールーンにアクセスした日:7 月 20 日
 - 月度:08 月度
 - 日付:07/15 から 08/14
- 外出/復帰の最大数:
1 日のうちで外出または復帰できる回数の上限を設定します。
「外出/復帰の最大数」を enable すると、ユーザーの「タイムカード」画面に[外出]と[復帰]が表示されます
ユーザーが[外出]または[復帰]をクリックした時刻が、外出時刻または復帰時刻として記録されます。
- 日付が変わる時刻:
設定した時刻を過ぎると、次の日のタイムカードに変わります。
- ユーザーに時刻の修正を許可する:
許可しない設定にした場合は、ユーザーの「時刻の修正」画面の、次の項目は表示されません。
 - 出勤/退社
 - 外出/復帰

補足

- アプリケーション管理者は、「ユーザーに時刻の修正を許可する」の設定に関係なく時刻を修正できます。
- タイムカードの時刻は、各ユーザーのロケールの設定で指定している時刻の形式で表示されます。
- タイムカードの設定で使用する日時には、ユーザーが設定している拠点のタイムゾーンが適用されます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [タイムカード]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 設定を変更します。

5 [設定する]をクリックします。

4.10.2 タイムカードを修正する

タイムカードに打刻された時間や備考を修正できます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [タイムカード]をクリックします。
- 3 [タイムカード一覧]をクリックします。
- 4 変更するタイムカードを所有するユーザーを選択します。
- 5 修正するタイムカードを選択します。
- 6 「備考および修正」欄のアイコンをクリックします。
- 7 タイムカードを修正します。
- 8 [修正する]をクリックします。

4.10.3 タイムカードを印刷する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [タイムカード]をクリックします。
- 3 [タイムカード一覧]をクリックします。
- 4 印刷するタイムカードを所有するユーザーを選択します。
- 5 印刷するタイムカードの月度を選択します。
- 6 [印刷用画面]をクリックします。
- 7 必要な項目を設定し、[印刷する]をクリックします。
- 8 タイムカードを印刷します。

4.10.4 タイムカードデータをCSVファイルに書き出す

複数のユーザーのデータを書き出す

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [タイムカード]をクリックします。
- 3 [タイムカードの書き出し]をクリックします。
- 4 データを書き出すタイムカードを所有するユーザーを選択します。

- 5 [次へ >>]をクリックします。
- 6 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 7 ファイルを保存します。

月ごとにデータを書き出す

指定したユーザーのタイムカードのデータを、月ごとに CSV ファイルに書き出せます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [タイムカード]をクリックします。
- 3 [タイムカード一覧]をクリックします。
- 4 データを書き出すタイムカードを所有するユーザーを選択します。
- 5 ユーザーのタイムカードの月度を選択します。
- 6 [CSV ファイルへ書き出す]をクリックします。
- 7 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 8 ファイルを保存します。

4.11 アドレス帳

社員や取引先の担当者などのアドレス情報をブックに登録し、アドレス帳として使用します。ガルーンには次のブックがあります。

My アドレスグループ

ユーザーが、各ブックに登録されたアドレス情報をグループ化したグループです。

ユーザー名簿

ガルーンに登録されているユーザー情報です。

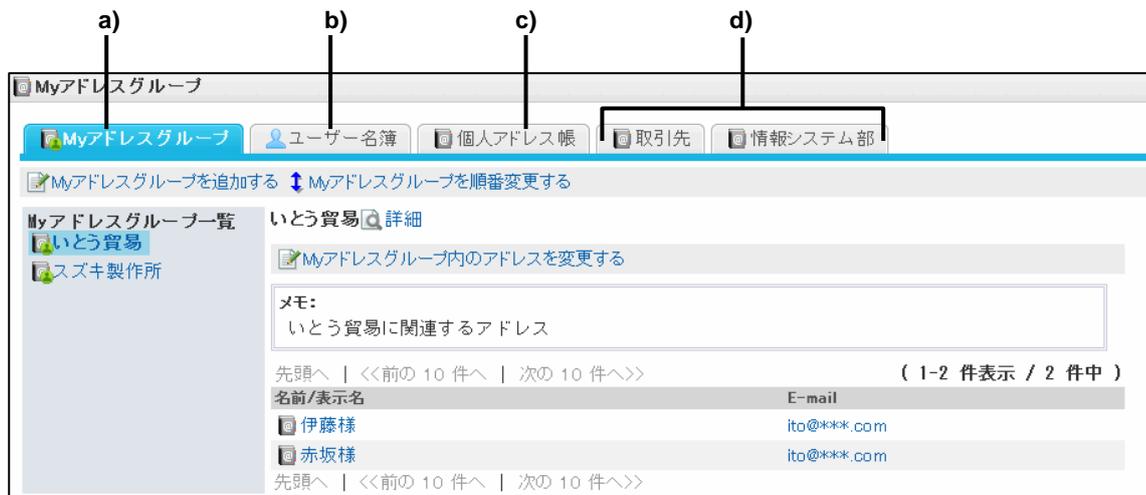
共有アドレス帳

クライアント名簿や関連企業の名簿など、ユーザーが共通して使用するアドレス帳です。アプリケーション管理者が作成します。複数のブックを追加できます。

個人アドレス帳

ユーザー個人が使用するアドレス帳です。ほかのユーザーとは共有できません。

アドレス帳の例：



- a): My アドレスグループ
- b): ユーザー名簿
- c): 個人アドレス帳
- d): 共有アドレス帳

アドレス帳は、次の順番で設定します。

1. 必要に応じて、共有アドレス帳(ブック)を追加する
2. アドレス帳の項目を設定する
3. アドレス帳の使用権限を設定する
4. 共有アドレス帳のアクセス権を設定する
5. 共有アドレス帳の運用管理を行うユーザー(運用管理者)を設定する

補足

- ブックを登録していない場合は、次のメニューは表示されません。
 - 運用管理権限の設定
 - アクセス権の設定
 - CSV ファイルからの読み込み
 - CSV ファイルへの書き出し
- 共有アドレス帳を登録していない場合は、次のメニューは表示されません。
 - アクセス権の設定
 - 共有アドレス帳の読み込み
 - 共有アドレス帳の書き出し
- 使用権限を設定すると、アドレス帳を使用するユーザーを指定できます。

4.11.1 ブックを管理する

ブックを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [ブック一覧]をクリックします。
- 4 [ブックを作成する]をクリックします。
- 5 ブックを設定します。
- 6 [追加する]をクリックします。

補足

- ブックコードは固有である必要があります。
- 次の文字を、ブックコードに使用できます。
 - 英数字
- [表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でブック名を追加できます。

ブックを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [ブック一覧]をクリックします。
- 4 ブックを選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 ブックの設定を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

補足

- 組み込み項目の次の項目は編集できません。
 - 項目名
 - 項目コード

ブックの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [ブック一覧]をクリックします。
- 4 [ブックを順番変更する]をクリックします。
- 5 ブックの表示順を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

ブックを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [ブック一覧]をクリックします。
- 4 ブックを選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

注意

- ブックを削除すると、ブックに登録したアドレスも削除されます。削除された情報は元に戻せません。

4.11.2 アドレス情報を管理する

アドレス情報の項目を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [項目の設定]をクリックします。
- 4 個人アドレス帳、またはほかのブックを選択します。
- 5 [カスタマイズ項目を追加する]をクリックします。

6 アドレス帳のカスタマイズ項目を設定します。

7 [追加する]をクリックします。

補足

- 項目コードは固有である必要があります。
- 項目コードに英数字を使用できます。
- ユーザー画面でアドレス帳の項目を使用するためには、次の項目を有効にする必要があります。
 - 「使用する」
 - 「一覧表示」

アドレス情報の項目の機能を設定する

アドレス情報の「項目一覧」画面で、次の機能を設定できます。

- 使用する:
チェックを入れた項目はアドレス帳で使用できます。
- 一覧表示:
チェックを入れると、ユーザー画面でアドレスを一覧表示したときに項目が表示されます。
- 必須項目:
チェックを入れると、アドレス情報の必須項目になります。
- ユーザー変更不可:
チェックを入れた項目は、ユーザーが個人設定で変更できません。

補足

- 変更できない項目はチェックボックスが表示されません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [項目の設定]をクリックします。
- 4 個人アドレス帳、またはほかのブックを選択します。
- 5 設定を変更する項目にチェックを入れます。
- 6 [変更する]をクリックします。

アドレス情報の項目を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [項目の設定]をクリックします。
- 4 個人アドレス帳、またはほかのブックを選択します。
- 5 項目名を選択します。

- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 カスタマイズ項目の設定を変更します。
- 8 変更する]をクリックします。

補足

- 組み込み項目の次の項目は編集できません:
 - 項目名
 - 項目コード

アドレス情報の項目の表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [項目の設定]をクリックします。
- 4 個人アドレス帳、またはほかのブックを選択します。
- 5 [カスタマイズ項目を順番変更する]をクリックします。
- 6 アドレス情報の項目の表示順を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

補足

- 組み込み項目の表示順は変更できません。

アドレス情報の項目を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [項目の設定]をクリックします。
- 4 個人アドレス帳、またはほかのブックを選択します。
- 5 カスタマイズ項目の項目名を選択します。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 組み込み項目は削除できません。

4.11.3 アドレス帳の権限を管理する

アドレス帳の使用権限を設定する

共有アドレス帳と個人アドレス帳の使用を許可または禁止する組織、ユーザー、またはロールを設定します。次の設定は有効です。

セキュリティモデルが「GRANT(許可の対象を選択する)」の場合:

- 共有アドレス帳のみ:
 - 権限を設定された組織、ユーザーおよびロールだけが共有アドレス帳を使用できます。
 - すべてのユーザーは個人アドレス帳を使用できません。
- 個人アドレス帳のみ:
 - 権限を設定された組織、ユーザーおよびロールだけが個人アドレス帳を使用できます。
 - すべてのユーザーは共有アドレス帳を使用できません。
- すべて使用可:
 - 権限を設定された組織、ユーザーおよびロールは、共有アドレス帳と個人アドレス帳のどちらも使用できます。

セキュリティモデルが「REVOKE(制限の対象を選択する)」の場合:

- 共有アドレス帳のみ:
 - 権限を設定された組織、ユーザーおよびロールは共有アドレス帳を使用できません。
 - すべてのユーザーは個人アドレス帳を使用できます。
- 個人アドレス帳のみ:
 - 権限を設定された組織、ユーザーおよびロールは個人アドレス帳を使用できません。
 - すべてのユーザーは共有アドレス帳を使用できます。
- 使用不可:
 - 権限を設定された組織、ユーザーおよびロールは、共有アドレス帳と個人アドレス帳のどちらも使用できません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [使用権限の設定]をクリックします。
- 4 [追加する]をクリックします。
- 5 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 6 追加する状態を選択します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- 手順3の後に表示される「使用権限の設定」画面で、権限の設定を削除できます。
- 手順3の後に表示される「使用権限の設定」画面で、使用権限の[変更]をクリックすると、権限を変更できます。

共有アドレス帳の運用管理権限を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [運用管理権限の設定]をクリックします。
- 4 運用管理権限を設定するブックを選択します。
- 5 [追加する]をクリックします。
- 6 組織、ユーザーまたはロールを選択し、共有アドレス帳の運用管理者を設定します。

補足

- 運用管理権限が与えられたユーザーの「アドレス帳」画面に、アドレス帳を管理するためのメニューが表示されます。
- 共有アドレス帳を登録していない場合は、「運用管理権限の設定」はメニューに表示されません。
- 手順4の後に表示される「運用管理権限の一覧」画面で、権限を削除できます。

共有アドレス帳のアクセス権を設定する

組織、ユーザー、またはロールごとに、次の権限を設定できます。

- 閲覧権限
- 編集権限

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [アクセス権の設定]をクリックします。
- 4 アクセス権を設定するブックを選択します。
- 5 [追加する]をクリックします。
- 6 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 7 追加する状態を選択します。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 手順4の後に表示される「アクセス権一覧」画面で、権限の設定を削除できます。
- 手順4の後に表示される「アクセス権一覧」画面で、アクセス権の[変更]をクリックすると、権限を変更できます。

4.11.4 アドレス帳をファイルで管理する

次のデータを CSV ファイルで管理できます。

- 共有アドレス帳
- アクセス権

データを CSV ファイルから読み込む

選択したブック以外のデータが CSV ファイルに記述されていた場合は、選択したブックに対するデータだけ読み込みます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込むデータを選択します。
- 5 読み込む方法を選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 6 CSV ファイルの内容を確認し、[読み込む]をクリックします。

補足

- CSV ファイルに既存のアドレスが記述されている場合は、読み込んだアドレスが追加されます。
- CSV ファイルからアクセス権データを読み込む場合、既存のアクセス権データとの差分が読み込まれます。
- CSV ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みが中止されます。途中まで読み込まれた内容は反映されません。

データを CSV ファイルに書き出す

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [アドレス帳]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出すデータを選択します。
- 5 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 6 ファイルを保存します。

4.12 メール

次の順番でメールを設定します。

1. メールの機能を設定する
2. メールサーバーを設定する
3. ユーザーアカウントを設定する
4. メールサイズの制限を設定する
5. ユーザーの権限を設定する

メールサーバーについて

ガルーンは、メールサーバー機能を持っていません。E-mail の送受信を行う場合は、別途メールサーバーが必要です。

ガルーンが対応しているメールサーバーは、次のとおりです。

- SMTP/POP3
- IMAP4
- APOP で認証を行っているメールサーバー
- POP before SMTP で認証を行っているメールサーバー
- SMTP Authentication で認証を行っているメールサーバー
- POP3 over SSL で認証を行っているメールサーバー
- SMTP over SSL で認証を行っているメールサーバー
- IMAP4 over SSL で認証を行っているメールサーバー

補足

- 送受信したメールの内容は、ガルーンに保存されます。

対応している文字コードについて

ガルーンのメール機能が対応している文字コードは次のとおりです：

- ユニコード (UTF-8)
- 日本語 (シフト JIS)
- 日本語 (JIS)
- 日本語 (EUC)
- 英語 (ASCII)
- 西ヨーロッパ言語 (ISO-8859-1)
- 簡体字中国語 (GB2312)
- タイ語 (TIS-620)

4.12.1 メールの機能を設定する

メールの「一般設定」画面で、次の機能を設定できます。

- メールクライアント機能の停止：
メールクライアント機能を使用する場合は、「設定しない」を選択します。メールクライアント機能を停止すると、次の操作ができません。
- メールを送受信

- 新着メールのチェック
- ログイン時の新着メールチェック:
ユーザーがガルーンにログインしたときに、そのユーザーの新着メールを確認するかどうかを選択します。
- メールの自動受信:
メールの自動受信は、ユーザーのメール画面で、最初に表示されるメールアカウントのみに対して実行されます。繰り返し時間を設定して、一般設定の設定を変更した時刻から何時間ごとにメールを受信するかを設定します。深夜など、アクセスの少ない時間帯にメールを受信して、アクセスの多い出社時などのシステムの負荷を低くします。
メールの自動受信には、自動受信を設定した管理者のタイムゾーンが適用されます。管理者がサマータイムを設定しているタイムゾーンを使用している場合は、サマータイムの時刻でメールが自動受信されます。

注意

- メール自動受信中は、ガルーンの負荷が高くなります。ユーザーがガルーンを使用する時間帯を考慮して自動受信を設定します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 設定を変更します。
- 5 [設定する]をクリックします。

補足

- メール振り分けや通知などの設定は、自動的に受信したメールに対しても有効です。
- 受信メールのサイズ制限を超えるメールは受信されません。
- 指定時間と繰り返し時間の両方を設定できます。

4.12.2 メールサーバーを管理する

メールサーバーを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [メールサーバーの設定]をクリックします。
- 4 [メールサーバーを追加する]をクリックします。
- 5 メールサーバーを設定します。
- 6 追加する]をクリックします。

補足

- POP3 over SSL または SMTP over SSL を使用する場合は、「メールサーバーとの通信に SSL を使用する」にチェックを入れます。

- Windows 環境で SSL を使用する場合は、弊社の Web サイトで制限事項を確認してください。
<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/4139>
- SSL を使用して LDAPS サーバーに接続する場合は、ガルーンの設定を変更する必要があります。詳細は弊社の Web サイトを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/sslsetup.html>

IMAP サーバーを使用する場合の注意

- IMAP サーバーでメールを取得すると、INBOX フォルダの未読メールのみが取得されます。
- 受信メールサーバーにメールを残す設定にする必要があります。
受信メールサーバーにメールを残さない設定でメールを受信すると、メールサーバーからメールが削除されます。ほかのメールクライアントを併用している場合は、注意してください。

メールサーバーを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [メールサーバーの設定]をクリックします。
- 4 メールサーバーを選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。
- 6 メールサーバーの設定を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

メールサーバーの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [メールサーバーの設定]をクリックします。
- 4 [メールサーバーを順番変更する]をクリックします。
- 5 メールサーバーの表示順を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

メールサーバーを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [メールサーバーの設定]をクリックします。
- 4 メールサーバーを選択します。

- 5 [削除する] をクリックします。
- 6 [はい] をクリックします。

補足

- 手順4で[全メールサーバーを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、すべてのメールサーバーが削除されます。

4.12.3 アカウントを管理する

ユーザーアカウントを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理] をクリックします。
- 2 [メール] をクリックします。
- 3 [ユーザーアカウント] をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 アカウントを追加するユーザーを選択します。
- 6 [ユーザーアカウントを追加する] をクリックします。
- 7 ユーザーアカウントを設定します。
- 8 [追加する] をクリックします。

補足

- ユーザーアカウントコードは固有である必要があります。

ユーザーアカウントを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理] をクリックします。
- 2 [メール] をクリックします。
- 3 [ユーザーアカウント] をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 ユーザーを選択します。
- 6 ユーザーアカウントを選択します。
- 7 [変更する] をクリックします。
- 8 ユーザーアカウントの設定を変更します。
- 9 [変更する] をクリックします。

ユーザーアカウントの表示順を変更する

1 番目に記述されているユーザーアカウントが標準のメールアドレスになります。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [ユーザーアカウント]をクリックします。
- 4 組織を選択します。
- 5 ユーザーを選択します。
- 6 [ユーザーアカウントを順番変更する]をクリックします。
- 7 ユーザーアカウントの表示順を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

補足

- ユーザーは個人設定で、ユーザーアカウントの表示順を変更できます。

ユーザーアカウントの使用を停止する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [ユーザーアカウント]をクリックします。
- 4 アカウントを停止するユーザーが所属する組織を選択します。
- 5 アカウントを停止するユーザーを選択します。
- 6 停止するユーザーアカウントを選択します。
- 7 [使用停止する]をクリックします。
- 8 [はい]をクリックします。

補足

- 使用停止中のユーザーアカウントは、「ユーザーアカウント一覧」画面で、グレーで表示されます。
- 停止しているユーザーアカウントを再開する場合は、[使用再開する]をクリックします。

ユーザーアカウントを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [ユーザーアカウント]をクリックします。

- 4 組織を選択します。
- 5 アカウントを削除するユーザーを選択します。
- 6 削除するユーザーアカウントを選択します。
- 7 [削除する]をクリックします。
- 8 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 4 で[全ユーザーアカウントを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、すべてのユーザーアカウントが削除されます。
- 「アカウントのすべてのメールデータも削除する」を選択してアカウントを削除すると、メールデータも同時に削除できます。
- 削除したユーザーアカウントにメールデータが残っている場合は、アカウント一覧画面でユーザーアカウントが赤く表示されます。

4.12.4 メールの制限値を設定する

1 ユーザーが保存できる総メールサイズを設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [メールサイズの制限]をクリックします。
- 4 「1 ユーザーあたりの保存できるメールの総サイズ」から制限値を選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。

注意

- 「メールサイズの制限」を設定すると、ユーザーごとのメールサイズの制限の設定は初期化されます。

ユーザーごとにメールサイズの制限を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [ユーザーのメールサイズの設定]をクリックします。
- 4 ユーザーの[変更]をクリックします。
- 5 制限値を設定します。
- 6 [変更する]をクリックします。

注意

- 「メールサイズの制限」を設定すると、ユーザーごとのメールサイズの制限の設定は初期化されます。

補足

- 複数のメールアドレスが設定されているユーザーは、「ユーザーのメールサイズの設定」画面にメールアドレスの合計サイズが表示されます。

送受信メールのサイズ制限を設定する

サイズが大きいメールを送受信すると、メールサーバーとの通信処理に大きな負荷がかかり、システムのパフォーマンスが低下する恐れがあります。

受信メールや送信メールのサイズを制限して、メールの送受信によるパフォーマンスの低下を防止します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [メールサイズの制限]をクリックします。
- 4 制限値を選択します。
- 5 [変更する]をクリックします。

補足

- サイズ制限を超えたメールは、送受信できません。
- 設定したサイズ以上のメールをユーザーが受信した場合、そのユーザーの「メール」画面にメールを受信できなかったことを示すメッセージが表示されます。
- メールサイズの制限が原因でメールを受信できなかったユーザーに対する、次のどちらかの処理が推奨されます。
 - 受信できなかったメールをほかのメールソフトで受信する
 - 受信できなかったメールを削除する

4.12.5 ユーザーの権限を設定する

「ユーザーの権限」画面で、次の機能を設定できます。

- メールアカウントの変更:
メールアドレスを変更を許可するかどうかを設定します。
- 受信メールサーバーにメールを残す:
受信メールサーバーにメールを残すかどうかを設定します。
- 新着メールチェック機能:
「ポートレットの設定(新着メール情報)」画面で「新着メールチェック」の項目の使用を許可するかどうかを設定します。
- 一括メール受信機能:
複数のメールアドレスのメールを一度に受信することを許可するかどうかを設定します。
- HTML メール送信機能:
メール作成時に、「書式編集」の選択を許可するかどうかを設定します。
- 開封確認機能:
開封確認メールの送信を許可するかどうかを設定します。
- ステータス管理機能:
メールのステータス機能の利用を許可するかどうかを設定します。

- 送受信記録機能:
送受信記録機能の利用を許可するかどうかを設定します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [ユーザーの権限]をクリックします。
- 4 メールサイズの制限値を設定します。
- 5 [変更する]をクリックします。

4.12.6 メールをファイルで管理する

次のデータを CSV ファイルで管理できます。

- メールサーバー
- ユーザーアカウント
- メールサイズ制限値

データを CSV ファイルから読み込む

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込むデータを選択します。
- 5 読み込む方法を選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 6 CSV ファイルの内容を確認し、[読み込む]をクリックします。

補足

- ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合は、読み込みが中止され、途中まで読み込まれた内容は反映されません。

データを CSV ファイルへ書き出す

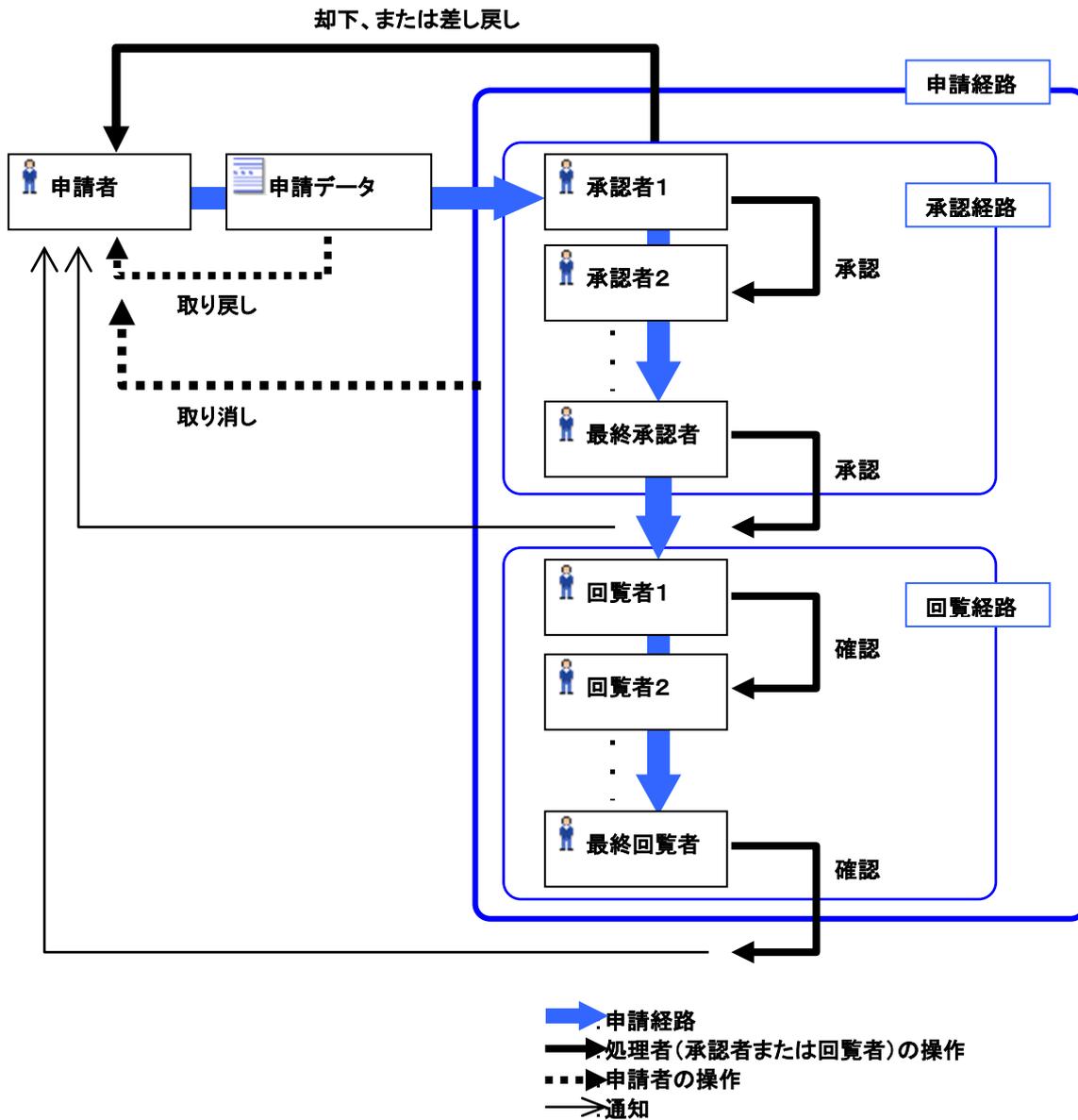
操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [メール]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出すデータを選択します。
- 5 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。

6 ファイルを保存します。

4.13 ワークフロー

ワークフローは、申請や承認など業務に必要な決裁や回覧を、Web ブラウザー上で行うアプリケーションです。申請は次の流れで処理されます。



4章 各アプリケーションの管理

ワークフローでは、次の用語を使用します。

用語一覧：

用語	説明
申請者	申請を行うユーザーです。
処理者	申請を処理するユーザーです。承認、却下、差し戻し、または確認を行います。
最終承認者	承認経路の最後の経路ステップに設定された処理者です。最終的に承認します。
最終閲覧者	閲覧経路の最後の経路ステップに設定された処理者です。最終的に確認します。
代理人	代理申請者と代理承認者の総称です。
代理申請者	委任者の代わりに、申請を行うユーザーです。
代理承認者	委任者の代わりに、申請を処理するユーザーです。
委任者	代理人に申請や承認を委任した、本来の申請者または承認者です。
申請フォーム	申請の内容を入力する様式です。
申請データ	申請の内容を記述したデータです。1回の申請で、1件の申請データを作成します。
状況	申請の処理状況です。申請者や処理者の処理によって変化します。
申請経路	申請を、承認または閲覧する順路の総称です。経路と呼ぶこともあります。承認経路や閲覧経路で構成されています。
承認経路	承認の順路です。1つ以上の経路ステップで構成されています。
閲覧経路	閲覧の順路です。1つ以上の経路ステップで構成されています。
経路ステップ	承認や閲覧を行う工程です。経路ステップに設定された処理者が、承認や閲覧を行います。
経路種別	次の経路ステップに進む場合の条件を表します。経路種別には、「閲覧」、「承認(全員)」および「承認(誰か1人)」があります。 ・「 閲覧 」および「 承認(全員) 」: 同じ経路ステップの処理者が、全員承認または確認すると、次の経路ステップに申請が進みます。 ・「 承認(誰か1人) 」: 同じ経路ステップの処理者のうち、誰か1人が承認すると、次の経路ステップに申請が進みます。承認しなかったほかの処理者は、確認のみ行います。
取り戻し	申請者が、申請を一時的に取り下げをいいます。処理者が誰も処理していない場合だけ、取り戻しができます。
取り消し	申請者が、申請を撤回することをいいます。申請を取り消した時点で、処理が終了します。最終承認者が承認していない場合だけ、取り消せます。

ワークフローは、次の順番で設定します。

1. ワークフローを利用するユーザーを登録する
2. ワークフローの機能を設定する
3. カテゴリーを作成する
4. カテゴリーに対するアクセス権を設定する
5. 運用管理権限を設定する
6. 共有経路を作成する
7. 申請フォームを作成し、ユーザーに公開する

補足

- 試用期間中は、次のメニューは表示されません。
 - 利用ユーザーの設定
 - 「CSV ファイルからの読み込み」画面の、利用ユーザーの読み込み
 - 「CSV ファイルへの書き出し」画面の、利用ユーザーの書き出し

- ガルーンをバージョン 2.1.0 以前から 2.1.0 以降にバージョンアップした場合、ワークフローは使用停止に設定されています。ワークフローを使用する前に、アプリケーションを使用可能にする必要があります。
「アプリケーションの使用を開始または停止する」 - 23 ページ

4.13.1 ワークフローの利用ユーザーを管理する

ワークフローを使用できるユーザーを指定します。

初期設定では、すべてのユーザーがワークフローを使用できます。

補足

- 有効なライセンスを登録すると、メニューに「利用ユーザーの設定」が表示されます。

利用ユーザーを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [利用ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 [追加する]をクリックします。
- 5 ワークフローの使用を許可するユーザーを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。

利用ユーザーを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [利用ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 削除する利用ユーザーにチェックを入れます。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 4 で[すべて削除]をクリックし、[はい]をクリックすると、すべての利用ユーザーが削除されます。

4.13.2 ワークフローの機能を設定する

ワークフローの「一般設定」画面で、次の機能を設定できます。

申請番号の年次切替

申請番号を初期化する日時を選択します。

申請フォームごとの申請番号を使用する場合は、付加する申請番号を1年ごとに初期化できます。

「申請番号の年次切替」のドロップダウンリストに表示される日時には、「一般設定」画面を表示している管理者のタイムゾーンが適用されます。管理者がサマータイムを設定しているタイムゾーンを使用している場合は、サマータイムの日時が適用されます。

年次切替の設定を無効にする場合は、「-- 月」「-- 日」「-- 時」「-- 分」を選択します。

申請番号の書式に日付(%YYYY%、%YY%、%MM%、および%DD%)を使用している場合、ロケールの初期値に設定されているタイムゾーンで日付が変わります。

ロケールの初期値の設定については、次のページを参照してください。

「3.13.1 ローカライズの機能を設定する」 - 68 ページ

差し戻しの使用許可

処理者に申請の差し戻しを許可します。

申請者の経路変更の許可

申請者に、申請の経路変更を許可します。

運用管理者の経路変更の許可

運用管理者に、申請の経路変更を許可するかどうかを選択します。

システム管理者の経路変更の許可

システム管理者に、申請の経路変更を許可するかどうかを選択します。

承認予定の使用許可

ユーザー画面で承認予定一覧を閲覧できるようにするかどうかを選択します。

補足

- 「許可する」を設定すると、ユーザーは「ワークフロー(承認予定一覧)」画面で、自分がまだ処理していない申請の進行状況を確認できます。
- ユーザーが回覧経路の処理者としてのみ設定されている場合、その申請の進行状況は、承認予定一覧には表示されません。

代理申請の許可

ユーザーの代理人による申請を許可するかどうかを選択します。

代理承認の許可

ユーザーの代理人による承認を許可するかどうかを選択します。

ユーザーによる代理人設定の許可

ユーザーが自分の代理人を設定できるようにするかどうかを選択します。

メール通知の使用許可

ユーザー画面の最新一覧に表示される内容を、ユーザーがメールで受信できるようにするかどうかを選択します。

メール通知を使用する場合は、通知に記述するリンク先の URL を指定できます。

補足

- メール通知を使用するためには、システムメールアカウントを設定する必要があります。
「3.12.1 システムメールアカウントを設定する」 - 67 ページ

自動書き出しの文字コード

最終的に承認された申請を、自動的に CSV ファイルに書き出すときの文字コードを指定します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 必要な項目を設定します。

4.13.3 申請フォームを作成する

申請フォームは、次の順番で作成します。

- STEP 1. 申請フォームを追加する
- STEP 2. 管理者用メモを変更する
- STEP 3. 申請フォームに項目を追加する
- STEP 4. 申請フォームの表示を確認する
- STEP 5. 申請経路を設定する
- STEP 6. 承認経路に経路ステップを追加する
- STEP 7. 承認経路に対する初期値を設定する
- STEP 8. 回覧経路に経路ステップを追加する
- STEP 9. 回覧経路に対する初期値を設定する
- STEP 10. 申請フォームの申請経路を確認する
- STEP 11. 申請フォームを有効にする

STEP1 申請フォームを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [申請フォームを追加する]をクリックします。
- 6 申請フォームの情報を入力します。
- 7 [追加する]をクリックします

補足

- 申請フォームコードは固有である必要があります。
- カテゴリーについては、次のページを参照してください。
「カテゴリーを追加する」 - 171 ページ
- 「申請データの自動書き出し」の「自動的に書き出す」にチェックを入れると、最終承認後の申請データを1件ずつ自動的に書き出せます。
申請データの自動書き出しの詳細は、次のページを参照してください。
「申請データを自動的に書き出す」 - 194 ページ

STEP2 管理者用メモを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「管理者用メモ」の[変更する]をクリックします。
- 7 申請フォームに関するメモを記述します。
- 8 [変更する]をクリックします。

補足

- 管理者用メモは、「申請フォームの詳細」画面のみに表示されます。

STEP3 申請フォームに項目を追加する

操作手順:

- 1 「申請フォームの詳細」画面で、「申請フォームの項目一覧」の[項目を追加する]をクリックします。
- 2 申請フォームの項目の情報を入力します。
- 3 [追加する]をクリックします。

補足

- 申請フォームの項目については、次のページを参照してください。
「申請フォームの項目一覧」 - 169 ページ

STEP4 申請フォームの表示を確認する

操作手順:

- 1 「申請フォームの詳細」画面で、「申請フォームの項目一覧」の[申請フォームのプレビュー]をクリックします。
- 2 組織を選択します。
- 3 表示を確認するユーザーを選択します。
- 4 申請フォームのプレビュー画面を確認します。
- 5 [閉じる]をクリックして、プレビュー画面を閉じます。

6 [申請フォームの詳細へ]をクリックします。

STEP5 申請経路を設定する

次のどちらかの申請経路を設定します。

- 専用経路:
申請フォームごとに設定する専用の申請経路です。
- 共有経路:
複数の申請フォームで共有する申請経路です。

専用経路を設定する

操作手順:

- 1 「申請フォームの詳細」画面で、「経路情報」の[専用経路を設定する]をクリックします。
- 2 経路の情報を入力します。
- 3 [設定する]をクリックします。

共有経路を設定する

操作手順:

- 1 「申請フォームの詳細」画面で、「経路情報」の[共有経路を設定する]をクリックします。
- 2 共有経路を選択します。
- 3 [適用する]をクリックします。
- 4 STEP10に進みます。

補足

- 経路コードは固有である必要があります。
- 共有経路の作成、変更および削除については、次のページを参照してください。
「4.13.6 経路を管理する」 - 180 ページ
- 専用経路は共有経路に変更できます。
「専用経路を共有経路に変更する」 - 184 ページ

STEP6 承認経路に経路ステップを追加する

操作手順:

- 1 「申請フォームの詳細」画面で、「承認経路」の[追加する]をクリックします。
- 2 経路ステップの情報を入力します。
- 3 [追加する]をクリックします。

補足

- 1つの経路ステップに、複数の承認者を設定できます。
- 処理者に経路変更を許可する場合は、「経路変更の許可」の「許可する」にチェックを入れます。
- 経路種別に「承認(全員)」を設定した場合、承認者の誰かひとりが差し戻すか却下すると、その時点で申請は差し戻されるか却下されます。

STEP7 承認経路のステップに初期値として処理者を設定する

承認経路の経路ステップに、デフォルトの処理者を設定します。

- 1 「申請フォームの詳細」画面で、「承認経路」の経路ステップを選択します。
- 2 [初期値を設定する]をクリックします。
- 3 [追加する]をクリックします。
- 4 初期値として設定する組織、ユーザー、またはロールを選択します。
- 5 [↓追加]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 [経路ステップの詳細へ]をクリックします。

補足

- 「初期値の設定」画面で使用できる機能については、次のページを参照してください。
「初期値の設定」画面で使用できる機能 - 182 ページ

STEP8 回覧経路に経路ステップを追加する

操作手順:

- 1 「申請フォームの詳細」画面で、「回覧経路」の[追加する]をクリックします。
- 2 経路ステップの情報を入力します。
- 3 [追加する]をクリックします。

補足

- 1つの経路ステップに、複数の処理者を設定できます。
- 経路変更を許可すると、処理者に設定されたユーザーは、経路ステップの処理者を変更できます。

STEP9 回覧経路のステップに初期値として処理者を設定する

回覧経路の経路ステップに、デフォルトの処理者を設定します。

操作手順:

- 1 「申請フォームの詳細」画面で、「回覧経路」の経路ステップを選択します。
- 2 [初期値を設定する]をクリックします。
- 3 [追加する]をクリックします。
- 4 初期値として設定する組織、ユーザー、またはロールを選択します。
- 5 [↓追加]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 [経路ステップの詳細へ]をクリックします。

補足

- 「初期値の設定」画面で使用できる機能については、次のページを参照してください。
「初期値の設定」画面で使用できる機能 - 182 ページ

STEP10 申請フォームの申請経路をプレビューする

操作手順:

- 1 「申請フォームの詳細」画面で、「経路情報」の[経路のプレビュー]をクリックします。
- 2 組織を選択します。
- 3 表示を確認するユーザーを選択します。
- 4 申請経路のプレビュー画面を確認します。
- 5 [閉じる]をクリックして、プレビュー画面を閉じます。
- 6 [申請フォームの詳細へ]をクリックします。

補足

- 手順3で選択したユーザーが所属する組織やロールによって、そのユーザーが選択できる処理者が正しく表示されるかどうかを確認できます。

STEP11 申請フォームを有効にする

- 1 「申請フォームの詳細」画面で、「申請フォーム情報」の[有効にする]をクリックします。

補足

- 経路が設定されていない場合、申請フォームを有効にできません。
- 申請フォームを有効にしないと、ユーザーは、申請フォームを使用できません。
- 申請フォームを編集する場合は、申請フォームを無効にしてから編集することを推奨します。
- 申請フォームを無効にする場合は、[無効にする]をクリックします。

申請フォームの項目一覧

申請フォームには、次の項目を追加できます。

文字列(1行)

改行できない入力欄です。入力幅や最大入力文字数、全角か半角の文字制限などを設定できます。

文字列(複数行)

改行できる入力欄です。入力欄の桁や行などを設定できます。

メニュー

ドロップダウンリストで項目を選択します。メニューで選択する項目や初期値などを設定できます。

ラジオボタン

複数のラジオボタンから1つ選択します。ラジオボタンで選択する項目や初期値などを設定できます。「ラジオボタン」は、経路分岐の条件として使用できます。

チェックボックス

チェックボックスで選択する項目や初期値などを設定できます。

4章 各アプリケーションの管理

「チェックボックス」は、経路分岐の条件として使用できます。

数値

数値のみの入力欄です。

入力する数値の最大や最小、小数点以下の有効な桁数、マイナス値の表示方法などを設定できます。

「数値」は、「自動計算」の対象や経路分岐の条件として使用できます。

自動計算

この項目より上に表示されている項目の値を、自動的に計算します。

小数点以下の有効な桁数やマイナス値の表示方法、計算方法などを設定できます。

自動計算の対象に「数値」「自動計算」「路線ナビ連携」の運賃を使用できます。

「自動計算」は、経路分岐の条件として使用できます。

日付

日付を選択します。初期値や項目の説明などを設定できます。

ファイル添付

申請フォームにファイルを添付します。添付できる最大のファイル数や画像の表示方法などを設定できます。

路線ナビ連携

路線ナビ連携サービスの路線検索で得た情報を取り込む機能を利用し、経路や運賃を入力します。

路線ナビから取り込む項目を設定できます。運賃を「自動計算」の対象にできます。

このサービスは日本語のみの提供です。日本国内の路線が表示されます。

項目の設定例:

標題*	<input type="text" value="*"/>	
申請者	 高橋 健太	
主な理由	<input type="text"/>	a)
住所	<input type="text"/>	b)
申請区分	新規	c)
定期券の種類	<input type="radio"/> 1か月 <input type="radio"/> 2か月 <input type="radio"/> 3か月	d)
代替手段の有無	<input type="checkbox"/> ほかのルートを使用して通期できる。	e)
最寄駅までの所要時間	<input type="text"/> # 時間	f)
乗車時間	<input type="text"/> # 時間	
所要時間の合計	(** 自動計算 **) 時間	g)
開始年月日	2011年 11月 28(月)	h)
添付資料	<input type="button" value="選択する"/>	i)
乗車区間	<input type="text"/> # 円 <input data-bbox="837 1749 965 1771" type="button" value="←路線検索..."/>	j)

- a) : 文字列(1行)
- b) : 文字列(複数行)
- c) : メニュー
- d) : ラジオボタン
- e) : チェックボックス
- f) : 数値
- g) : 自動計算

- h) : 日付
- i) : ファイル添付
- j) : 路線ナビ連携

補足

- 「**標題**」の項目タイプの変更、順番の変更、および削除はできません。
- 申請者名は項目一覧には表示されません。
- 「書き出す項目にする」にチェックを入れると、申請データを CSV ファイルに自動的に書き出すとき、その項目の値が書き出されます。
- 「直前の項目に続けて右隣に配置する」で複数の項目を 1 行に配置した場合、次の制限があります。
 - 「項目名」と「説明」は先頭(左端)の項目のみ表示されます。
 - ユーザーが誤った値を入力し、エラーが発生した場合、エラーメッセージには左端の項目名が表示されます。
- 項目にアクセス権を設定できます。詳細は次のページを参照してください。
「申請フォームの項目にアクセス権を設定する」 - 178 ページ

4.13.4 申請フォーム一覧を管理する

カテゴリーを使用して申請フォームを整理します。カテゴリーごとにユーザーのアクセス権や運用管理権限を設定できます。

申請フォームの一覧はカテゴリーごとに表示されます。区切り線を追加すると、申請フォームの一覧が見やすくなります。

カテゴリーを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 親カテゴリーを選択します。
- 5 [カテゴリを追加する]をクリックします。
- 6 カテゴリーの情報を入力します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- カテゴリーコードは固有である必要があります。
- [表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でカテゴリー名を追加できます。

カテゴリーを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。

- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 カテゴリーの設定を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

カテゴリーを移動する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [移動する]をクリックします。
- 7 移動先のカテゴリーを選択します。
- 8 [移動する]をクリックします。

補足

- 「ルート」や「未分類」は移動できません。

カテゴリーを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 削除されたカテゴリーとそのサブカテゴリー内に含まれる申請フォームは、「未分類」に移動されます。「未分類」内の申請フォームや申請データは、アクセス権や運用管理権限を設定できません。
- カテゴリーを削除すると、そのカテゴリーに含まれるサブカテゴリーも削除されます。
- 「ルート」や「未分類」は削除できません。
- サブカテゴリーの階層が 15 個以上ある場合、親カテゴリーを削除できません。

申請フォーム一覧に区切り線を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [区切り線を追加する]をクリックします。
区切り線は申請フォームの末尾に追加されます。

申請フォーム一覧の区切り線を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 区切り線にチェックを入れる
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

申請フォームをコピーする

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームにチェックを入れる
- 6 [コピーする]をクリックします。
コピーした申請フォームは、申請フォーム一覧の末尾に追加されます。

補足

- 専用経路を使用した申請フォームをコピーすると、申請フォームは無効になります。

申請フォームを移動する

申請フォームをほかのカテゴリに移動します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「申請フォーム情報」の[移動する]をクリックします。
- 7 移動先のカテゴリを選択します。
- 8 [移動する]をクリックします。

サブカテゴリの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [サブカテゴリを順番変更する]をクリックします。
- 7 サブカテゴリの表示順を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

申請フォーム一覧の表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [申請フォーム/区切り線を順番変更する]をクリックします。
- 7 申請フォームや区切り線の表示順を変更します。

8 [変更する]をクリックします。

申請フォームを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「申請フォーム情報」の[削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 5 で[カテゴリ内の全申請フォームを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、選択しているカテゴリのすべての申請フォームが削除されます。
- 削除された申請フォームを使用している申請データは、申請フォームが削除される前のカテゴリに残ります。申請データ一覧では、削除された申請フォーム名の後に「削除」と表示されます。

4.13.5 申請フォームを編集する

申請フォーム情報を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「申請フォーム情報」の[変更する]をクリックします。
- 7 申請フォーム情報を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

申請フォームのアイコンを設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。

- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「申請フォーム情報」の[アイコンを設定する]をクリックします。
- 7 使用するアイコンを選択します。
- 8 [設定する]をクリックします。

申請フォームの申請番号を設定する

申請データには、申請された順に 1 から始まる連続した番号が付けられます。
申請番号の付け方は次のとおりです。

- 全申請フォームで共通の申請番号を使用する:
すべての申請フォームに共通して、ユーザーが申請した順に連続した番号が付きます。
- 申請フォームごとの申請番号を使用する:
申請するときに使用した申請フォームごとに、ユーザーが申請した順に番号が付きます。
- 申請番号を使用しない:
申請に番号が付きません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「申請フォーム情報」の[申請番号を設定する]をクリックします。
- 7 申請番号の形式と書式を指定します。
- 8 [設定する]をクリックします。

申請番号の書式

キーワードを使用して申請番号の書式を設定します。キーワードは半角で入力します。

- %SN%:
連番を設定します。
例:「A-%SN%」を設定した場合、申請番号は「A-1」、「A-2」などになります。
- %YYYY%:
西暦を 4 桁で設定します。
例:「%YYYY%-%SN%」を設定した場合、「2010-1」、「2010-2」などになります。
- %YY%:
西暦の下 2 桁を設定します。
例:「%YY%-%SN%」を設定した場合、「10-1」、「10-2」などになります。

- **%MM%**:
月を設定します。
例:「%YY%-**%MM%**-%SN%」を設定した場合、「10-7-1」、「10-7-2」などになります。
- **%DD%**:
日を設定します。
例:「%YY%**%MM%**%DD%-%SN%」を設定した場合、「100730-1」、「100730-2」などになります。

補足

- 「申請番号の年次切替」を設定している場合は、「%YYYY%」や「%YY%」に年度が設定されます。
- 申請番号の連番の最大値は 2147483647 です。最大値を超えると、申請番号は 1 からの連番になります。

申請フォームの申請番号を初期化する

「申請フォームの申請番号を設定する」で「申請フォームごとの申請番号を使用する」を設定している場合のみ初期化できます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「申請フォーム情報」の[初期化する]をクリックします。
- 7 新しい申請番号の最初の番号を指定します。
ガルーンは、ここで指定された番号の次の番号から、申請番号を設定します。
- 8 [初期化する]をクリックします。
- 9 [はい]をクリックします。

申請フォームに空行を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「申請フォームの項目一覧」の[空行を追加する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

空行は、申請フォームの項目一覧の末尾に追加されます。

申請フォーム項目の表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「申請フォームの項目一覧」の[順番変更する]をクリックします。
- 7 申請フォームの項目の表示順を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

申請フォームの項目にアクセス権を設定する

項目に対するアクセス権を、経路ステップごとに設定します。項目のアクセス権は、承認経路に対してのみ設定できます。

アクセス権が設定できる項目タイプは、次のとおりです。

- 文字列(1行)
- 文字列(複数行)
- 日付
- ファイル

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「申請フォームの項目一覧」の[項目にアクセス権を設定する]をクリックします。
- 7 アクセス権を設定する項目の[変更]をクリックします。
- 8 経路ステップごとに、設定する権限にチェックを入れます。
- 9 [変更する]をクリックします。

同じユーザーが複数のアクセス権の対象になる場合は、次のアクセス権が適用されます。

- **送信一覧:**
申請者のアクセス権
- **結果一覧:**
申請者のアクセス権
- **受信一覧:**
現在の経路までで、最も近い経路ステップのアクセス権

- **未処理一覧:**
現在の経路ステップのアクセス権
- **代理承認一覧:**
現在の経路ステップのアクセス権
- **承認予定一覧:**
所属する承認経路ステップの中で、最終承認に最も近い経路ステップのアクセス権

補足

- 必須項目が設定された「ファイル添付」項目にアクセス権を設定した場合、申請者か処理者が1つ以上のファイルを添付する必要があります。
- 公開一覧では、項目のアクセス権は適用されません。

申請フォームの項目を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 項目を選択します。
- 7 [変更する]をクリックします。
- 8 申請の項目の設定を変更します。
- 9 [変更する]をクリックします。

申請フォームの項目をコピーする

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 項目にチェックを入れる
- 7 [コピーする]をクリックします。
コピーした項目は、申請フォームの項目一覧の末尾に追加されます。

申請フォームの空行や項目を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 項目や空行にチェックを入れます。
- 7 [削除する]をクリックします。
- 8 [はい]をクリックします。

補足

- 手順6で「申請フォームの項目一覧」の[申請フォーム内の項目をすべて削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、申請フォームのすべての空行や項目が削除されます。
- 「標題」と申請者名は、削除できません。
- 「経路の分岐情報」で使用している項目を削除すると、経路分岐情報も削除されます。

4.13.6 経路を管理する

共有経路を作成する

経路とは、申請データを承認または回覧する順序のことです。

次の経路があります。

- 共有経路: 複数の申請フォームで共用できる申請経路です。
- 専用経路: 申請フォーム固有の申請経路です。

あらかじめ共有経路を作成しておくと、申請フォームの作成が簡単になります。

経路は、次の順番で作成します。

STEP1. 経路を追加する

STEP2. 承認経路に経路ステップを追加する

STEP3. 承認経路の経路ステップに初期値を設定する

STEP4. 回覧経路に経路ステップを追加する

STEP5. 回覧経路の経路ステップに初期値を設定する

STEP6. 申請者による経路の初期値変更を許可するかどうかを設定する

補足

- 専用経路は、共有経路に変更できます。
- 共有経路は、専用経路に変更できません。

STEP1 経路を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]をクリックします。
- 5 [共有経路を追加する]をクリックします。
- 6 経路の情報を入力します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- 経路コードは固有である必要があります。

STEP2 承認経路に経路ステップを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]をクリックします。
- 5 共有経路を選択します。
- 6 「承認経路」の[追加する]をクリックします。
- 7 経路ステップの情報を入力します。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 1つの経路ステップに、複数の承認者を設定できます。
- 処理者に経路変更を許可する場合は、「経路変更の許可」の「許可する」にチェックを入れます。

STEP3 承認経路の経路ステップに初期値を設定する

操作手順:

- 1 「経路の詳細」画面で、「承認経路」の経路ステップを選択します。
- 2 [初期値を設定する]をクリックします。
- 3 [追加する]をクリックします。
- 4 初期値として設定する組織、ユーザー、またはロールを選択します。
- 5 [↓追加]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 [経路ステップの詳細へ]をクリックします。

「初期値の設定」画面で使用できる機能

「初期値の設定」画面では、次の機能を使用できます。

「(省略)」を設定する

手順3で「(省略)」を設定すると、経路ステップの処理が省略されます。

承認経路の最終経路ステップは省略できません。

上長を設定する

初期値に上長を設定すると、経路ステップの処理者に、申請者の上長が設定されます。

設定される上長は、申請者が所属する組織や上位の組織の中で、指定されたロールを所持するユーザーです。

上長選択を設定した場合、「経路の詳細」画面では、ロール名の後に「(上長)」と表示されます。

操作手順:

- 1 「初期値の設定」画面で、「上長選択」の[変更]をクリックします。
- 2 「申請者の上長を選択する」にチェックを入れます。
- 3 [変更する]をクリックします。

申請者による初期値の変更を許可する

申請者は申請時に、初期値として設定された処理者を変更できます。申請者が初期値として設定された処理者を変更できないようにする場合は、次の手順で設定を変更します。

操作手順:

- 1 「初期値の設定」画面で、「初期値変更の許可」の[変更する]をクリックします。
- 2 「申請者による初期値の変更を許可する」のチェックを外します。
- 3 [変更する]をクリックします。

初期値を削除する

選択した初期値を削除するか、すべて削除できます。

初期値を削除する手順については、次のページを参照してください。

「経路ステップの初期値を削除する」 - 188 ページ

STEP4 回覧経路に経路ステップを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]をクリックします。
- 5 共有経路を選択します。
- 6 「回覧経路」の[追加する]をクリックします。
- 7 経路ステップの情報を入力します。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 1つの経路ステップに、複数の承認者を設定できます。
- 処理者に経路変更を許可する場合は、「経路変更の許可」の「許可する」にチェックを入れます。

STEP5 回覧経路の経路ステップに初期値を設定する

操作手順:

- 1 「経路の詳細」画面または「申請フォームの詳細」画面で、「回覧経路」の経路ステップを選択します。
- 2 [初期値を設定する]をクリックします。
- 3 [追加する]をクリックします。
- 4 初期値として設定する組織、ユーザー、またはロールを選択します。
- 5 [↓追加]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 [経路ステップの詳細へ]をクリックします。

補足

- 「初期値の設定」画面で使用できる機能については、次のページを参照してください。
「初期値の設定」画面で使用できる機能 - 182 ページ

共有経路一覧に区切り線を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]をクリックします。
- 5 [区切り線を追加する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

共有経路一覧の表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]をクリックします。
- 5 [経路/区切り線を順番変更する]をクリックします。
- 6 経路や区切り線の表示順を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

経路を使用している申請フォームを参照する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]または[専用経路]をクリックします。
- 5 経路を選択します。
- 6 「経路情報」の[使用している申請フォームを参照する]をクリックします。
- 7 選択した経路を使用している申請フォームの数や申請フォーム名などを確認します。

専用経路を共有経路に変更する

専用経路は共有経路に変更できます。共有経路から専用経路には変更できません。

申請フォームの一覧で変更する場合

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「経路情報」の[この経路を共有する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

経路一覧で変更する場合

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [専用経路]をクリックします。
- 5 専用経路を選択します。
- 6 「経路情報」の[共有経路に設定する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

共有経路を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]をクリックします。
- 5 共有経路を選択します。
- 6 「経路情報」の[削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 共有経路を削除すると、削除された共有経路を使用している申請フォームから、申請経路が削除されます。

4.13.7 経路を編集する

経路を編集すると、次の申請データに編集した経路が適用されます。

- 下書きから作成する申請データ
- 取り戻し後に作成する申請データ
- 再利用して作成する申請データ

補足

- 次の申請データは、編集前の申請経路が適用されます。
 - 進行中の申請データ
 - 差し戻された申請データ

経路の管理者用メモを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]または[専用経路]をクリックします。
- 5 経路を選択します。
- 6 「管理者用メモ」の[変更する]をクリックします。
- 7 管理者用メモの内容を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

補足

- 管理者用メモは、経路一覧に表示されます。

経路情報を変更する

共有経路の経路情報を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]をクリックします。
- 5 共有経路を選択します。
- 6 「経路情報」の[変更する]をクリックします。
- 7 経路情報を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

専用経路の経路情報を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [専用経路]をクリックします。
- 5 専用経路を選択し、「経路情報」の[変更する]をクリックします。
- 6 経路情報を変更します。
- 7 [変更する]をクリックします。

補足

- 「申請フォームの詳細」画面で経路情報を変更することもできます。

経路ステップを変更する

共有経路の経路ステップを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]をクリックします。

- 5 共有経路を選択します。
- 6 経路ステップを選択します。
- 7 [変更する]をクリックします。
- 8 経路ステップの設定を変更します。
- 9 [変更する]をクリックします。

専用経路の経路ステップを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 経路ステップを選択します。
- 7 [変更する]をクリックします。
- 8 経路ステップの設定を変更します。
- 9 [変更する]をクリックします。

経路ステップの表示順を変更する

共有経路の経路ステップの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]をクリックします。
- 5 共有経路を選択します。
- 6 「承認経路」または「回覧経路」の[順番変更する]をクリックします。
- 7 承認経路内または回覧経路内の経路ステップの表示順を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

専用経路の経路ステップの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。

- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「承認経路」または「回覧経路」の「順番変更する」をクリックします。
- 7 承認経路内または回覧経路内の経路ステップの表示順を変更します。
- 8 「変更する」をクリックします。

経路ステップの初期値を削除する

共有経路の経路ステップの初期値を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]をクリックします。
- 5 共有経路を選択します。
- 6 経路ステップを選択します。
- 7 [初期値を設定する]をクリックします。
- 8 初期値にチェックを入れます。
- 9 [削除する]をクリックします。
- 10 [はい]をクリックします。

補足

- 手順8で[すべて削除]をクリックし、[はい]をクリックすると、選択している経路ステップのすべての初期値が削除されます。

専用経路の経路ステップの初期値を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 経路ステップを選択します。
- 7 [初期値を設定する]をクリックします。
- 8 初期値にチェックを入れる
- 9 [削除する]をクリックします。
- 10 [はい]をクリックします。

補足

- 手順8で[すべて削除]をクリックし、[はい]をクリックすると、選択している経路ステップのすべての初期値が削除されます。

経路ステップを削除する

共有経路の経路ステップを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]をクリックします。
- 5 共有経路を選択します。
- 6 経路ステップを選択します。
- 7 [削除する]をクリックします。
- 8 [はい]をクリックします。

専用経路の経路ステップを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 経路ステップを選択します。
- 7 [削除する]をクリックします。
- 8 [はい]をクリックします。

4.13.8 経路分岐を設定する

経路分岐を設定すると、申請者が入力した値によって一部の経路ステップを省略できます。

経路分岐情報を設定する場合は、申請フォームに次のいずれかのタイプの項目が追加されている必要があります。

- 数値
- ラジオボタン
- チェックボックス
- 自動計算

経路分岐情報を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「経路の分岐情報」の[設定する]をクリックします。
- 7 経路分岐を適用する申請フォームの項目を指定します。
- 8 [適用する]をクリックします。

補足

- 経路分岐情報は共有できません。
- 経路分岐情報は、設定後の変更ができません。変更する場合は、既存の経路分岐情報を削除したあと、新しい経路分岐情報を設定します。

経路分岐情報を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「経路の分岐情報」の[削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

経路分岐条件を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「経路分岐条件一覧」の[追加する]をクリックします。
- 7 経路分岐条件を入力します。

- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 設定した経路分岐条件は一覧の上から順に適用されます。

経路分岐条件を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「経路分岐条件一覧」の分岐名を選択します。
- 7 [変更する]をクリックします。
- 8 経路分岐条件を変更します。
- 9 [変更する]をクリックします。

経路分岐条件の表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「経路分岐条件一覧」の[順番変更する]をクリックします。
- 7 経路分岐条件の表示順を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

経路分岐条件を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。

- 6 「経路分岐条件一覧」の分岐名を選択します。
- 7 [削除する]をクリックします。
- 8 [はい]をクリックします。

4.13.9 申請データを管理する

管理者は、権限の範囲内で申請データの確認、削除、および経路の変更ができます。

申請データの状況

下書き

申請者が申請を下書きとして保存している状態です。

申請者が申請すると、「進行中」に変わります。

進行中

申請者が申請したあと、最終承認者が承認するまでの状態です。

次の場合も「進行中」が表示されます。

- 承認者が申請を差し戻した
- 回覧経路のみの申請で、最後の回覧者が確認していない

承認

申請が承認された状態です。最終承認者が承認すると、「完了」に変わります。

承認経路のあとに回覧経路が設定されている場合は、回覧が終了するまで「承認」が表示されます。

却下

承認者に却下された状態です。

却下されると申請の処理は終了し、後続の経路ステップの承認者や回覧者には通知されません。

取消

次の場合に、申請データの状況は「進行中」から「取消」に変わります。

- 申請者が申請が最初の処理者によって処理される前に「取り戻し」を行った場合
- 承認経路を含む経路で、申請者が最終承認者が処理する前に「取り消し」を行った場合
- 回覧経路のみの経路で、申請者が最終回覧者が処理する前に「取り消し」を行った場合

完了

経路ステップのすべての処理が終わり、申請が完了した状態です。

申請データを状況で絞り込む

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。

- 3 [申請データの管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 絞り込む状況を選択します。
- 7 [絞り込む]をクリックします。

申請データを印刷する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請データの管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 申請データを選択します。
- 7 [印刷用画面]をクリックします。
- 8 必要に応じて文字サイズやロケールなどを変更します。
- 9 [印刷する]をクリックします。

申請データの経路変更履歴を確認する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請データの管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 申請データを選択します。
- 7 [経路変更履歴]をクリックします。
- 8 経路の変更履歴を確認します。

申請データの経路ステップの処理者を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請データの管理]をクリックします。

- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 申請データを選択します。
- 7 経路ステップを選択します。
- 8 [変更する]をクリックします。
- 9 経路ステップの処理者を変更します。
- 10 [変更する]をクリックします。

補足

- 経路ステップを変更できるのは、次の条件を満たす申請データです。
 - 状況が進行中である。
 - 経路ステップが経路変更を許可されている。
- 「一般設定」で、経路変更を許可しない設定になっている場合は、経路ステップを変更できません。

申請データを自動的に書き出す

申請データの自動書き出しを設定すると、最終承認後の申請データが、1件ずつ自動的に CSV ファイルに書き出されます。この CSV ファイルは、ガルーンをインストールしたディレクトリーに保存されます。

次の環境でガルーンをインストールした場合を例に、申請データの保存先と CSV ファイル名を説明します。

- インストール識別子: cbgrn
- インストールディレクトリー
 - Windows 環境 : C:¥Program Files¥Cybozu
 - Linux 環境 : /usr/local/Cybozu/

申請データが保存されるディレクトリーと CSV ファイル名は次のとおりです。

- Windows 環境: C: ¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥files¥cbgrn¥workflow¥(設定したディレクトリー名) ¥(内部 ID).csv
- Linux 環境: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files/cbgrn/workflow/(設定したディレクトリー名)/(内部 ID).csv

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 「申請フォーム情報」の[変更する]をクリックします。
- 7 「申請データの自動書き出し」の「自動的に書き出す」にチェックを入れます。

- 8 申請データを書き出すディレクトリー名を指定します。
- 9 [変更する]をクリックします。

補足

- ディレクトリー名に使用できる文字は、次のとおりです。
 - 半角英数字
 - -(ハイフン)
 - _(アンダーバー)
- 申請データを自動的に CSV ファイルに書き出す場合は、申請フォームの項目ごとに出力するかしないかを設定できます。

申請データを公開する

申請データを公開すると、申請者や申請経路の処理者以外のユーザーも、申請内容を閲覧できます。カテゴリーごとに、申請データを公開するかどうかを設定します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請データの公開設定]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 公開されるのは処理が完了した申請です。進行中の申請は公開されません。
- サブカテゴリーに公開設定を設定する場合は、サブカテゴリーのすべての親カテゴリーに公開設定を設定する必要があります。
- 公開した申請データは、項目のアクセス権にかかわらずすべての内容を閲覧できます。項目にアクセス権を設定している場合は、その項目を公開してもよいかどうかを確認する必要があります。
- 「未分類」には公開設定を設定できません。

申請データを削除する

ユーザーの「最新一覧」や「受信一覧」などに送信された申請データも削除されます。削除した申請データは元に戻せません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。

- 3 [申請データの管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 申請データを選択します。
- 7 [削除する]をクリックします。
- 8 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 6 で[申請フォームの全データを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、選択している申請フォームを使用したすべての申請データが削除されます。
- 複数の申請データを一括で削除する場合は、手順 6 で削除する申請データのチェックボックスを選択します。

4.13.10 代理人を設定する

代理申請者が行った申請に対して、委任者は次の操作が可能です。

- 閲覧
- 取り戻し
- 取り消し
- 再利用

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [代理人の設定]をクリックします。
- 4 代理人を設定するユーザーが所属する組織を選択します。
- 5 代理人を設定するユーザーの[変更]をクリックします。
- 6 代理申請者や代理承認者を選択し、[←追加]をクリックします。
- 7 [変更する]をクリックします。

補足

- 代理申請や代理承認を行うには、「一般設定」で代理申請や代理承認を許可する必要があります。
「4.13.2 ワークフローの機能を設定する」 - 163 ページ

4.13.11 ワークフローの権限を管理する

カテゴリーのアクセス権を設定する

組織、ユーザーまたはロールごとに、次の権限を設定できます。

- 閲覧権限

ユーザーは、閲覧を許可されたカテゴリの申請フォームを利用できます。
サブカテゴリの閲覧を許可する場合は、サブカテゴリのすべての親カテゴリの閲覧を許可する必要があります。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [アクセス権の設定]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 組織、ユーザー、またはロールごとに、申請フォームを利用できるかどうかを設定します。
- 「未分類」には、アクセス権を設定できません。
- 手順 5 の後に表示される「アクセス権の一覧」画面で、権限の設定を削除できます。

カテゴリの運用管理権限を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [運用管理権限の設定]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 運用管理権限が与えられたユーザーの「ワークフロー」画面に、カテゴリや申請フォームなどを管理するためのメニューが表示されます。
- 「未分類」には、運用管理権限を設定できません。
- 手順 5 の後に表示される「運用管理権限の一覧」画面で、権限を削除できます。

4.13.12 ワークフローをファイルで管理する

ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合は、読み込みが中止され、途中まで読み込まれた内容は反映されません。

申請フォームデータを XML ファイルで管理する

XML ファイルは編集せず、データのバックアップやリストアのためにだけ使用することを推奨します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請フォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [XML ファイルから読み込む]または[XML ファイルへ書き出す]をクリックします。
- 6 データを読み込む場合はファイルを指定し、[読み込む]をクリックします。
データを書き出す場合は[書き出す]をクリックします。

補足

- 次の場合はエラーが発生します。
 - ほかのカテゴリー内の申請フォームコードと、読み込む申請フォームコードが重複する。
 - 読み込む申請フォームデータで使用されている共有経路が、ガルーンに存在しない。
- 同じカテゴリーにある申請フォームコードと、読み込む申請フォームコードが重複する場合は、読み込むデータで上書きされます。
- 共有経路を使用した申請フォームを読み込んだ場合、経路分岐で設定した分岐条件は経路を省略しない状態で読み込まれます。すべての経路ステップにチェックが入っています。

共有経路データを XML ファイルで管理する

XML ファイルは編集せず、データのバックアップやリストアのためにだけ使用することを推奨します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [経路一覧]をクリックします。
- 4 [共有経路]をクリックします。
- 5 [XML ファイルから読み込む]または[XML ファイルへ書き出す]をクリックします。
- 6 データを読み込む場合はファイルを指定し、[読み込む]をクリックします。
データを書き出す場合は[書き出す]をクリックします。

補足

- 専用経路一覧の経路コードと、読み込む経路コードが重複する場合は、エラーが発生します。
- 共有経路一覧の経路コードと、読み込む経路コードが重複する場合は、読み込むデータで上書きされます。
- 既存の共有経路を、XML ファイルのデータで上書きした場合、経路分岐で設定した分岐条件は経路を省略しない状態で読み込まれます。すべての経路ステップにチェックが入っています。
- 経路ステップごとのアクセス権は、すべての経路に対して「閲覧」のみにチェックが入っています。

申請データを CSV ファイルへ書き出す

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [申請データの管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 申請フォームを選択します。
- 6 [CSV ファイルへ書き出す]をクリックします。
- 7 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 8 ファイルを保存します。

ワークフローのデータを CSV ファイルで管理する

次のデータを CSV ファイルで管理できます。

- 利用ユーザー
- カテゴリー
- カテゴリー名
- カテゴリーのアクセス権
- 代理人

データを読み込む

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込むデータを選択します。
- 5 読み込む方法を選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 6 CSV ファイルの内容を確認し、[読み込む]をクリックします。

補足

- 次のログイン名は、ガルーンのログイン名として登録されている必要があります。
 - 利用ユーザーのログイン名

- 代理申請者ログイン名
- 代理承認者ログイン名
- CSV ファイルに存在しない組織、ユーザー、およびロールは、ワークフローの利用ユーザーから削除されます。
- 同一のログイン名は、最後のログイン名で上書きされます。
- CSV ファイルからアクセス権データを読み込むときには、次の点に注意してください。
 - CSV ファイルに記述されているカテゴリーがガルーンに登録されていない場合は、エラーが発生します。
 - 既存のアクセス権データとの差分を読み込みます。

データを書き出す

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ワークフロー]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出すデータを選択します。
- 5 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 6 ファイルを保存します。

4.14 マルチレポート

マルチレポートは、議事録や日報など業務に必要なレポートを、Web ブラウザー上で作成または閲覧するアプリケーションです。

マルチレポートは、次の順番で設定します。

1. マルチレポートを利用するユーザーを登録する
2. マルチレポートの機能を設定する
3. レポートフォームを作成し、ユーザーに公開する
4. カテゴリーに対するアクセス権を設定する
5. 運用管理権限を設定する

補足

- 試用期間中は、次のメニューは表示されません。
 - 利用ユーザーの設定
 - 「CSV ファイルからの読み込み」の、利用ユーザーの読み込み
 - 「CSV ファイルへの書き出し」の、利用ユーザーの書き出し

4.14.1 利用ユーザーを管理する

マルチレポートを使用できるユーザーを指定します。

初期設定では、すべてのユーザーがマルチレポートを使用できます。

補足

- 有効なライセンスを登録すると、メニューに「利用ユーザーの設定」が表示されます。

利用ユーザーを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [利用ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 [追加する]をクリックします。
- 5 マルチレポートの使用を許可するユーザーを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。

利用ユーザーを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。

- 3 [利用ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 削除する利用ユーザーにチェックを入れる
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 手順4で[すべて削除]をクリックし、[はい]をクリックすると、すべての利用ユーザーが削除されます。

4.14.2 マルチレポートの機能を設定する

マルチレポートの「一般設定」画面で、次の機能を設定できます。

- フォローの書き込み許可の初期状態：
「レポートフォームの追加」画面の初期設定を、「フォローの書き込みを許可する」にチェックが入った状態にします。
- 書式編集の使用許可：
レポートのフォローの書き込み時や、複数行の項目を使用する場合に、書式編集を利用できるようにします。
Macintosh版のSafariでは、書式編集を使用できません。
- フォローのアンカー機能の使用許可：
レポートのフォローでアンカー機能を使用できるかどうかを設定します。
アンカー機能とは、フォローに「>>1」のように記入すると、記入したフォローにリンクが設定される機能です。
アンカー機能を使用すると、既存のフォロー番号の前に「>>」を付けた場合に、該当するフォローへのリンクが有効になります。

操作手順：

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 必要な機能を設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

4.14.3 レポートフォームを作成する

レポートフォームは、次の順番で作成します。

- STEP 1. レポートフォームを追加する
- STEP 2. 管理者用メモを変更する
- STEP 3. レポートフォームに項目を追加する
- STEP 4. レポートフォームの表示を確認する
- STEP 5. レポートフォームを有効にする

STEP1 レポートフォームを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [レポートフォームを追加する]をクリックします。
- 6 レポートフォームの情報を入力します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- レポートフォームコードは固有である必要があります。
- 「参加者の入力」にチェックを入れて、参加者を入力するための項目を設定します。

使用する入力欄とは？

- 参加者:
この入力欄は、会議や打ち合わせなどに参加したユーザーを設定する場合に使用します。
「参加者の入力」にチェックを入れて、参加者を入力するための項目を設定します。
- 相手側の参加者:
この入力欄は、会議や打ち合わせなどに参加したユーザーを、主催者側と参加者に分けて設定する場合に使用します。
「相手側の参加者」にチェックを入れて、相手側の参加者を入力するための項目を設定します。
- 次の条件を満たす場合、「レポートの詳細」画面に表示される相手側の参加者に、アドレス帳のリンクが設定されます。
 - 相手側の参加者のアドレスが共有アドレス帳に登録されている
 - レポートを閲覧するユーザーが、設定されたアドレスに対してアクセス権を持つ
 - レポートを閲覧するユーザーが、アドレス帳の使用権限を持つ

STEP2 管理者用メモを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 レポートフォームを選択します。
- 6 「管理者用メモ」の[変更する]をクリックします。
- 7 管理者用メモの内容を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

STEP3 レポートフォームに項目を追加する

操作手順:

- 1 「レポートフォームの詳細」画面で、「レポートフォームの項目一覧」の[項目を追加する]をクリックします。
- 2 項目の情報を入力します。
- 3 [追加する]をクリックします。

補足

- レポートフォームの項目については、次のページを参照してください。
「レポートフォームの項目一覧」 - 204 ページ

STEP4 レポートフォームの表示を確認する

操作手順:

- 1 「レポートフォームの詳細」画面で、「レポートフォームの項目一覧」の[レポートフォームのプレビュー]をクリックします。
- 2 レポートフォームのプレビュー画面を確認します。
- 3 [閉じる]をクリックして、プレビュー画面を閉じます。

STEP5 レポートフォームを有効にする

操作手順:

- 1 「レポートフォームの詳細」画面で、「レポートフォーム情報」の[有効にする]をクリックします。
- 2 [はい]をクリックします。

補足

- レポートフォームを有効にしないと、ユーザーは、レポートフォームを使用できません。
- レポートフォームを変更する場合は、レポートフォームを無効にしてから変更することを推奨します。
- レポートフォームを無効にする場合は、手順 3 で[無効にする]をクリックします。

レポートフォームの項目一覧

レポートフォームには、次の項目を追加できます。

文字列(1行)

改行できない入力欄です。入力幅や最大入力文字数、全角か半角の文字制限などを設定できます。

文字列(複数行)

改行できる入力欄です。入力欄の幅や高さなどを設定できます。

メニュー

ドロップダウンリストで項目を選択します。メニューで選択する項目や初期値などを設定できます。

ラジオボタン

複数のラジオボタンから 1 つ選択します。ラジオボタンで選択する項目や初期値などを設定できます。

チェックボックス

チェックボックスで選択する項目や初期値などを設定できます。

数値

数値のみの入力欄です。

入力する数値の最大および最小、小数点以下の有効な桁数、マイナス値の表示方法などを設定できます。

日付

日付を選択します。初期値や項目の説明などを設定できます。

ファイル添付

レポートフォームにファイルを添付します。添付できる最大のファイル数や画像の表示方法などを設定できます。

時刻

時刻を選択します。初期値や項目の説明などを設定できます。

項目の設定例：

「お客様の声」	
タイトル*	<input type="text"/> *
作成者	 高橋 健太
ご意見(概要)	<input type="text"/>
対応方針	<input checked="" type="radio"/> テキスト <input type="radio"/> 書式編集 <input type="text"/>
担当部門	営業1課
当社からの連絡方法	<input type="radio"/> E-mail <input type="radio"/> 電話 <input type="radio"/> 連絡不要
お客様への連絡	<input type="checkbox"/> 連絡済み
連絡回数	1 # 回
初回コンタクト：日付	2011年 11月 28(月)
初回コンタクト：時刻	19時 38分
参考資料	
公開先	 

- a) : 文字列(1行)
- b) : 文字列(複数行)
- c) : メニュー
- d) : ラジオボタン
- e) : チェックボックス
- f) : 数値
- g) : 日付
- h) : 時刻
- i) : ファイル添付

補足

- 「タイトル」の項目タイプの変更、順番の変更、および削除はできません。
- 作成者名は項目一覧には表示されません。

4.14.4 レポートフォーム一覧を管理する

カテゴリを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [カテゴリを追加する]をクリックします。
- 6 カテゴリの情報を入力します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- カテゴリコードは固有である必要があります。
- [表示名を追加する]をクリックすると、複数の言語でカテゴリ名を追加できます。

カテゴリを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 カテゴリの設定を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

サブカテゴリの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [サブカテゴリを順番変更する]をクリックします。

- 7 サブカテゴリーの表示順を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

カテゴリーを移動する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [移動する]をクリックします。

補足

- 「ルート」と「未分類」は移動できません。

カテゴリーを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 削除されたカテゴリーとそのサブカテゴリー内に含まれるレポートフォームは、「未分類」に移動されます。「未分類」内のレポートフォームは、アクセス権や運用管理権限を設定できません。
- カテゴリーを削除すると、そのカテゴリーに含まれるサブカテゴリーも削除されます。
- 「ルート」や「未分類」は削除できません。
- サブカテゴリーの階層が 15 個以上ある場合は、親カテゴリーを削除できません。

レポートフォーム一覧に区切り線を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。

- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [区切り線を追加する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 区切り線は、レポートフォーム一覧の末尾に追加されます。

レポートフォームをコピーする

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 レポートフォームにチェックを入れます。
- 6 [コピーする]をクリックします。

補足

- 有効または無効の設定は、元となるレポートフォームと同じ設定になります。
- コピーしたレポートフォームは、レポートフォーム一覧の末尾に追加されます。

レポートフォーム一覧の表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [詳細]をクリックします。
- 6 [レポートフォーム/区切り線を順番変更する]をクリックします。
- 7 レポートフォームや区切り線の表示順を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

レポートフォームを移動する

レポートフォームをほかのカテゴリーに移動します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。

- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 レポートフォームを選択します。
- 6 「レポートフォーム情報」の[移動する]をクリックします。
- 7 移動先のカテゴリーを選択します。
- 8 [移動する]をクリックします。

レポートフォーム一覧の区切り線を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 区切り線にチェックを入れる
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

レポートフォームを削除する

運用中のレポートフォームを削除する場合は、あらかじめ運用に与える影響を確認する必要があります。

レポートフォームを削除すると、そのレポートフォームを使用していたレポートは、次の機能が使用できなくなります。

- レポートの再利用
- 下書きのレポートの変更
- 下書きのレポートの報告(送信)

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 削除するレポートフォームを選択します。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 5 で[カテゴリ内の全レポートフォームを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、選択しているカテゴリのすべてのレポートフォームが削除されます。

- 複数のレポートフォームを一括で削除する場合は、手順 5 で削除するレポートフォームのチェックボックスを選択します。
- 削除されたレポートフォームを使用しているレポートは、レポートフォームが削除される前のカテゴリーに残ります。
- レポート一覧では、削除されたレポートフォーム名の後に「削除」と表示されます。

4.14.5 レポートフォームを編集する

レポートフォームを変更すると、次のレポートに反映されます。

- 新規に作成するレポート
- 既存のレポートを再利用して作成するレポート
- 下書きに保存したレポートで、レポートフォームの変更後に変更したレポート

補足

- すでに作成されたレポートには、変更後のレポートフォームの内容は反映されません。

レポートフォーム情報を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 レポートフォームを選択します。
- 6 「レポートフォーム情報」の[変更する]をクリックします。
- 7 レポートフォームの情報を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

レポートフォームの項目をコピーする

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 レポートフォームを選択します。
- 6 コピーする項目にチェックを入れます。
- 7 [コピーする]をクリックします。
コピーした項目は、項目一覧の末尾に追加されます。

レポートフォームに空行を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
 - 2 [マルチレポート]をクリックします。
 - 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
 - 4 カテゴリーを選択します。
 - 5 レポートフォームを選択します。
 - 6 「レポートフォームの項目の一覧」の[空行を追加する]をクリックします。
 - 7 [はい]をクリックします。
- 空行は、項目一覧の末尾に追加されます。

レポートフォームの項目を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 レポートフォームを選択します。
- 6 項目を選択します。
- 7 [変更する]をクリックします。
- 8 項目の設定を変更します。
- 9 [変更する]をクリックします。

レポートフォームの項目や空行の表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 レポートフォームを選択します。
- 6 「レポートフォームの項目の一覧」の[順番変更する]をクリックします。
- 7 レポートフォームの項目や空行の表示順を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

レポートフォームの項目や空行を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 レポートフォームを選択します。
- 6 削除する項目や空行にチェックを入れます。
- 7 [削除する]をクリックします。
- 8 [はい]をクリックします。

補足

- 「標題」と作成者名は、削除できません。
- 手順6で「レポートフォームの項目一覧」の[レポートフォーム内の項目をすべて削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、レポートフォームのすべての空行と項目が削除されます。

4.14.6 絞込みを管理する

レポートの検索条件を、絞込として登録します。一般ユーザーが絞込を使うと、閲覧可能なレポートを探しやすくなります。

補足

- 絞込は移動できません。

ユーザー画面の絞込の一覧:



- a) : **最近選択した絞込**
ユーザーがこれまでに選択した絞込です。最大5件表示されます。
- b) : **おすすめの絞込**
「推奨ユーザー」に設定されたユーザーの、「マルチレポート」画面に表示される絞込です。
- c) : **すべての絞込**
ユーザーが使用できるすべての絞込です。

絞込を作成する

レポートの検索条件を設定し、絞込を作成します。

作成した絞込は、ユーザーの「マルチレポート」画面に表示されます。

絞込は、次の順番で作成します。

STEP1. 絞込を追加する

STEP2. 絞込を有効にする

補足

- 「未分類」には、アクセス権や運用管理権限を設定できません。
- カテゴリーにアクセス権が設定されている場合は、アクセス権がある組織、ユーザー、またはロールのみが、絞込を使用できるようになります。

STEP1 絞込を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [絞込一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [絞込を追加する]をクリックします。
- 6 絞込みの情報を入力します。
- 7 [追加する]をクリックします。

補足

- 「(ルート)」には絞込を追加できません。
- 「レポートフォーム」でレポートフォームを指定すると、使用されているレポートフォームでレポートを絞り込みます。
- 「レポートフォーム」で「次と同じ」を設定すると、選択したレポートフォームの項目を検索条件として設定できます。
- 「推奨ユーザー」を設定すると、設定したユーザーの操作画面の「おすすめの絞込」に、作成した絞込が表示されます。

絞込のレポートフォームとは？

使用しているレポートフォームでレポートを絞り込む場合は、「レポートフォームを指定する」にチェックを入れます。

指定できるレポートフォームの条件は、次のとおりです。

- **フォーム名に次を含む:**
入力した文字列を含むレポートフォーム名で、レポートを絞り込みます。
- **次と同じ:**
選択したレポートフォームで、レポートを絞り込みます。
[選択]をクリックし、レポートフォームを選択します。

検索条件とは？

レポートを絞り込むときの検索条件を設定します。設定できる条件は次のとおりです。

- **以下のすべての条件を満たす:**
複数の検索条件を設定した場合、すべての条件を満たすレポートを検索します。(AND 検索)

- 以下のいずれかの条件を満たす:
複数の検索条件を設定した場合、いずれかの条件を満たすレポートを検索します。(OR 検索)
- 項目:
レポートフォーム名やレポートの標題など、検索対象の項目を選択します。
- 条件式:
指定した文字を含む、指定した日付以前などの条件式を設定します。
- 値:
条件式で比較に使用する値を設定します。

補足

- 検索条件の右横の[削除]をクリックすると、検索条件を削除できます。
- 先頭に設定した検索条件は削除できません。

SETP2 絞込を有効にする

操作手順:

- 1 「絞込の詳細」画面で、[有効にする]をクリックします。
- 2 [はい]をクリックします。

補足

- 絞込を有効にしないと、ユーザーは、絞込を使用できません。
- 絞込を変更する場合は、絞込を無効にしてから変更することを推奨します。
- 絞込を無効にする場合は、[無効にする]をクリックします。

絞込を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [絞込一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 絞込を選択します。
- 6 [変更する]をクリックします。
- 7 絞り込みの設定を変更します。
- 8 [変更する]をクリックします。

絞込をコピーする

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [絞込一覧]をクリックします。

- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 絞込にチェックを入れます。
- 6 [コピーする]をクリックします。
絞込一覧の末尾にコピーした絞込が追加されます。

補足

- 有効または無効の設定は、元となる絞込と同じ設定になります。

絞込を削除する

削除した絞込は元に戻せません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [絞込一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 絞込を選択します。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 5 で[カテゴリ内の全絞込を削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、選択しているカテゴリのすべての絞込が削除されます。

4.14.7 レポートを管理する

カテゴリの管理権限を持つ管理者は、レポートの作成者と同様に、カテゴリ内のレポートを変更したり削除したりできます。

レポートを変更する

参加者や報告内容などを変更します。

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートの管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 レポートフォームを選択します。
- 6 レポートを選択します。

- 7 [変更する]をクリックします。
- 8 レポートを変更します。
- 9 [変更する]をクリックします。

レポートの通知先を変更する

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートの管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 レポートフォームを選択します。
- 6 レポートを選択します。
- 7 [通知先を変更する]をクリックします。
- 8 レポートの更新を通知するユーザーを変更します。
- 9 [変更する]をクリックします。

補足

- 作成者と参加者には、自動的に通知されます。

レポートを印刷する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートの管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 レポートフォームを選択します。
- 6 レポートを選択します。
- 7 [印刷用画面]をクリックします。
- 8 必要に応じて設定を変更します。
- 9 [印刷する]をクリックし、レポートを印刷します。

レポートを削除する

削除したレポートは元に戻せません。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。

- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートの管理]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 レポートフォームを選択します。
- 6 削除するレポートを選択します。
- 7 [削除する]をクリックします。
- 8 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 6 で[レポートフォームの全データを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、選択しているレポートフォームを使用したすべてのレポートが削除されます。

4.14.8 マルチレポートの権限を管理する

組織、ユーザーまたはロールごとに、レポートフォームの使用権限、レポートの閲覧権限、および運用管理権限を設定できます。

カテゴリーのアクセス権を設定する

ユーザーは、閲覧を許可されたカテゴリーのレポートフォームを利用できます。

サブカテゴリーの閲覧を許可する場合は、サブカテゴリーのすべての親カテゴリーの閲覧を許可する必要があります。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [アクセス権の設定]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 組織、ユーザー、またはロールごとに、レポートフォームを利用できるかどうかを設定します。
- カテゴリーに対してアクセス権がないユーザーは、次の機能を使用できません。
 - カテゴリーに保存されているレポートフォームの使用
 - カテゴリーに保存されている絞込の使用
 - カテゴリーに保存されているレポートフォームで作成されたレポートの閲覧
- 「未分類」には、アクセス権を設定できません。
- 手順 5 の後に表示される「アクセス権の一覧」画面で、権限の設定を削除できます。

カテゴリーの運用管理権限を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [運用管理権限の設定]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 権限を設定する組織、ユーザー、またはロールを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 運用管理権限が与えられたユーザーの「マルチレポート」画面に、カテゴリーやレポートフォームなどを管理するためのメニューが表示されます。
- 「未分類」には、運用管理権限を設定できません
- 手順 5 の後に表示される「運用管理権限の一覧」画面で、権限を削除できます。

4.14.9 マルチレポートのデータをファイルで管理する

次のデータを CSV ファイルで管理できます。

- 利用ユーザー
- カテゴリー
- カテゴリー名
- アクセス権

データを CSV ファイルから読み込む

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込むデータを選択します。
- 5 読み込む方法を選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 6 CSV ファイルの内容を確認し、[読み込む]をクリックします。

補足

- CSV ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みが中止されます。途中まで読み込まれた内容は反映されません。
- 既存のアクセス権データとの差分を読み込みます。

- CSV ファイルに記述されていない組織、ユーザー、およびロールは、マルチレポートの利用ユーザーから削除されます。

データを CSV ファイルに書き出す

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出すデータを選択します。
- 5 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 6 ファイルを保存します。

レポートフォームを XML ファイルで管理する

XML ファイルは編集せず、データのバックアップやリストアのためにだけ使用することを推奨します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [マルチレポート]をクリックします。
- 3 [レポートフォームの一覧]をクリックします。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 [XML ファイルから読み込む]または[XML ファイルへ書き出す]をクリックします。
- 6 データを読み込む場合はファイルを指定し、[読み込む]をクリックします。
データを書き出す場合は[書き出す]をクリックします。

補足

- ほかのカテゴリーにあるレポートフォームと、読み込むレポートフォームコードが重複する場合は、エラーが発生します。
- 同じカテゴリーにあるレポートフォームと、読み込むレポートフォームコードが重複する場合は、読み込むデータで上書きされます。

4.15 ネット連携サービス

ネット連携サービスは、インターネットを経由して、次の機能やデータをガルーンで使用できるようにするサービスです。

- サービス
 - 企業検索
 - 郵便番号検索(住所検索)
 - 地図検索
 - 路線検索
- イベントデータ
 - 天気予報
 - 六曜

補足

- ネット連携サービスのサービスやイベントデータは、日本語のみで提供しています。
- ネット連携サービスは、日本国内の企業情報、住所、地図、路線情報、天気予報を提供しています。

4.15.1 ネット連携サービスの機能を設定する

ネット連携サービスの「一般設定」画面で、次の機能を設定できます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ネット連携サービス]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 ネット連携サービスのサイトに個別 ID を送信するかどうか選択します。

補足

- ネット連携サービスのサイトに個別 ID を送信すると、ネット連携サービスの機能を利用できます。

4.15.2 使用するサービスを設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ネット連携サービス]をクリックします。
- 3 [サービス一覧]をクリックします。
- 4 使用するサービスを選択します。

4.15.3 受信するイベントデータを設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ネット連携サービス]をクリックします。
- 3 [イベントデータの受信]をクリックします。
- 4 受信するコンテンツを選択します。

4.16 RSSリーダー

RSSリーダーは、設定したサイトのRSS情報を一定時間ごとに受信し、更新情報を表示する機能です。
次の2種類のサイトをRSSリーダーに追加します。

- 共有サイト:アプリケーション管理者が設定します。
- 個人サイト:ユーザー個人が設定します。

次の順番でRSSリーダーを設定します。

- 1.RSSリーダーの機能を設定する
- 2.共有サイトを設定する

補足

- RSSリーダーは、RSS1.0、RSS2.0、およびAtom0.3に対応しています。

4.16.1 RSSリーダーの機能を設定する

RSSリーダーの「一般設定」画面で、次の機能を設定できます。

- 共有サイト:
共有サイトをユーザー画面に強制的に表示するかどうかを選択します。
- 個人設定:
ユーザーが独自にサイトを設定することを許可するかどうかを選択します。
- キャッシュの更新間隔
- キャッシュの保存期間
- タイムアウト時間:
サイト接続のタイムアウト時間を設定します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [RSSリーダー]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 必要な機能を設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

4.16.2 共有サイトを管理する

共有サイトを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [RSSリーダー]をクリックします。

- 3 [共有サイト一覧]をクリックします。
- 4 [共有サイトを追加する]をクリックします。
- 5 共有サイトの情報を入力します。
- 6 [追加する]をクリックします。

注意

- 外部のサイトを追加するためには、ガルーンがインターネットへの接続を持っている必要があります。

共有サイトを変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [RSSリーダー]をクリックします。
- 3 [共有サイト一覧]をクリックします。
- 4 共有サイトを選択します。
- 5 共有サイトの設定を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

共有サイト一覧に区切り線を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [RSSリーダー]をクリックします。
- 3 [共有サイト一覧]をクリックします。
- 4 [共有区切り線を追加する]をクリックします。
- 5 [はい]をクリックします。

共有サイトの表示順を変更する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [RSSリーダー]をクリックします。
- 3 [共有サイト一覧]をクリックします。
- 4 [共有サイト/区切り線を順番変更する]をクリックします。
- 5 共有サイトや区切り線の表示順を変更します。
- 6 [変更する]をクリックします。

共有サイトや区切り線を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [RSS リーダー]をクリックします。
- 3 [共有サイト一覧]をクリックします。
- 4 削除する共有サイトまたは区切り線を選択します。
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 4 で[全共有サイトを削除する]をクリックし、[はい]をクリックすると、すべての共有サイトや区切り線が削除されます。

4.16.3 共有サイトをファイルで管理する

データを CSV ファイルから読み込む

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [RSS リーダー]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込む方法を選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 5 CSV ファイルの内容を確認し、[読み込む]をクリックします。

補足

- ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みが中止され、途中まで読み込まれた内容は反映されません。

データを CSV ファイルに書き出す

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [RSS リーダー]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 5 ファイルを保存します。

4.17 在席確認

次の順番で在席確認を設定します。

1. 在席確認の機能を設定する
2. ステータスを設定する
3. 代理人を設定する

4.17.1 在席確認の機能を設定する

在席確認の「一般設定」画面で、次の機能を設定できます。

ステータスの自動設定

次の2点を設定します。

- ログイン時に在席を設定する:
ユーザーがログインすると、ステータスが自動的に「在席」に設定されます。
- ログアウト時に不在を設定する:
ユーザーがログアウトすると、ステータスが自動的に「不在」に設定されます。

補足

- 「在席」と「不在」の両方の自動設定を有効にできます。
- 「ログイン時に在席を設定する」を選択した場合、ユーザーがログインする度に、在席情報に表示される時刻が更新されます。
- 「ログアウト時に不在に設定する」を選択していても、ユーザーがWebブラウザを閉じたときにステータスが変わりません。ユーザーが[ログアウト]をクリックしたときに、ステータスが変わります。
- ステータスの自動設定を設定しても、次の製品でログインまたはログアウトしたときは、ステータスは変わりません。
 - サイボウズガルーン 3 ケータイ
 - サイボウズガルーン 3 リマインダー
 - サイボウズモバイル KUNAI
- 共通認証や環境変数認証などの認証を設定していると、ステータスの自動設定は無効になります。
- 個人設定

個人設定

「代理人の設定を許可する」にチェックを入れると、ユーザーは自分の代理人を設定できるようになります。

補足

- 「代理人の設定を許可する」を選択すると、ユーザーが代理人を設定できます。代理人は、委任者の在席情報を変更できます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。

- 2 [在席確認]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 必要な機能を設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

4.17.2 ステータスを設定する

ステータスを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [在席確認]をクリックします。
- 3 [ステータスの設定]をクリックします。
- 4 1行に1つステータスを入力し、ステータスを設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

補足

- 追加したステータスが、「在席情報の変更」画面でメニューとして表示されます。
- 次のステータスはすでに有効です。
 - 在席
 - 不在
- ユーザーが追加したステータスは、ユーザーの操作画面で、ステータスメニューの一番下に表示されます。

ステータスを変更または削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [在席確認]をクリックします。
- 3 [ステータスの設定]をクリックします。
- 4 ステータスの表記や表示順を変更したり、削除したりします。
- 5 [設定する]をクリックします。

補足

- ステータスの表示順を変更できます。
- すでに有効な次のステータスは、変更したり削除したりできません。
 - 在席
 - 不在

4.17.3 在席確認の代理人を設定する

代理人を追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [在席確認]をクリックします。
- 3 [代理人の設定] をクリックします。
- 4 代理人を設定する組織またはユーザーが所属する組織を選択します。
- 5 代理人を設定する組織またはユーザーを選択します。
- 6 [追加する]をクリックします。
- 7 代理人となる組織またはユーザーを選択し、[↓追加]をクリックします。
- 8 [追加する]をクリックします。

補足

- 組織に対して代理人を設定すると、その組織に所属しているすべてのユーザーに対して、同じ代理人が設定されます。
- ユーザーは個人設定で、代理人を変更または削除できます。

代理人を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [在席確認]をクリックします。
- 3 [代理人の設定] をクリックします。
- 4 代理人を削除する組織またはユーザーを選択します。
- 5 削除する代理人にチェックを入れます。
- 6 [削除する]をクリックします。
- 7 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 5 で[すべて削除]をクリックし、[はい]をクリックすると、選択している組織またはユーザーのすべての代理人が削除されます。

4.17.4 代理人をファイルで管理する

データを CSV ファイルから読み込む

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [在席確認]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルからの読み込み]をクリックします。
- 4 読み込む方法を選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 5 CSV ファイルの内容を確認し、[読み込む]をクリックします。

補足

- ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みが中止されます。途中まで読み込まれた内容は反映されません。

データを CSV ファイルに書き出す

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [在席確認]をクリックします。
- 3 [CSV ファイルへの書き出し]をクリックします。
- 4 書き出す方法を選択し、[書き出す]をクリックします。
- 5 ファイルを保存します。

4.18 お気に入り

4.18.1 お気に入りの機能を設定する

ユーザーの操作画面でお気に入りに追加できるデータの上限值を設定します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [お気に入り]をクリックします。
- 3 [一般設定] をクリックします。
- 4 お気に入りに追加できる項目の上限值を設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

4.19 通知一覧

次の順番で通知一覧を設定します。

1. 最新情報ポートレットの表示方法を設定する
2. 外部通知の機能を設定する
3. 確認済み通知ポートレットの表示方法を設定する
4. 通知フィルタを設定する

4.19.1 ポートレットの表示を設定する

最新情報ポートレットの表示方法を設定する

「最新情報ポートレットの表示設定」画面で、次の機能を設定できます。

- 設定を有効にし、ユーザーの変更を許可しない:
チェックを入れると、設定がユーザー画面に反映されます。ユーザーは設定を変更できなくなります。
- 一覧で表示:
最新情報ポートレットに、最新情報を一覧で表示します。タイトルや更新者のユーザー名などが表示されます。
- 件数で表示:
最新情報ポートレットに、最新情報を受信したことを示すメッセージと、受信した件数が表示されます。

「一覧で表示」の設定例:



「件数で表示」の設定例:



操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [通知一覧]をクリックします。

- 3 [最新情報ポートレットの表示設定]をクリックします。
- 4 最新情報ポートレットの表示方法をアプリケーションごとに設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

補足

- 「最新情報ポートレット」画面の設定が、個人設定の「ポートレットの設定(最新情報)」画面の初期値になります。
- ユーザーは個人設定で、最新情報ポートレットに表示されるアプリケーションの表示順を変更できます。

ポートレットの表示項目や表示件数の初期値を設定する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [通知一覧]をクリックします。
- 3 [最新情報ポートレット]または[確認済通知ポートレット]をクリックします。
- 4 表示する項目と表示件数の初期値を設定します。
- 5 [設定する]をクリックします。

4.19.2 外部システムからの通知を設定する

外部通知として設定したガルーン以外のシステムからのメールが、通知一覧に表示されます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [通知一覧]をクリックします。
- 3 [外部通知の設定]をクリックします。
- 4 [外部通知を追加する]をクリックします。
- 5 外部通知の情報を入力します。
許可する URL は、1 行に 1 つ記述します。
- 6 [追加する]をクリックします。

未登録の外部通知をメールで受信する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [通知一覧]をクリックします。
- 3 [未登録の外部通知]をクリックします。
- 4 「メールとして処理する」を選択します。
- 5 [設定する]をクリックします。

注意

- 安全な運用管理のために、未登録の外部通知は「メールとして処理する」を選択することを推奨します。選択しないと、「外部通知の設定」画面で登録していない通知が通知一覧に表示されるため、悪意のあるサイトにリダイレクトされる通知が作成される恐れがあります。

補足

- 「外部通知の設定」画面で登録した次の情報を含むメールを受信すると、通知一覧に表示されます。
 - 外部通知コード
 - 許可する URL
- 「外部通知コード」には、受信する通知に設定された外部通知コードを入力します。
- 外部通知の設定を削除した場合、次の制限があります。
 - 削除する前に受信した通知は削除されない
 - ユーザーの通知一覧画面での絞り込みができない

許可する URL とは？

通知を受信するシステムの URL を入力します。
ワイルドカードとして「*」を使用できます。

URL の入力例:

- Windows 環境:
`http://(インストールしたサーバーの IP アドレスまたはホスト名)/scripts/cbdb/db.exe*`
- Linux 環境:
`http://(インストールしたサーバーの IP アドレスまたはホスト名)/cgi-bin/cbdb/db.cgi*`

「メールで処理する」とは？

「未登録の外部通知」画面で、「メールとして処理する」を選択すると、「外部通知の設定」画面で登録していないシステムからの通知がメールとして受信されます。

あらかじめ設定されている外部通知

標準のデータをインストールすると、サイボウズ製品に対応した表示名と外部通知コードが登録されます。外部通知として使用する場合は、それぞれの製品に対応した「許可する URL」を追加する必要があります。

外部通知の対象となるサイボウズ製品は、次のとおりです。

- サイボウズ デヂエ
- サイボウズ メールワイズ
- サイボウズ コラボレックス
- サイボウズ ドットセールス
- サイボウズ ブログ
- サイボウズ Live

4.19.3 通知フィルタを管理する

アプリケーションごとの通知の許可と、通知の対象となる操作を設定します。設定したフィルタは、強制通知にも適用されます。

通知フィルタを設定できるアプリケーションは次のとおりです。

- 掲示板
- ファイル管理
- メール
- メッセージ
- マルチレポート
- スケジュール

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [通知一覧]をクリックします。
- 3 [通知フィルタの設定]をクリックします。
- 4 通知フィルタを設定するアプリケーションを選択し、[次へ >>]をクリックします。
- 5 次の機能を設定します。
 - 操作:
アプリケーションごとに、追加や更新など通知の対象となる操作を選択します。
 - 個人設定:
ユーザーに個人設定での通知フィルタの変更を許可するかどうかを選択します。
- 6 [設定する]をクリックします。

補足

- 個人の通知フィルタの設定を許可すると、ユーザーはシステム管理者が設定した内容を変更できます。
- 個人設定における変更を許可しない設定にすると、個人設定画面の「通知フィルタの設定」は非表示になります。個人の設定は無効になります。システム管理者が個人の変更を再度許可すると、無効になる前に設定した内容が有効になります。

4.19.4 通知を一括で削除する

削除した通知や通知履歴を元に戻せません。

指定した日付より前に通知された通知を削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [通知一覧]をクリックします。
- 3 [通知の一括削除]をクリックします。
- 4 日時を指定する
- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

確認済のすべての通知を削除する

操作手順:

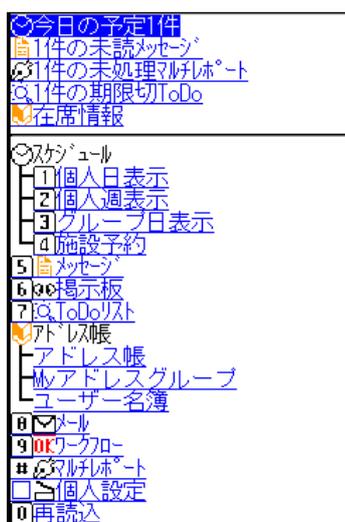
- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [通知一覧]をクリックします。
- 3 [確認済み通知の一括削除]をクリックします。
- 4 日時を指定する
- 5 [削除する] をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

4.20 ケータイ

ケータイとは

ケータイは、Web ブラウザー機能を搭載した携帯電話で、ガルーンにアクセスするアプリケーションです。ケータイの機能を使用するためには、携帯電話からガルーンにアクセスできる環境を構築する必要があります。

ケータイの画面例：



注意

- このアプリケーションは日本語のみの提供です。

補足

- 携帯電話からガルーンにアクセスする環境を構築する場合、セキュリティ対策を講じる必要があります。セキュリティ対策やネットワークの構築に不安がある場合は、専門のシステムインテグレーターに相談してください。

ケータイの使用を開始する前の準備

ガルーンでケータイの機能を設定する前に、次の準備が必要です。

システムメールアカウントを設定する

ユーザーがケータイのログイン URL を送信する際、差出人としてシステムメールアカウントが必要です。システムメールアカウントの設定については、次のページを参照してください。

「3.12.1 システムメールアカウントを設定する」 - 67 ページ

ユーザーがケータイを使用できるようになるまでの作業の流れ

STEP1	ケータイを使用するユーザーを設定する 「4.20.1 ケータイの利用ユーザーを管理する」 - 236 ページ
STEP2	ケータイの基本的な機能を設定する 「4.20.2 ケータイの機能を設定する」 - 237 ページ
STEP3	ケータイのログイン URL を送信する ケータイを使用するユーザーが行う操作です。 個人設定(ケータイ)の「ログイン URL の送信」画面から、ケータイを使用する携帯電話のメールアドレスに、ケータイのログイン URL を送信します。

補足

- 試用期間中はガルーンのすべてのユーザーがケータイを使用できます。

4.20.1 ケータイの利用ユーザーを管理する

ケータイを使用できるユーザーを指定します。

初期設定では、すべてのユーザーがケータイを使用できます。

補足

- 有効なライセンスを登録すると、メニューに「利用ユーザーの設定」が表示されます。

利用ユーザーを追加する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ケータイ]をクリックします。
- 3 [利用ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 利用権限一覧に利用ユーザーを追加します。

利用ユーザーを削除する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ケータイ]をクリックします。
- 3 [利用ユーザーの設定]をクリックします。
- 4 削除する利用ユーザーを選択します。

- 5 [削除する]をクリックします。
- 6 [はい]をクリックします。

補足

- 手順 4 で[すべて削除]をクリックし、[はい]をクリックすると、すべての利用ユーザーが削除されます。

4.20.2 ケータイの機能を設定する

ケータイの「一般設定」画面で、ケータイの機能を設定します。

- ユーザー検索の結果表示:
ケータイのアドレス帳でユーザーを検索したとき、次のどちらの方法で検索結果を表示するか設定します。
 - 名前のみ表示する:
検索結果画面にユーザー名のみが表示されます。
 - 名前と次の項目を表示する:
検索結果画面に、ユーザー名とユーザー情報を表示します。表示できるユーザー情報の項目は最大 2 個です。
- ログイン方法:
自動ログインを使用する場合はチェックボックスを選択します。1 度ケータイからガルーンにログインしたユーザーは、次回からログインせずにケータイにアクセスできるようになります。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ケータイ]をクリックします。
- 3 [一般設定]をクリックします。
- 4 必要な機能を設定します。

自動ログインの有効期間

初期設定では、自動ログインは、ユーザーが最後にガルーンにアクセスしてから、3 日間(72 時間)有効です。自動ログインの有効期間を変更する場合は、common.ini ファイル(設定ファイル)を変更します。

標準のインストール先ディレクトリーにガルーンをインストールした場合は、次のディレクトリーに common.ini ファイルが保存されます。

- Windows 環境:C:\inetpub\scripts\cbgrn
- Linux 環境:/var/www/cgi-bin/cbgrn

操作手順:

- 1 ガルーンがインストールされているサーバーマシンの Web サーバーを停止します。
- 2 common.ini ファイルを開きます。
- 3 [Cellular]セクションの token_expiration に、自動ログインの有効期間を日数で指定します。
指定できる数字は、1 から 10 の整数です。
例: 自動ログインを 2 日間有効にする場合

```
token_expiration = "2"
```

- 4 common.ini ファイルを保存します。
- 5 複数のサーバーでガルーンを運用している場合は、すべてのサーバーで手順 2 から手順 4 を実行します。
- 6 ガルーンがインストールされているサーバーマシンの Web サーバーを起動します。

4.20.3 ケータイのログインURLを設定する

携帯電話に送信された URL をユーザーがクリックすると、ケータイにアクセスできます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ケータイ]をクリックします。
- 3 [ログイン URL の設定]をクリックします。
- 4 携帯電話からガルーンにログインするための URL を設定します。

ログイン URL の形式は次のとおりです:

ユーザー画面のログイン画面の URL/cellular/index?

URL の例:

- Windows 環境: <http://sample.cybozu.com/scripts/cbgrn/grn.exe/cellular/index?>
- Linux 環境: <http://sample.cybozu.com/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/cellular/index?>

4.20.4 利用ユーザーをCSVファイルで管理する

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [ケータイ]をクリックします。
- 3 [利用ユーザーの読み込み]または[利用ユーザーの書き出し]をクリックします。
- 4 データを CSV ファイルから読み込むか、CSV ファイルに書き出します。

補足

- CSV ファイルの読み込み中にエラーが発生した場合、読み込みが中止されます。途中まで読み込まれた内容はガルーンに反映されません。

4.21 全文検索

全文検索は、ガルーンで作成した文書や添付ファイルなどを、まとめて検索するアプリケーションです。

データのクロールと検索の処理は全文検索サーバーが行います。

全文検索サーバーは、ガルーンの詳細データを定期的にクロールし、データベースに登録すると同時に索引を作成します。ユーザーがガルーンで全文検索を実行したとき、全文検索サーバーは索引を検索し、検索時間を短縮します。

全文検索で検索できるアプリケーションとファイルは次のとおりです。

アプリケーション

- メッセージ
- 掲示板
- ファイル管理
- メール

ファイル

製品またはファイルタイプ	検索対象のファイル形式または拡張子
Word	.doc、.docx、.docm
Excel	.xls、.xlsx、.xlsm
PowerPoint	.ppt、.pptx、.pptm
PDF	.pdf
JUSTSYSTEM 一太郎	.jtd
HTML	.html、.htm
XML	.xml
テキスト	MIME タイプが Text/plain のファイル形式 例:txt、log、ini など

補足

- 全文検索サーバーは、日本語のみの提供です。日本語 OS 以外の環境で全文検索を使用する場合は、販売元かサイボウズ オフィシャル パートナーにお問い合わせください。
- 全文検索サーバーの詳細は、マニュアルを参照してください。次のサイトから日本語版のマニュアルをダウンロードできます。
http://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_other
- ガルーンをバージョン 2.1.3 以前から 3.0.0 以降にバージョンアップした場合、全文検索は使用停止に設定されています。全文検索を使用する前に、アプリケーションを使用可能にする必要があります。
「アプリケーションの使用を開始または停止する」 - 23 ページ
- 試用期間終了後も全文検索を使用するためには、有効なサービスライセンスが必要です。

4.21.1 通信パスワードを設定する

ガルーンと全文検索サーバーが通信するためには、共通のパスワードを設定する必要があります。

ガルーンにパスワードを設定したあと、全文検索サーバーにパスワードを設定します。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。

- 2 [全文検索]をクリックします。
- 3 [通信パスワードの設定]をクリックします。
- 4 通信パスワードを設定します。

補足

- 通信パスワードで使用できる文字は、a-z、A-Z、0-9、_(アンダーバー)です。
- 通信パスワードで使用できる文字数は1文字以上、25文字以下です。

4.21.2 全文検索サーバーの情報を確認する

通信パスワードを設定すると、全文検索サーバーの情報を確認できます。

操作手順:

- 1 [各アプリケーションの管理]をクリックします。
- 2 [全文検索]をクリックします。
- 3 [全文検索サーバー情報の確認]をクリックします。
- 4 全文検索サーバーの情報を確認します。

全文検索サーバーの情報

全文検索サーバーによる設定

- 有効:全文検索を使用できます。全文検索サーバー側でガルーンの有効な情報が登録された状態です。
- 無効:全文検索を使用できません。全文検索サーバー側で、まだガルーンの情報設定されていません。

システム管理 URL

全文検索サーバーに、検索対象の製品としてガルーンを登録すると、全文検索サーバーのシステム管理画面のURLが表示されます。

4.21.3 全文検索を再初期化する

アプリケーション(全文検索)を再初期化すると、全文検索サーバーがガルーンデータをクローलするかどうか判断するために使用するフラグが初期化されます。フラグが初期化されると、全文検索の対象のデータがすべてクローラされます。

「アプリケーションを再初期化する」 - 24 ページ

4.22 連携するサイボウズ製品を使用する

ガルーンは次の製品と連携できます。

- サイボウズ デヂエ
- サイボウズ ドットセールス

ガルーンと上記の製品を連携させる場合は、販売元かサイボウズ オフィシャル パートナーにお問い合わせください。

補足

- サイボウズ デヂエとサイボウズ ドットセールスは日本語のみの提供です。
- ガルーンとほかのサイボウズ製品を連携するための設定手順は、日本語版のマニュアルに記載されています。次の Web サイトで、日本語版のマニュアルを提供しています。
http://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_other

4.23 優先されるアクセス権

組織、ユーザーおよびロールでアクセス権や使用権限を設定すると、1人のユーザーに対して複数の権限が設定される場合があります。

異なるアクセス権や使用権限が重複した場合の、権限の優先度を説明します。

対象が重複した場合のアクセス権または使用権限

1人のユーザーが、所属する組織やロールで異なるアクセス権の対象になっている場合、優先される権限はセキュリティモデルによって異なります。

セキュリティモデルが GRANT(許可の対象を選択する)の場合

いずれかの対象で許可されていれば、その権限が優先されます。

セキュリティモデルが REVOKE(制限の対象を選択する)の場合

いずれかの対象で制限されていれば、その権限が優先されます。1つでも許可しない設定になっている場合、その機能は使用できません。

例として、社員 A が掲示板のカテゴリ「連絡」に対して可能な操作を説明します。

社員 A は組織「総務部」とロール「経理担当」に所属しています。

社員 A の「連絡」カテゴリに対するアクセス権は、次のとおりです。

セキュリティモデルが GRANT の場合:

アクセス権	閲覧	書き込み	フォローの追加
組織(総務部)	✓		
ロール(経理担当)	✓	✓	
ユーザー(社員 A)	✓		✓



社員 A が許可される操作	閲覧	書き込み	フォローの追加
「連絡」カテゴリ内の掲示	✓	✓	✓

✓: 許可

セキュリティモデルが REVOKE の場合:

アクセス権	閲覧	書き込み	フォローの追加
組織(総務部)	✓		
ロール(経理担当)	✓	✓	
ユーザー(社員 A)	✓	✓	✓



社員 A が許可される操作	閲覧	書き込み	フォローの追加
「連絡」カテゴリ内の掲示	✓		

✓: 許可

セキュリティモデルを変更する

セキュリティモデルは、次のどちらかを選択できます。

- GRANT:
許可する対象を選択します。
- REVOKE:
制限する対象を選択します。

操作手順:

- 1 アクセス権や権限の設定画面を表示します。
- 2 「セキュリティモデル」の[変更]をクリックします。

補足

- セキュリティモデルを変更すると、設定されているアクセス権が初期化されます。

スケジュールまたは電話メモの重複したアクセス権

1人のユーザーが、所属する組織やロールで異なるアクセス権を所持する場合、優先される権限は次のとおりです。

組織、ユーザー、またはロールの、スケジュールや電話メモのアクセス権が重複した場合

ユーザーのスケジュールや電話メモに設定したアクセス権が優先されます。

例として、社員 A に、社員 B のスケジュールのアクセス権を設定します。

社員 B は組織「情報システム部」と、ロール「部長」に所属しています。

社員 A の、社員 B のスケジュールに対するアクセス権は、次のとおりです。

社員 A が保持するアクセス権	閲覧	追加	変更	削除
組織(情報システム部)	✓	✓	✓	
ロール(部長)	✓	✓		
ユーザー(社員 B)	✓			



社員 A が許可される操作	閲覧	追加	変更	削除
社員 B のスケジュール	✓			

✓ : 許可

組織またはロールの、スケジュールや電話メモのアクセス権が重複した場合

ユーザーのスケジュールや電話メモにアクセス権が設定されていない場合は、組織かロールのどちらかで許可された権限が優先されます。

例として、社員 A が社員 B のスケジュールに対して可能な操作を説明します。

社員 B は、組織「情報システム部」と、ロール「部長」に所属しています。

社員 B のスケジュールに対して、アクセス権は設定されていません。

社員 A の、社員 B のスケジュールに対するアクセス権は、次のとおりです。

ユーザーAが保持するアクセス権	閲覧	追加	変更	削除
組織(情報システム部)	✓		✓	
ロール(部長)	✓	✓		
User(社員B)	(設定なし)			



社員Aが許可される操作	閲覧	追加	変更	削除
社員Bのスケジュール	✓	✓	✓	

✓: 許可

スケジュールの重複したアクセス権

施設グループのスケジュールに対するアクセス権と、施設のスケジュールに対するアクセス権が重複した場合は、両方で一致する権限が施設に適用されます。施設グループのスケジュールに対してのみアクセス権が設定されている場合は、同じ権限が施設のスケジュールに適用されます。

例として、社員Aが会議室Aと会議室Bのスケジュールに対して可能な操作を説明します。

施設「会議室A」と「会議室B」は、施設グループ「会議室」に所属しています。

社員Aは、施設グループ「会議室」と施設「会議室A」のスケジュールに対して、異なるアクセス権を持っています。

社員Aは、「会議室B」のスケジュールに対して、アクセス権を設定されていません。

社員Aの、会議室Aに対するアクセス権は次のとおりです。

ユーザーAが保持するアクセス権	閲覧	追加	変更	削除
施設グループ(会議室)	✓	✓	✓	
施設(会議室A)	✓		✓	✓
施設(会議室B)	(設定なし)			



社員Aが許可される操作	閲覧	追加	変更	削除
施設Aのスケジュール	✓		✓	
施設Bのスケジュール	✓	✓	✓	

✓: 許可

5章 ガルーンの保守

次の環境でガルーンをインストールした場合を例に、バックアップ、リストア、およびほかのサーバーにガルーンを移行する方法を説明します。

- インストール識別子: cbgrn
- インストールディレクトリー
 - Windows 環境:
 - C:\Program Files\Cybozu
 - C:\inetpub\scripts
 - Linux 環境:
 - /usr/local/Cybozu/
 - /var/www/cgi-bin

5.1 バックアップとリストア

Windows 環境では「Administrator」権限を持つユーザー、Linux 環境の場合は root ユーザーが、ガルーンの詳細をバックアップまたはリストアします。

注意

- データのバックアップ中は、ガルーンを使用できません。
- データのバックアップ元とリストア先のガルーンのバージョンは同一である必要があります。

バックアップの対象となるデータ

ガルーンでは、データベース (MySQL) の次のデータをバックアップします。

- **Windows 環境:**
 - C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\data
 - C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\files
- **Linux 環境:**
 - /usr/local/Cybozu/mysql-5.0/data
 - /usr/local/Cybozu/mysql-5.0/files

データベースのデータ

data ディレクトリー内に保存されているデータです。次のデータが保存されています。

- **mysql:**
データベース管理ユーザーのパスワードのような、MySQL が動作するために必要なデータです。
- **cb_cbgrn:**
ユーザー情報や、メッセージ、スケジュールなどのガルーン のアプリケーションのデータです。

添付ファイル

Files ディレクトリー内に保存されているデータです。メッセージや掲示などに添付されているファイルが保存されています。

MySQLのデータと添付ファイルのデータは連携しています。データ同士で不整合が発生しないように、計画的にバックアップやリストアを行う必要があります。

補足

- ガルーンはMySQLのテーブルにInnoDBを使用しています。mysqlhotcopyは使用できません。

バックアップ方法

MySQLのデータは、OSのコマンドを使用してコピーするか、mysqldumpを使用してバックアップします。

添付ファイルは、OSのコマンドを使用してバックアップします。

OSのコマンドを使用するときは、MySQLとガルーンのスケジューリングサービスを停止します。安全にデータをバックアップするため、ガルーンのプロセスが残っていないことを確認してください。

各サービスやデーモンの動作を監視している場合は、作業が終了するまで監視の対象からガルーンを外すことを推奨します。

プロセスの確認

ガルーンのプロセスの確認方法は次のとおりです。

- Windows 環境:
 1. タスクマネージャを起動します。
 2. Windows タスク マネージャーで、[プロセス]のタブをクリックします。
 3. sched.exe および mysqld.exe が表示されないことを確認します。
- Linux 環境:

次のコマンドを実行し、実行中のプロセスの一覧に、スケジューリングサービスとMySQLが表示されないことを確認します。

```
ps -aux | grep cyss
```

```
ps -aux | grep mysql
```

補足

- OSのコマンドを使用すると、短時間でデータをバックアップできます。次の方法があります。
 - ストレージソフトウェアを使用してデータの差分だけをバックアップする。
 - スナップショット機能を使用する。
- mysqldumpは、MySQLと同時にインストールされます。
- mysqldumpで取得したデータは、データベースの未使用領域が削除されます。データをリストアすると、リストアする前よりディスク使用量が減少する場合があります。

スケジューリングサービスとは？

スケジューリングサービスとは、設定された時間に決められた処理を行うサービスです。sched.iniファイルで設定された時間に、ガルーンに存在する不要なファイルの削除や、天気予報の取得などを自動で行います。

スケジューリングサービスは、設定方法によって適用されるタイムゾーンが異なります。

- 画面で開始時刻を設定した場合:

設定したユーザーのタイムゾーン

例: ユーザーデータの削除時間の設定

- 設定ファイルで開始時刻を設定した場合：
スケジューリングサービスを実行しているサーバーの、システム日付に使用されているタイムゾーン
例:「サイボウズからのお知らせ」の受信時刻の設定

スケジューリングサービスを停止すると、予定していたタスクが実行されません。

スケジューリングサービスが実行するタスクには、0 時 00 分に開始するタスクがあります。データのバックアップやパッチの適用などで、0 時 00 分前後にスケジューリングサービスを停止する場合は、同じ時間に実行されるタスクの開始時間を変更する必要があります。

変更するファイルと内容は、次のとおりです。

変更するファイル

(CGI 実行可能ディレクトリー)/(インストール識別子)/sched.ini

例:

- Windows 環境:C:\inetpub\scripts\cbgrn\sched.ini
- Linux 環境:/var/www/cgi-bin/cbgrn/sched.ini

変更する内容

[daily]の下の「minute=0」と「hour=0」に、スケジューリングサービスを実行する時刻(分と時間)を記述します。

23:00 に変更する場合の例:

```
[daily]
minute=0
hour=23
```

注意

- スケジューリングサービスは、サイボウズ データベースエンジンを停止する前に停止する必要があります。
- スケジューリングサービスは、サイボウズ データベースエンジンが起動した後に起動する必要があります。
- スケジューリングサービスとサイボウズ データベースエンジンは、次のユーザーが起動および停止します。
 - Windows 環境:Windows の Administrator 権限を持つユーザー
 - Linux 環境:root ユーザー

スケジューリングサービスの機能

スケジューリングサービスは、スクリプトファイルを実行することによって、タスクを実行します。

スケジューリングサービスによって実行されるタスクと、タスクの機能を説明します。

既定の時間に実行されるタスク

管理画面や設定ファイルなどで指定された時刻に実行されるタスクです。

スクリプトファイル	機能	開始時刻
grn_delete_user_data.csp	ガルーンから削除されたユーザーの、ユーザー情報やアクセス権などを削除します。 処理に失敗すると、次にタスクが実行されるまで、削除されたユーザーと同じログイン名のユーザーを、ガルーンに追加できません。	「ユーザーデータの削除時間の設定」画面の、「ユーザーデータの削除」に設定されている時間

スクリプトファイル	機能	開始時刻
grn_rss_fetch.csp	<p>RSSリーダーに登録されているサイトのRSSデータを取得します。</p> <p>次のサイトのRSSデータを取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有サイトに設定されているサイト ・個人設定で設定されているサイトで、11人以上が共有しているサイト <p>このタスクは、前回のタスクの実行後、設定されている時間ごとに実行されます。</p> <p>実行の間隔は、RSSリーダーの「一般設定」画面の、「キャッシュ更新間隔」で設定します。</p>	<p>スケジューリングサービスを起動した後の、最初の00分</p> <p>例:</p> <p>12:34にスケジューリングサービスを起動すると、13:00にタスクが実行されます。</p>
cleanup.csp	<p>次のデータを削除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(CGI実行ディレクトリー)/インストール識別子/upload_tmp ・(CGI実行ディレクトリー)/インストール識別子/tmp ・添付ファイル保存領域に保存されてから、24時間以上経過した一時ファイル ・前回のタスク実行時に削除できなかったデータ ・ファイル管理のごみ箱に移動してから、「削除したファイルの復旧可能期間」を過ぎたファイル <p>添付ファイル保存領域は、common.iniファイルのfilesセクションで指定されたディレクトリーです。</p>	<p>毎日 0:00、6:00、12:00、18:00</p> <p>補足: 開始時刻は変更できません。</p>
grn_mail_auto_receive.csp	<p>メールを自動的に受信します。</p>	<p>メールの「一般設定」画面の、「メールの自動受信」に設定されている時間</p>
get_six_kinds_of_day_data.csp	<p>六曜データを受信します。</p> <p>ガルーンを初期化したときに選択したオプションによって、次のいずれかの時刻にタスクが実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準+サンプルデータ:12月1日 7:38 ・標準:12月1日 2:52 ・何もインストールしない:12月1日 時刻は不定期 	<p>ガルーンの初期化時のオプションによって設定された日時</p> <p>補足: 開始時刻は変更できません。</p>
grn_rss_cybozu_information.csp	<p>サイボウズからのお知らせを受信します。</p> <p>ガルーンを初期化したときに選択したオプションによって、次のいずれかの時刻にタスクが実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準データとサンプルデータ:毎時 51分 ・標準:毎時 58分 ・何もインストールしない:1時間に1回、時刻は不定期 	
grn_rss_delete_caches.csp	<p>次のデータを削除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RSSリーダーのキャッシュ ・前回のタスク実行時に削除できなかったデータ 	<p>毎日 0:00、6:00、12:00、18:00</p>
get_weather_data.csp	<p>天気予報を受信します。</p> <p>ガルーンを初期化したときに選択したオプションによって、次のいずれかの時刻にタスクが実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準データとサンプルデータ:0:33、6:33、12:33、18:33 ・標準:1:14、7:14、13:14、19:14 ・何もインストールしない:次の時間内に1回 <ul style="list-style-type: none"> ・0:30 から 1:29 まで ・6:30 から 7:29 まで ・12:30 から 13:29 まで ・18:30 から 19:29 まで 	<p>ガルーンの初期化時のオプションによって設定された日時</p> <p>補足: 開始時刻は変更できません。</p>

スクリプトファイル	機能	開始時刻
grn_workflow_cutover.csp	ワークフローの申請番号の年次を切り替えます。	ワークフローの「一般設定」画面の「申請番号の年次切替」に設定している日時
license_notify.csp	ガルーンの試用期間やサービスの停止日など、ライセンスに関する通知を受信します。	毎日 0:00、6:00、12:00、18:00 補足: 開始時刻は変更できません。
grn_dezielink_sync_user.csp	ガルーンとデヂエのユーザー情報を同期します。	「デヂエ連携の設定」画面の、「ユーザー情報の自動同期」に設定されている時刻

毎日実行されるタスク

設定した時刻に実行されるタスクです。

スクリプトファイル	機能	開始時刻
cleanup_applications.csp	削除されたユーザーに関連するデータを削除します。削除されるデータは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・メールデータと、そのメールの添付ファイル ・下書きのメールデータと、そのメールの添付ファイル ・メモの添付ファイル ・個人アドレス帳の添付ファイル ・個人アドレス帳のカスタマイズ項目のファイル項目 ・共有アドレス帳のカスタマイズ項目のファイル項目 ・下書きの掲示と、その掲示の添付ファイル ・下書きのメッセージと、そのメッセージの添付ファイル ・下書きの申請と、その申請の添付ファイル ・送信者および宛先のユーザーがすべて削除されているメッセージと、そのメッセージの添付ファイル ・デヂエ連携で使用されていないポートレットのキャッシュ ・下書きのレポートと、そのレポートの添付ファイル ・前回のタスク実行時に、削除できなかったデータ 	毎日 0:00

補足

- ・バージョン 3.5.0 以降のガルーンで、grn_cabinet_cleanup.csp は cleanup.csp に統合されました。

1 時間ごとに実行されるタスク

スクリプトファイル	機能	開始時刻
grn_schedule_extension_consistent.csp	ガルーンとドットセールスのスケジュールを同期します。	毎時 0 分

5.1.1 OSのコマンドを使用してバックアップする

OS のコマンドを使用して、バックアップ対象のディレクトリーをコピーします。

Windows 環境でのバックアップ

バックアップ用のディレクトリーを作成し、データをバックアップします。

ディレクトリー例:

C:¥backup¥YYYYMMDD

操作手順:

- 1 **Web サーバーを停止します。**
- 2 **スケジューリングサービス、サイボウズ データベースエンジンの順に停止します。**
Windows のスタートメニューから、[設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]を選択し、次のサービスを停止します。
 - Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn¹
 - Cybozu_Database_Engine_5_0

¹:「cbgrn」の部分には、インストール時に指定した識別子が設定されます。
- 3 **コマンド プロンプトを起動します。**
- 4 **カレントディレクトリーの下にバックアップ先のディレクトリーを作成します。**
mkdir C:¥backup¥YYYYMMDD
- 5 **data ディレクトリーと files ディレクトリーを、手順 3 で作成したディレクトリーにコピーします。**
xcopy "C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥data" C:¥backup¥YYYYMMDD¥data /E /I
xcopy "C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥files" C:¥backup¥YYYYMMDD¥files /E /I

既存のディレクトリーにコピーした場合は、データを上書きするかどうか確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は「Yes」または「All」、中止する場合は「No」を入力します。
- 6 **データベースエンジン、スケジューリングサービスの順に起動します。**
Windows のスタートメニューから、[設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]を選択し、次のサービスを起動します。
 - Cybozu_Database_Engine_5_0
 - Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn
- 7 **Web サーバーを起動します。**
- 8 **ガルーンに正常にアクセスできることを確認します。**

Linux 環境でのバックアップ

バックアップ用のディレクトリーを作成し、データをバックアップします。

- ディレクトリー例:
/backup/YYYYMMDD

操作手順:

- 1 **コマンドラインの入力画面を起動します。**
- 2 **Web サーバーを停止します。**

```
/etc/init.d/httpd stop
```

3 スケジューリングサービス、データベースエンジンの順に停止します。

```
/etc/init.d/cyss_cbgrn stop1
```

```
/etc/init.d/cyde_5_0 stop
```

¹:「cbgrn」の部分には、インストール時に指定した識別子が設定されます。

4 バックアップ先のディレクトリーを作成します。

```
mkdir -p /backup/YYYYMMDD
```

5 data ディレクトリーと files ディレクトリーを、手順 3 で作成したディレクトリーにコピーします。

```
cp -rp /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data /backup/YYYYMMDD/
```

```
cp -rp /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files /backup/YYYYMMDD/
```

6 データベースエンジン、スケジューリングサービスの順に起動します。

```
/etc/init.d/cyss_cbgrn start
```

```
/etc/init.d/cyde_5_0 start
```

7 Web サーバーを起動します。

```
/etc/init.d/httpd start
```

8 ガルーンに正常にアクセスできることを確認します。

5.1.2 OSのコマンドを使用してリストアする

OS のコマンドを使用して、コピーしたデータをリストアします。

データのリストアは、ユーザーがガルーンにアクセスしない時間帯に行います。

Windows 環境でのリストア

バックアップ用のディレクトリーに保存されているデータをリストアします。

- ディレクトリー例:
C:¥backup¥YYYYMMDD

操作手順:

1 Web サーバーを停止します。

2 スケジューリングサービス、データベースエンジンの順に停止します。

Windows のスタートメニューから、[設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]を選択し、次のサービスを停止します。

- Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn¹
- Cybozu_Database_Engine_5_0

¹:「cbgrn」の部分には、インストール時に指定した識別子が設定されます。

3 コマンド プロンプトを起動します。

4 既存のデータベース領域と添付ファイル領域を削除します。

```
rmdir /s /q "C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥data"
```

```
rmdir /s /q "C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥files"
```

5 バックアップしたデータを元のディレクトリーにコピーします。

```
xcopy C:¥backup¥YYYYMMDD¥data "C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥data" /E /I
```

```
xcopy C:¥backup¥YYYYMMDD¥files "C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥files" /E /I
```

6 データベースエンジン、スケジューリングサービスの順に起動します。

Windows のスタートメニューから、[設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]を選択し、次のサービスを起動します。

- Cybozu_Database_Engine_5_0
- Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn

7 Web サーバーを起動します。

8 ガルーンに正常にアクセスできることを確認します。

補足

- リストア後にディレクトリーの権限が変わると、データベースエンジンが起動しない場合があります。その場合は、MySQL のデータ領域(データベース領域と添付ファイル領域)の権限を変更する必要があります。
- データベース領域と添付ファイル領域に設定する権限は、ガルーンを運用しているサーバーの構成や OS によって異なります。詳細はオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

Linux 環境でのリストア

バックアップ用のディレクトリーに保存されたデータを、リストアします。

- ディレクトリー例:
/backup/YYYYMMDD

操作手順:

1 Web サーバーを停止します。

```
/etc/init.d/httpd stop
```

2 スケジューリングサービス、データベースエンジンの順に停止します。

```
/etc/init.d/cyss_cbgrn stop1
```

```
/etc/init.d/cyde_5_0 stop
```

¹:「cbgrn」の部分には、インストール時に指定した識別子が設定されます。

3 既存のデータベース領域と添付ファイル領域を削除します。

```
rm -rf /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data
```

```
rm -rf /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files
```

4 バックアップしたデータを元のディレクトリーにコピーします。

```
cp -rp /backup/YYYYMMDD/data /usr/local/cybozu/mysql-5.0/
```

```
cp -rp /backup/YYYYMMDD/files /usr/local/cybozu/mysql-5.0/
```

5 データベースエンジン、スケジューリングサービスの順に起動します。

```
/etc/init.d/cyssh_cbgrn start
```

```
/etc/init.d/cyde_5_0 start
```

6 Web サーバーを起動します。

```
/etc/init.d/httpd start
```

7 ガルーンに正常にアクセスできることを確認します。

補足

- リストア後にディレクトリーの権限が変わり、データベースエンジンが起動しない場合があります。その場合は `chown` コマンドで、MySQL のデータ領域（データベース領域と添付ファイル領域）に CGI 実行ユーザー（例: `apache`）が読み書きできる権限を設定します。
- `data` ディレクトリーと `files` ディレクトリーにパーミッションと所有者を設定する場合の例は、次のとおりです。

```
chmod -R 755 data
chmod -R 700 files
chown -R apache:root data files
```

5.1.3 mysqldumpを使用してバックアップする

バックアップは、ユーザーがガルーンにアクセスしない時間帯に行います。

Mysqldump は、バックアップモードで実行します。バックアップモードについては、次のページを参照してください。

「バックアップモードの設定」 - 253 ページ

mysqldump の速度

mysqldump は、データ量に比例してバックアップとリストアの時間が長くなります。

リストアはバックアップより時間がかかります。

mysqldump を使用したリストアは、OS コマンドを使用したリストアより時間がかかります。

リストア後のディスク使用量

mysqldump を使ってリストアすると、バックアップ前よりディスク使用量が少ない場合があります。バックアップしたデータに未使用領域が含まれていないためです。データが欠落しているわけではありません。

バックアップモードの設定

MySQL のデータと添付ファイルでは、バックアップ方法が異なるため、データに不整合が生じる可能性があります。データの整合性を保つために、バックアップの実行中は、データベースの更新を禁止する必要があります。

ガルーンをバックアップモードに設定すると、データベースを更新できないように設定できます。

初期設定では、バックアップモードの機能を使用しないように設定されています。設定ファイル (`common.ini`) の内容を変更して、バックアップモードの機能を使用可能にします。

変更するファイルと内容は、次のとおりです。

変更するファイル

(CGI 実行可能ディレクトリー)/(インストール識別子)/`common.ini`

例:

- Windows 環境:
C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn¥common.ini
- Linux 環境:
/var/www/cgi-bin/cbgrn/common.ini

変更する内容

[BackupMode]の下の、「disable = "1"」の行を、次のように削除します。

削除前:	削除後:
[BackupMode]	[BackupMode]
disable = "1"	driver = "xxxxx"
driver = "xxxxx"	

補足

- バックアップモードは、コマンドラインで設定または解除します。
- バックアップモードが使用可能になっていると、ユーザーはガルーンを使用できません。
- バックアップモードを使用不可にする場合は、ファイルの内容を元に戻します。

Windows 環境

バックアップ用のディレクトリーを作成し、データをバックアップします。

- ディレクトリー例:
C:¥backup¥YYYYMMDD

補足

- バックアップモードが使用できるように、作業の前にガルーンの設定を変更します。
「バックアップモードの設定」 - 253 ページ

操作手順:

- 1 コマンド プロンプトを起動します。
- 2 バックアップ先のディレクトリーを作成します。
mkdir C:¥backup¥YYYYMMDD
- 3 スケジューリングサービスを停止します。
Windows のスタートメニューから、[設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]を選択し、次のサービスを停止します。
Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn¹

¹:「cbgrn」の部分には、インストール時に指定した識別子が設定されます。
- 4 ガルーンをバックアップモードに設定します。
cd C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn
grn_command.exe -f .¥code¥command¥backupmode_start.csp
- 5 データベース管理ユーザーで、mysqldump を実行します。
"C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥bin¥mysqldump" --defaults-file="C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥etc¥my.ini" --all-databases --single-transaction -u cbroot -p >

```
C:%backup%YYYYMMDD%full.sql
```

6 データベース管理ユーザーのパスワードを入力します。

7 添付ファイルをバックアップします。

```
xcopy "C:%Program Files%Cybozu%mysql-5.0%files" C:%backup%YYYYMMDD%files /E /I
```

8 バックアップモードを解除します。

```
cd C:%inetpub%scripts%cbgrn
grn_command.exe -f .%code%command%backupmode_end.csp
```

9 スケジューリングサービスを起動します。

Windows のスタートメニューから、[設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]を選択し、次のサービスを起動します。

```
Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn
```

10 ガルーンに正常にアクセスできることを確認します。

Linux 環境

バックアップ用のディレクトリーを作成し、データをバックアップします。

- ディレクトリー例:

```
例: /backup/YYYYMMDD
```

補足

- バックアップモードが使用できるように、作業の前にガルーンの設定を変更します。
「バックアップモードの設定」 - 253 ページ

操作手順:

1 バックアップ先のディレクトリーを作成します。

```
mkdir -p /backup/YYYYMMDD
```

2 スケジューリングサービスを停止します。

```
/etc/init.d/cyss_cbgrn stop1
```

¹:「cbgrn」の部分には、インストール時に指定した識別子が設定されます。

3 ガルーン をバックアップモードに設定します。

```
cd /var/www/cgi-bin/cbgrn
./grn_command -f ./code/command/backupmode_start.csp
```

4 データベース管理ユーザーで、mysqldump を実行します。

```
/usr/local/cybozu/mysql-5.0/bin/mysqldump --defaults-file=/usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini
--all-databases --single-transaction -u cbroot -p > /backup/YYYYMMDD/full.sql
```

5 データベース管理ユーザーのパスワードを入力します。

6 添付ファイルをバックアップします。

```
cp -rp /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files /backup/YYYYMMDD/
```

7 バックアップモードを解除します。

```
cd /var/www/cgi-bin/cbgrn
./grn_command -f ./code/command/backupmode_end.csp
```

8 スケジューリングサービスを起動します。

```
/etc/init.d/cyss_cbgrn start
```

9 ガルーン に正常にアクセスできることを確認します。

5.1.4 mysqldumpを使用してリストアする

mysqldump を使用してバックアップしたデータと添付ファイルをリストアします。

リストアは、ユーザーがガルーン にアクセスしない時間帯に行います。

MySQL のデータが破損した場合の対処

ディスクの破損やシステムの障害などで mysql テーブル(権限データベース)が失われる場合があります。

mysql テーブルの破損によって dump したデータが読み込めない場合は、次の流れでデータをリストアします。

操作手順:

- 1 ガルーンを新規でインストールします。
- 2 手順 1 でインストールしたガルーンのデータを、OS コマンドを使用してバックアップします。
「5.1.1 OS のコマンドを使用してバックアップする」 - 249 ページ
- 3 手順 2 でバックアップしたデータを、OS コマンドを使用してリストアします。
「5.1.2 OS のコマンドを使用してリストアする」 - 251 ページ
- 4 dump したデータを、mysqldump を使用してリストアします。
「5.1.3 mysqldump を使用してバックアップする」 - 253 ページ

Windows 環境

バックアップ用のディレクトリーに保存したデータを、リストアします。

- ディレクトリー例:
C:¥backup¥YYYYMMDD

操作手順:

- 1 コマンド プロンプトを起動します。
- 2 スケジューリングサービスを停止します。
Windows のスタートメニューから、[設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]を選択し、次のサービスを停止します。
Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn¹

¹:「cbgrn」の部分には、インストール時に指定した識別子が設定されます。

- 3 ガルーンをバックアップモードに設定します。

```
cd C:\inetpub\scripts\cbgrn
```

```
grn_command.exe -f .\code\command\backupmode_start.csp
```

4 データベース管理ユーザーで、バックアップしたデータを読み込みます。

```
"C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\bin\mysql" --defaults-file="C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\etc\my.ini" -u cbroot -p < C:\backup\YYYYMMDD\full.sql
```

5 データベース管理ユーザーのパスワードを入力します。

6 既存の添付ファイル領域を削除します。

```
rmdir /s /q "C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\files"
```

7 添付ファイルをリストアします。

```
xcopy C:\backup\YYYYMMDD\files "C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\files" /E /I
```

8 バックアップモードを解除します。

```
cd C:\inetpub\scripts\cbgrn
```

```
grn_command.exe -f .\code\command\backupmode_end.csp
```

9 スケジューリングサービスを起動します。

Windows のスタートメニューから、[設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]を選択し、次のサービスを起動します。

```
Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn
```

10 ガルーンに正常にアクセスできることを確認します。

Linux 環境

バックアップ用のディレクトリーに保存したデータを、リストアします。

- ディレクトリー例:
/backup/YYYYMMDD

操作手順:

1 スケジューリングサービスを停止します。

```
/etc/init.d/cyss_cbgrn stop1
```

¹:「cbgrn」の部分には、インストール時に指定した識別子が設定されます。

2 ガルーンをバックアップモードに設定します。

```
cd /var/www/cgi-bin/cbgrn
```

```
./grn_command -f ./code/command/backupmode_start.csp
```

3 データベース管理ユーザーで、バックアップしたデータを読み込みます。

```
/usr/local/cybozu/mysql-5.0/bin/mysql --defaults-file=/usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini -u cbroot -p < /backup/YYYYMMDD/full.sql
```

4 データベース管理ユーザーのパスワードを入力します。

5 既存の添付ファイル領域を削除します。

```
rm -rf /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files
```

6 添付ファイルをリストアします。

```
cp -rp /backup/YYYYMMDD/files /usr/local/cybozu/mysql-5.0/
```

7 バックアップモードを解除します。

```
cd /var/www/cgi-bin/cbgrn  
./grn_command -f ./code/command/backupmode_end.csp
```

8 スケジューリングサービスを起動します。

```
/etc/init.d/cyss_cbgrn start
```

9 ガルーンに正常にアクセスできることを確認します。

補足

- リストア後にディレクトリーの権限が変わり、データベースエンジンが起動しない場合があります。その場合は `chown` コマンドで、MySQL のデータ領域に、CGI 実行ユーザー(例: `apache`)が読み書きできる権限を設定します。

5.2 サーバー間でのガルーンの移行

ガルーンをほかのサーバーに移行します。

Windows 環境の場合、作業は Windows の「Administrator」権限を持つユーザーで行います。Linux 環境の場合、作業は root ユーザーで行います。

ガルーンの移行元と移行先のサーバーで、次の情報が同一である必要があります。

- ガルーンのバージョン
- インストール識別子
- データベース接続ユーザーのパスワード

補足

- インストール識別子は、common.ini ファイルの [Global] セクションの app_name で確認できます。

5.2.1 32 ビット OS または 64 ビット OS 同士で移行する

32 ビット OS 同士、または 64 ビット OS 同士のサーバーでガルーンを移行する場合は、ガルーンのデータを移行先のサーバーにコピーします。

Windows 環境から Linux 環境に移行する手順を説明します。

操作手順:

1 Windows 環境のガルーンのデータをバックアップします。

「5.1.1 OS のコマンドを使用してバックアップする」 - 249 ページ

2 Linux 環境にガルーンをインストールし、初期化します。

移行元のガルーンと同じインストール識別子、データベース接続ユーザーのパスワードを使用します。

Administrator のパスワードは任意です。作業が終了した時点では、移行前に設定していたパスワードが設定されます。

補足:

- 初期化するときを設定する言語とタイムゾーンは、ガルーンの初期値です。言語とタイムゾーンの初期値は、ガルーンの初期化後は変更できません。

3 Linux 環境で、スケジューリングサービス、データベースエンジンの順に停止します。

```
/etc/init.d/cyss_cbgrn stop1
```

```
/etc/init.d/cyde_5_0 stop
```

¹: 「cbgrn」の部分には、インストール時に指定した識別子が設定されます。

4 Linux 環境に、Windows 環境のガルーンのデータをコピーします。

「5.1.2 OS のコマンドを使用してリストアする」 - 251 ページ

5 Linux 環境のデータ領域に、パーミッションと所有者を設定します。

```
chmod -R 755 data
```

```
chmod -R 700 files
```

```
chown -R apache:root data files
```

6 Linux 環境で、データベースエンジン、スケジューリングサービスの順に起動します。

```
/etc/init.d/cyde_5_0 start
```

```
/etc/init.d/cyss_cbgrn start
```

7 Linux 環境のガルーンに正常にアクセスできることを確認します。

補足

- Windows 環境から Linux 環境にガルーンを移行すると、Web サーバーが IIS から Apache に変わるため、ガルーンの URL が変わります。メッセージや掲示板などでガルーンの URL を引用していると、移行後にその URL にアクセスできなくなる場合があります。

5.2.2 32 ビット OS から 64 ビット OS にガルーンを移行する

32 ビット OS から 64 ビット OS にガルーンを移行する場合は、mysqldump を使用してデータファイルを書き換えます。64 ビット OS のサーバーから 32 ビット OS のサーバーへ移行する場合も同様です。

Windows 環境

操作手順:

1 移行元のサーバーマシンで、mysqldump を使用してガルーンの詳細データをバックアップします。

「5.1.3 mysqldump を使用してバックアップする」 - 253 ページ

2 移行先のサーバーマシンにガルーンをインストールし、初期化します。

移行元と同じインストール識別子、データベース接続ユーザーのパスワードを使用します。

Administrator のパスワードは任意です。作業が終了した時点では、移行前に設定していたパスワードが設定されます。

補足:

- 初期化するときに設定する言語とタイムゾーンは、ガルーンの初期値です。言語とタイムゾーンの初期値は、ガルーンの初期化後は変更できません。

3 移行先のサーバーマシンのスケジューリングサービスを停止します。

Windows のスタートメニューから、[設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]を選択し、次のサービスを停止します。

- Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn¹

¹:「cbgrn」の部分には、インストール時に指定した識別子が設定されます。

4 コマンド プロンプトを起動します。

5 既存の添付ファイル領域を削除します。

```
rmdir /s /q "C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥files"
```

6 データベース管理ユーザーで、移行元のバックアップデータを移行先に読み込みます。

例: バックアップデータが「C:¥backup¥YYYYMMDD¥full.sql」の場合

```
"C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥bin¥mysql" --defaults-file="C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥etc¥my.ini" -u cbroot -p < C:¥backup¥YYYYMMDD¥full.sql
```

7 データベース管理ユーザーのパスワードを入力します。

8 移行元のサーバーの添付ファイルを、移行先のサーバーにコピーします。

例: バックアップデータが「C:¥backup¥YYYYMMDD¥files」の場合

```
xcopy C:¥backup¥YYYYMMDD¥files "C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥files" /E /I
```

9 Enter キーを押します。

10 移行先のサーバーマシンのスケジューリングサービスを起動します。

Windows のスタートメニューから、[設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]を選択し、次のサービスを起動します。

- Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn

11 ガルーンに正常にアクセスできることを確認します。

Linux 環境

操作手順:

1 移行元のサーバーマシンで、mysqldump を使用してガルーンのデータをバックアップします。

「5.1.3 mysqldump を使用してバックアップする」 - 253 ページ

2 移行先のサーバーマシンにガルーンをインストールし、初期化します。

移行元と同じインストール識別子、データベース接続ユーザーのパスワードを使用します。

Administrator のパスワードは任意です。作業が終了した時点では、移行前に設定していたパスワードが設定されます。

補足

- 初期化するときに設定する言語とタイムゾーンは、ガルーンの初期値です。言語とタイムゾーンの初期値は、ガルーンの初期化後は変更できません。

3 移行先のサーバーマシンのスケジューリングサービスを停止します。

```
/etc/init.d/cyss_cbgrn stop1
```

¹: 「cbgrn」の部分には、インストール時に指定した識別子が設定されます。

4 既存の添付ファイル領域を削除します。

```
rm -rf /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files
```

5 データベース管理ユーザーで、移行元のバックアップデータを移行先に読み込みます。

例: バックアップデータが「/backup/YYYYMMDD/full.sql」の場合

```
/usr/local/cybozu/mysql-5.0/bin/mysql --defaults-file=/usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini -u cbroot -p < /backup/YYYYMMDD/full.sql
```

6 データベース管理ユーザーのパスワードを入力します。

7 移行元のサーバーの添付ファイルを、移行先のサーバーにコピーします。

例: バックアップデータが「/backup/YYYYMMDD/files」の場合

```
cp -rp /backup/YYYYMMDD/files /usr/local/cybozu/mysql-5.0/
```

8 データ領域にパーミッションと所有者を設定します。

```
chmod -R 700 files
```

```
chown -R apache:root data files
```

9 移行先のサーバーマシンのスケジューリングサービスを起動します。

```
/etc/init.d/cyss_cbgrn start
```

10 ガルーンに正常にアクセスできることを確認します。

5.3 Administrator のパスワードを再設定する

ガルーンの Administrator のパスワードを紛失した場合は、コマンドラインを使用してパスワードを再設定します。次の環境でガルーンをインストールした場合を例に、パスワードの再設定手順を説明します。

- インストール識別子: cbgrn
- インストールディレクトリー
 - Windows 環境 : C:\inetpub\scripts
 - Linux 環境 : /var/www/cgi-bin

Windows 環境

操作手順:

- 1 コマンド プロンプトを起動します。
- 2 CGI 実行可能ディレクトリーに移動します。
`cd C:\inetpub\scripts\cbgrn`
- 3 `set_admin_password.csp` を実行します。
`grn_command.exe -f .\code\command\set_admin_password.csp`
- 4 「yes」を入力し、Enter キーを押します。
- 5 新しいパスワードを入力し、Enter キーを押します。
- 6 確認用のパスワードを入力し、Enter キーを押します。

Linux 環境

操作手順:

- 1 CGI 実行可能ディレクトリーに移動します。
`cd /var/www/cgi-bin/cbgrn`
- 2 `set_admin_password.csp` を実行します。
`./grn_command -f ./code/command/set_admin_password.csp`
- 3 「yes」を入力し、Enter キーを押します。
- 4 新しいパスワードを入力し、Enter キーを押します。
- 5 確認用のパスワードを入力し、Enter キーを押します。

付録A CSV ファイルの仕様

ガルーンでは、ユーザー情報やカテゴリなどのデータを CSV ファイルで管理できます。CSV ファイルを作成するときの注意点や、CSV ファイルのフォーマットについて説明します。

注意

- CSVファイルの読み込み中にエラーが発生すると、ガルーンはCSVファイルの読み込みを中止します。途中まで読み込まれた内容はガルーンに反映されません。

付録A.1 CSVファイルを作成する場合の注意点

CSV ファイルのデータを記述する項目をフィールドと呼びます。

CSV ファイルを正常に読み込むためには、次の点に注意して、フィールド内にデータを正しく記述する必要があります。

文字コード

次の文字コードを使用できます。

- シフト JIS
- UTF-8
- ASCII
- ISO-8859-1
- GB2312
- TIS-620

改行コード

レコードを区切る場合は、次の改行コードを使用します。

- CRLF: Windows や MS-DOS の改行コードです。
- LF: Linux の改行コードです。

特殊な文字の表記

次の文字を含むフィールドは、「"」(二重引用符)で囲む必要があります。

- ,(カンマ)
- LF:
改行を示す制御コードです。Microsoft Excel のセル中の改行コードとしても使用されます。
- "(二重引用符)

補足

- CSV のフィールド内に「"」を記述する場合は、「"」のように「"」を並べて記述する必要があります。
「xy"z」を CSV ファイル内に記述する場合の例:

```
...,abc,"xy""z",def,...
```

ロール(グループ)

アクセス権の設定項目にロールを指定する場合は、次のように記述します。

- role:
あらかじめシステムに組み込まれているロール(Administrators、Everyone、および LoginUser)と、管理者が追加したロールは、設定項目欄に「role」を記述します。

付録A.2 CSVファイルのフォーマット

ガルーンのデータの読み込みに使用する CSV ファイルのフォーマットを説明します。

付録A.2.1 ユーザー

組織情報

組織は、子組織が親組織のコードを認識することで階層化されます。CSV ファイルで階層化した組織を読み込む場合は、子組織のレコードに親組織を記述します。

CSV ファイルの書式:

```
現組織コード,組織名,新組織コード,親組織コード,メモ
```

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
現組織コード	100 文字	
組織名	100 文字	
新組織コード	100 文字	新規に組織を追加する場合は、「新組織コード」に新しく追加する組織の組織コードを設定します。 組織コードを変更する場合は、「現組織コード」にその組織の組織コードを設定し、「新組織コード」に変更後の組織コードを設定します。
親組織コード	100 文字	指定しない場合は、最上位階層の組織が設定されます。
メモ	65535 文字	組織に関するメモを記述します。 1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

注意

- CSV ファイルから組織データを読み込む場合、CSV ファイルの現組織コードにない組織コードの組織は削除されます。
- 親組織は子組織よりも先に記述されている必要があります。

補足

- フィールドに「*」を指定すると、そのフィールドは上書きされません。
- 現組織コードに「*」を指定した場合は、新組織コードで新規に組織を追加します。

付録 A CSV ファイルの仕様

- 現組織コードに、すでに登録されている組織コードを指定した場合は、その組織の情報が変更されます。
- 運用管理者は、運用管理権限のある組織とその下位の階層にある組織に対してのみ、組織情報を CSV ファイルで管理できます。
- 運用管理者が CSV ファイルから組織データを読み込む場合、その CSV ファイルの先頭に、自分の運用管理権限が設定されている組織を記述する必要があります。
- 運用管理者が CSV ファイルから組織データを読み込む場合、親組織コードを指定する必要があります。現組織コードの組織が最上位階層の組織だった場合のみ、親組織コードに空白を指定します。
- 運用管理者が CSV ファイルから組織データを読み込む場合、親組織コードに「*」は指定できません。
- 運用管理者が CSV ファイルから組織データを読み込む場合、運用管理権限があり、かつ CSV ファイルに記述されていない子組織は削除されます。

組織の所属ユーザー

CSV ファイルの書式:

組織コード,ログイン名 1,ログイン名 2,ログイン名 3,...

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
組織コード	100 文字	所属ユーザーを設定する組織の組織コードを記述します。
ログイン名 1 ログイン名 2 ログイン名 3 ...	100 文字	所属ユーザーのログイン名を記述します。

注意

- CSV ファイルに記述されている組織およびユーザーが、ガルーンに登録されている必要があります。
- 運用管理者が CSV ファイルからユーザーデータを読み込む場合、管理権限のない組織に所属するユーザーのユーザーデータが含まれていると、エラーが発生します。

組織名

CSV ファイルの書式:

組織コード,言語コード,組織名

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
組織コード	100 文字	組織の組織コードを記述します。
言語コード	—	次のいずれかの言語コードを記述します。 ja: 日本語 en: 英語 zh: 中国語
組織名	100 文字	言語ごとの組織名を記述します。

注意

- 組織名データの CSV ファイルに記述されている組織が、ガルーンに登録されている必要があります。

補足

- 言語コードを指定し、表示名を空欄にすると、組織の表示名が削除されます。

ユーザー情報

ガルーンの CSV ファイルによるユーザー管理は、1つのファイルで次の処理が可能です。

- ユーザーの追加
- ユーザー情報の更新
- ユーザーの削除

バージョン 3.1.0 までの CSV ファイルの書式:

現ログイン名,名前,新ログイン名,パスワード,表示優先度,使用の停止,削除フラグ(,ユーザー情報の項目…)

バージョン 3.1.0 以降の CSV ファイルの書式:

現ログイン名,名前,名前の言語,英語表記,新ログイン名,パスワード,ロケール,拠点,表示優先度,使用の停止,削除フラグ(,ユーザー情報の項目…)

○:可能 ×:不可 -:対象外

項目	フィールド長	「*」の指定 (上書きの抑制)	備考
現ログイン名	100 文字	×	ガルーン全体でユニークである必要があります。
名前	100 文字	○	
名前の言語	—	○	英語表記の入力欄を使用していると表示されます。
英語表記	100 文字	○	英語表記の入力欄を使用していると表示されます。
新ログイン名	100 文字	○	
パスワード	64 文字	○	
ロケール	100 文字	○	
拠点	100 文字	○	
表示優先度	8 文字	○	ユーザーの一覧画面で表示する優先度を 0(ゼロ)以上の整数で指定します。8 桁まで指定できます。
使用または停止	—	○	1(使用する)または 0(停止する)で指定します。
削除フラグ	—	○	登録されているユーザーを削除する場合に、1(削除する)を指定します。

「ユーザー情報の項目」で設定される項目と仕様:

○:可能

項目	フィールド長	「*」の指定 (上書きの抑制)	備考
よみ	100 文字	○	
E-mail	100 文字	○	
メモ	65535 文字	○	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

項目	フィールド長	「*」の指定 (上書きの抑制)	備考
役職	100 文字	○	
連絡先	100 文字	○	
URL	255 文字	○	

カスタマイズ項目と仕様:

○:可能

項目	フィールド長	「*」の指定 (上書きの抑制)	備考
文字列(1列)	100 文字	○	
文字列(複数行)	65535 文字	○	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。
URL	255 文字	○	
画像 URL	255 文字	○	
E-mail	100 文字	○	
IP 電話	100 文字	○	
パスワード	64 文字	○	

注意

- ユーザーを追加する場合は、現ログイン名、名前、および新ログイン名を記述する必要があります。
- 追加するユーザーの「現ログイン名」は、すでに登録されているユーザーのログイン名と異なる必要があります。ログイン名が重複していると、ユーザー情報の変更とみなされます。
- 運用管理者が CSV ファイルからユーザーデータを読み込む場合、管理権限のない組織に所属するユーザーのユーザーデータが含まれていると、エラーが発生します。
- ユーザーが設定したパスワードを CSV ファイルの読み込み時に上書きしないためには、パスワードフィールドに「*」を指定する必要があります。

補足

- バージョン 3.0 以前のフォーマットを使用すると、ローカライズに関する情報の書き出しまたは読み込みができません。
- 削除したユーザーのスケジュールやメッセージなどのデータは、「ユーザーデータの削除時間の設定」画面で設定した削除時間に、自動的に削除されます。

記述例

次のユーザー情報を例として説明します。

現ログイン名: akutagawa
 名前: 芥川 はじめ
 名前の言語: ja
 英語表記: H_Akutagawa
 新ログイン名: akutagawa
 パスワード: なし
 表示優先度: 5

- ユーザーを追加する場合

- バージョン 3.0.0 の記述例:

```
akutagawa, 芥川 はじめ,akutagawa,,5,1,
```

- バージョン 3.5.0 の記述例:

```
akutagawa, 芥川 はじめ,ja,H_Akutagawa,akutagawa,,,,5,1,
```

- ユーザー情報を変更する場合

フィールドに「*」(アスタリスク)を指定すると、そのフィールドは上書きされません。

例えばガルーンの導入時はパスワードフィールドに初期パスワードを設定しますが、次回からは「*」を指定します。

下記は、名前を変更し、ログイン名とパスワードを変更しない場合の CSV ファイルの記述例です。

- バージョン 3.0.0 の記述例:

```
akutagawa,芥川 元,*,*,5,1,
```

- バージョン 3.5.0 の記述例:

```
akutagawa,芥川 元,ja,Hajime_A,*,*,5,1,
```

- ユーザーを削除する場合

「削除フラグ」に「1」を指定します。

- バージョン 3.0.0 の記述例:

```
akutagawa,芥川 はじめ,*,*,5,1,1
```

- バージョン 3.5.0 の記述例:

```
akutagawa,芥川 はじめ,ja,H_Akutagawa,*,*,5,1,1
```

ユーザーの所属組織

CSV ファイルの書式:

```
ログイン名,組織コード 1(優先する組織),組織コード 2,組織コード 3,...
```

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
ログイン名	100 文字	所属組織を設定するユーザーのログイン名を記述します。
組織コード 1	100 文字	所属組織の組織コードを記述します。
組織コード 2		先頭の組織コードが「優先する組織」になります。
組織コード 3		
...		

注意

- CSV ファイルに記述されている組織およびユーザーが、ガルーンに登録されている必要があります。

ユーザーの所持ロール

CSV ファイルの書式:

```
ログイン名,ロール名 1,ロール名 2,ロール名 3,...
```

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
ログイン名	100 文字	所持ロールを設定するユーザーのログイン名を記述します。
ロール名 1	100 文字	所持ロールのロール名を記述します。
ロール名 2		
ロール名 3		
...		

注意

- CSV ファイルに記述されているユーザーおよびロールが、ガルーンに登録されている必要があります。

ロール情報

CSV ファイルの書式:

ロール名,メモ

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
ロール名	100 文字	Everyone、LoginUser、Owner、CommandLine、Administrators は、ロール名として使用できません。
メモ	65535 文字	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

ロールの所持ユーザー

CSV ファイルの書式:

ロール名,ログイン名 1,ログイン名 2,ログイン名 3,...

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
ロール名	100 文字	所持ユーザーを設定するロール名を記述します。
ログイン名 1	100 文字	所持ユーザーのログイン名を記述します。
ログイン名 2		
ログイン名 3		
...		

注意

- CSV ファイルに記述されているユーザーおよびロールが、ガルーンに登録されている必要があります。

付録A.2.2 ファイル

MIME タイプ

CSV ファイルの書式:

拡張子,MIME タイプ

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
拡張子	100 文字	「.(ドット)以降の文字列を記述します。 拡張子に、すでに登録されている拡張子を指定した場合、その拡張子の情報を変更します。
MIME タイプ	100 文字	MIME タイプを記述します。

付録A.2.3 カレンダー

イベント

CSV ファイルの書式:

日付,イベントタイプ,イベント内容

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
日付	ー	YYYY-MM-DD または YYYY/MM/DD の形式で記述します。
イベントタイプ	ー	1: 祝日 3: メモ 5: 就業日
イベント内容	65535 文字	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

注意

- イベントタイプに 1、3、および 5 以外の文字を指定すると、エラーが発生します。

補足

- CSV ファイルに記述されているイベントがすでにガルーンに登録されている場合、そのイベントは新しいイベントとして追加されます。
- イベントデータを CSV ファイルに書き出した場合、日付は YYYY/MM/DD の形式で出力されます。
- 弊社の Web サイトから日本の祝日の CSV ファイルをダウンロードできます。このファイルは日本語のみで提供されています。
<http://cbdb.cybozu.co.jp/cgi-bin/db.cgi?page=DBView&did=690>

拠点情報

CSV ファイルの書式:

拠点名, 拠点コード, 稼働曜日(日曜日), 稼働曜日(月曜日), 稼働曜日(火曜日), 稼働曜日(水曜日), 稼働曜日(木曜日), 稼働曜日(金曜日), 稼働曜日(土曜日), カレンダーの就業日, カレンダーコード, 稼働時間 1 の開始時刻, 稼働時間 1 の終了時刻, 稼働時間 2 の開始時刻, 稼働時間 2 の終了時刻, ...

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
拠点名	100 文字	拠点名を記述します。
拠点コード	100 文字	拠点コードを記述します。
稼働曜日(日曜日)	—	0: 非稼働日 1: 稼働日
稼働曜日(月曜日)	—	
稼働曜日(火曜日)	—	
稼働曜日(水曜日)	—	
稼働曜日(木曜日)	—	
稼働曜日(金曜日)	—	
稼働曜日(土曜日)	—	
カレンダーの就業日	—	
カレンダーコード	100 文字	拠点で使用するカレンダーのカレンダーコードを記述します。
稼働時間 1: 開始時刻 稼働時間 1: 終了時刻 稼働時間 2: 開始時刻 稼働時間 2: 終了時刻 ...	100 文字	稼働時間の開始時刻と終了時刻を記述します。 時間(hh)、分(mm)、秒(ss)を、hh:mm:ss の形式で記述します。

拠点の表示名

拠点コード, 言語コード, 拠点の表示名

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
拠点コード	100 文字	拠点の拠点コードを記述します。
言語コード	—	次のいずれかの言語コードを記述します。 ja: 日本語 en: 英語 zh: 中国語
拠点の表示名	100 文字	言語ごとの拠点の表示名を記述します。

補足

- 言語コードを指定し、表示名を空欄にすると、拠点の表示名が削除されます。

付録A.2.4 ポータル

HTML ポートレット名

CSV ファイルの書式:

HTML ポートレット ID,言語コード,HTML ポートレット名

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
HTML ポートレット ID	100 文字	HTML ポートレットの ID を記述します。
言語コード	ー	次のいずれかの言語コードを記述します。 ja: 日本語 en: 英語 zh: 中国語
HTML ポートレット名	100 文字	言語ごとの HTML ポートレット名を記述します。

補足

- 言語コードを指定し、表示名を空欄にすると、HTML ポートレット名が削除されます。

PHP ポートレット名

CSV ファイルの書式:

PHP ポートレット ID,言語コード,PHP ポートレット名

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
PHP ポートレット ID	100 文字	PHP ポートレットの ID を記述します。
言語コード	ー	次のいずれかの言語コードを記述します。 ja: 日本語 en: 英語 zh: 中国語
PHP ポートレット名	100 文字	言語ごとの PHP ポートレット名を記述します。

補足

- 言語コードを指定し、表示名を空欄にすると、PHP ポートレット名が削除されます。

付録A.2.5 スペース

カテゴリー

CSV ファイルの書式:

親カテゴリーコード,カテゴリーコード,カテゴリー名,メモ

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
親カテゴリコード	100 文字	ルートに配置するカテゴリは「ROOT_CATEGORY」を記述します。
カテゴリコード	100 文字	
カテゴリ名	100 文字	
メモ	65535 文字	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

補足

- CSVファイルに、ガルーンに登録されているカテゴリコードを設定した場合は、そのカテゴリの情報が変更されます。

カテゴリ名

CSV ファイルの書式:

カテゴリコード,言語コード,カテゴリ名

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
カテゴリコード	100 文字	カテゴリコードを記述します。
言語コード	—	次のいずれかの言語コードを記述します。 ・ja: 日本語 ・en: 英語 ・zh: 中国語
カテゴリ名	100 文字	言語ごとのカテゴリ名を記述します。

注意

- CSVファイルにガルーンに登録されていないカテゴリコードが設定されていた場合、そのカテゴリ名は読み込まれません。

補足

- 言語コードを指定し、表示名を空欄にすると、カテゴリ名が削除されます。

付録A.2.6 リンク集

共有リンクおよび区切り線

CSV ファイルの書式:

タイトル,URL,メモ,追加する種類

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
タイトル	100 文字	
URL	255 文字	
メモ	65535 文字	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。
追加する種類	—	Link: リンク Line: 区切り線 省略した場合はリンクとして読み込まれます。

アクセス権

アクセス権データの CSV ファイルは、設定されているセキュリティモデルと設定されているアクセス権を、複数の行で記述します。

- 1 行目: カテゴリーコード, 設定項目, 設定値(セキュリティモデル)
- 2 行目以降: カテゴリーコード, 設定項目, 設定値, 設定対象(アクセス権)

CSV ファイルの書式:

カテゴリーコード,設定項目,設定値,設定対象

CSV ファイルの 1 行目の項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
カテゴリーコード	100 文字	
設定項目	—	「security_model」を記述します。
設定値	—	「revoke」または「grant」を記述します。

CSV ファイルの 2 行目以降の項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
カテゴリーコード	100 文字	1 行目と同じカテゴリーコードを記述します。
設定項目	—	アクセス権の対象を記述します。次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織) ・dynamic_role(動的ロール) ・role(ロール)
設定値	—	「B」(閲覧)を記述します。
設定対象	100 文字	対象のログイン名、組織コード、またはロール名を記述します。

付録A.2.7 スケジュール

予定

CSV ファイルの書式:

開始日,開始時刻,終了日,終了時刻,予定,予定詳細,メモ,参加者、組織、または施設、登録者(、施設予約情報のカスタマイズ項目)

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
開始日	ー	YYYY-MM-DD または YYYY/MM/DD の形式で記述します。
開始時刻	ー	HH:MM:SS の形式で記述します。
終了日	ー	YYYY-MM-DD または YYYY/MM/DD の形式で記述します。
終了時刻	ー	HH:MM:SS の形式で記述します。
予定	100 文字	予定のタイトル(予定メニュー)を記述します。
予定詳細	100 文字	予定のタイトルの詳細を記述します。
メモ	65535 文字	1バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。
参加者、組織、または施設	100 文字	対象のログイン名、組織コード、または施設コードを記述します。ログイン名、組織コード、および施設コードのいずれかが重複している場合、次の優先順位で対象が登録されます。 1. ログイン名 2. 組織コード 3. 施設コード
登録者	ー	
施設予約情報のカスタマイズ項目	ー	

補足

- CSV ファイルに記述されている予定がすでにガルーンに登録されている場合、その予定は新しい予定として追加されます。
- 予定データを CSV ファイルに書き出した場合、開始日と終了日は YYYY/MM/DD の形式で出力されます。

施設情報

施設データの CSV ファイルに施設グループの情報が記述されていた場合は、施設グループも設定されます。

CSV ファイルの書式:

施設名,施設コード,所属グループコード,メモ

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
施設名	100 文字	
施設コード	100 文字	
所属グループコード	100 文字	
メモ	65535 文字	1バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

補足

- CSVファイルにガルーンに登録されている施設コードを記述した場合、その施設の情報を変更されます。

施設名

CSV ファイルの書式:

施設コード,言語コード,施設名

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
施設コード	100 文字	施設コードを記述します。
言語コード	—	次のいずれかの言語コードを記述します。 ・ja: 日本語 ・en: 英語 ・zh: 中国語
施設名	100 文字	言語ごとの施設名を記述します。

注意

- ガルーンに登録されていない施設コードが設定されていた場合、その施設名は読み込まれません。

補足

- 言語コードを指定し、表示名を空欄にすると、施設名が削除されます。

施設グループ情報

CSV ファイルの書式:

親の施設グループコード,現施設グループコード,施設グループ名,メモ,新施設グループコード

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
親の施設グループコード	100 文字	指定しない場合は、最上位階層の施設グループが設定されます。
現施設グループコード	100 文字	
施設グループ名	100 文字	
メモ	65535 文字	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。
新施設グループコード		<ul style="list-style-type: none"> ・施設グループを追加する場合: 追加する施設グループの施設グループコードを記述します。 ・施設グループコードを変更する場合: 「現施設グループコード」に施設グループコードを変更する施設の施設グループコードを設定し、「新施設グループコード」に変更後の施設グループコードを設定します。

補足

- 現施設グループコードに「*」(アスタリスク)を設定すると、新施設グループコードで新しい施設グループを追加します。
- 現施設グループコードに、ガルーンに登録されている施設グループコードを設定した場合は、その施設グループの情報が変更されます。
- 新施設グループコードに「*」を指定すると、施設グループコードは上書きされません。

施設グループ名

CSV ファイルの書式:

施設グループコード,言語コード,施設グループ名

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
施設グループコード	100 文字	施設グループコードを記述します。
言語コード	ー	次のいずれかの言語コードを記述します。 ・ja: 日本語 ・en: 英語 ・zh: 中国語
施設グループ名	100 文字	言語ごとの施設グループ名を記述します。

注意

- CSVファイルにガルーンに登録されていない施設グループコードが設定されていた場合、その施設グループ名は読み込まれません。

補足

- 言語コードを指定し、表示名を空欄にすると、施設グループ名が削除されます。

アクセス権

アクセス権データの CSV ファイルは、設定されているセキュリティモデルと設定されているアクセス権を、複数の行で記述します。

- 1 行目: 対象種別, 対象コード, 設定項目, 設定値(セキュリティモデル)
- 2 行目以降: 対象種別, 対象コード, 設定項目, 設定値, 設定対象(アクセス権)

CSV ファイルの書式:

対象種別,対象コード,設定項目,設定値,設定対象

CSV ファイルの 1 行目の項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
対象種別	100 文字	次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織) ・role(ロール) ・facility(施設)

項目	フィールド長	備考
		・facilitygroup(施設グループ)
対象コード	100 文字	対象種別のコードを記述します。記述できるコードは次のとおりです。 ・ログイン名 ・組織コード ・ロール名 ・施設コード ・施設グループコード
設定項目	—	「security_model」を記述します。
設定値	—	「revoke」または「grant」を記述します。 ・revoke: 制限の対象を選択する場合に記述します。 ・grant: 許可の対象を選択する場合に記述します。

CSV ファイルの 2 行目以降の項目と仕様:

ー: 対象外

項目	フィールド長	備考
対象種別	100 文字	次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織) ・role(ロール) ・facility(施設) ・facilitygroup(施設グループ)
対象コード	100 文字	対象種別のコードを記述します。記述できるコードは次のとおりです。 ・ログイン名 ・組織コード ・ロール名 ・施設コード ・施設グループコード
設定項目	—	アクセス権の対象を記述します。次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織) ・dynamic_role(動的ロール) ・role(ロール)
設定値	—	次のいずれかの権限を記述します。 ・R(閲覧) ・RA(閲覧および追加) ・RAM(閲覧、追加、および変更) ・RAD(閲覧、追加、および削除) 1 行目の設定値が「grant」の場合は、次の値を設定できません。 ・RAMD(閲覧、追加、変更、および削除)
設定対象	100 文字	対象のログイン名、組織コード、またはロール名を記述します。

付録A.2.8 掲示板

カテゴリ

CSV ファイルの書式:

親カテゴリコード,カテゴリコード,カテゴリ名,メモ

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
親カテゴリコード	100 文字	ルートに配置するカテゴリは「ROOT_CATEGORY」を記述します。
カテゴリコード	100 文字	
カテゴリ名	100 文字	
メモ	65535 文字	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

補足

- CSVファイルに、ガルーンに登録されているカテゴリコードを設定した場合は、そのカテゴリの情報が変更されます。

カテゴリ名

CSV ファイルの書式:

カテゴリコード,言語コード,カテゴリ名

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
カテゴリコード	100 文字	カテゴリコードを記述します。
言語コード	ー	次のいずれかの言語コードを記述します。 ・ja: 日本語 ・en: 英語 ・zh: 中国語
カテゴリ名	100 文字	言語ごとのカテゴリ名を記述します。

注意

- CSVファイルにガルーンに登録されていないカテゴリコードが設定されていた場合、そのカテゴリ名は読み込まれません。

補足

- 言語コードを指定し、表示名を空欄にすると、カテゴリ名が削除されます。

アクセス権

CSV ファイルの書式:

アクセス権データの CSV ファイルは、設定されているセキュリティモデルと設定されているアクセス権を、複数の行で

記述します。

- 1 行目: カテゴリーコード, 設定項目, 設定値(セキュリティモデル)
- 2 行目以降: カテゴリーコード, 設定項目, 設定値, 設定対象(アクセス権)

CSV ファイルの書式:

カテゴリーコード, 設定項目, 設定値, 設定対象

CSV ファイルの 1 行目の項目と仕様:

ー: 対象外

項目	フィールド長	備考
カテゴリーコード	100 文字	
設定項目	—	「security_model」を記述します。
設定値	—	「revoke」または「grant」を記述します。

CSV ファイルの 2 行目以降の項目と仕様:

ー: 対象外

項目	フィールド長	備考
カテゴリーコード	100 文字	1 行目と同じカテゴリーコードを記述します。
設定項目	—	アクセス権の対象を記述します。次のいずれかを記述します。 <ul style="list-style-type: none"> • user(ユーザー) • group(組織) • dynamic_role(動的ロール) • role(ロール)
設定値	—	次のいずれかの権限を記述します。 <ul style="list-style-type: none"> • Read(閲覧) • RW(閲覧および書込) • RF(閲覧およびフォロー)
設定対象	100 文字	対象のログイン名、組織コード、またはロール名を記述します。

注意

- CSV ファイルからアクセス権データを読み込む場合、CSV ファイルに記述されているカテゴリーがガルーンに登録されている必要があります。

通知設定

CSV ファイルの書式:

カテゴリーコード, 設定項目, 設定値, 設定対象

CSV ファイルの項目と仕様:

ー: 対象外

項目	フィールド長	備考
カテゴリーコード	100 文字	
設定項目	—	次のいずれかを記述します。 <ul style="list-style-type: none"> • force_notify(強制通知する) • user(ユーザー)、group(組織)、dynamic_role(動的ロール)、または role(ロール)

項目	フィールド長	備考
設定値	—	次のいずれかを記述します。 ・設定項目が force_notify の場合： ・1(強制通知を設定する) ・0(強制通知を解除する) ・設定項目が force_notify 以外の場合： ・1(設定) ・0(取り消し)
設定対象	100 文字	対象のログイン名、組織コード、またはロール名を記述します。

付録A.2.9 ファイル管理

フォルダー

CSV ファイルの書式:

親フォルダーコード,フォルダーコード,フォルダー名,メモ

CSV ファイルの項目と仕様:

—:対象外

項目	フィールド長	備考
親フォルダーコード	100 文字	ルートに配置するフォルダーは「ROOT_FOLDER」を記述します。
フォルダーコード	100 文字	
フォルダー名	100 文字	
メモ	65535 文字	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

補足

- CSVファイルに、ガルーンに登録されているフォルダーコードを設定した場合は、そのフォルダーの情報が変更されます。

フォルダー名

CSV ファイルの書式:

フォルダーコード, 言語コード,フォルダー名

CSV ファイルの項目と仕様:

—:対象外

項目	フィールド長	備考
フォルダーコード	100 文字	ファイル管理のフォルダーコードを記述します。ルートは「ROOT_FOLDER」を記述します。
言語コード	—	次のいずれかの言語コードを記述します。 ・ja: 日本語 ・en: 英語 ・zh: 中国語
フォルダー名	100 文字	言語ごとのフォルダー名を記述します。

注意

- CSVファイルにガルーンに登録されていないフォルダーコードが設定されていた場合、そのフォルダー名は読み込まれません。

補足

- 言語コードを指定し、表示名を空欄にすると、フォルダー名が削除されます。

アクセス権**CSV ファイルの書式:**

アクセス権データの CSV ファイルは、設定されているセキュリティモデルと設定されているアクセス権を、複数の行で記述します。

- 1 行目: フォルダーコード, 設定項目, 設定値 (セキュリティモデル)
- 2 行目以降: フォルダーコード, 設定項目, 設定値, 設定対象 (アクセス権)

CSV ファイルの書式:

フォルダーコード, 設定項目, 設定値, 設定対象

CSV ファイルの 1 行目の項目と仕様:

ー: 対象外

項目	フィールド長	備考
フォルダーコード	100 文字	
設定項目	ー	「security_model」を記述します。
設定値	ー	「revoke」または「grant」を記述します。

CSV ファイルの 2 行目以降の項目と仕様:

ー: 対象外

項目	フィールド長	備考
フォルダーコード	100 文字	1 行目と同じフォルダーコードを記述します。
設定項目	ー	アクセス権の対象を記述します。次のいずれかを記述します。 ・user (ユーザー) ・group (組織) ・dynamic_role (動的ロール) ・role (ロール)
設定値	ー	次のいずれかの権限を記述します。 ・R (閲覧) ・RW (閲覧および書込)
設定対象	100 文字	対象のログイン名、組織コード、またはロール名を記述します。

注意

- CSV ファイルからアクセス権データを読み込む場合、CSV ファイルに記述されているフォルダーがガルーンに登録されている必要があります。

通知設定

CSV ファイルの書式:

フォルダーコード,設定項目,設定値,設定対象

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
フォルダーコード	100 文字	
設定項目	ー	次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織) ・dynamic_role(動的ロール) ・role(ロール)
設定値	ー	次のいずれかを記述します。 ・1(設定) ・0(取り消し)
設定対象	100 文字	対象のログイン名、組織コード、またはロール名を記述します。

付録A.2.10 電話メモ

アクセス権

アクセス権データの CSV ファイルは、設定されているセキュリティモデルと設定されているアクセス権を、複数の行で記述します。

- 1 行目:対象種別, 対象コード, 設定項目, 設定値(セキュリティモデル)
- 2 行目以降:対象種別, 対象コード, 設定項目, 設定値, 設定対象(アクセス権)

CSV ファイルの書式:

対象種別,対象コード,設定項目,設定値,設定対象

CSV ファイルの 1 行目の項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
対象種別	100 文字	次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織) ・role(ロール)
対象コード	100 文字	対象種別のコードを記述します。記述できるコードは次のとおりです。 ・ログイン名 ・組織コード ・ロール名
設定項目	ー	「security_model」を記述します。

項目	フィールド長	備考
設定値	—	「revoke」または「grant」を記述します。 ・revoke: 制限の対象を選択する場合に記述します。 ・grant: 許可の対象を選択する場合に記述します。

CSV ファイルの 2 行目以降の項目と仕様:

ー: 対象外

項目	フィールド長	備考
対象種別	100 文字	次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織) ・role(ロール)
対象コード	100 文字	対象種別のコードを記述します。記述できるコードは次のとおりです。 ・ログイン名 ・組織コード ・ロール名
設定項目	—	アクセス権の対象を記述します。次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織) ・dynamic_role(動的ロール) ・role(ロール)
設定値	—	次のいずれかの権限を記述します。 ・A(登録) ・B(閲覧) ・AB(登録および閲覧)
設定対象	100 文字	対象のログイン名、組織コード、またはロール名を記述します。

付録A.2.11 タイムカード

タイムカードデータは、ファイルの書き出しのみに対応しています。作成したファイルを読み込むことはできません。

CSV ファイルの書式:

ログイン名,ユーザー名,日付,入社時刻,退社時刻,外出時刻,復帰時刻,備考

CSV ファイルの項目と仕様:

ー: 対象外

項目	フィールド長	備考
ログイン名	100 文字	
ユーザー名	100 文字	
日付	—	
入社時刻	—	
退社時刻	—	
外出時刻	—	
復帰時刻	—	
備考	65535 文字	

付録A.2.12 アドレス帳

選択したブック以外のデータが CSV ファイルに記述されていても、選択したブックに対するデータのみが読み込まれます。

共有アドレス帳

CSV ファイルの書式:

表示名,姓,名,姓(よみ),名(よみ),会社名,会社名(よみ),部課名,郵便番号,住所,路線,所要時間,運賃,会社電話番号,会社 Fax 番号,URL,役職名,個人電話番号,E-mail,メモ(,カスタマイズ項目…)

組み込み項目の CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
表示名	100 文字	
姓	100 文字	
名	100 文字	
姓(よみ)	100 文字	
名(よみ)	100 文字	
会社名	100 文字	
会社名(よみ)	100 文字	
部課名	100 文字	
郵便番号	100 文字	
住所	4096 文字	
路線	100 文字	
所要時間	100 文字	
運賃	100 文字	
会社電話番号	100 文字	
会社 Fax 番号	100 文字	
URL	100 文字	
役職名	100 文字	
個人電話番号	100 文字	
E-mail	100 文字	
メモ	65535 文字	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

カスタマイズ項目の CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
文字列(1 列)	100 文字	
文字列(複数行)	65535 文字	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。
URL	255 文字	
画像 URL	255 文字	
E-mail	100 文字	
ファイル	制限なし	
IP 電話	100 文字	

補足

- カスタマイズ項目は、「メモ」の後に記述します。
- CSV ファイルに記述されているカスタマイズ項目は、アドレス帳の「項目の設定」で追加されている必要があります。
- CSV ファイルに記述されているアドレスがすでにガルーンに登録されている場合、そのアドレスは新しいアドレスとして追加されます。

アクセス権

CSV ファイルの書式:

アクセス権データの CSV ファイルは、設定されているセキュリティモデルと設定されているアクセス権を、複数の行で記述します。

- 1 行目: ブックコード, 設定項目, 設定値 (セキュリティモデル)
- 2 行目以降: ブックコード, 設定項目, 設定値, 設定対象 (アクセス権)

CSV ファイルの書式:

ブックコード, 設定項目, 設定値, 設定対象

CSV ファイルの 1 行目の項目と仕様:

ー: 対象外

項目	フィールド長	備考
ブックコード	100 文字	
設定項目	ー	「security_model」を記述します。
設定値	ー	「revoke」または「grant」を記述します。

CSV ファイルの 2 行目以降の項目と仕様:

ー: 対象外

項目	フィールド長	備考
ブックコード	100 文字	1 行目と同じブックコードを記述します。
設定項目	ー	アクセス権の対象を記述します。次のいずれかを記述します。 ・user (ユーザー) ・group (組織) ・dynamic_role (動的ロール) ・role (ロール)
設定値	ー	次のいずれかの権限を記述します。 ・E (編集) ・B (閲覧) ・EB (編集および閲覧)
設定対象	100 文字	対象のログイン名、組織コード、またはロール名を記述します。

付録A.2.13 メール

メールサーバー

CSV ファイルの書式:

メールサーバーコード,メールサーバー名,送信メールサーバー名(SMTP),送信メールサーバーポート番号,送信SSLの使用,SMTP認証方法,送信用のアカウントとパスワードを設定する,受信後に送信を行う(POP before SMTP),送信までの待ち時間,送信タイムアウトまでの時間,受信プロトコル,受信メールサーバー名,受信メールサーバーポート番号,受信SSLの使用,受信認証方法,受信タイムアウトまでの時間

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
メールサーバーコード	100 文字	
メールサーバー名	100 文字	
送信メールサーバー名(SMTP)	100 文字	
送信メールサーバーポート番号	100 文字	半角数字で記述します。
送信 SSL の使用	—	・1(使用する) ・0(使用しない)
SMTP 認証方法	—	次のいずれかを記述します。 ・NONE ・PLAIN ・LOGIN ・CRAMMD5 ・DIGEST-MD5
送信用のアカウントとパスワードを設定する	—	次のいずれかを記述します。 ・1(設定する) ・0(設定しない)
受信後に送信を行う(POP before SMTP)	—	次のいずれかを記述します。 ・1(設定する) ・0(設定しない)
送信までの待ち時間	—	単位は秒です。0 から 10 まで設定できます。
送信タイムアウトまでの時間	—	単位は秒です。10 から 120 まで設定できます。10 秒刻みで記述します。
受信プロトコル	—	POP3 または IMAP4 を記述します。
受信メールサーバー名	100 文字	
受信メールサーバーポート番号	100 文字	半角数字で記述します。
受信 SSL の使用	—	・1(使用する) ・0(使用しない)
受信認証方法	—	次のいずれかを記述します。 ・USER(設定しない) ・APOP(設定する)
受信タイムアウトまでの時間	—	単位は秒です。10 から 120 まで設定できます。10 秒刻みで記述します。

補足

- CSVファイルに、ガルーンに登録されているメールサーバーコードを設定した場合は、そのメールサーバーの情報が変更されます。

ユーザーアカウント

CSV ファイルに記述されているログイン名とアカウントコードが、ガルーンに登録されているユーザーのログイン名とアカウントコードと一致していれば、CSV ファイルのデータでガルーンのデータを上書きできます。

CSV ファイルの書式:

ログイン名,アカウントコード,アカウント名,メールサーバーコード,E-Mail,From 名,受信メールアカウント名,受信メールパスワード,サーバーに残す,送信メールアカウント名,送信メールパスワード,使用停止

CSV ファイルの項目と仕様:

○:設定可能 ×:設定不可 -:対象外

項目	フィールド長	「*」指定 (上書きの抑制)	備考
ログイン名	100 文字	×	
アカウントコード	100 文字	×	
アカウント名	100 文字	×	
メールサーバーコード	100 文字	×	
E-mail	100 文字	×	
From 名	100 文字	×	
受信メールアカウント名	100 文字	×	
受信メールパスワード	64 文字	○	
サーバーに残す	-	×	次のいずれかを記述します。 ・LEAVE(メールサーバーメールを残す) ・DELETE(メールサーバーにメールを残さない)
送信メールアカウント名	100 文字	×	
送信メールパスワード	64 文字	○	
使用停止	-	×	次のいずれかを記述します。 ・1(使用停止にする) ・0(使用停止にしない) 0 または 1 以外を記述すると、CSV ファイルの読み込み時にエラーが発生します。

補足

- フィールドに「*」(アスタリスク)を指定すると、そのフィールドは上書きされません。
- CSVファイルに、ガルーンに登録されているログイン名を設定した場合は、そのユーザーの情報が変更されません。

メールサイズ制限値

CSV ファイルの書式:

ログイン名,総サイズ(MB),受信メールサイズ(KB),送信メールサイズ(KB)

CSV ファイルの項目と仕様:

-:対象外

項目	フィールド長	備考
ログイン名	100 文字	
総サイズ(MB)	-	次のいずれかを記述します。 ・空白または「*」(省略) ・-1(無制限) ・10 から 1024 の数値 10 から 1024 の数値の単位は MB です。

項目	フィールド長	備考
受信メールサイズ(KB)	—	次のいずれかを記述します。 ・空白または「*」(省略) ・-1(無制限) ・256 から 30720 の数値 256 から 30720 の数値の単位は KB です。
送信メールサイズ(KB)	—	次のいずれかを記述します。 ・空白または「*」(省略) ・-1(無制限) ・256 から 30720 の数値 256 から 30720 の数値の単位は MB です。

付録A.2.14 ワークフロー

利用ユーザー

CSV ファイルの書式:

設定対象,設定項目

CSV ファイルの項目と仕様:

—:対象外

項目	フィールド長	備考
設定対象	100 文字	ワークフローを利用するユーザーを、組織、ユーザー、またはロールで指定します。 組織で指定する場合は組織コードを記述します。 ユーザーで指定する場合は、ログイン名を記述します。 ロールで指定する場合は、ロール名を記述します。 dynamic_role(動的ロール)で指定する場合は、次のいずれかを記述します。 ・Everyone ・LoginUser ・Administrators
設定項目	—	設定対象に合わせて次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織) ・dynamic_role(動的ロール) ・role(ロール)

注意

- CSV ファイルに記述されていないユーザー、および組織やロールに所属するユーザーは、ワークフローを使用できなくなります。

補足

- CSV ファイルに同じ設定対象が複数記述されている場合は、最後に読み込んだ組織コード、ログイン名、またはロール名で上書きされます。

カテゴリ**CSV ファイルの書式:**

親カテゴリコード, カテゴリコード, カテゴリ名, メモ

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
親カテゴリコード	100 文字	ルートに配置するカテゴリは「ROOT_CATEGORY」を記述します。
カテゴリコード	100 文字	
カテゴリ名	100 文字	
メモ	65535 文字	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

カテゴリ名**CSV ファイルの書式:**

カテゴリコード, 言語コード, カテゴリ名

CSV ファイルの項目と仕様:

-: 対象外

項目	フィールド長	備考
カテゴリコード	100 文字	カテゴリコードを記述します。
言語コード	—	次のいずれかの言語コードを記述します。 ・ja: 日本語 ・en: 英語 ・zh: 中国語
カテゴリ名	100 文字	言語ごとのカテゴリ名を記述します。

注意

- CSV ファイルにガルーンに登録されていないカテゴリコードが設定されていた場合、そのカテゴリ名は読み込まれません。

補足

- 言語コードを指定し、表示名を空欄にすると、カテゴリ名が削除されます。

アクセス権**CSV ファイルの書式:**

アクセス権データの CSV ファイルは、設定されているセキュリティモデルと設定されているアクセス権を、複数の行で記述します。

- 1 行目: カテゴリコード, 設定項目, 設定値 (セキュリティモデル)

付録 A CSV ファイルの仕様

- 2 行目以降: カテゴリーコード, 設定項目, 設定値, 設定対象(アクセス権)

CSV ファイルの書式:

カテゴリーコード,設定項目,設定値,設定対象

CSV ファイルの 1 行目の項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
カテゴリーコード	100 文字	
設定項目	—	「security_model」を記述します。
設定値	—	「revoke」または「grant」を記述します。

CSV ファイルの 2 行目以降の項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
カテゴリーコード	100 文字	1 行目と同じカテゴリーコードを記述します。
設定項目	—	アクセス権の対象を記述します。次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織) ・dynamic_role(動的ロール) ・role(ロール)
設定値	—	1 行目の設定値が REVOKE の場合:何も記述しません。 1 行目の設定値が GRANT の場合:「B」を記述します。
設定対象	100 文字	対象のログイン名、組織コード、またはロール名を記述します。

注意

- CSV ファイルからアクセス権データを読み込む場合、CSV ファイルに記述されているカテゴリーがガルーンに登録されている必要があります。

代理申請者

CSV ファイルの書式:

ログイン名,代理申請者ログイン名

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
ログイン名	100 文字	ガルーンに登録されているログイン名を記述します。
代理申請者ログイン名	100 文字	ガルーンに登録されているログイン名を記述します。

代理承認者

CSV ファイルの書式:

ログイン名,代理承認者ログイン名

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
ログイン名	100 文字	ガルーンに登録されているログイン名を記述します。
代理承認者ログイン名	100 文字	ガルーンに登録されているログイン名を記述します。

申請データ

申請データの書き出しの目的は、申請業務の記録です。そのため、ファイルの書き出しのみに対応しています。作成したファイルを読み込むことはできません。

申請データは 1 行で 1 つの申請を記述します。はじめに申請フォームや申請番号などの概要、次に各経路ステップの詳細を記述します。

自動書き出しの場合と、手動書き出しの場合で、CSV ファイルのフォーマットが異なります。

手動で書き出した CSV ファイルの書式:

- 申請フォーム情報

番号,申請者名,(申請者のログイン名,)申請日時,申請フォーム名,標題,状況,項目名 1,項目値 1,項目名 2,項目値 2,...
--

- 経路情報

経路ステップ名,ユーザー名 1,結果 1,コメント 1,処理日時 1,ユーザー名 2,結果 2,コメント 2,処理日時 2,...

手動で書き出した CSV ファイルの項目と仕様:

- 申請フォーム情報

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
番号	—	申請番号が記述されます。
申請者名	—	申請者名が記述されます。
申請者のログイン名	—	申請者のログイン名が記述されます。
申請日時	—	申請者が申請を行った日時が記述されます。
申請フォーム名	—	使用された申請フォーム名が記述されます。
標題	—	申請者が入力した標題が記述されます。
状況	—	申請データの状況が記述されます。
項目名	—	申請項目名が記述されます。
項目値	—	申請者によって申請項目に入力された内容が記述されます。

- 経路情報

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
経路ステップ名	—	経路ステップの名称が記述されます。
ユーザー名	—	申請を処理したユーザーのユーザー名が記述されます。
結果	—	処理者の処理結果が記述されます。
コメント	—	処理者が入力したコメントが記述されます。
処理日時	—	経路ステップに設定された処理者が申請を処理した日時が記述されます。

補足

- 先頭行の文字列を表示する設定にしている場合、経路の項目名は、最初の処理者の項目のみ表示されます。

自動で書き出した CSV ファイルの書式:

自動で書き出した申請データは、手動書き出しのフォーマットに項目情報と経路情報が追加されます。

- 申請フォーム情報

番号,申請者名,申請日時,申請フォーム名,項目情報,経路情報,標題,状況,項目名 1,項目値 1,項目名 2,項目値 2,...
--

- 経路情報

経路ステップ名,ユーザー名 1,結果 1,コメント 1,処理日時 1,ユーザー名 2,結果 2,コメント 2,処理日時 2,...

自動で書き出した CSV ファイルの項目と仕様:

- 申請フォーム情報

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
番号	ー	申請番号が記述されます。
申請者名	ー	申請者名が記述されます。
申請日時	ー	申請者が申請を行った日時が記述されます。
申請フォーム名	ー	使用された申請フォーム名が記述されます。
項目情報	ー	書き出された CSV 上で、申請データの項目情報の記述の開始位置(列)と終了位置(列)が記述されます。
経路情報	ー	書き出された CSV 上で、申請データの各経路情報の記述の開始位置(列)が記述されます。
標題	ー	申請者が入力した標題が記述されます。
状況	ー	申請データの状況が記述されます。
項目名	ー	申請項目名が記述されます。
項目値	ー	申請者によって申請項目に入力された内容が記述されます。

- 経路情報

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
経路ステップ名	ー	経路ステップの名称が記述されます。
ユーザー名	ー	申請を処理したユーザーのユーザー名が記述されます。
結果	ー	処理者の処理結果が記述されます。
コメント	ー	処理者が入力したコメントが記述されます。
処理日時	ー	経路ステップに設定された処理者が申請を処理した日時が記述されます。

付録A.2.15 マルチレポート

利用ユーザー

CSV ファイルの書式:

設定対象,設定項目

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
設定対象	100 文字	マルチレポートを利用するユーザーを、組織、ユーザー、またはロールで指定します。 組織で指定する場合は組織コードを記述します。 ユーザーで指定する場合は、ログイン名を記述します。 ロールで指定する場合は、ロール名を記述します。 dynamic_role(動的ロール)で指定する場合は、次のいずれかを記述します。 ・Everyone ・LoginUser ・Administrators
設定項目	—	設定対象に合わせて次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織) ・dynamic_role(動的ロール) ・role(ロール)

注意

- CSV ファイルに記述されていないユーザー、および組織やロールに所属するユーザーは、マルチレポートを使用できなくなります。

補足

- CSV ファイルに同じ設定対象が複数記述されている場合は、最後に読み込んだ組織コード、ログイン名、またはロール名で上書きされます。

カテゴリー

CSV ファイルの書式:

親カテゴリーコード,カテゴリーコード,カテゴリー名,メモ

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
親カテゴリーコード	100 文字	ルートに配置するカテゴリーは「ROOT_CATEGORY」を記述します。
カテゴリーコード	100 文字	
カテゴリー名	100 文字	
メモ	65535 文字	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

カテゴリー名

CSV ファイルの書式:

カテゴリーコード,言語コード,カテゴリー名

CSV ファイルの項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
カテゴリコード	100 文字	カテゴリコードを記述します。
言語コード	—	次のいずれかの言語コードを記述します。 ・ja: 日本語 ・en: 英語 ・zh: 中国語
カテゴリ名	100 文字	言語ごとのカテゴリ名を記述します。

注意

- CSVファイルにガルーンに登録されていないカテゴリコードが設定されていた場合、そのカテゴリ名は読み込まれません。

補足

- 言語コードを指定し、表示名を空欄にすると、カテゴリ名が削除されます。

アクセス権

CSV ファイルの書式:

アクセス権データの CSV ファイルは、設定されているセキュリティモデルと設定されているアクセス権を、複数の行で記述します。

- 1 行目: カテゴリコード, 設定項目, 設定値 (セキュリティモデル)
- 2 行目以降: カテゴリコード, 設定項目, 設定値, 設定対象 (アクセス権)

CSV ファイルの書式:

カテゴリコード, 設定項目, 設定値, 設定対象

CSV ファイルの 1 行目の項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
カテゴリコード	100 文字	
設定項目	—	「security_model」を記述します。
設定値	—	「revoke」または「grant」を記述します。
設定対象	—	何も設定しません。

CSV ファイルの 2 行目以降の項目と仕様:

ー:対象外

項目	フィールド長	備考
カテゴリコード	100 文字	1 行目と同じカテゴリコードを記述します。
設定項目	—	アクセス権の対象を記述します。次のいずれかを記述します。 ・user (ユーザー) ・group (組織) ・dynamic_role (動的ロール) ・role (ロール)

項目	フィールド長	備考
設定値	—	次のいずれかの権限を記述します。 ・1 行目の設定値が revoke の場合:何も記述しません。 ・1 行目の設定値が grant の場合:「B」を記述します。
設定対象	100 文字	対象のログイン名、組織コード、またはロール名を記述します。

注意

- CSV ファイルからアクセス権データを読み込む場合、CSV ファイルに記述されているカテゴリーがガルーンに登録されている必要があります。

付録A.2.16 RSSリーダー

サイト情報

CSV ファイルの書式:

サイト名,URL,メモ

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
サイト名	100 文字	
URL	255 文字	
メモ	65535 文字	1 バイト文字を最大 65535 文字記述できます。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

補足

- CSVファイルに、ガルーンに登録されている共有サイトの URL を設定した場合は、その共有サイトの情報が変更されます。

付録A.2.17 在席確認

代理人

CSV ファイルの書式:

対象種別,対象コード,設定項目,設定値,設定対象

CSV ファイルの項目と仕様:

—:対象外

項目	フィールド長	備考
対象種別	—	代理人を設定する対象に合わせて、次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織)
対象コード	100 文字	代理人を設定するユーザーのログイン名または組織の組織コードを記述します。

項目	フィールド長	備考
設定項目	—	代理人に合わせて、次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織)
設定値	—	「M」(変更)を記述します。
設定対象	100 文字	代理人となるユーザーのログイン名または組織の組織コードを記述します。

付録A.2.18 ケータイ

利用ユーザー

CSV ファイルの書式:

設定対象,設定項目

CSV ファイルの項目と仕様:

項目	フィールド長	備考
設定対象	100 文字	ケータイを利用するユーザーを、組織、ユーザー、またはロールで指定します。 組織で指定する場合は組織コードを記述します。 ユーザーで指定する場合は、ログイン名を記述します。 ロールで指定する場合は、ロール名を記述します。 dynamic_role(動的ロール)で指定する場合は、次のいずれかを記述します。 ・Everyone ・LoginUser ・Administrators
設定項目	—	設定対象に合わせて次のいずれかを記述します。 ・user(ユーザー) ・group(組織) ・dynamic_role(動的ロール) ・role(ロール)

注意

- CSV ファイルに記述されていないユーザー、および組織やロールに所属するユーザーは、ケータイを使用できなくなります。

補足

- CSV ファイルに同じ設定対象が複数記述されている場合は、最後に読み込んだ組織コード、ログイン名、またはロール名で上書きされます。

付録B コマンドラインでガルーンを管理する

次のユーザーがコマンドラインでガルーンを管理します。

- Windows 環境 : windows の Administrator 権限を持つユーザー
- Linux 環境 : root ユーザー権限を持つユーザー

コマンドラインの実行権限を持つユーザーは、次の操作ができます。

- CSV ファイルを使用したユーザー管理
- 削除したユーザーのデータの削除
- 予定の一括削除
- 期間を指定したメッセージの一括削除
- 期限切れ掲示の一括削除
- 期間を指定した掲示の一括削除
- 受信メールの一括削除
- メッセージの変更または削除権限の一括削除
- 通知の一括削除
- ガルーンの初期化
- ログの一括削除
- ログデータの CSV ファイルへの書き出し

次の環境でガルーンをインストールした場合を例に、コマンドラインの使いかたを説明します。

- インストール識別子: cbgrn
- インストールディレクトリー:
 - Windows 環境 : C:\inetpub\scripts\cbgrn
 - Linux 環境 : /var/www/cgi-bin/cbgrn

付録B.1 コマンドの実行手順

付録B.1.1 Windows環境でガルーンのコマンドを実行する

- 1 コマンドプロンプトを起動します。
- 2 カレントディレクトリを次のディレクトリに変更します。
C:\inetpub\scripts\cbgrn
- 3 次のコマンドを実行します。
.grn_command.exe -f code%command%[コマンド][引数]

ユーザー管理用の CSV ファイルを書き出すコマンド

ユーザー管理用の CSV ファイルを書き出すと、コマンドの実行ディレクトリに、指定したファイル名で CSV ファイルが書き出されます。

次のコマンドを実行します。

```
¥grn_command.exe -f code¥command¥[コマンド][引数]>[ファイル名]
```

補足

- 入力するコマンド名と引数については、各操作の説明を参照してください。
「付録 B.2 組織、ユーザーおよびロールを CSV ファイルで管理する」 - 300 ページ
「付録 B.3 アプリケーションのデータを管理する」 - 303 ページ

付録B.1.2 Linux環境でガルーンのコマンドを実行する

- 1 コンソールを起動します。
- 2 カレントディレクトリを次のディレクトリに移動します。
`/var/www/cgi-bin/cbgrn`
- 3 次のコマンドを実行します。
`./grn_command -f code/command/[コマンド][引数]`

ユーザー管理用の CSV ファイルを書き出すコマンド

ユーザー管理用の CSV ファイルを書き出すと、コマンドの実行ディレクトリに、指定したファイル名で CSV ファイルが書き出されます。

次のコマンドを実行します。

```
./grn_command -f code/command/[コマンド][引数]>[ファイル名]
```

補足

- 入力するコマンド名と引数については、各操作の説明を参照してください。
「付録 B.2 組織、ユーザーおよびロールを CSV ファイルで管理する」 - 300 ページ
「付録 B.3 アプリケーションのデータを管理する」 - 303 ページ

付録B.2 組織、ユーザーおよびロールをCSVファイルで管理する

組織やユーザーを管理するための CSV ファイルを、コマンドラインで読み込んだり書き出したりできます。

コマンドラインで読み込み、または書き出しができる情報は、次のとおりです。

- 組織
 - 組織情報 : 組織の情報
 - 組織所属のユーザー : 組織に所属しているユーザーの情報
- ユーザー
 - ユーザー情報 : ユーザーの情報
 - ユーザーの所属組織 : ユーザーが所属している組織の情報
 - ユーザーの所持ロール : ユーザーが所持しているロールの情報
- ロール
 - ロール情報 : ロールの情報
 - ロールの所持ユーザー : ロールを所持しているユーザーの情報

付録B.2.1 CSVファイルを読み込むためのコマンドと引数

ユーザー管理用の CSV ファイルを読み込むときに指定するコマンド名と引数は次のとおりです。

コマンド

データの種類	機能	コマンド
組織	組織情報の読み込み	import_organization.csp
	組織の所属ユーザーの読み込み	import_organization_user.csp
ユーザー	ユーザー情報の読み込み	import_user.csp
	ユーザーの所属組織の読み込み	import_user_organization.csp
	ユーザーの所持ロールの読み込み	import_user_role.csp
ロール	ロール情報の読み込み	import_role.csp
	ロールの所持ユーザーの読み込み	import_role_user.csp

引数

引数	必須	説明
localfile	○	読み込む CSV ファイルのパスを指定します。 CSV ファイルに、Web サーバーの実行ユーザーが閲覧できる権限が設定されている必要があります。
charset	×	読み込む CSV ファイルの文字コードを指定します。 次の文字コードを指定できます。 ・SJIS-win ・UTF-8 ・ASCII ・ISO-8859-1 ・GB2312 ・TIS-620 補足： ・文字コードを省略した場合は、common.ini ファイルの次の値が使用されます。 [18N]セクションに記述されている default_external_encodin ・default_external_encodin 初期値は SJIS-win です。
skip	×	次のどちらかの値を指定します。 1: CSV ファイルの先頭行をスキップしてデータを読み込みます。 0: CSV ファイルの先頭行とデータを読み込みます。 補足： ・skip を省略した場合は、CSV ファイルの先頭行とデータを読み込みます。
old	×	次のどちらかの値を指定します。 1: バージョン 3.1.0 より前のガルーンで出力された CSV ファイルを、3.1.0 以降のガルーンに読み込みます。 0: バージョン 3.1.0 以降のガルーンのフォーマットで CSV ファイルを読み込みます。 補足： ・ユーザー情報の CSV ファイルにのみ有効です。 ・old を省略した場合は、バージョン 3.1.0 以降のガルーンのフォーマットで CSV ファイルを読み込みます。

○: 必須、×: 任意

例: 次の環境と設定で CSV ファイルを読み込みます。

付録 B コマンドラインでガルーンを管理する

- OS: Linux
- データの種類: ユーザー情報
- 文字コード: UTF-8
- 先頭行: スキップする

```
./grn_command -f code/command/import_user.csp localfile=user.csv charset=UTF-8 skip=1
```

付録B.2.2 CSVファイルを書き出すためのコマンドと引数

ユーザー管理用の CSV ファイルを書き出すときに指定するコマンド名と引数は次のとおりです。

コマンド

データの種類	機能	コマンド
組織	組織情報の書き出し	export_organization.csp
	組織の所属ユーザーの書き出し	export_organization_user.csp
ユーザー	ユーザー情報の書き出し	export_user.csp
	ユーザーの所属組織の書き出し	export_user_organization.csp
	ユーザーの所持ロールの書き出し	export_user_role.csp
ロール	ロール情報の書き出し	export_role.csp
	ロールの所持ユーザーの書き出し	export_role_user.csp

引数

引数	必須	説明
charset	×	書き出す CSV ファイルの文字コードを指定します。 次の文字コードを指定できます。 ・SJIS-win ・UTF-8 ・ASCII ・ISO-8859-1 ・GB2312 ・TIS-620 補足: ・文字コードを省略した場合は、common.ini ファイルの次の値が使用されます。 [118N]セクションに記述されている default_external_encoding ・default_external_encoding の初期値は SJIS-win です。
title	×	次のどちらかの値を指定します。 1: CSV ファイルの先頭行に項目名が書き出されます。 0: 項目名は CSV ファイルに書き出されません。 補足: ・title を省略すると、項目名は CSV ファイルに書き出されません。

引数	必須	説明
old	×	次のどちらかの値を指定します。 1: バージョン 3.1.0 より前のガルーンのフォーマットで、ユーザー情報を CSV ファイルに書き出します。 0: バージョン 3.1.0 以降のガルーンのフォーマットで、ユーザー情報を CSV ファイルに書き出します。 補足: ・ユーザー情報の CSV ファイルにのみ有効です。 ・old を省略した場合は、バージョン 3.1.0 以降のガルーンのフォーマットでユーザー情報を CSV ファイルに書き出します。

○: 必須、×: 任意

例: 次の環境と設定で CSV ファイルを書き出します。

- OS: Linux
- データの種類: ユーザー情報
- 文字コード: UTF-8
- 先頭行: 項目名を書き出します。

```
./grn_command -f code/command/export_user.csp charset=UTF-8 title=1 > user.csv
```

付録B.3 アプリケーションのデータを管理する

コマンドラインを使用して、アプリケーションのデータを削除できます。

注意

- コマンドラインを使用したアプリケーションのデータの削除は、ユーザーがガルーンを使用していない時間帯に行うことを推奨します。削除処理中はガルーンへの負荷が高くなり、業務に支障をきたす場合があります。

付録B.3.1 削除したユーザーのデータを削除する

削除したユーザーのユーザー情報、アクセス権、通知などを削除します。対象となるユーザーを指定してデータを削除できます。

コマンド

```
delete_user.csp
```

引数

引数	入力タイプ	必須	説明
login_name	文字列 (1 行)	○	データを削除するユーザーのログイン名を指定します。削除済みのユーザーのみ指定できます。
help	—	×	このコマンドのヘルプを表示します。

○: 必須、×: 任意

付録 B コマンドラインでガルーンを管理する

例: 次の環境と設定で、削除したユーザーのデータを削除します。

- OS: Linux
- ログイン名: sato

```
./grn_command -f code/command/delete_user.csp login_name=sato
```

補足

- 「システム管理」画面で、削除したユーザーのデータを自動的に削除する時間帯を設定できます。
- コマンドラインを実行すると、次のファイルにログが出力されます。
 - Windows 環境:
C:¥InetPub¥Scripts¥cbgrn¥delete_user.log
 - Linux 環境:
/var/www/cgi-bin/cbgrn/delete_user.log
- ログについては、次のページを参照してください。
「付録 B.3.12 実行ログ」 - 315 ページ

付録B.3.2 予定を一括削除する

指定した日付よりも前に終了した予定を削除します。

注意

- 削除した予定は復旧できません。削除しない予定は、予定の内容を変更するか、フォローを書き込んで、予定の終了日の日付を更新し、削除の対象から外します。

コマンド

delete_schedules.csp

引数

引数	入力タイプ	必須	説明
exec	—	×	データを削除します。 この引数を省略すると、削除する予定の件数が表示されます。 データは削除されません。
before	文字列(1行) (YYYY-MM-DD)	○	削除する基準となる日付を指定します。 予定の終了日が、指定した日付より前の日付である予定を削除します。
max_count	整数	×	削除する予定の最大件数を指定します。 この引数を使用する場合は、execを使用する必要があります。
max_duration	整数	×	削除処理を行う最長時間を分で指定します。指定した時間が経過した時点で削除処理が継続している場合、処理を終了します。 この引数を使用する場合は、execを使用する必要があります。 ・最小値:0 ・最大値:2147483647
help	—	×	このコマンドのヘルプを表示します。

○: 必須、×: 任意

例: 次の環境と設定で予定を削除します。

- OS: Linux
- 削除する基準の日: 2011 年 5 月 30 日
- 削除処理の最長時間: 3 時間 (180 分)

```
./grn_command -f code/command/delete_schedules.csp exec before=2011-05-30 max_duration=180
```

補足

- コマンドラインを実行すると、次のファイルにログが出力されます。
 - Windows 環境:
C:¥InetPub¥Scripts¥cbgrn¥delete_schedules.log
 - Linux 環境:
/var/www/cgi-bin/cbgrn/delete_schedules.log
- ログについては、次のページを参照してください。
「付録 B.3.12 実行ログ」 - 315 ページ

付録B.3.3 期間を指定してメッセージを一括削除する

最終更新日が、指定した日付よりも前の日付であるメッセージを削除します。

注意

- 削除したメッセージは復旧できません。

補足

- 削除対象のメッセージは、次のいずれかの方法で最終更新日の日付を更新すると、削除対象から除外されます。
 - メッセージの内容を変更する
 - フォローを書き込む
- メッセージを削除すると、削除したメッセージの通知や添付ファイルも削除されます。

コマンド

```
delete_messages.csp
```

引数

引数	入力タイプ	必須	説明
exec	—	×	データを削除します。 この引数を省略すると、削除するメッセージの件数が表示されます。データは削除されません。
before	文字列 (1 行) (YYYY-MM-DD)	○	削除する基準となる日付を指定します。 最終更新日が、指定した日付より前の日付であるメッセージを削除します。
max_count	整数	×	削除するメッセージの最大件数を指定します。 この引数を使用する場合は、exec を使用する必要があります。
max_duration	整数	×	削除処理を行う最長時間を分で指定します。指定した時間が経過した時点で削除処理が継続している場合、処理を終了します。

付録 B コマンドラインでガルーンを管理する

引数	入力タイプ	必須	説明
			この引数を使用する場合は、exec を使用する必要があります。 ・最小値:0 ・最大値:2147483647
help	—	×	このコマンドのヘルプを表示します。

○: 必須、×: 任意

例: 次の環境と設定でメッセージを削除します。

- OS: Linux
- 削除する基準の日: 2011 年 5 月 30 日
- 削除処理の最長時間: 3 時間 (180 分)

```
./grn_command -f code/command/delete_messages.csp exec before=2011-05-30 max_duration=180
```

補足

- コマンドラインを実行すると、次のファイルにログが出力されます。
 - Windows 環境:
C:¥InetPub¥Scripts¥cbgrn¥delete_messages.log
 - Linux 環境:
/var/www/cgi-bin/cbgrn/delete_messages.log
- ログについては、次のページを参照してください。
「付録 B.3.12 実行ログ」 - 315 ページ

付録B.3.4 期限切れの掲示を一括削除する

掲示期間を過ぎた掲示を削除します。

コマンド

```
delete_bulletin_over.csp
```

引数

引数	入力タイプ	必須	説明
exec	—	×	データを削除します。 この引数を省略すると、削除する掲示の件数が表示されます。 データは削除されません。
max_count	整数	×	削除する掲示の最大件数を指定します。 この引数を使用する場合は、exec を使用する必要があります。
max_duration	整数	×	削除処理を行う最長時間を分で指定します。指定した時間が経過した時点で削除処理が継続している場合、処理を終了します。 この引数を使用する場合は、exec を使用する必要があります。 ・最小値:0 ・最大値:2147483647
help	—	×	このコマンドのヘルプを表示します。

○: 必須、×: 任意

例: 次の環境と設定で期限切れの掲示を削除します。

- OS: Linux
- 削除する掲示の最大件数: 10000

```
./grn_command -f code/command/delete_bulletin_over.csp exec max_count=10000
```

補足

- コマンドラインを実行すると、次のファイルにログが出力されます。
 - Windows 環境:
C:¥InetPub¥Scripts¥cbgrn¥delete_bulletin_over.log
 - Linux 環境:
/var/www/cgi-bin/cbgrn/delete_bulletin_over.log
- ログについては、次のページを参照してください。
「付録 B.3.12 実行ログ」 - 315 ページ

付録B.3.5 期間を指定して掲示を一括削除する

最終更新日が、指定した日付よりも前の日付である掲示を削除します。

注意

- 削除した掲示は復旧できません。

補足

- 削除対象の掲示は、次のいずれかの方法で最終更新日の日付を更新すると、削除対象から除外されます。
 - 掲示の内容を変更する
 - フォローを書き込む
- 掲示を削除すると、削除した掲示の通知や添付ファイルも削除されます。

コマンド

delete_bulletins.csp

引数

引数	入力タイプ	必須	説明
exec	—	×	データを削除します。 この引数を省略すると、削除する掲示の件数が表示されます。 データは削除されません。
before	文字列(1行) (YYYY-MM-DD)	○	削除する基準となる日付を指定します。 最終更新日が、指定した日付より前の日付である掲示を削除します。
max_count	整数	×	削除する掲示の最大件数を指定します。 この引数を使用する場合は、execを使用する必要があります。
max_duration	整数	×	削除処理を行う最長時間を分で指定します。指定した時間が経過した時点で削除処理が継続している場合、処理を終了します。 この引数を使用する場合は、execを使用する必要があります。 ・最小値:0

付録 B コマンドラインでガルーンを管理する

引数	入力タイプ	必須	説明
			・最大値:2147483647
help	—	×	このコマンドのヘルプを表示します。

○:必須、×:任意

例:次の環境と設定で掲示を削除します。

- OS: Linux
- 削除する基準の日:2011年5月30日
- 削除処理の最長時間:3時間(180分)

```
./grn_command -f code/command/delete_bulletins.csp exec before=2011-05-30 max_duration=180
```

補足

- コマンドラインを実行すると、次のファイルにログが出力されます。
 - Windows 環境:
C:¥InetPub¥Scripts¥cbgrn¥delete_bulletins.log
 - Linux 環境:
/var/www/cgi-bin/cbgrn/delete_bulletins.log
- ログについては、次のページを参照してください。
「付録 B.3.12 実行ログ」 - 315 ページ

付録B.3.6 受信メールを削除する

受信したメールを一括で削除します。

コマンド名

delete_mails.csp

引数

引数	入力タイプ	必須	説明
exec	—	×	データを削除します。 この引数を省略すると、削除するメールの所有者(ユーザーのログイン名)と、メールの数が表示されます。データは削除されません。
login_name		×	ユーザーのログイン名を指定します。 指定したユーザーの受信メールを削除します。 この引数を省略すると、すべてのユーザーが対象になります。
before	文字列(1行) (YYYY-MM-DD)	○	削除する基準となる日付を指定します。 指定した日付より前に受信したメールを削除します。
max_duration	整数	×	削除処理を行う最長時間を分で指定します。指定した時間が経過した時点で削除処理が継続している場合、処理を終了します。 この引数を使用する場合は、execを使用する必要があります。 ・最小値:0 ・最大値:2147483647
help	—	×	このコマンドのヘルプを表示します。

○:必須、×:任意

例: 次の環境と設定で受信メールを削除します。

- OS: Linux
- 削除する基準の日: 2011 年 5 月 30 日
- ログイン名が「sato」のユーザーの受信メールを削除する

```
grn_command -f code/command/delete_mails.csp login_name=sato before=2011-05-30 exec
```

注意

- 削除した受信メールは復旧できません。

補足

- コマンドラインを実行すると、次のファイルにログが出力されます。
 - Windows 版の場合
C:\inetpub\scripts\cbgrn\delete_mails.log
 - Linux 版の場合
/var/www/cgi-bin/cbgrn/delete_mails.log
- ログについては、次のページを参照してください。
「付録 B.3.12 実行ログ」 - 315 ページ

付録B.3.7 メッセージの変更および削除権限を削除する

メッセージの宛先のユーザーに設定された、メッセージの変更および削除権限を削除します。

メッセージの削除権限とは、「変更/削除の許可」の「許可するユーザー」に設定されたユーザーが、宛先のユーザーの受信箱からメッセージを削除できる権限です。

コマンド

```
delete_messages_maintainer.csp
```

引数

引数	入カタイプ	必須	説明
exec	—	×	権限を削除します。この引数を省略すると、権限を削除するメッセージの数が表示されます。
before	文字列(1行) (YYYY-MM-DD)	○	削除する基準となる日付を指定します。 指定した日付より前に付与された権限を削除します。
help	—	×	このコマンドのヘルプを表示します。

○: 必須、×: 任意

例: 次の環境と設定で、メッセージの変更および削除権限を削除します。

- OS: Linux
- 削除する基準の日: 2011 年 5 月 30 日

```
grn_command -f code/command/delete_messages_maintainer.csp before=2011-05-30 exec
```

注意

- 削除したメッセージの変更および削除権限は復旧できません。

補足

- コマンドラインを実行すると、次のファイルにログが出力されます。
 - Windows 版の場合
C:\¥InetPub¥Scripts¥cbgrn¥delete_messages_maintainer.log
 - Linux 版の場合
/var/www/cgi-bin/cbgrn/delete_messages_maintainer.log
- ログについては、次のページを参照してください。
「付録 B.3.12 実行ログ」 - 315 ページ

付録B.3.8 通知を削除する

通知データを削除します。

コマンド

delete_notification.csp

引数

引数	入力タイプ	必須	説明
exec	—	×	データを削除します。 省略した場合は削除する通知の数が表示されます。データは削除されません。
target	文字列(1行)	○	次のいずれかを指定します。 ・notify: 「通知一覧」画面に表示される通知 ・confirmed: 確認済みの通知 ・all: 確認済みおよび未確認の通知
login_name	文字列(1行)	×	ユーザーのログイン名を指定します。 指定したユーザーの通知データを削除します。省略した場合は、全ユーザーが対象になります。
before	文字列(1行) (YYYY-MM-DD)	○	削除する基準となる日付を指定します。 最終更新日が指定した日付より前の通知データを削除します。
max_count	整数	×	削除する通知の最大数を指定します。省略した場合は、対象となる通知をすべて削除します。 ・最小値:0 ・最大値:2147483647
max_duration	整数	×	削除処理を行う最長時間を分で指定します。指定した時間が経過した時点で削除処理が継続している場合、処理を終了します。 この引数を使用する場合は、execを使用する必要があります。 ・最小値:0 ・最大値:2147483647
help	—	×	このコマンドのヘルプを表示します。

○: 必須、×: 任意

例: 次の環境と設定で通知を削除します。

- OS: Linux
- 削除する基準日となる日付: 2011 年 5 月 30 日
- ログイン名: sato
- 削除処理を行う最長時間: 3 時間 (180 分)

```
./grn_command -f code/command/delete_notification.csp exec target=confirmed login_name=sato
before=2011-05-30 max_duration=180
```

注意

- 削除した通知は復旧できません。

補足

- コマンドラインを実行すると、次のファイルにログが出力されます。
 - Windows 版の場合
C:¥InetPub¥Scripts¥cbgrn¥delete_notification.log
 - Linux 版の場合
/var/www/cgi-bin/cbgrn/delete_notification.log
- ログについては、次のページを参照してください。
「付録 B.3.12 実行ログ」 - 315 ページ

付録B.3.9 ガルーンを初期化する

コマンドラインを使用して、ガルーンを初期化します。

注意

- ガルーンの初期化中に初期化をキャンセルすると、ガルーンが使用できなくなる場合があります。ガルーンの初期化を途中でキャンセルした場合は、初期化する前のガルーンに戻して最初から操作をやり直してください。
- 初期化したデータは復旧できません。

補足

- コマンドラインを実行すると、次のファイルにログが出力されます。
 - Windows 版の場合
C:¥InetPub¥Scripts¥cbgrn¥grn_initialize.log
 - Linux 版の場合
/var/www/cgi-bin/cbgrn/grn_initialize.log
- ログについては、次のページを参照してください。
「付録 B.3.12 実行ログ」 - 315 ページ

grn_initialize.csp を使用した初期化**コマンド**

grn_initialize.csp

引数

引数	入力タイプ	必須	説明
db_admin_password	文字列(1行)	○	データベース管理ユーザーのパスワードを指定します。
db_user_password	文字列(1行)	○	データベース接続ユーザーのパスワードを指定します。
garoon_admin_password	文字列(1行)	○	ガルーンの管理者のパスワードを指定します。
default_timezone	文字列(1行)	○	タイムゾーンの初期値を、タイムゾーンコードで指定します。
default_locale	文字列(1行)	×	言語の初期値を指定します。

引数	入力タイプ	必須	説明
			例: ・ja(日本語) ・en(英語) ・zh(中国語)
force_initialize	Yes または No	×	データベースにデータが保存されている場合、初期化するかどうかを指定します。 ・Yes: 初期化します。 ・No: 初期化を中止します。
help	—	×	このコマンドのヘルプを表示します。

○: 必須、×: 任意

例: 次の環境と設定でガルーンを初期化します。

- OS: Linux
- データベース管理ユーザーのパスワード: cybozu
- データベース接続ユーザーのパスワード: cybozu
- ガルーンの管理者のパスワード: cybozu
- タイムゾーンの初期値: 東京 (Asia/Tokyo)
- 言語の初期値: 日本語 (ja)

```
./grn_command -f code/command/grn_initialize.csp db_admin_password=cybozu
db_user_password=cybozu garoon_admin_password=cybozu default_timezone=Asia/Tokyo
default_locale=ja
```

initialize.bat を使用した初期化

initialize.bat を使用してガルーンを初期化すると、ロケールの初期値が自動的に設定されます。
このコマンドは、Windows 環境だけで使用できます。

コマンド

```
cd C:\inetpub\Scripts\cbgrn\initialize"
```

initialize.bat (言語) "(データベースのインストールディレクトリー)" (パスワード)

引数

引数	入力タイプ	必須	説明
言語	文字列(1行)	○	コマンドの入力画面の表示言語を指定します。 例: ・ja(日本語) ・en(英語) ・zh(中国語)
データベースのインストールディレクトリー	文字列(1行)	○	MySQL がインストールされているディレクトリーのパスを指定します。
パスワード	文字列(1行)	×	データベース管理ユーザーのパスワードを指定します。 省略すると、コマンドを実行した後、データベース管理ユーザーのパスワードの入力欄が表示されます。

○ : 必須、×: 任意

コマンドの入力画面の表示言語に合わせて、次のロケールの言語とタイムゾーンが自動的に設定されます。

表示言語	ロケールの言語	タイムゾーン
ja	日本語	Asia/Tokyo
en	English	Europe/London
zh	中文(簡体)	Asia/Shanghai

例: 次の環境と設定でガルーンを初期化します。

- 言語: ja
- データベースのインストールディレクトリー: C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0
- パスワード: cybozu

```
cd C:\inetpub\scripts\cbgrn\initialize"
initialize.bat ja "C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0" cybozu
```

補足

- initialize.bat を実行し、「このメッセージが正しく表示されている場合は Y を入力します。」が表示された後、「N」を入力すると、画面の表示言語は英語になります。

付録B.3.10 ログを一括削除する

ログの出力日が指定した日付よりも前の日付であるログを削除します。

注意

- 削除したログは復旧できません。

コマンド

delete_loggings.csp

引数

引数	入力タイプ	必須	説明
exec	—	×	データを削除します。 この引数を省略すると、削除するログの数が表示されます。データは削除されません。
before	文字列(1行) (YYYY-MM-DD)	○	削除する基準となる日付を指定します。 最終更新日が、指定した日付より前の日付であるログを削除します。
max_duration	整数	×	削除処理を行う最長時間を分で指定します。指定した時間が経過した時点で削除処理が継続している場合、処理を終了します。 この引数を使用する場合は、execを使用する必要があります。 ・最小値: 0 ・最大値: 2147483647
help	—	×	このコマンドのヘルプを表示します。

○: 必須、×: 任意

例: 次の環境と設定でログを削除します。

- OS: Linux
- 削除する基準の日: 2011 年 5 月 30 日
- 削除処理の最長時間: 3 時間 (180 分)

```
./grn_command -f code/command/delete_loggings.csp exec before=2011-05-30 max_duration=180
```

補足

- コマンドラインを実行すると、次のファイルにログが出力されます。
 - Windows 版の場合
C:¥InetPub¥Scripts¥cbgrn¥delete_loggings.log
 - Linux 版の場合
/var/www/cgi-bin/cbgrn/delete_loggings.log
- ログについては、次のページを参照してください。
「付録 B.3.12 実行ログ」 - 315 ページ

付録B.3.11 ログデータをCSVファイルに書き出す

ログデータを CSV ファイルに書き出すためのコマンドと引数は次のとおりです。

コマンド

export_loggings.csp

引数

引数	入力タイプ	必須	説明
before	文字列 (1 行) (YYYY-MM-DD)	○	CSV ファイルに出力する基準となる日付を指定します。 最終更新日が指定した日付より前の日付であるログを、CSV ファイルに書き出します。
charset	<ul style="list-style-type: none"> •SJIS-win •UTF-8 •ASCII •ISO-8859-1 •GB2312 •TIS-620 	×	書き出す CSV ファイルの文字コードを指定します。 次の文字コードを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> •SJIS-win •UTF-8 •ASCII •ISO-8859-1 •GB2312 •TIS-620 補足: ・文字コードを省略した場合は、common.ini ファイルの次の値が使用されます。 [18N]セクションに記述されている default_external_encodin ・default_external_encodin 初期値は SJIS-win です。
title	Yes または No	×	次のどちらかの値を指定します。 Yes: CSV ファイルの先頭行に項目名が書き出されます。 No: 項目名は CSV ファイルに書き出されません。 補足: ・title を省略すると、項目名は CSV ファイルに書き出されません。

引数	入力タイプ	必須	説明
help	—	×	このコマンドのヘルプを表示します。

○: 必須、×: 任意

例: 次の環境と設定で、ログを CSV ファイルに書き出します。

- OS: Linux
- 書き出す基準の日: 2011 年 5 月 30 日
- 文字コード: UTF-8
- 先頭行: 項目名を書き出す
- 出力先のファイル名: logdata.csv

```
./grn_command -f code/command/export_loggings.csp before=2011-05-30 charset=UTF-8 title=Yes
>logdata.csv
```

付録B.3.12 実行ログ

データが正常に削除されると、次のメッセージがログに出力されます。

削除済みのユーザーのデータの削除:

```
2011-05-13 17:45:06 Garoon: Version 3.x.x
2011-05-13 17:45:06 [サーバーのシステム情報]
2011-05-13 17:45:06 Command Line Parameters: [コマンドラインの実行時に指定した引数]
2011-05-13 17:45:06 Starting
2011-05-13 17:45:06 Deleted [削除処理が完了したアプリケーション名] data of user "[削除対象ユーザーのログイン名]"
2011-05-13 17:45:07 Deleted user "[削除対象ユーザーのログイン名]"
2011-05-13 17:45:07 Done in [処理にかかった時間]: Deleted [削除したユーザー数]
```

各アプリケーションのデータの削除:

```
2011-05-13 13:36:59 Writing to log file: [実行ログのファイルパス]
2011-05-13 13:36:59 Garoon: Version 3.x.x
2011-05-13 13:36:59 [サーバーのシステム情報]
2011-05-13 13:36:59 Command Line Parameters: [コマンドラインの実行時に指定した引数]
2011-05-13 13:36:59 Starting
2011-05-13 13:37:07 Deleted [削除されたデータの ID]
2011-05-13 13:37:07 Committed.
2011-05-13 13:37:07 Done in [処理にかかった時間]: Deleted [削除したデータ数]
```

ガルーンの初期化:

```
2011-05-28 13:13:26 Writing to log file: [実行ログのファイルパス]
2011-05-28 13:13:26 Garoon: Version 3.x.x
2011-05-28 13:13:26 [サーバーのシステム情報]
2011-05-28 23:13:26 Command Line Parameters: [コマンドラインの実行時に指定した引数]
2011-05-28 23:13:26 Starting
2011-05-28 23:14:20 [処理にかかった時間]
```

付録C ログの出力仕様

システム管理のロギングで出力されるログの仕様は、次のとおりです。

付録C.1 ログの構成

ログは、次の構成で出力されます。

[操作][対象][ログの内容]

- 操作:
ユーザーが行った操作です。[create](登録)、[delete](削除)、[modify](変更)、[browse](閲覧)などがあります。
- 対象:
アプリケーションが監視している対象です。ログイン、エラー、ユーザーなどがあります。
- ログの内容:
操作を行ったユーザーや、ログの対象となったデータなどが、「プロパティ:値」の形式で記述されます。値と値の間は、「,」(カンマ)とスペースで区切られています。

付録C.2 基本システムのログ

システム全般

プロパティ

id: ユーザーID

name: ユーザー名

account: ログイン名

ログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
ログイン	成功	重要情報	[login] system (id:XX, name:XX, account:XX)
	失敗 (パスワードに問題がある場合)	エラー	[プロセス ID] エラー番号[login] Failed (id:XX, name:XX, account:XX)
	失敗 (ユーザーが存在しない場合)	エラー	[プロセス ID] エラー番号[login] Failed (account:XX)
ログアウト		重要情報	[logout] system (id:XX, name:XX, account:XX)
エラー		エラー	[プロセス ID] エラー番号

-:該当なし

カレンダー

拠点のログのプロパティ

id: 拠点 ID

name: 拠点名

code: 拠点コード

workday_sunday: 稼働日 - 日曜日 ¹

workday_monday: 稼働日 - 月曜日 ¹

workday_tuesday: 稼働日 - 火曜日 ¹

workday_wednesday: 稼働日 - 水曜日 ¹

workday_thursday: 稼働日 - 木曜日 ¹

workday_friday: 稼働日 - 金曜日 ¹

workday_saturday: 稼働日 - 土曜日 ¹

apply_calendar: カレンダーの就業日の適用

calendar: カレンダーコード

base_id: 拠点 ID

start: 稼働時間の開始時刻

end: 稼働時間の終了時刻

¹: 0 (非稼働日) または 1 (稼働日)

拠点のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
拠点	追加	重要情報	[create] base (id:XX, name:'XX', code:'XX', workday_sunday:'XX', workday_monday:'XX', workday_tuesday:'XX', workday_wednesday:'XX', workday_thursday:'XX', workday_friday:'XX', workday_saturday:'XX', apply_calendar:'XX', calendar:'XX')
	変更	重要情報	[modify] base (id:XX, name:'XX', code:'XX', workday_sunday:'XX', workday_monday:'XX', workday_tuesday:'XX', workday_wednesday:'XX', workday_thursday:'XX', workday_friday:'XX', workday_saturday:'XX', apply_calendar:'XX', calendar:'XX')
	削除	重要情報	[delete] base (id:XX, name:'XX', code:'XX', workday_sunday:'XX', workday_monday:'XX', workday_tuesday:'XX', workday_wednesday:'XX', workday_thursday:'XX', workday_friday:'XX', workday_saturday:'XX', apply_calendar:'XX', calendar:'XX')
	稼働時間の追加	重要情報	[create] base_work_hours (base_id:XX, start:'XX', end:'XX')
	表示名の追加	重要情報	[create] base_local (base_id:XX, language_code:'XX', name:'XX')

対象	操作	深刻度	出力仕様
	表示名の変更	重要情報	[modify] base_local (base_id:XX, language_code:'XX', name:'XX')
	表示名の削除	重要情報	[delete] base_local (base_id:XX, language_code:'XX', name:'XX')

ローカライズ

ロケールのログのプロパティ

id: ロケール ID

name: ロケール名

code: ロケールコード

language_code: 言語コード¹

long_date_format: 日付の長い形式

short_date_format: 日付の短い形式

time_format: 時刻の形式

locale_id: ロケール ID

language_code: 言語

name: 表示名

¹: "ja"、"en"、または"zh"

ロケールのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
ロケール	追加	重要情報	[create] locale (id:XX, name:'XX', code:'XX', language_code:'XX', long_date_format:'XX', short_date_format:'XX', time_format:'XX')
	変更	重要情報	[modify] locale (id:XX, name:'XX', code:'XX', language_code:'XX', long_date_format:'XX', short_date_format:'XX', time_format:'XX')
	削除	重要情報	[delete] locale (id:XX, name:'XX', code:'XX', language_code:'XX', long_date_format:'XX', short_date_format:'XX', time_format:'XX')
	表示名の追加	重要情報	[create] locale_local (locale_id:XX, language_code:'XX', name:'XX')
	表示名の変更	重要情報	[modify] locale_local (locale_id:XX, language_code:'XX', prev_locale_name:'XX', new_locale_name:'XX')
	表示名の削除	重要情報	[delete] locale_local (locale_id:XX, language_code:'XX', name:'XX')

ユーザー管理

ユーザーのログのプロパティ

uid: ユーザーID

付録 C ログの出力仕様

name: ユーザー名
account: ログイン名
gids: グループ ID(複数)
rids: ロール ID(複数)
user: ユーザーアカウント
groups: グループキー(複数)
roles: ロールキー(複数)
mgids: my グループ ID(複数)

ユーザーのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
ユーザー	追加	重要情報	[create] user (uid:XX, name:XX, account:XX)
	変更	重要情報	[modify] user (uid:XX, name:XX, account:XX)
	削除	重要情報	[delete] user (uid:XX, name:XX, account:XX)
	ユーザーデータの削除	重要情報	[permanent delete] user (uid:XX, name:'XX', account:'XX')
	復旧	重要情報	[restore] user (uid:XX, name:'XX', account:'XX')
	使用開始	重要情報	[activate] user (uid:XX)
	所属組織の設定	重要情報	[belong] user (uid:XX, gids:'XX, XX, XX')
	所持ロールの設定	重要情報	[assign] user (uid:XX, rids:'XX, XX, XX')
ユーザー情報	CSV 読み込み	重要情報	[import] user (uid:XX, name:XX, account:XX)
	CSV 書き出し	重要情報	[export] user (uid:XX, name:XX, account:XX)
所属組織	CSV 読み込み	重要情報	[import_group] user (uid:XX, gids:'XX, XX, XX')
	CSV 書き出し	重要情報	[export_group] user (user:XX, groups:'XX, XX, XX')
所持ロール	CSV 読み込み	重要情報	[import_role] user (uid:XX, rids:'XX, XX, XX')
	CSV 書き出し	重要情報	[export_role] user (user:XX, roles:'XX, XX, XX')

組織のログのプロパティ

gid: 組織 ID
language_code または languageCode: 言語コード¹
name: 組織名
prev_group_name: 変更前の組織表示名
next_group_name: 変更後の組織表示名
foreign_key: 組織コード
memo: メモ
pgid: 親組織 ID
list_index: 順番
uids: ユーザー ID(複数)
parent: 親組織コード
group: 組織コード
users: ユーザーアカウント(複数)
uid: ユーザー ID
rid: ロール ID
dynamic_role: 動的ロールキー²

¹: "ja"、"en"、または"zh"

²: "Everyone" または "LoginUser"

組織のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
組織	追加	重要情報	[create] group (gid:XX, name:XX, foreign_key:XX[,memo:XX])
	変更	重要情報	[modify] group (gid:XX, name:XX, foreign_key:XX[,memo:XX])
	移動	重要情報	[move] group (gid:XX, pgid:XX)
	削除	重要情報	[delete] group (gid:XX, name:XX, foreign_key:XX)
	順番変更	重要情報	[order] group (pgid:XX, gid:XX, list_index:XX)
	ユーザーを所属させる	重要情報	[assign] group (gid:XX, uids:'XX, XX, XX')
	ユーザーを所属から外す	重要情報	[delete_assign] group (gid:XX, uids:'XX, XX, XX')
組織情報	CSV 読み込み	重要情報	[import] group (gid:XX, name:XX, foreign_key:XX, parent:XX)
	CSV 書き出し	重要情報	[export] group (gid:XX, name:XX, foreign_key:XX, parent:XX)
組織名	表示名の追加	重要情報	[create] group_local (gid:XX, language_code:'XX', group_name:'XX')
	表示名の変更	重要情報	[modify] group_local (gid:XX, language_code:'XX', prev_group_name:'XX', next_group_name:'XX')
	表示名の削除	重要情報	[delete] group_local (gid:XX, language_code:'XX', group_name:'XX')
	CSV 読み込み: 追加	重要情報	[import] group_local (gid:XX, language_code:'XX', group_name:'XX')
	CSV 読み込み: 変更	重要情報	[import] group_local (gid:XX, language_code:'XX', prev_group_name:'XX', next_group_name:'XX')
	CSV 読み込み: 削除	重要情報	[import_delete] group_local (gid:XX, language_code:'XX', group_name:'XX')
	CSV 書き出し	重要情報	[export] group_local (gid:XX, languageCode:'XX', group_name:'XX')
所属ユーザー	CSV 読み込み	重要情報	[import_user] group (gid:XX, uids:'XX, XX, XX')
	CSV 書き出し	重要情報	[export_user] group (group:XX, users:'XX, XX, XX')
運用管理権限	追加	重要情報	[create] privilege (gid:XX, uid/priv_gid/rid/ dynamic_role:XX, name:XX)
	変更	重要情報	[modify] privilege (gid:XX, uid/priv_gid/rid/ dynamic_role:XX, name:XX)
	削除	重要情報	[delete] privilege (gid:XX, uid/priv_gid/rid/ dynamic_role:XX, name:XX)
	全削除	重要情報	[delete_all] privilege (gid:XX, name:XX)

ロールのログのプロパティ

rid: ロール

foreign_key: ロール名

memo: メモ

付録 C ログの出力仕様

uids: ユーザ ID¹
group: 組織コード
users: ユーザーアカウント¹
role_id: 順番

¹:複数

ロールのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
ロール	追加	重要情報	[create] role (rid:XX, foreign_key:XX[,memo:XX])
	変更	重要情報	[modify] role (rid:XX, foreign_key:XX[,memo:XX])
	削除	重要情報	[delete] role (rid:XX)
	全削除	重要情報	[delete_all] role
	順番変更	重要情報	[order] role (role_id:XX)
	所持させる	重要情報	[assign] role (rid:XX, uids:'XX, XX, XX')
	所属から外す	重要情報	[delete_assign] role (rid:XX, uids:'XX, XX, XX')
	CSV 読み込み	重要情報	[import] role (rid:XX, foreign_key:XX)
	CSV 書き出し	重要情報	[export] role (rid:XX, foreign_key:XX)
ロールの所持 ユーザー	CSV 読み込み	重要情報	[import_user] role (rid:XX, uids:'XX, XX, XX')
	CSV 書き出し	重要情報	[export_user] role (role:XX, users:'XX, XX, XX')

ユーザー情報の項目のログのプロパティ

cid: ユーザー情報項目 ID
display_name: 項目名
type: 項目タイプ
id: 項目コード
use: 使用する¹
necessary: 必須項目¹
not_modify: ユーザー変更不可¹
show: 公開する¹
display: 一覧表示¹
cellular: ケータイ表示¹
sso: シングルサインオン¹
cids: ユーザー情報項目 ID²

¹:0 または 1

²:複数

ユーザー情報の項目のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
ユーザー情報の項目	追加	重要情報	[create] user_item (cid:XX, display_name:XX, type:XX, id:XX, use:XX, necessary:XX, not_modify:XX, show:XX, display:XX, cellular:XX, sso:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
	組み込み項目の変更	重要情報	[modify] user_item_default (key:XX, display_name:XX, use:XX, necessary:XX, not_modify:XX, show:XX, display:XX, cellular:XX, sso :XX)
	カスタマイズ項目の変更	重要情報	[modify] user_item (cid:XX, display_name:XX, type:XX, id:XX, use:XX, necessary:XX, not_modify:XX, show:XX, display:XX, cellular:XX, sso:XX)
	削除	重要情報	[delete] user_item (cid:XX)
	順番変更	重要情報	[order] user_item (cids:'XX, XX, XX')

付録C.3 アプリケーションのログ

ポータル

システム設定のログのプロパティ

pid: ポータル ID
 ppid: ポートレット ID
 plid: ポートレットレイアウト ID
 hid: フォルダ ID
 fid: ファイル ID
 uid: ユーザー ID
 gid または pgd: 組織 ID
 rid: ロール ID
 dynamic_role: 動的ロールキー¹
 pgid: 親組織 ID
 language_code または languageCode: 言語コード²
 portal_name: ポータル名
 prev_portal_name: 変更前ポータル名
 next_portal_name: 変更後ポータル名
 open_status: ポータル公開設定³
 security_model: セキュリティモデル⁴
 portlet_name: ポートレット名
 layout: レイアウト⁵
 prev_portlet_name: 変更前ポートレット名
 next_portlet_name: 変更後ポートレット名
 portlet_layout_name: My ポートレットの雛形名
 prev_portlet_layout_name: 変更前の My ポートレットの雛形名
 next_portlet_layout_name: 変更後の My ポートレットの雛形名
 portlet_group_name: ポートレットグループ名
 prev_portlet_group_name: 変更前ポートレットグループ名
 next_portlet_group_name: 変更後ポートレットグループ名

- 1: "Everyone" または "LoginUser"
- 2: "ja" (日本語)、"en" (英語)、または "zh" (中国語)
- 3: "open" または "close"
- 4: "revoke" または "grant"
- 5: "top"、"left"、"center"、または "right"

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
ポータルの一覧	ポータルの追加	重要情報	[create] portal (pid:XX, portal_name:XX)
	ポータルの標準の名前の変更	重要情報	[modify] portal (pid:XX, prev_portal_name:XX, next_portal_name:XX)
	ポータルの表示名の追加	重要情報	[create] portal_local (pid:'XX', language_code:'XX', portal_name:'XX')
	ポータルに追加された表示名の変更	重要情報	[modify] portal_local (pid:'XX', language_code:'XX', prev_portal_name:'XX', next_portal_name:'XX')
	ポータルに追加された表示名の削除	重要情報	[delete] portal_local (pid:'XX', language_code:'XX', portal_name:'XX')
	ポータルの公開	重要情報	[modify] portal (pid:XX, portal_name:XX, open_status:XX)
	ポータルの削除	重要情報	[delete] portal (pid:XX, portal_name:XX)
	運用管理権限の追加	重要情報	[create] portal_privilege (pid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, portal_name:XX)
	運用管理権限の削除	重要情報	[delete] portal_privilege (pid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, portal_name:XX)
	ポータルのセキュリティモデルの変更	重要情報	[modify] portal_access (pid:XX, portal_name:XX, security_model:XX)
	ポータルのアクセス権の追加	重要情報	[create] portal_access (pid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, portal_name:XX)
	ポータルのアクセス権の削除	重要情報	[delete] portal_access (pid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, portal_name:XX)
	ポートレットの追加	重要情報	[create] portal_portlet (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, portal_name:XX, portlet_name:XX, layout:XX)
	ポートレットの公開	重要情報	[modify] portal_portlet (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, portal_name:XX, portlet_name:XX, open_status:XX)
	ポートレットの標準の名前の変更	重要情報	[modify] portal_portlet (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, portal_name:XX, prev_portlet_name:XX, next_portlet_name:XX)
	ポートレットの表示名の追加	重要情報	[create] portlet_layout_local (plid:'XX', language_code:'XX', portlet_layout_name:'XX')
	ポートレットに追加された表示名の変更	重要情報	[modify] portlet_layout_local (plid:'XX', language_code:'XX', prev_portlet_layout_name:'XX', next_portlet_layout_name:'XX')
	ポートレットに追加された表示名の削除	重要情報	[delete] portlet_layout_local (plid:'XX', language_code:'XX', portlet_layout_name:'XX')
	ポートレットの移動	重要情報	[move] portal_portlet (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, portal_name:XX, portlet_name:XX, layout:XX)
	ポートレットの順番変更	重要情報	[order] portal_portlet
ポートレットの削除	重要情報	[delete] portal_portlet (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, portal_name:XX, portlet_name:XX)	

対象	操作	深刻度	出力仕様
	ポートレットのセキュリティモデルの変更	重要情報	[modify] portlet_access (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, portal_name:XX, portlet_name:XX security_model:XX)
	ポートレットのアクセス権の追加	重要情報	[create] portlet_access (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, portal_name:XX, portlet_name:XX)
	ポートレットのアクセス権の削除	重要情報	[delete] portlet_access (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, portal_name:XX, portlet_name:XX)
最初に表示するポータル	設定	重要情報	[config] portal_firstview (pid:XX, pgd:XX, portal_name:XX, group_name:XX)
ポータルの表示順	表示順の変更	重要情報	[order] portal
My ポータルの雛形	追加	重要情報	[create] template_portal (pid:XX)
	初期化	重要情報	[delete] template_portal (pid:XX)
	ポートレットの追加	重要情報	[create] template_portal_portlet (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, portlet_name:XX, layout:XX)
	ポートレットの標準の名前の変更	重要情報	[modify] template_portal_portlet (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, prev_portlet_name:XX, next_portlet_name:XX)
	ポートレットの移動	重要情報	[move] template_portal_portlet (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, portlet_name:XX, layout:XX)
	ポートレットの削除	重要情報	[delete] template_portal_portlet (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, portlet_name:XX)
	My ポータルの雛形の表示名の追加	重要情報	[create] template_portlet_layout_local (plid:'XX', language_code:'XX', portlet_layout_name:'XX')
	My ポータルの雛形に追加された表示名の変更	重要情報	[modify] template_portlet_layout_local (plid:'XX', language_code:'XX', prev_portlet_layout_name:'XX', next_portlet_layout_name:'XX')
	My ポータルの雛形に追加された表示名の削除	重要情報	[delete] template_portlet_layout_local (plid:'XX', language_code:'XX', portlet_layout_name:'XX')
	My ポータルの使用期限	セキュリティモデルの変更	重要情報
使用期限の追加		重要情報	[create] my_portal_access (uid/gid/rid/dynamic_role:XX)
使用期限の削除		重要情報	[delete] my_portal_access (uid/gid/rid/dynamic_role:XX)
HTML ポートレット	追加	重要情報	[create] html_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	変更	重要情報	[modify] html_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	削除	重要情報	[delete] html_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	読み込み	重要情報	[import] html_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	書き出し	重要情報	[export] html_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	表示名の追加	重要情報	[create] html_portlet_local (ppid:XX, language_code:'XX', portlet_name:'XX')
	追加された表示名の変更	重要情報	[modify] html_portlet_local (ppid:XX, language_code:'XX', prev_portlet_name:'XX', next_portlet_name:'XX')
	追加された表示名の削除	重要情報	[delete] html_portlet_local (ppid:XX, language_code:'XX', portlet_name:'XX')
	表示名の読み込み:追加	重要情報	[import] html_portlet_local (ppid:XX, language_code:'XX', portlet_name:'XX')

対象	操作	深刻度	出力仕様
	表示名の読み込み: 変更	重要情報	[import] html_portlet_local (ppid:XX, language_code:'XX', prev_portlet_name:'XX', next_portlet_name:'XX')
	表示名の読み込み: 削除	重要情報	[import_delete] html_portlet_local (ppid:XX, language_code:'XX', portlet_name:'XX')
	表示名の書き出し	重要情報	[export] html_portlet_local (ppid:XX, languageCode:'XX', portlet_name:'XX')
PHP ポートレット	追加	重要情報	[create] php_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	変更	重要情報	[modify] php_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	削除	重要情報	[delete] php_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	読み込み	重要情報	[import] php_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	書き出し	重要情報	[export] php_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	表示名の追加	重要情報	[create] php_portlet_local (ppid:XX, language_code:'XX', portlet_name:'XX')
	追加された表示名の 変更	重要情報	[modify] php_portlet_local (ppid:XX, language_code:'XX', prev_portlet_name:'XX', next_portlet_name:'XX')
	追加された表示名の 削除	重要情報	[delete] php_portlet_local (ppid:XX, language_code:'XX', portlet_name:'XX')
	表示名の読み込み: 追加	重要情報	[import] php_portlet_local (ppid:XX, language_code:'XX', portlet_name:'XX')
	表示名の読み込み: 変更	重要情報	[import] php_portlet_local (ppid:XX, language_code:'XX', prev_portlet_name:'XX', next_portlet_name:'XX')
	表示名の読み込み: 削除	重要情報	[import_delete] php_portlet_local (ppid:XX, language_code:'XX', portlet_name:'XX')
	表示名の書き出し	重要情報	[export] php_portlet_local (ppid:XX, languageCode:'XX', portlet_name:'XX')
ポートレットグループ	追加	重要情報	[create] portlet_group (pgid:XX, portlet_group_name:XX)
	変更	重要情報	[modify] portlet_group (pgid:XX, portlet_group_name:XX)
	削除	重要情報	[delete] portlet_group (pgid:XX, portlet_group_name:XX)
	運用管理権限の追加	重要情報	[create] portlet_group_privilege (pgid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, portlet_group_name:XX)
	運用管理権限の削除	重要情報	[delete] portlet_group_privilege (pgid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, portlet_group_name:XX)
	表示名の追加	重要情報	[create] portlet_group_local (pgid:'XX', language_code:'XX', portlet_group_name:'XX')
	追加された表示名の 変更	重要情報	[modify] portlet_group_local (pgid:'XX', language_code:'XX', prev_portlet_group_name:'XX', next_portlet_group_name:'XX')
	追加された表示名の 削除	重要情報	[delete] portlet_group_local (pgid:'XX', language_code:'XX', portlet_group_name:'XX')

個人設定のログのプロパティ

pid: ポータル ID

ppid: ポートレット ID

plid: ポートレットレイアウト ID

pgid: 親組織 ID

portal_name: My ポータル名

prev_portal_name: 変更前 My ポータル名

next_portal_name: 変更後 My ポータル名

layout: レイアウト¹

portlet_group_name: My ポートレットグループ名

¹: "top"、"left"、"center"、または "right"

個人設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
My ポータルの一覧	ポータルの追加	重要情報	[create] my_portal (pid:XX, portal_name:XX)
	ポータルの表示名の変更	重要情報	[modify] my_portal (pid:XX, prev_portal_name:XX, next_portal_name:XX)
	ポータルの削除	重要情報	[delete] my_portal (pid:XX, portal_name:XX)
	ポートレットの追加	重要情報	[create] my_portal_portlet (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, portal_name:XX, portlet_name:XX, layout:XX)
	ポートレットの表示名の変更	重要情報	[modify] my_portal_portlet (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, portal_name:XX, prev_portlet_name:XX, next_portlet_name:XX)
	ポートレットの移動	重要情報	[move] my_portal_portlet (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, portal_name:XX, portlet_name:XX, layout:XX)
	ポートレットの順番変更	重要情報	[order] my_portal_portlet
	ポートレットの削除	重要情報	[delete] my_portal_portlet (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, portal_name:XX, portlet_name:XX)
My ポータルの表示順	変更	重要情報	[order] my_portal
HTML ポートレット	追加	重要情報	[create] my_html_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	変更	重要情報	[modify] my_html_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	削除	重要情報	[delete] my_html_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	読み込み	重要情報	[import] my_html_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
	書き出し	重要情報	[export] my_html_portlet (ppid:XX, portlet_name:XX)
My ポートレットグループ	追加	重要情報	[create] my_portlet_group (pgid:XX, portlet_group_name:XX)
	変更	重要情報	[modify] my_portlet_group (pgid:XX, portlet_group_name:XX)
	削除	重要情報	[delete] my_portlet_group (pgid:XX, portlet_group_name:XX)

スペース

システム設定のログのプロパティ

cid: カテゴリーコード

language_code: 言語コード²

name: カテゴリー名

prev_category_name: 変更前のカテゴリ名

next_category_name: 変更後のカテゴリ名

foreign_key: カテゴリーコード

付録 C ログの出力仕様

parent: 親カテゴリID
parent_name: 親カテゴリ名
src_cid: 移動元カテゴリID
operation: 操作詳細³

¹: "TRUE" (許可する) または "FALSE" (許可しない)

²: "ja" (日本語)、"en" (英語)、または "zh" (中国語)

³: "create" (カテゴリの追加) または "update" (カテゴリの変更)

システム設定のログ

対象	操作	レベル	出力仕様
カテゴリ	追加	情報	[create] category (cid:XX, foreign_key:'XX', category_name:'XX', parent:XX, parent_name:'XX')
	変更	情報	[modify] category (cid:XX, foreign_key:'XX', category_name:'XX', parent:XX, parent_name:'XX')
	移動	情報	[move] category (cid:XX, category_name:'XX', src_cid:XX, parent:XX, parent_name:'XX')
	削除	情報	[delete] category (cid:XX, category_name:'XX')
	カテゴリ情報の読み込み	情報	[import] category (cid:XX, category_name:'XX', foreign_key:'XX', operation:'XX')
	カテゴリ情報の書き出し	情報	[export] category (cid:XX, category_name:'XX', foreign_key:'XX')
	表示名の追加	情報	[create] category_local (cid:XX, category_name:'XX', language_code:'XX')
	表示名の変更	情報	[modify] category_local (cid:XX, category_name:'XX', prev_category_name:'XX', language_code:'XX')
	表示名の削除	情報	[delete] category_local (cid:XX, category_name:'XX', language_code:'XX')
	表示名の読み込み	情報	[import] category_local (cid:XX, category_name:'XX', language_code:'XX')
	表示名の読み込み (変更)	情報	[import] category_local (cid:XX, category_name:'XX', language_code:'XX', prev_category_name:'XX')
	表示名の読み込み (削除)	情報	[import_delete] category_local (cid:XX, language_code:'XX')
	表示名の書き出し	情報	[export] category_local (cid:XX, category_name:'XX', language_code:'XX')

スペースの操作のログのプロパティ

spid: spaceID
space_name: space 名
category_name: カテゴリ名
privacy: 公開方法¹
icon: アイコン名
member_name: メンバー名
cid: カテゴリ ID
category_name: カテゴリ名
src_cid: 移動元カテゴリ ID

src_category_name: 移動元カテゴリ名
 language_code: 言語コード²
 prev_space_name: 変更前の space 名
 kintone_id: kintone アプリ ID
 kintone_appname: kintone アプリ名
 type: 連携タイプ³
 delete_type: 削除方法⁴
 prev_kintone_appname: 変更前の kintone アプリ名
 did: DiscussionID
 subject: Discussion のタイトル
 fid: ファイル ID
 file_name: ファイル名
 follow_id: フォローID(コメントの ID)
 stid: 共有 ToDo ID
 shared_todo_name: 共有 ToDo 名
 assign_[1 から始まる整数]: 担当者ユーザー名
 fid: ファイル ID
 file_name: ファイル名

- ¹: "public"(公開)または"private"(非公開)
- ²: "ja"(日本語)、“en”(英語)、または"zh"(中国語)
- ³: "link"(アプリの配置)、“reuse”(アプリの再利用)、または"new"(アプリの作成)
- ⁴: "link"(アプリをスペースから外す)または"object"(アプリの削除)

スペースの操作のログ

対象	操作	レベル	出力仕様
スペース	追加	情報	[create] space (spid:XX, space_name:'XX', category_name:'XX', privacy:'XX', icon:'XX', member_name_1:'XX', member_name_2:'XX')
	変更	情報	[modify] space (spid:XX, space_name:'XX', category_name:'XX', privacy:'XX', icon:'XX', member_name_1:'XX', member_name_2:'XX')
	移動	情報	[move] space (spid:XX, space_name:'XX', src_cid:XX, src_category_name:'XX', cid:'XX', category_name:'XX')
	削除	情報	[delete] space (spid:XX, space_name:'XX')
	表示名の追加	情報	[create] space_local (spid:XX, space_name:'XX', language_code:'XX')
	表示名の変更	情報	[modify] space_local (spid:XX, space_name:'XX', prev_space_name:'XX', language_code:'ja')
	表示名の削除	情報	[delete] space_local (spid:XX, space_name:'XX', language_code:'XX')
	メモの変更	情報	[modify] memo (spid:XX, space_name:'XX')
ディスカッション	追加	情報	[create] discussion (spid:XX, space_name:'XX', did:'XX', subject:'XX')
	変更	情報	[modify] discussion (spid:XX, space_name:'XX', did:'XX', subject:'XX')

対象	操作	レベル	出力仕様
	削除	情報	[delete] discussion (spid:XX, space_name:'XX', did:'XX', subject:'XX')
	ファイル添付	情報	[create] discussion_file (spid:XX, space_name:'XX', did:'XX', subject:'XX', fid:'XX', file_name:'XX')
	ファイル削除	情報	[delete] discussion_file (spid:XX, space_name:'XX', did:'XX', subject:'XX', fid:'XX', file_name:'XX')
	ファイル更新	情報	[modify] discussion_file (spid:XX, space_name:'XX', did:'XX', subject:'XX', fid:'XX', file_name:'XX')
ディスカッション のコメント	書き込み	情報	[create] discussion_follow (spid:XX, space_name:'XX', did:'XX', subject:'XX', follow_id:'XX')
	削除	情報	[delete] discussion_follow (spid:XX, space_name:'XX', did:'XX', subject:'XX', follow_id:'XX')
	ファイル添付	情報	[create] discussion_file (spid:XX, space_name:'XX', did:'XX', did_subject:'XX', follow_id:'XX', fid:'XX', file_name:'XX')
	ファイル削除	情報	[delete] discussion_file (spid:XX, space_name:'XX', did:'XX', did_subject:'XX', follow_id:'XX', fid:'XX', file_name:'XX')
共有 ToDo	追加	情報	[create] shared_todo (spid:XX, space_name:'XX', stid:'XX', shared_todo_name:'XX', assign_1:'XX')
	変更	情報	[modify] shared_todo (spid:XX, space_name:'XX', stid:'XX', shared_todo_name:'XX', assign_1:'XX')
	削除	情報	[delete] shared_todo (spid:XX, space_name:'XX', stid:'XX', shared_todo_name:'XX')
	ファイル添付	情報	[create] shared_todo_file (spid:XX, space_name:'XX', stid:'XX', shared_todo_name:'XX', fid:'XX', file_name:'XX')
	ファイル削除	情報	[delete] shared_todo_file (spid:XX, space_name:'XX', stid:'XX', shared_todo_name:'XX', fid:'XX', file_name:'XX')
	ファイル更新	情報	[modify] shared_todo_file (spid:XX, space_name:'XX', stid:'XX', shared_todo_name:'XX', fid:'XX', file_name:'XX')
	完了	情報	[finish] shared_todo (spid:XX, space_name:'XX', stid:'XX', shared_todo_name:'XX')
共有 ToDo のコ メント	書き込み	情報	[create] shared_todo_follow (spid:XX, space_name:'XX', stid:'XX', shared_todo_name:'XX', folow_id:'XX')
	削除	情報	[create] shared_todo_follow (spid:XX, space_name:'XX', stid:'XX', shared_todo_name:'XX', follow_id:'XX')
	ファイル添付	情報	[create] shared_todo_file (spid:XX, space_name:'XX', stid:'XX', shared_todo_name:'XX', follow_id:'XX', fid:'XX', file_name:'XX')
	ファイル削除	情報	[delete] shared_todo_file (spid:XX, space_name:'XX', stid:'XX', shared_todo_name:'XX', follow_id:'XX', fid:'XX', file_name:'XX')

リンク集

システム設定のログのプロパティ

popup_set: 別ウィンドウで開くリンク¹

cid: カテゴリーID

pcid: 親カテゴリID
 language_code: 言語コード²
 category_name: カテゴリ名
 parent_category_name: 親カテゴリ名
 category_foreign_key: カテゴリキー
 category_memo: カテゴリメモ
 prev_parent_category_name: 移動前の親カテゴリ名
 next_parent_category_name: 移動後の親カテゴリ名
 language_code: 変更前のカテゴリ名
 prev_category_name: 変更後のカテゴリ名
 lid: リンク ID
 link_name: リンク名
 link_url: リンク先 URL
 link_memo: リンクのメモ
 sso_name: シングルサインオン設定名
 security_model: セキュリティモデル³
 auth: 権限⁴
 uid: ユーザーID
 gid: 組織 ID
 rid: ロール ID

¹: "title/url" または "icon"

²: "ja", "en", または "zh"

³: "revoke" または "grant"

⁴: "browse:1" または "browse:0"

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
共有リンク集の一般設定	変更	重要情報	[config] system_general (popup_set:XX)
共有リンク集の設定	カテゴリの追加	重要情報	[create] system_category (cid:XX, pcid:XX, category_name:XX, parent_category_name:XX, category_foreign_key:XX[, category_memo:XX])
	カテゴリの変更	重要情報	[modify] system_category (cid:XX, pcid:XX, category_name:XX, parent_category_name:XX, category_foreign_key:XX[, category_memo:XX])
	カテゴリの移動	重要情報	[move] system_category (cid:XX, pcid:XX, category_name:XX, prev_parent_category_name:XX, next_parent_category_name:XX)
	カテゴリの順番変更	重要情報	[order] system_category (cid:XX, category_name:XX)
	カテゴリの削除	重要情報	[delete] system_category (cid:XX, category_name:XX)
	カテゴリの表示名の追加	重要情報	[create] system_category_local (cid:'XX', language_code:'XX', category_name:'XX')

対象	操作	深刻度	出力仕様
	カテゴリーに追加した表示名の変更	重要情報	[modify] system_category_local (cid:'XX', language_code:'XX', prev_category_name:'XX', next_category_name:'XX')
	カテゴリーに追加した表示名の削除	重要情報	[delete] system_category_local (cid:'XX', language_code:'XX', category_name:'XX')
	リンクの追加	重要情報	[create] system_link (lid:XX, cid:XX, link_name:XX, category_name:XX, link_url:XX[, link_memo:XX], sso_name:XX)
	区切り線の追加	重要情報	[create] system_separator (lid:XX, cid:XX, category_name:XX)
	リンクの変更	重要情報	[modify] system_link (lid:XX, cid:XX, link_name:XX, category_name:XX, link_url:XX[, link_memo:XX], sso_name:XX)
	リンクの移動	重要情報	[move] system_link (lid:XX, cid:XX, link_name:XX, prev_category_name:XX, next_category_name:XX)
	リンクの順番変更	重要情報	[order] system_link (cid:XX, category_name:XX)
	リンクの削除	重要情報	[delete] system_link (lid:XX, cid:XX, link_name:XX, category_name:XX)
	リンクの CSV 読み込み	重要情報	[import] system_link (lid:XX, cid:XX, link_name:XX, category_name:XX)
	リンクの CSV 書き出し	重要情報	[export] system_link (lid:XX, cid:XX, link_name:XX, category_name:XX)
共有リンク集のアクセス権	セキュリティモデルの変更	重要情報	[modify] system_category_access (cid:XX, category_name:XX, security_model:XX)
	追加	重要情報	[create] system_category_access (cid:XX, uid/gid/rid:XX, category_name:XX)
	削除	重要情報	[delete] system_category_access (cid:XX, uid/gid/rid:XX, category_name:XX)
	アクセス権の CSV 読み込み	重要情報	[import] system_category_access (cid:XX, uid/gid/rid:XX, category_name:XX, auth:XX)
	アクセス権の CSV 書き出し	重要情報	[export] system_category_access (cid:XX, uid/gid/rid:XX, category_name:XX, auth:XX)
	セキュリティモデルの CSV 読み込み	重要情報	[import] system_category_access (cid:XX, category_name:XX, security_model:XX)
	セキュリティモデルの CSV 書き出し	重要情報	[export] system_category_access (cid:XX, category_name:XX, security_model:XX)
共有リンク集の運用管理権限	追加	重要情報	[create] system_category_privilege (cid:XX, uid/gid/rid:XX, category_name:XX)
	削除	重要情報	[delete] system_category_privilege (cid:XX, uid/gid/rid:XX, category_name:XX)

個人設定のログのプロパティ

cid: カテゴリーID

pcid: 親カテゴリーID

lid: リンク ID

個人設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
個人リンク集の一般設定	変更	重要情報	[config] personal_general (popup_set:XX)
個人リンク集の設定	カテゴリの追加	重要情報	[create] personal_category (cid:XX, pcid:XX, category_name:XX, parent_category_name:XX, category_foreign_key:XX[, category_memo:XX])
	カテゴリの変更	重要情報	[modify] personal_category (cid:XX, pcid:XX, category_name:XX, parent_category_name:XX, category_foreign_key:XX[, category_memo:XX])
	カテゴリの移動	重要情報	[move] personal_category (cid:XX, pcid:XX, category_name:XX, prev_parent_category_name:XX, next_parent_category_name:XX)
	カテゴリの順番変更	重要情報	[order] personal_category (cid:XX, category_name:XX)
	カテゴリの削除	重要情報	[delete] personal_category (cid:XX, category_name:XX)
	リンクの追加	重要情報	[create] personal_link (lid:XX, cid:XX, link_name:XX, category_name:XX, link_url:XX[, link_memo:XX])
	区切り線の追加	重要情報	[create] personal_separator (lid:XX, cid:XX, category_name:XX)
	リンクの変更	重要情報	[modify] personal_link (lid:XX, cid:XX, link_name:XX, category_name:XX, link_url:XX[, link_memo:XX])
	リンクの移動	重要情報	[move] personal_link (lid:XX, cid:XX, link_name:XX, prev_category_name:XX, next_category_name:XX)
	リンクの順番変更	重要情報	[order] personal_link (cid:XX, category_name:XX)
	リンクの削除	重要情報	[delete] personal_link (lid:XX, cid:XX, link_name:XX, category_name:XX)

スケジュール

システム設定のログのプロパティ

uid: ユーザーID

oid: 組織 ID

rid: ロール ID

fid: 施設 ID

eid: イベント ID

fgid: 施設グループ ID

mid: メニューID

second_unit: 時間の単位

repeat_limit: 繰り返し期限

use_private: 非公開登録可否¹hidden_private: 完全非公開¹use_organize: 組織スケジュールの表示¹show_holiday: 祝日の表示¹

eserve_limit: 予約可能期間²
reserve_limit_time: 予約可能最大時間³
odify_user: 予定を変更可能なユーザー⁴
show_facility_memo: 一覧でのメモ表示¹
use_facility_repeat: 繰り返しの期限施設予約¹
menu_title: メニュー名
facilitygroup: 施設グループ名
gid: 組織 ID
rid: ロール ID
dynamic_role: 動的ロールキー⁵
security_model: セキュリティモデル⁶
auth: 権限⁷
display_name: 出力したユーザー名/ 組織名
delete_date: 削除の開始日付
biid: 組み込み項目 ID⁸
eiid: カスタマイズ項目 ID⁸
display_item_name: 一覧に項目を表示⁹
list_index: 降順番号
show_facility_name: 施設名の表示¹
position_facility_name_at: 施設名の配置¹⁰
inheritance_from_parent: 親施設グループの内容を反映¹
available: 連携¹¹
invite_url_schedule_display: 招待 URL の表示¹²
invite_url_email_notification: 招待 URL の E-mail 通知¹³
outside_member_input_rows: 外部招待者入力欄表示行数
netmeeting_meeting_system_url: V-CUBE ミーティング URL
netmeeting_login_id: V-CUBE ミーティングのログイン ID
netmeeting_login_password: V-CUBE ミーティングのログインパスワード

¹: "ON" または "OFF"

²: "NO", "1", "2", "3", "4", "5", または "6"

³: "NO", "30", "60", "90", "120", "150", "180", "210", "240", "270", または "300"

⁴: "creator", "member", または "grantuser"

⁵: "Everyone", "LoginUser", または "Administrators"

⁶: "revoke" または "grant"

⁷: "read", "add", "modify", または "delete"

⁸: "title_name" または "title_purpose"

⁹: 0 または 1

¹⁰: "BEFORE" または "AFTER"

¹¹: "ON" (利用する) または "OFF" (利用しない)

¹²: "ON" (詳細画面に表示する) または "OFF" (詳細画面に表示しない)

¹³: "ON" (E-mail 通知する) または "OFF" (E-mail 通知しない)

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
一般設定	時間の単位	重要情報	[config] common (second_unit:XX)
	繰り返しの期限	重要情報	[config] common (repeat_limit:XX)
	非公開予定の登録の許可	重要情報	[config] common (use_private:XX)
	完全非公開	重要情報	[config] common (hidden_private:XX)
	組織のスケジュールの表示	重要情報	[config] common (use_organize:XX)
	祝日の表示	重要情報	[config] common (show_holiday:XX)
	「(全施設)」の表示	重要情報	[config] common (show_all_facility:XX)
	施設名の表示	重要情報	[config] common (show_facility_name:XX, position_facility_name_at:XX)
	設定の継承	重要情報	[config] facility_group (inheritance_from_parent:XX) [config] facility_facility (inheritance_from_parent:XX)
	予約設定の可能な期間	重要情報	[config] facility_group (reserve_limit:XX)
	予約設定が可能な最大時間	重要情報	[config] facility_group (reserve_limit_time:XX) [config] facility_facility (reserve_limit_time:XX)
	予約を変更できるユーザー	重要情報	[config] facility_group (modify_user:XX) [config] facility_facility (modify_user:XX)
	一覧でのメモ表示	重要情報	[config] facility_group (show_facility_memo:XX) [config] facility_facility (show_facility_memo:XX)
	繰り返しの期限	重要情報	[config] facility_group (use_facility_repeat:XX) [config] facility_facility (use_facility_repeat:XX)
施設予約の初期化	予約設定が可能な期間	重要情報	[config] facility_common (reserve_limit:XX)
	予約設定が可能な最大時間	重要情報	[config] facility_common (reserve_limit_time:XX)
	予約の変更が可能なユーザー	重要情報	[config] facility_common (modify_user:XX)
	一覧でのメモ表示	重要情報	[config] facility_common (show_facility_memo:XX)
	繰り返し予約の期限	重要情報	[config] facility_common (use_facility_repeat:XX)
予定メニューの設定	メニューの設定	重要情報	[config] system_menu
予定メニュー連携	メニュー連携の登録	重要情報	[create] menupage (mid:XX, menu_title:XX)
	メニュー連携の変更	重要情報	[modify] menupage (mid:XX, menu_title:XX)
	メニュー連携の削除または一括削除	重要情報	[delete] menupage (mid:XX, menu_title:XX)
	メニュー連携の順番変更	重要情報	[order] menupage
施設予約の表示項目	組み込み項目の変更	重要情報	[config] facility_item (biid:XX, display:XX)

付録 C ログの出力仕様

対象	操作	深刻度	出力仕様
	カスタマイズ項目の登録	重要情報	[create] facility_item (eiid:XX, display_name:XX, id:XX, type:XX, use:XX, display:XX, display_item_name:XX)
	カスタマイズ項目の変更	重要情報	[modify] facility_item (eiid:XX, display_name:XX, id:XX, type:XX, use:XX, display:XX, display_item_name:XX)
	カスタマイズ項目の順番変更	重要情報	[order] facility_item (eiid:XX, list_index:XX)
	カスタマイズ項目の削除	重要情報	[delete] facility_item (eiid:XX)
運用管理権限	運用管理権限の追加	重要情報	[create] privilege (fgid:XX, uid/oid/rid/dynamic_role:XX, facilitygroup:XX)
	運用管理権限の削除	重要情報	[delete] privilege (fgid:XX, uid/oid/rid/dynamic_role:XX, facilitygroup:XX)
	運用管理権限の全削除	重要情報	[delete_all] privilege (fgid:XX, facilitygroup:XX)
アクセス権	セキュリティモデルの変更	重要情報	[modify] access (uid/oid/rid/fid/fgid:XX, security_model:XX)
	アクセス権の追加	重要情報	[create] access (uid/oid/rid/fid/fgid:XX, uid/oid/rid:XX, security_model:XX, auth:XX)
	アクセス権の変更	重要情報	[modify] access (uid/oid/rid/fid/fgid:XX, uid/oid/rid:XX, security_model:XX, auth:XX)
	アクセス権の削除	重要情報	[delete] access (uid/oid/rid/fid/fgid:XX, uid/oid/rid:XX)
	アクセス権の全削除	重要情報	[delete_all] access (uid/oid/rid/fid/fgid:XX)
	アクセス権の CSV 読み込み	重要情報	[import] access [modify] access (uid/oid/rid/fid:XX, security_model:XX) [modify] access (uid/oid/rid/fid:XX, uid/oid/rid:XX, security_model:XX, auth:XX)
	アクセス権の CSV 書き出し	重要情報	[export] access
予定	読み込み	重要情報	[import] system_event
	書き出し	重要情報	[export] system_event (uid/oid/fid:XX, display_name:XX)
	全削除	重要情報	[delete_all] system_event (delete_date:XX)
	メール転送	警告	Could not forward the schedule notification.
V-CUBE ミーティング連携	連携の設定	重要情報	[config] netmeeting (available:'XX', invite_url_schedule_display:'XX', invite_url_email_notification:'XX', outside_member_input_rows:XX, netmeeting_meeting_system_url:'XX', netmeeting_login_id:'XX', netmeeting_login_password:'XX')

個人設定のログのプロパティ

uid: ユーザーID

oid: 組織 ID

eid: イベント ID

view_hour: 表示時間帯

start_wday: 右側の曜日¹

show_endtime: 終了時刻の表示²

forward: メール転送²

email: メールアドレス

event_title: 予定のタイトル
 display_name: 出力したユーザー名または組織名
 email: Web 会議システム用のメールアドレス

- ¹: "日曜日" または "月曜日"
- ²: "ON" または "OFF"

個人設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
表示の設定	表示時刻の設定	重要情報	[config] display (view_hour:XX)
	右側の曜日	重要情報	[config] display (start_wday:XX)
	終了時刻の表示	重要情報	[config] display (show_endtime:XX)
予定メニュー設定	メニューの設定	重要情報	[config] personal_menu
予定のメール転送設定	メール転送の設定	重要情報	[config] forward_mail (forward:XX, email:XX)
予定の読み込み	予定の CSV 読み込み	重要情報	[import] personal_event [create] event (eid:XX, event_title:XX)
予定の書き出し	予定の CSV 書き出し	重要情報	[export] personal_event
スケジュールの統計	統計の出力	重要情報	[export] statistics (uid/oid:XX, display_name:XX)
iCalender ファイルの書き出し	予定の書き出し	重要情報	[export_ical] personal_event [export_ical] personal_month_event
V-CUBE ミーティング連携	Web 会議システム用メールアドレスの設定	重要情報	[config] netmeeting_forward_mail (email:'XX')

予定のログのプロパティ

eid: イベント ID
 event_title: 予定のタイトル
 follow_id: フォローID

予定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
予定	登録	重要情報	[create] event (eid:XX, event_title:XX)
	変更	重要情報	[modify] event (eid:XX, event_title:XX)
	削除 ¹	重要情報	[delete] event (eid:XX, event_title:XX)
	確定	重要情報	[fix] event (eid:XX, event_title:XX)
予定のフォロー	登録	重要情報	[create] follow (eid:XX, follow_id:XX)

¹: システム設定の、予定の全削除を除きます。

施設のログのプロパティ

faid: 施設 ID
 fgid: 施設グループ ID
 language_code: 言語コード¹

付録 C ログの出力仕様

facility_name: 施設名

facilitygroup: 施設グループ名

prev_facility_name: 変更前の施設表示名

next_facility_name: 変更後の施設表示名

¹: "ja"、"en"、または "zh"

施設のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
施設	施設の登録	重要情報	[create] facility (f aid:XX, facility_name:XX)
	施設の変更	重要情報	[modify] facility (faid:XX, facility_name:XX)
	施設の削除	重要情報	[delete] facility (faid:XX, facility_name:XX)
	施設の順番変更	重要情報	[order] facility
	施設の CSV 読み込み	重要情報	[imporot] facily [create] facility (faid:XX, facility_name:XX) [modify] facility (faid:XX, facility_name:XX) [create] facilitygroup (fgid:XX, facilitygroup:XX)
	施設の CSV 書き出し	重要情報	[export] facility
	表示名の追加	重要情報	[create] facility_local (faid:'XX', language_code:'XX', facility_name:'XX')
	表示名の変更	重要情報	[modify] facility_local (faid:'XX', language_code:'XX', prev_facility_name:'XX', next_facility_name:'XX')
	表示名の削除	重要情報	[delete] facility_local (faid:'XX', language_code:'XX', facility_name:'XX')
	表示名の読み込み: 追加	重要情報	[import] facility_local (faid:'XX', language_code:'XX', facility_name:'XX')
	表示名の読み込み: 変更	重要情報	[import] facility_local (faid:'XX', language_code:'XX', prev_facility_name:'XX', next_facility_name:'XX')
	表示名の読み込み: 削除	重要情報	[import_delete] facility_local (faid:'XX', language_code:'XX', facility_name:'XX')
	表示名の書き出し	重要情報	[export] facility_local (faid:'XX', languageCode:'XX', facility_name:'XX')

施設グループのログのプロパティ

fgid: 施設グループ ID

facilitygroup: 施設グループ名

language_code: 言語コード¹

facilitygroup_name: 施設グループの表示名

prev_facilitygroup_name: 変更前の施設グループ表示名

next_facilitygroup_name: 変更後の施設グループ表示名

¹: "ja"、"en"、または "zh"

施設グループのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
施設グループ	施設グループの登録	重要情報	[create] facilitygroup (fgid:XX, facilitygroup:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
	施設グループの変更	重要情報	[modify] facilitygroup (fgid:XX, facilitygroup:XX)
	施設グループの削除	重要情報	[delete] facilitygroup (fgid:XX, facilitygroup:XX)
	施設グループの順番変更	重要情報	[order] facilitygroup
	施設の順番変更	重要情報	[order] facilitygroup (fgid:XX, facilitygroup:XX)
	施設グループの CSV 読み込み	重要情報	[import] facility_group
	施設グループの CSV 書き出し	重要情報	[export] facilitygroup
	表示名の追加	重要情報	[create] facilitygroup_local (fgid:'XX', language_code:'XX', facilitygroup_name:'XX')
	表示名の変更	重要情報	[modify] facilitygroup_local (fgid:'XX', language_code:'XX', prev_facilitygroup_name:'XX', next_facilitygroup_name:'XX')
	表示名の削除	重要情報	[delete] facilitygroup_local (fgid:'XX', language_code:'XX', facilitygroup_name:'XX')
	表示名の読み込み (追加)	重要情報	[import] facilitygroup_local (fgid:'XX', language_code:'XX', facilitygroup_name:'XX')
	表示名の読み込み (変更)	重要情報	[import] facilitygroup_local (fgid:'XX', language_code:'XX', prev_facilitygroup_name:'XX', next_facilitygroup_name:'XX')
	表示名の読み込み (削除)	重要情報	[import_delete] facilitygroup_local (fgid:'XX', language_code:'XX', facilitygroup_name:'XX')
	表示名の書き出し	重要情報	[export] facilitygroup_local (fgid:'XX', languageCode:'XX', facilitygroup_name:'XX')

メッセージ

システム設定のログのプロパティ

search_text: 検索文字列

start: 検索期間の開始タイムスタンプ

end: 検索期間の終了タイムスタンプ

item_list_[1 から始まる整数]: 検索キー¹

user_list_[1 から始まる整数]: 対象ユーザーID

mid: メッセージ ID

creator_name: 差出人ユーザー名

receiver_name_[1 から始まる整数]: 受取人ユーザー名

subject: 件名

data: 内容

timestamp: 削除する基準となる日付

¹: "subject"、"data"、"sender"、"addressee"、または"follow"

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
メッセージ	検索	一般情報	[inspection_search] message ([search_text:XX,] start:XX, end:XX[, item_list_1:XX,...][, user_list_1:XX,...])
	閲覧	一般情報	[inspection_browse] message (mid:XX, creator_name:XX, subject:XX[, data:XX], receiver_name_1:XX,...)
	一括削除	重要情報	[delete_all] message (timestamp:XX)

フォルダーのログのプロパティ

folder_id: フォルダーID

folder_name: フォルダー名

parent_folder_id: 親フォルダーID

list_index: 同一階層内でのカテゴリーの順番

フォルダーのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
フォルダー	追加	重要情報	[create] folder (folder_id:XX, folder_name:XX, parent_folder_id:XX)
	変更	重要情報	[modify] folder (folder_id:XX, folder_name:XX)
	移動	重要情報	[move] folder (folder_id:XX, parent_folder_id:XX, list_index:XX)
	削除	重要情報	[delete] folder (folder_name:XX)

メッセージの操作のログのプロパティ

mid: メッセージ ID

fid: フォローID

creator_name: 差出人ユーザー名

receiver_name_[1 から始まる整数]: 受取人ユーザー名

subject: 件名

data: 内容

file_name_[1 から始まる整数]: 添付ファイル名

folder_id: フォルダーID

source_folder_id: ソースフォルダーID

maintainer_name_[1 から始まる整数]: 変更または削除を許可するユーザー名

メッセージの操作のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
メッセージ	追加	重要情報	[create] message (mid:XX, creator_name:XX, subject:XX[, data:XX][, file_name_1:XX,...], receiver_name_1:XX[, maintainer_name_1:XX,...])

対象	操作	深刻度	出力仕様
	変更	重要情報	[modify] message (mid:XX, creator_name:XX, subject:XX[, data:XX], receiver_name_1:XX[, maintainer_name_1:XX,...])
	移動	重要情報	[move] message (mid:XX, creator_name:XX, folder_id:XX)
	削除	重要情報	[delete] message (mid:XX, creator_name:XX, source_folder_id:XX)
	完全削除	重要情報	[delete] message (mid:XX, creator_name:XX, subject:XX[, data:XX][, file_name_1:XX,...], receiver_name_1:XX,...)
フォロー	書き込み	重要情報	[create] follow (mid:XX, fid:XX, creator_name:XX, subject:XX[, data:XX][, file_name_1:XX,...])
	削除	重要情報	[delete] follow (mid:XX, fid:XX, creator_name:XX, subject:XX[, data:XX][, file_name_1:XX,...])

掲示板

システム設定のログのプロパティ

enable_follow: フォロー書き込み許可の初期状態¹

enable_htmleditor: 書式編集機能の使用許可¹

cid: カテゴリーID

uid: ユーザーID

gid: 組織 ID

rid: 静的ロール ID

dynamic_role: dynamic role key²

dynamic_role: dynamic role key³

auth: 権限⁴

force_notify: 更新通知の解除を許可しない⁵

target: 対象オブジェクト

¹: "TRUE" (許可する) または "FALSE" (許可しない)

²: "Everyone"、"LoginUser"、または "Administrators"

³: "Everyone" または "LoginUser"

⁴: "read"、"write"、"read/write"、"write/follow"、または "read/write/follow"

⁵: 1 (許可しない) または 0 (許可する)

⁶: "user"、"group"、"role"、または "dynamic_role"

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
一般設定	・フォロー書き込み許可の初期状態/ ・書式編集機能の使用許可 ・フォローのアンカー機能の使用許可	重要情報	[config] common (enable_follow:'XX', enable_htmleditor:'XX', enable_follow_link:'XX')
運用管理権限	追加	重要情報	[create] privilege (cid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX)
	削除	重要情報	[delete] privilege (cid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
	全削除	重要情報	[delete_all] privilege (cid:XX, target:XX)
アクセス権	セキュリティモデルの変更	重要情報	[modify] category (cid:XX, security_model:XX)
	追加	重要情報	[create] access (cid:XX, security_model:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, auth:XX)
	変更	重要情報	[modify] access (cid:XX, security_model:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, auth:XX)
	削除	重要情報	[delete] access (cid:XX, security_model:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX)
	全削除	重要情報	[delete_all] access (cid:XX, target:XX)
	CSV 読み込み	重要情報	[import] access [import] access (cid:XX [, uid/gid/rid:XX], folder:XX, security_model:XX [,auth:XX])
	CSV 書き出し	重要情報	[export] access
通知の設定	強制通知の設定	重要情報	[modify] category (cid:XX, force_notify:XX)
	追加	重要情報	[create] notify (cid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX)
	削除	重要情報	[delete] notify (cid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX)
	全削除	重要情報	[delete_all] notify (cid:XX, target:XX)

カテゴリのログのプロパティ

cid: カテゴリID

language_code: 言語コード¹

name: カテゴリ名

prev_category_name: 変更前のカテゴリ名

next_category_name: 変更後のカテゴリ名

foreign_key: カテゴリキー

parent: 親カテゴリID

list_index: 同一階層内でのカテゴリの順番

¹: "ja" (日本語)、"en" (英語)、または "zh" (中国語)

カテゴリのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
カテゴリ	追加	重要情報	[create] category (cid:XX, name:XX, foreign_key:XX, parent:XX)
	変更	重要情報	[modify] category (cid:XX, name:XX, foreign_key:XX)
	移動	重要情報	[move] category (cid:XX, parent:XX, list_index:XX)
	削除	重要情報	[delete] category (cid:XX)
	カテゴリ情報の読み込み	重要情報	[create] category (cid:XX, foreign_key:XX, name:XX) [modify] category (cid:XX, foreign_key:XX, name:XX)
	表示名の追加	重要情報	[create] category_local (cid:XX, language_code:'XX', category_name:'XX')
	表示名の変更	重要情報	[modify] category_local (cid:XX, language_code:'XX', prev_category_name:'XX', next_category_name:'XX')
	表示名の削除	重要情報	[delete] category_local (cid:XX, language_code:'XX', category_name:'XX')

対象	操作	深刻度	出力仕様
	表示名の読み込み	重要情報	[import] category_local (cid:XX, language_code:'XX', category_name:'XX')
	表示名の読み込み: 変更	重要情報	[import] category_local (cid:XX, language_code:'XX', prev_category_name:'XX', next_category_name:'XX')
	表示名の読み込み: 削除	重要情報	[import_delete] category_local (cid:XX, language_code:'XX', category_name:'XX')
	表示名の書き出し	重要情報	[export] category_local (cid:XX, language_code:'XX', category_name:'XX')

掲示のログのプロパティ

aid: 掲示 ID

subject: タイトル

can_follow: フォロー書き込みを許可する¹

start_timestamp: 掲示期間の開始タイムスタンプ

end_timestamp: 掲示期間の終了タイムスタンプ

version: 添付ファイルのバージョン

name: 添付ファイル名

¹: 1(許可する)または 0(許可しない)

掲示のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
掲示	追加	重要情報	[create] article (aid:XX, subject:XX, can_follow:XX [, start_timestamp:XX, end_timestamp:XX])
	変更	重要情報	[modify] article (aid:XX, subject:XX, can_follow:XX [, start_timestamp:XX, end_timestamp:XX])
	移動	重要情報	[move] article (aid:XX)
	削除	重要情報	[delete] article (aid:XX, subject:X)
	閲覧	一般情報	[browse] article (aid:XX, uid:XX)
下書き	保存	重要情報	[create] draft (aid:XX)
	変更	重要情報	[modify] draft (aid:XX) [modify] draft (aid:XX)
	削除	重要情報	[delete] draft (aid:XX)
フォロー	書き込み	重要情報	[create] follow (aid:XX, follow_id:XX)
	削除	重要情報	[delete] follow (aid:XX, follow_id:XX)
	ファイル添付	重要情報	[create] file (aid:XX, follow_id:XX, fid:XX)
	ファイル削除	重要情報	[delete] file (aid:XX, follow_id:XX, fid:XX)
添付ファイル	保存	重要情報	[create] file (aid:XX, fid:XX)
	削除	重要情報	[delete] file (aid:XX, fid:XX)
	ダウンロード	一般情報	[download] file (uid:XX, fid:XX, version:XX, name:XX)

ファイル管理

フォルダーのログのプロパティ

hid: フォルダーID

付録 C ログの出力仕様

fid: ファイル ID
 uid: ユーザーID
 oid: 組織 ID
 rid: ロール ID
 src_hid: 移動元フォルダーID
 dst_hid: 移動先フォルダーID
 language_code または languageCode: 言語コード¹
 folder: フォルダータイトル
 prev_folder_name: 変更前のフォルダー名
 next_folder_name: 変更後のフォルダー名
 operation: 操作詳細²
 security_model: セキュリティモデル³
 auth: 権限⁴

¹: "ja", "en", または "zh"

²: "create" または "update"

³: "revoke" または "grant"

⁴: "read", "write", または "read/write"

フォルダーのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
フォルダー	登録	重要情報	[create] folder (hid:XX, folder:XX)
	変更	重要情報	[modify] folder (hid:XX, folder:XX)
	順番変更	重要情報	[order] folder (hid:XX, folder:XX)
	移動	重要情報	[move] folder (hid:XX, src_hid:XX, dst_hid:XX, folder:XX)
	削除	重要情報	[delete] folder (hid:XX, folder:XX)
	CSV 読み込み	重要情報	[import] folder [import] folder (hid:XX, folder:XX, operation:XX)
	CSV 書き出し	重要情報	[export] folder
	表示名の追加	重要情報	[create] folder_local (hid:XX, language_code:'XX', folder_name:'XX')
	表示名の変更	重要情報	[modify] folder_local (hid:XX, language_code:'XX', prev_folder_name:'XX', next_folder_name:'XX')
	表示名の削除	重要情報	[delete] folder_local (hid:XX, language_code:'XX', folder_name:'XX')
	表示名の読み込み	重要情報	[import] folder_local (hid:XX, language_code:'XX', folder_name:'XX')
	表示名の読み込み: 変更	重要情報	[import] folder_local (hid:XX, language_code:'XX', prev_folder_name:'XX', next_folder_name:'XX')
	表示名の読み込み: 削除	重要情報	[import_delete] folder_local (hid:XX, language_code:'XX', folder_name:'XX')
	表示名の書き出し	重要情報	[export] folder_local (hid:XX, languageCode:'XX', folder_name:'XX')
アクセス権	追加	重要情報	[create] access (hid:XX[, uid/oid/rid:XX], folder:XX, security_model:XX, auth:XX)
	削除	重要情報	[delete] access (hid:XX[, uid/oid/rid:XX], folder:XX, security_model:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
	変更	重要情報	[modify] access (hid:XX[, uid/oid/rid:XX], folder:XX, security_model:XX, auth:XX)
	全削除	重要情報	[delete_all] access (hid:XX, folder:XX)
	セキュリティモデルの変更	重要情報	[modify] access (hid:XX, folder:XX, security_model:XX)
	CSV 読み込み	重要情報	[import] access [import] access (hid:XX[, uid/oid/rid:XX], folder:XX, security_model:XX[,auth:XX])
	CSV 書き出し	重要情報	[export] access

ファイルのログのプロパティ

hid: フォルダID、または、ごみ箱の属しているフォルダID

fid: ファイル ID

src_hid: 移動元フォルダID、または "garbage" (ごみ箱)

dst_hid: 移動先フォルダID、または "garbage" (ごみ箱)

file_name: ファイル名

title: ファイルタイトル

version: バージョン

version_setting: バージョン管理設定¹

compress: 圧縮ファイル²

¹: 0(管理しない)、-1(無制限)、または 0 と 1 以外の数字(設定した世代数)

²: 常に 1

ファイルのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
ファイル	ダウンロード	一般情報	[download] file (hid:XX, fid:XX, file_name:XX, title:XX, version:XX)
	まとめてダウンロード	一般情報	[download] file (hid:XX, fid:XX, file_name:XX, title:XX, version:XX, compress:1)
	登録	重要情報	[create] file (hid:XX, fid:XX, file_name:XX, title:XX, version_setting:XX)
	更新	重要情報	[update] file (hid:XX, fid:XX, file_name:XX, title:XX, version:XX)
	ファイル情報の変更	重要情報	[modify] file_information (hid:XX, fid:XX, file_name:XX, title:XX, version_setting:XX)
	移動	重要情報	[move] file (fid:XX, src_hid:XX, dst_hid:XX, file_name:XX, title:XX)
	削除	重要情報	[delete] file (hid:XX, fid:XX, file_name:XX, title:XX)
	ファイルの復活	重要情報	[restore] file (hid:XX, fid:XX, file_name:XX, title:XX, version:XX)

メモ

システム設定のログのプロパティ

filesize_limit: 総ファイルサイズの最大値¹

enable_htmleditor: 書式編集機能の使用許可²

¹: -1 (無制限)、または -1 以外の数値 (設定値のバイト数)

²: 0 (許可しない) または 1 (許可する)

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
一般設定	登録	重要情報	[config] common (filesize_limit:XX, enable_htmleditor:XX)

フォルダーのログのプロパティ

did: フォルダーID

folder: フォルダータイトル

pdid: 親フォルダーID

フォルダーのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
フォルダー	登録	重要情報	[create] folder (did:XX, folder:XX, pdid:XX)
	変更	重要情報	[modify] folder (did:XX, folder:XX, pdid:XX)
	削除	重要情報	[delete] folder (did:XX, folder:XX, pdid:XX)

メモのログのプロパティ

iid: メモ ID

did: フォルダーID

title: メモタイトル

メモのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
メモ	登録	重要情報	[create] memo (iid:XX, title:XX, did:XX)
	変更	重要情報	[modify] memo (iid:XX, title:XX, did:XX)
	削除	重要情報	[delete] memo (iid:XX, title:XX, did:XX)

ファイルのログのプロパティ

did: フォルダーID¹

fid: ファイル ID

file_name: ファイル名

title: ファイルタイトル

version: バージョン

version_setting: バージョン管理設定²

¹:0(更新一覧)

²:0(管理しない)、-1(無制限)、または 0 と-1 以外の数値(設定した世代数)

ファイルのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
ファイル	登録	重要情報	[create] file (did:XX, fid:XX, file_name:XX, title:XX, version_setting:XX)
	更新	重要情報	[update] file (did:XX, fid:XX, file_name:XX, title:XX, version:XX)
	ファイル情報の変更	重要情報	[modify] file_information (did:XX, fid:XX, file_name:XX, title:XX, version_setting:XX)
	削除	重要情報	[delete] file (did:XX, fid:XX, file_name:XX, title:XX)
	ファイルの復活	重要情報	[restore] file (did:XX, fid:XX, file_name:XX, title:XX, version:XX)

電話メモ

システム設定のログのプロパティ

sso: シングルサインオン ID

object_user: アクセス対象ユーザーID

object_group: アクセス対象組織 ID

object_role: アクセス対象ロール ID

access_user: アクセスユーザーID

access_group: アクセス組織 ID

access_static_role: アクセス静的 ID

access_dynamic_role: アクセス動的ロールキー¹

auth: 権限²

¹: "Everyone"、"LoginUser"、または "Administrators"

²: "add"、"browse"、または "add/browse"

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
一般設定	シングルサインオンの設定	重要情報	[config] common (sso:XX)
アクセス権	追加	重要情報	[create] access (object_user/object_group/object_role:XX, access_user/access_group/access_static_role/access_dynamic_role:XX, auth:XX)
	変更	重要情報	[modify] access (object_user/object_group/object_role:XX, access_user/access_group/access_static_role/access_dynamic_role:XX, auth:XX)
	削除	重要情報	[delete] access (object_user/object_group/object_role:XX, access_user/access_group/access_static_role/access_dynamic_role:XX)

付録 C ログの出力仕様

対象	操作	深刻度	出力仕様
	全削除	重要情報	[delete_all] access (object_user/object_group/object_role:XX)
	セキュリティモデルの変更	重要情報	[modify] access (object_user/object_group/object_role:XX, security_model:XX)
	CSV 読み込み	重要情報	[import] access
	CSV 書き出し	重要情報	[export] access

個人設定のログのプロパティ

forward_email: 通知の種類¹

email_address: forward_email の値が"user_established"の場合の通知先メールアドレス

¹: "off"、"user_info"、または "user_established"

個人設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
メール転送の設定	設定	重要情報	[config] forward_mail (forward_email:XX [, email_address:XX])

電話メモの操作のログのプロパティ

mid: メモ ID

client_name: 依頼主

matter: 用件

telephone_number: 電話番号

message: 伝言

sender: 送信者 ID

receiver: 受信者 ID

send_time: 時刻タイムスタンプ

confirm_time: 確認時刻タイムスタンプ

電話メモの操作のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
電話メモ	追加	重要情報	[create] phone_message (mid:XX, client_name:XX, matter:XX[, telephone_number:XX], message:XX, sender:XX, receiver:XX, send_time:XX)
	削除	重要情報	[delete] phone_message (mid:XX)
	確認	重要情報	[modify] phone_message (mid:XX, confirm_time:XX)
	メール転送	警告	Could not forward the phonemessage.

タイムカード

システム設定のログのプロパティ

auto_punchout: 自動打刻¹

offset_day: 集計の開始日²

offset_month: 月度の表示³
 absence_max: 外出または復帰の最大数²
 change_of_day: 日付が変わる時刻⁴
 user_modify: ユーザーに時刻の修正を許可¹

¹: 0(使用しない)または 1(使用する)

²: 数値

³: 集計開始月に加算する数値

⁴: 時を表す数値

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
一般設定	自動打刻設定	重要情報	[config] common (auto_punchout:XX)
	集計の開始日	重要情報	[config] common (offset_day:XX)
	月度の表示	重要情報	[config] common (offset_month:XX)
	外出または復帰の最大数	重要情報	[config] common (absence_max:XX)
	日付が変わる時刻	重要情報	[config] common (change_of_day:XX)
	ユーザーによる時刻の修正の許可	重要情報	[config] common (user_modify:XX)

タイムカードデータのログのプロパティ

uid: ユーザーID

id: レコードID

date: 日付¹

in_src: 変更前入社時刻

out_src: 変更前退社時刻

absence_out_src_[1 から始まる整数]: 変更前外出時刻

absence_in_src_[1 から始まる整数]: 変更前復帰時刻

in_dst: 変更後入社時刻

out_dst: 変更後退社時刻

absence_out_dst_[1 から始まる整数]: 変更後外出時刻

absence_in_dst_[1 から始まる整数]: 変更後復帰時刻

¹: 形式は YY/MM/DD

タイムカードデータのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
データ	時刻の変更	重要情報	[modify] record (uid:XX, id:XX, date:XX [, in_src: XX, out_src: XX [, absence_out_src_1: XX, absence_in_src_1: XX [, ...]], in_dst: XX, out_dst: XX [, absence_out_dst_1: XX, absence_in_dst_1: XX [, ...]])

ToDo

ToDo の操作のログのプロパティ

tid:ToDo ID

cid: カテゴリーID

title:ToDo 名

ToDo の操作のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
ToDo	追加	重要情報	[create] todo (tid:XX, cid:XX, title:XX)
	変更	重要情報	[modify] todo (tid:XX, cid:XX, title:XX)
	削除	重要情報	[delete] todo (tid:XX)
	完了	重要情報	[finish] todo (tid:XX)

カテゴリーのログのプロパティ

cid: カテゴリーID

title: カテゴリー名

カテゴリーのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
カテゴリー	追加	重要情報	[create] category (cid:XX, title:XX)
	削除	重要情報	[delete] category (cid:XX)

アドレス帳

システム設定のログのプロパティ

bid: ブック ID

language_code: 言語コード¹

display_name: ブック名

sharedbook_name: 表示名

prev_sharedbook_name: 変更前のブック表示名

next_sharedbook_name: 変更後のブック表示名

type: ブックタイプ

id: レコード ID

list_index: 降順番号

iid: アイテム ID

uid: ユーザーID

gid: 組織 ID

rid: 静的ロール ID

dynamic_role: 動的ロールキー²

sso: シングルサインオン ID

value: 設定値
 use: 使用項目³
 necessary: 必須項目³
 not_modify: 変更不可項目³
 display: 一覧表示³
 authorities: 使用権限⁴
 security_model: セキュリティモデル⁵
 auth: アクセス権⁶

¹: "ja", "en", または "zh"

²: "Everyone", "LoginUser", または "Administrators"

³: 0(使用しない)または 1(使用する)

⁴: "private_address" または "shared_address"

⁵: "grant" または "revoke"

⁶: "browse", "editing", または "browse/editing"

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
共有アドレスブック	登録	重要情報	[create] shared_address_book (bid:XX, display_name:XX, type:XX, id:XX)
	変更	重要情報	[modify] shared_address_book (bid:XX, display_name:XX, id:XX)
	順番変更	重要情報	[order] shared_address_book (bid:XX, list_index:XX)
	削除	重要情報	[delete] shared_address_book (bid:XX)
	表示名の追加	重要情報	[create] sharedbook_local (bid:'XX', language_code:'XX', sharedbook_name:'XX')
	表示名の変更	重要情報	[modify] sharedbook_local (bid:'XX', language_code:'XX', prev_sharedbook_name:'XX', next_sharedbook_name:'XX')
	表示名の削除	重要情報	[delete] sharedbook_local (bid:'XX', language_code:'XX', sharedbook_name:'XX')
個人アドレス帳	組み込み項目の変更	重要情報	[config] private_address_card_item (iid:XX, use:XX, necessary:XX, not_modify:XX, display:XX, sso:XX)
	カスタマイズ項目の登録	重要情報	[create] private_address_card_item (iid:XX, id:XX, type:XX, use:XX, necessary:XX, not_modify:XX, display:XX, sso:XX)
	カスタマイズ項目の変更	重要情報	[modify] private_address_card_item (iid:XX, use:XX, necessary:XX, not_modify:XX, display:XX, sso:XX, display_name:XX, id:XX)
	カスタマイズ項目の順番変更	重要情報	[order] private_address_card_item (iid:XX, list_index:XX)
	カスタマイズ項目の削除	重要情報	[delete] private_address_card_item (iid:XX)
共有アドレスブック	組み込み項目の変更	重要情報	[config] shared_address_card_item (bid:XX, iid:XX, use:XX, necessary:XX, not_modify:XX, display:XX, sso:XX)
	カスタマイズ項目の登録	重要情報	[create] shared_address_card_item (bid:XX, iid:XX, display_name:XX, id:XX, type:XX, use:XX, necessary:XX, not_modify:XX, display:XX, sso:XX)
	カスタマイズ項目の変更	重要情報	[modify] shared_address_card_item (bid:XX, iid:XX, use:XX, necessary:XX, not_modify:XX, display:XX, sso:XX, display_name:XX, id:XX)

付録 C ログの出力仕様

対象	操作	深刻度	出力仕様
	カスタマイズ項目の順番変更	重要情報	[order] shared_address_card_item (bid:XX, iid:XX, list_index:XX)
	カスタマイズ項目の削除	重要情報	[delete] shared_address_card_item (bid:XX, iid:XX)
使用権限	登録	重要情報	[create] availability (uid/gid/rid/dynamic_role:XX, authorities:XX)
	削除	重要情報	[delete] availability (uid/gid/rid/dynamic_role:XX)
	全削除	重要情報	[delete_all] availability
	セキュリティモデルの変更	重要情報	[config] availability (security_model:XX)
運用管理権限	登録	重要情報	[create] privilege (bid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX)
	削除	重要情報	[delete] privilege (bid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX)
	全削除	重要情報	[delete_all] privilege (bid:XX)
アクセス権	登録	重要情報	[create] access (bid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, auth:XX)
	変更	重要情報	[modify] access (bid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, auth:XX)
	削除	重要情報	[delete] access (bid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX)
	全削除	重要情報	[delete_all] access (bid:XX)
	セキュリティモデルの変更	重要情報	[modify] access (bid:XX, security_model:XX)
アドレス帳の読み込み	CSV ファイルの読み込み	重要情報	[import] shared_address_book (bid:XX)
アドレス帳の書き出し	CSV ファイルへの書き出し	重要情報	[export] shared_address_book (bid:XX)
アクセス権の書き出し	CSV ファイルへの書き出し	重要情報	[export] shared_address_book_access (bid:XX)
アクセス権の読み込み	アクセス権の変更	重要情報	[import] shared_address_book (bid:XX) [modify] access (bid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, auth:XX)
	アクセス権の登録	重要情報	[import] shared_address_book (bid:XX) [create] access (bid:XX, uid/gid/rid/dynamic_role:XX, auth:XX)

個人設定のログのプロパティ

bid: ブック ID

value: 設定値

usergroups: 所属する組織¹

sort_key: よみ¹

url: URL¹

primary_group: 優先する組織¹

attendee: 在席情報¹

email_address: E-mail¹

description: メモ¹

post: 役職¹

telephone_number: 連絡先¹

image: 画像¹

personal_name: 個人名¹

company_name: 会社名¹
 section_name: 部課名¹
 personal_telephone_number: 個人電話番号¹
 personal_sort_key: 個人名(よみ)¹
 company_sort_key: 会社名(よみ)¹
 zip_code: 郵便番号¹
 physical_address: 住所¹
 map: 地図¹
 route: 路線¹
 company_telephone_number: 会社電話番号¹
 facsimile_number: 会社ファックス番号¹
 post_name: 役職名¹

¹:0(使用しない)または1(使用する)

個人設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
表示する項目の設定	ユーザー名簿	重要情報	[config] userlist_card_item (attendee:XX, description:XX, email_address:XX, image:XX, post:XX, primary_group:XX, sort_key:XX, telephone_number:XX, url:XX, usergroups:XX)
	共有アドレス帳	重要情報	[config] shared_address_card_item (bid:XX, company_name:XX, company_sort_key:XX, company_telephone_number:XX, description:XX, email_address:XX, facsimile_number:XX, image:XX, map:XX, personal_name:XX, personal_sort_key:XX, personal_telephone_number:XX, physical_address:XX, post_name:XX, route:XX, section_name:XX, url:XX, zip_code:XX)
	個人アドレス帳	重要情報	[config] private_address_card_item (company_name:XX, company_sort_key:XX, company_telephone_number:XX, description:XX, email_address:XX, facsimile_number:XX, image:XX, map:XX, personal_name:XX, personal_sort_key:XX, personal_telephone_number:XX, physical_address:XX, post_name:XX, route:XX, section_name:XX, url:XX, zip_code:XX)
アドレス帳の読み込み	CSV ファイルの読み込み	重要情報	[import] private_address_book
アドレス帳の書き出し	CSV ファイルの書き出し	重要情報	[export] private_address_book

共有アドレス帳のログのプロパティ

cid:データ ID
 bid:ブック ID
 display_name:ブック名
 type:ブックタイプ

id:レコード ID

共有アドレス帳のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
共有アドレス帳	登録	重要情報	[create] shared_address_card (cid:XX, bid:XX, subject:XX[, given_name:XX][, family_name:XX][, given_sort_key:XX][, family_sort_key:XX][, company_name:XX][, company_sort_key:XX][, section_name:XX][, zip_code:XX][, physical_address:XX][, map:XX][, route:XX][, route_time:XX][, route_fare:XX][, company_telephone_number:XX][, facsimile_number:XX][, url:XX][, post_name:XX][, personal_telephone_number:XX][, email_address:XX][, image:XX][, description])
	変更	重要情報	[modify] shared_address_card (cid:XX, bid:XX, subject:XX[, given_name:XX][, family_name:XX][, given_sort_key:XX][, family_sort_key:XX][, company_name:XX][, company_sort_key:XX][, section_name:XX][, zip_code:XX][, physical_address:XX][, map:XX][, route:XX][, route_time:XX][, route_fare:XX][, company_telephone_number:XX][, facsimile_number:XX][, url:XX][, post_name:XX][, personal_telephone_number:XX][, email_address:XX][, image:XX][, description])
	削除	重要情報	[delete] shared_address_card (bid:XX, cid:XX)

個人設定アドレス帳のログのプロパティ

cid: データ ID

uid: ユーザーID

subject: 標題

given_name: 個人名(名)

family_name: 個人名(姓)

given_sort_key: 個人名(名・よみ)

family_sort_key: 個人名(姓・よみ)

company_name: 会社名

company_sort_key: 会社名(よみ)

section_name: 部課名

zip_code: 郵便番号

physical_address: 住所

map: 地図

route: 路線経路

route_time: 路線所要時間

route_fare: 路線運賃

company_telephone_number: 会社電話番号

facsimile_number: 会社 FAX 番号

url:URL
 post_name: 役職名
 personal_telephone_number: 個人電話番号
 email_address:E-mail
 image: 画像
 description: メモ

個人アドレス帳のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
個人アドレス帳	登録	重要情報	[create] private_address_card (cid:XX, uid:XX, subject:XX[, given_name:XX][, family_name:XX][, given_sort_key:XX][, family_sort_key:XX][, company_name:XX][, company_sort_key:XX][, section_name:XX][, zip_code:XX][, physical_address:XX][, map:XX][, route:XX][, route_time:XX][, route_fare:XX][, company_telephone_number:XX][, facsimile_number:XX][, url:XX, post_name:XX][, personal_telephone_number:XX][, email_address:XX][, image:XX][, description:XX])
	変更	重要情報	[modify] private_address_card (cid:XX, uid:XX, subject:XX[, given_name:XX][, family_name:XX][, given_sort_key:XX][, family_sort_key:XX][, company_name:XX][, company_sort_key:XX][, section_name:XX][, zip_code:XX][, physical_address:XX][, map:XX, route:XX][, route_time:XX][, route_fare:XX][, company_telephone_number:XX][, facsimile_number:XX][, url:XX, post_name:XX][, personal_telephone_number:XX][, email_address:XX][, image:XX][, description:XX])
	削除	重要情報	[delete] private_address_card (cid:XX)

メール

システム設定のログのプロパティ

一般設定

disable_mail: メールクライアント機能の停止設定¹
 auto_receive_period: 自動受信間隔(hours)
 auto_receive_time_[1 から始まる整数]: メール自動受信時刻²

メールサーバーの設定

foreign_key: メールサーバーコード
 name: メール
 smtp: 送信メールサーバー名(SMTP)
 smtp_ssl:送信メールサーバーとの通信にSSLを使用するかどうか¹
 pop_before_smtp: 受信後に送信を行う(POP before SMTP)かどうか¹
 pbsmtp_wait_sec: POP before SMTP の送信までの待ち時間(秒)

smtp_timeout_sec: 送信時のタイムアウトまでの時間(秒)
retrieve_protocol: 受信プロトコル³
retrieve: 受信メールサーバー名
retrieve_port: 受信メールサーバーポート番号
retrieve_ssl: 受信メールサーバーとの通信に SSL を使用するかどうか¹
retrieve_auth: POP3 認証方式⁴
retrieve_timeout_sec: 受信時のタイムアウトまでの時間(秒)

ユーザーアカウント

account_id: アカウント ID
account_code: ユーザーアカウントコード
account_name: ユーザーアカウント名
mail_server: メールサーバー
email: Email アドレス
retrieve_account: 受信メールアカウント
retrieve_save: 受信メールサーバーにメールを残す⁵
smtp_account: 送信メールアカウント
disabled: 使用の停止¹

メールサイズの制限

user_limit: 1 ユーザーあたりの保存できるメールの総サイズ⁶
retrieve_limit: 受信メールサイズの制限⁶
send_limit: 送信メールサイズの制限⁶

ユーザーの権限

deny_modify_account: メールアカウントの変更を許可しない¹
deny_leave: 受信メールサーバーにメールを残す¹
deny_all_receive: 新着メールチェック機能¹
deny_check_mails: 一括メール受信機能¹
deny_use_confirm: HTML メール内の画像参照¹
deny_use_status: 開封確認機能¹
deny_use_history: ステータス管理機能¹
deny_use_html_pict: 送受信記録機能¹

メールサイズの制限(個人)

uid: 設定されたユーザーの ID
user_limit: 1 ユーザーあたりの保存できるメールの総サイズ⁶
retrieve_limit: 受信メールサイズの制限⁶
send_limit: 送信メールサイズの制限⁶

¹: 0 または 1

²: 表示形式は HHMM

³: "POP3" または "IMAP4"

⁴: "APOP" または "USER"

⁵: "LEAVE" または "DELETE"

⁶:-1 は無制限

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
一般設定	設定	重要情報	[config] general (disable_mail:XX, check_mail_on_login:XX [, auto_receive_period:XX][,auto_receive_time_1:XX,...])
メールサーバーの設定	登録	重要情報	[create] server (server_id:XX, foreign_key:XX, name:XX, smtp:XX, smtp_port:XX, smtp_ssl:XX, smtp_auth:XX[, pop_before_smtp:XX, pbsmtp_wait_sec:XX], smtp_timeout_sec:XX, retrieve_protocol:XX, retrieve:XX, retrieve_port:XX, retrieve_ssl:XX[, retrieve_auth:XX], retrieve_timeout_sec:XX)
	変更	重要情報	[modify] server (server_id:XX, foreign_key:XX,name:XX, smtp:XX, smtp_port:XX, smtp_ssl:XX, smtp_auth:XX[, pop_before_smtp:XX, pbsmtp_wait_sec:XX], smtp_timeout_sec:XX, retrieve_protocol:XX, retrieve:XX, retrieve_port:XX, retrieve_ssl:XX[, retrieve_auth:XX], retrieve_timeout_sec:XX)
	削除	重要情報	[delete] server (server_id:XX, foreign_key:XX,name:XX, smtp:XX, smtp_port:XX, smtp_ssl:XX, smtp_auth:XX[, pop_before_smtp:XX, pbsmtp_wait_sec:XX], smtp_timeout_sec:XX, retrieve_protocol:XX, retrieve:XX, retrieve_port:XX, retrieve_ssl:XX[, retrieve_auth:XX], retrieve_timeout_sec:XX)
ユーザーアカウント	登録	重要情報	[create] account (account_id:XX, account_code:XX[,account_name:XX], mail_server:XX, email:XX,retrieve_account:XX, retrieve_save:XX[,smtp_account:XX], disabled:XX)
	変更	重要情報	[modify] account (account_id:XX, account_code:XX[,account_name:XX], mail_server:XX, email:XX,retrieve_account:XX, retrieve_save:XX[,smtp_account:XX], disabled:XX)
	削除	重要情報	[delete] account (account_id:XX, account_code:XX[,account_name:XX][, mail_server:XX], email:XX,retrieve_account:XX, retrieve_save:XX[,smtp_account:XX], disabled:XX)
メールサイズの制限	設定	重要情報	[config] mail_limit (user_limit:XX, retrieve_limit:XX, send_limit:XX)
ユーザーの権限	設定	重要情報	[config] user_access (deny_modify_account:XX, deny_leave:XX, deny_all_receive:XX, deny_check_mails:XX, deny_send_html_mail:XX, deny_use_confirm:XX, deny_use_status:XX, deny_use_history:XX, deny_use_html_pict:XX)
CSV ファイルの読み込み	メールサーバーの読み込み	重要情報	[import] server (server_id:XX, foreign_key:XX)
	ユーザーアカウントの読み込み	重要情報	[import] account (account_id:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
CSV ファイルへの書き出し	メールサーバーの書き出し	重要情報	[export] server (server_id:XX, foreign_key:XX)
	ユーザーアカウントの書き出し	重要情報	[export] account (account_id:XX)
個人のメールサイズの制限	設定	重要情報	[config] user_mail_limit (uid:XX, user_limit:XX, retrieve_limit:XX, send_limit:XX)

個人設定のログのプロパティ

account_id: アカウント ID

account_code: ユーザーアカウントコード

account_name: ユーザーアカウント名

mail_server: メールサーバー

email: Email アドレス

retrieve_account: 受信メールアカウント

retrieve_save: 受信メールサーバーにメールを残す¹

smtp_account: 送信メールアカウント

disabled: 使用の停止²

use_for_sending: 「開封確認を要求する」ボタンをメール送信画面に表示する²

response: 開封確認の要求に対する返信³

no_response_bcc: To または Cc に含まれないときは返信しない²

account: メールアカウント⁴

folder: フォルダー名

year: 年

month: 月

day: 日

¹: "LEAVE" または "DELETE"

²: 0(無効)または 1(有効)

³: "ignore"、"manual"、または "auto"

⁴: "all"(すべてのアカウント)、または選択したメールアカウント

個人設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
メールアカウント	変更	重要情報	[modify] account (account_id:XX, account_code:XX[,account_name:XX], mail_server:XX, email:XX, retrieve_account:XX, retrieve_save:XX[,smtp_account:XX], disabled:XX)
開封確認	設定	重要情報	[config] confirm (use_for_sending:XX, response:XX[,no_response_bcc:XX])
CSV ファイルの読み込み	データ読み込み	重要情報	[import] mail (account:XX, folder:XX)
CSV ファイルへの書き出し	データ書き出し	重要情報	[export] mail (account:XX, folder:XX)
メール	全削除	重要情報	[delete_all] mail (account:XX, year:XX, month:XX, day:XX)

フォルダーのログのプロパティ

account_id: アカウント ID
 folder_name: フォルダー名
 memo: メモ
 mail_account: メールアカウント

folder_id: フォルダーID
 parent_folder_id: 親フォルダーID
 list_index: 同一階層内でのカテゴリーの順番

フォルダーのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
フォルダー	追加	重要情報	[create] folder (account_id:XX, folder_id:XX, folder_name:XX, parent_folder_id:XX[, memo:XX])
	変更	重要情報	[modify] folder (account_id:XX, folder_id:XX, folder_name:XX, parent_folder_id:XX[, memo:XX])
	移動	重要情報	[move] folder (account_id:XX, folder_id:XX, folder_name:XX, parent_folder_id:XX, list_index:XX)
	削除	重要情報	[delete] folder (account_id:XX, folder_id:XX, folder_name:XX)

メールの操作のログのプロパティ

mid: メール ID
 account_id: アカウント ID
 to: 宛先
 from: 差出人
 subject: 件名
 data: 内容
 file_name_[1 から始まる整数]: 添付ファイル名
 folder_id: フォルダーID
 source_folder_id: ソースフォルダーID

メールの操作のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
メール	送信	重要情報	[send] mail (mid:XX[, subject:XX][, data:XX][, filename_1:XX][, to:XX][, cc:XX][, bcc:XX])
	受信	重要情報	[receive] mail (mid:XX[, subject:XX], from:XX[, data:XX][, filename_1:XX])
	移動	重要情報	[move] mail (mid:XX, account_id:XX, folder_id:XX, source_folder_id)
	削除	重要情報	[delete] mail (mid:XX, account_id:XX[, subject:XX][, to:XX])

ネット連携サービス

システム設定のログのプロパティ

use_product_id: ネット連携サービスのサイトに個別 ID を送信する¹

付録 C ログの出力仕様

sid: サービス ID
name: サービス名
activate: 使用する¹

¹:0(使用しない)または1(使用する)

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
一般設定	設定	重要情報	[config] common (use_product_id:XX)
サービス一覧	サービスの変更	重要情報	[config] service (sid:XX, name:XX, activate:XX)
イベントデータ 受信	受信	重要情報	[download] event_data (sid:XX, name:XX)

エラーのログのプロパティ

sid: サービス ID
name: サービス名
cache_file: キャッシュファイルパス
url: 受信 URL

エラーのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
エラー	イベントデータパース	警告	parse_error (sid:XX, name:XX, cache_file:XX)
	イベントデータ受信	警告	connection_error (sid:XX, name:XX, url:XX)

RSSリーダー

システム設定のログのプロパティ

timeout: タイムアウト時間
cache_preservation: キャッシュ保存期間
cache_interval: キャッシュ更新間隔
use_personal: 個人設定におけるサイトの設定を許可する
use_shared: 共有サイトを強制的に表示する
uid: ユーザーID
cid: チャンネルID
aid: 記事ID
url: サイトのURL
memo: メモ
cybozu_information: サイボウズからのお知らせを受信する

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
一般設定	変更	重要情報	[config] system_rss (timeout/cache_preservation/cache_interval/use_personal/use_shared:XX, uid:XX)
共有サイト一覧	記事受信	一般情報	[create] system_rss (cid:XX, aid:XX, url:XX)
	サイト追加	重要情報	[create] system_rss (cid:XX, url:XX[, memo:XX],uid:XX)
	サイト変更	重要情報	[modify] system_rss (cid:XX, url:XX[, memo:XX],uid:XX)
	サイト削除	重要情報	[delete] system_rss (cid:XX, url:XX, uid:XX)
	全サイト削除	重要情報	[delete_all] system_rss (uid:XX)
	サイトの CSV 読み込み	重要情報	[import] system_rss (uid:XX)
	サイトの CSV 書き出し	重要情報	[export] system_rss (uid:XX)
サイボウズからのお知らせ	受信設定	重要情報	[config] system_cybozu_information (cybozu_information:XX, uid:XX)

個人設定のログのプロパティ

timeout: タイムアウト時間

cache_preservation: キャッシュ保存期間

cache_interval: キャッシュ更新間隔

use_personal: 個人設定におけるサイトの設定を許可する

use_shared: 共有サイトを強制的に表示する

uid: ユーザーID

cid: チャンネルID

aid: 記事ID

url: サイトのURL

memo: メモ

個人設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
一般設定	変更	重要情報	[config] personal_rss (timeout/cache_preservation/cache_interval/use_personal/use_shared:XX, uid:XX)
個人リンク集の設定	記事受信	一般情報	[create] personal_rss (cid:XX, aid:XX, url:XX)
	サイト追加	重要情報	[create] personal_rss (cid:XX, url:XX[, memo:XX], uid:XX)
	サイト変更	重要情報	[modify] personal_rss (cid:XX, url:XX[, memo:XX], uid:XX)
	サイト削除	重要情報	[delete] personal_rss (cid:XX, url:XX, uid:XX)

エラーのログのプロパティ

cid: チャンネルID

error: エラー内容

url: サイトのURL

cache: キャッシュ

uid: ユーザーID

status: HTTP ステータスコード

エラーのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
サイト	パースエラー	警告	rss_parse_error (cid:XX, error:XX, url:XX, cache:XXX, uid:XX)
	コネクションエラー	警告	rss_http_error (cid:XX, status:XX, url:XX, cache:XXX, uid:XX)

在席確認

システム設定のログのプロパティ

uid: ユーザーID

oid: 組織 ID

rid: ロール ID

auto_set_presence:「在席」の自動設定¹

auto_set_absence:「不在」の自動設定¹

personal_proxy_setting: 代理人設定の許可¹

value: 設定値

agent_uid/oid: 代理人のユーザーまたは組織 ID

¹: "ON" または "OFF"

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
一般設定	ステータスの自動設定	重要情報	common(auto_set_presence:XX, auto_set_absence:XX)
	ユーザーによる代理人設定の許可	重要情報	[config] common (personal_proxy_setting:XX)
ステータス	設定	重要情報	[config] system_presence[(value:XX, XX ...)]
代理人	追加	重要情報	[add] agent_modify(uid/oid:XX[,agent_uid:XX][,agent_oid:XX])
	一括削除	重要情報	[delete] agent_modify(uid/oid:XX [,agent_uid:XX][,agent_oid:XX])
	全削除	重要情報	[delete_all] agent_modify(uid/oid:XX)
	代理人の CSV 読み込み	重要情報	[import]agent_modify
	代理人の CSV 書き出し	重要情報	[export]agent_modify

個人設定のログのプロパティ

value: 設定値

uid: ユーザーID

agent_uid: 代理人ユーザーID

agent_oid: 理人組織 ID

個人設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
ステータス	設定	重要情報	[config] personal_presence[(value:XX, XX ...)]
代理人	追加	重要情報	[add] agent_modify (uid:XX [, agent_uid:XX,...] [,agent_oid:XX,...'])

在席確認のログのプロパティ

mid: 代理人 ID

uid: ユーザーID

info: 在席情報: メモ

在席確認のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
ステータス	変更	重要情報	[modify] presence information (mid:XX, uid:XX, info:XX)

お気に入り

システム設定のログのプロパティ

star_limit: 設定値

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
一般設定	追加できるデータの上限値	重要情報	[config] common (star_limit:XX)

通知一覧

システム設定のログのプロパティ

aid: 外部通知 ID

code: 外部通知コード

name: 外部通知表示名

receive: 未登録の外部通知を受信¹

timestamp: 削除する基準となる日付

exec_user: 通知フィルターを変更したユーザーID

target_user: 通知フィルターを変更されたユーザーID²

filter_category: 通知フィルターの設定先

module_id: アプリケーション ID

action_id: 操作³flag: 各操作の通知を受信する⁴

- ¹: "true" または "false"
- ²: NULL
- ³: "create"、"update"、または "delete"
- ⁴: 1 または 0

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
外部通知	追加	重要情報	[create] system_notifyinfo (aid:XX, code:XX, name:XX)
	変更	重要情報	[modify] system_notifyinfo (aid:XX, code:XX, name:XX)
	削除	重要情報	[delete] system_notifyinfo (aid:XX)
未登録の外部通知	設定	重要情報	[config] system_notify_set (receive:XX)
通知の全削除	全削除	重要情報	[delete_all] system_notification (timestamp:XX)
確認済み通知の全削除	全削除	重要情報	[delete_all] system_notification_history (timestamp:XX)
通知フィルター	変更	一般情報	[update] system filter setting (exec_user:XX, target_user:XX, filter_category:XX, module_id:XX, action_id:XX, flag:xx)

個人設定のログのプロパティ

- notify: 通知の保存期間
- history: 確認済み通知の保存期間
- timestamp: 削除する基準となる日付
- not_use: 外部通知を利用しない¹
- exec_user: 通知フィルターを変更したユーザーID
- target_user: 通知フィルターを変更されたユーザーID
- filter_category: 通知フィルターの設定先
- module_id: アプリケーション ID
- action_id: 操作²
- flag: 各操作の通知を受信する³

- ¹: true(利用しない)または false(利用する)
- ²: "create"、"update"、または "delete"
- ³: 1 または 0

個人設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
通知の保存期間	設定	重要情報	[config] personal_keep (notify:XX, history:XX)
通知	全削除	重要情報	[delete_all] personal_notification (timestamp:XX)
確認済み通知	全削除	重要情報	[delete_all] personal_notification_history (timestamp:XX)
外部通知の利用	設定	重要情報	[config] personal_notify_set (not_use:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
通知フィルター	変更	重要情報	[update] personal filter setting (excec_user:XX, target_user:XX, filter_category:XX, module_id:XX, action_id:XX, flag:XX)

ワークフロー

利用ユーザーのログのプロパティ

uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID

authority_cellular: ケータイの利用権限¹

ctime: 利用許可時刻

¹: "on" または "off"

利用ユーザーのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
利用ユーザー	追加	重要情報	[create] availability_user_add([, uids_1:XX,...], authority_cellular:XX, ctime:XX)
	変更	重要情報	[modify] availability_user_modify([, uids_1:XX,...], authority_cellular:XX)
	削除	重要情報	[delete] availability_user_delete([, uids_1:XX,...])
	一括削除	重要情報	[delete] availability_user_delete_multi([, uids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] availability_user_delete_all

一般設定のログのプロパティ

cutover: 申請番号の年次切替日時

allow_remand: 差し戻しの使用許可¹

applicant: 申請者の経路変更の許可¹

operation_admin: 運用管理者の経路変更の許可¹

system_admin: システム管理者の経路変更の許可¹

approval_plan: 承認予定の使用許可¹

substitute_application: 代理申請の許可¹

substitute_approval: 代理承認の許可¹

personal_agent_setting: 個人の代理人設定の許可¹

mail_notification: メール通知

mail_notification_url: メール通知先の URL

¹: "on" または "off"

一般設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
一般設定	変更	重要情報	[config] common_set (cutover:XX, allow_remand:XX, applicant:XX, operation_admin:XX, system_admin:XX, approval_plan:XX, substitute_application:XX, substitute_approval:XX, personal_agent_setting:XX, mail_notification:XX, mail_notification_url:XX)

申請フォームの一覧のログのプロパティ

cid: カテゴリーID

cids_[1 から始まる整数]: カテゴリーID

s_cid: 親カテゴリーID

fid: 申請フォーム ID

fids_[1 から始まる整数]: 申請フォーム ID

name: カテゴリー名、またはフォーム名

foreign_key: カテゴリーコード、または申請フォームコード

memo: メモ

auto_export: 申請データの自動書き出し 1

login_name_export: 申請者のログイン名を書き出す¹

export_top_line: 先頭行に項目名を書き出す¹

export_folder: 自動書き出し先ディレクトリー

forms_[1 から始まる整数]: 申請フォーム外部キー

items_[1 から始まる整数]: 申請項目外部キー

paths_[1 から始まる整数]: 経路外部キー

path_steps_[1 から始まる整数]: 経路ステップ外部キー

path_skips_[1 から始まる整数]: 経路の分岐項目 ID

path_conditions_[1 から始まる整数]: 経路分岐条件名

¹: "on" または "off"

申請フォームの一覧のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
カテゴリー	追加	重要情報	[create] category_add (cid:XX, name:XX, foreign_key:XX, memo:XX)
	変更	重要情報	[modify] category_modify (cid:XX, name:XX, foreign_key:XX, memo:XX)
	移動	重要情報	[modify] category_move (cid:XX, s_cid:XX)
	削除	重要情報	[delete] category_delete (cid:XX)
サブカテゴリー	順番変更	重要情報	[modify] category_order ([, cids_1:XX,...])
申請フォーム	追加	重要情報	[create] form_add (cid:XX, fid:XX, name:XX, foreign_key:XX, memo:XX, auto_export:XX, login_name_export:XX, export_top_line:XX, export_folder:XX)
	コピー	重要情報	[create] form_copy ([, fids_1:XX,...])

対象	操作	深刻度	出力仕様
	一括削除	重要情報	[delete] form_delete_multi ([, fids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] form_delete_all (cid:XX)
	XML 読み込み	重要情報	[import] form_import ([, forms_1:XX,...][, items_1:XX,...][, paths_1:XX,...][, path_steps_1:XX,...][, path_skips_1:XX,...][, path_conditions_1:XX,...])
	XML 書き出し	重要情報	[export] form_export
区切り線	追加	重要情報	[create] form_separator_add (cid:XX, fid:XX)
申請フォームまたは区切り線	順番変更	重要情報	[modify] form_order (cid:XX[, fids_1:XX,...])

申請フォームの詳細に関するログのプロパティ

cid: カテゴリーID

cids_[1 から始まる整数]: カテゴリーID

s_cid: 親カテゴリーID

fid: 申請フォーム ID

admin_memo: 管理者用メモ

name: 申請フォーム名

foreign_key: 申請フォームコード

memo: 説明

auto_export: 申請データの自動書き出し¹

export_folder: 自動書き出し先ディレクトリー

active: 有効または無効フラグ

icon_id: アイコン ID

icon_type: アイコン種別

icon_url: 指定の URL

serial_type: 申請番号形式

serial_format: 申請番号書式

serial_number: 新規申請番号

¹: "on" または "off"

²: "active" または "deactive"

³: "standard"、"embedded"、または "url"

⁴: "all"、"every"、または "not_use"

申請フォームの詳細に関するログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
管理者用メモ	変更	重要情報	[modify] form_memo_modify (fid:XX, admin_memo:XX)
申請フォーム情報	変更	重要情報	[modify] form_modify (fid:XX, name:XX, foreign_key:XX, memo:XX, auto_export:XX, export_folder:XX)
申請フォーム	移動	重要情報	[modify] form_move (cid:XX, s_cid:XX, fid:XX)
	有効または無効	重要情報	[modify] form_activate (fid:XX, active:XX)
	削除	重要情報	[delete] form_delete (fid:XX)
アイコン	設定	重要情報	[modify] form_icon_modify (icon_id:XX, icon_type:XX, icon_url:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
申請番号	設定	重要情報	[modify] form_serial_modify (fid:XX, serial_type:XX, serial_format:XX)
	初期化	重要情報	[modify] form_serial_initialize (fid:XX, serial_number:XX)

申請フォームの項目に関するログのプロパティ

fid: 申請フォーム ID

iid: 項目 ID

iids_[1 から始まる整数]: 項目 ID

psids_[1 から始まる整数]: 経路ステップ ID

foreign_key: 外部キー

display_name: 項目名

br: 右隣への配置¹

separator: セパレーター

option_string_type: 前または後の文字配置

option_string: 前または後に配置する文字列

description_editor: 説明の書式²

description: 説明

description_type: 説明のアイコン表示³

size: 入力幅

max_input_size: 最大入力文字数

input_chars: 入力文字制限⁴

initial_type: 初期値設定⁵

initial_text_value: 手入力初期値

initial_user_value: ユーザー情報

required: 必須入力⁶

col_size: 桁

row_size: 行

initial_value: 初期値またはチェックボックスの初期値⁷

menu_items_[1 から始まる整数]: メニュー内容

menu_item_type: メニュー項目タイプ⁸

radio_items_[1 から始まる整数]: ラジオ内容

input_numbers: 入力値制限⁹

effective_figures: 小数点以下の有効桁数

minus_type: マイナス値の表示方法

right_align: 右寄せ表示¹⁰

split_rank: 桁区切り表示¹¹

max_input_number: 最大値

min_input_number: 最小値

not_display: 計算結果表示¹²

calc_type: 計算内容¹³

calc_operator_operator: 演算子¹⁴

calc_operator_operand1_type: 演算項目 1

calc_operator_operand1_value: 定数 1
 calc_operator_operand2_type: 演算項目 2
 calc_operator_operand2_value: 定数 2
 calc_total_values: 選択項目の値の総和
 initial_type: 日付の初期値 ¹⁵
 initial_year: 年
 initial_month: 月
 initial_day: 日
 max_files: 最大ファイル数
 inline: ファイル表示 ¹⁶
 thumbnail: イメージの縮小表示 ¹⁷
 thumbnail_xsize: 幅
 thumbnail_ysize: 高さ
 search_type: 取り込む項目 ¹⁸

- ¹: "right_position" または "not_right_position"
- ²: "text" または "edit"
- ³: "icon" または "not_icon"
- ⁴: "full"、"half"、または "no_limit"
- ⁵: "manual_input" または "user_info"
- ⁶: "required" または "not_required"
- ⁷: "checked" または "not_checked"
- ⁸: "0" または "1"
- ⁹: "limit" または "no_limit"
- ¹⁰: "right_align" または "not_right_align"
- ¹¹: "split_rank" または "not_split_rank"
- ¹²: "display" または "not_display"
- ¹³: "operation" または "total"
- ¹⁴: "plus"、"minus"、"multiplication"、または "division"
- ¹⁵: "now_date"、"specific_date"、または "blank_date"
- ¹⁶: "inline" または "not_inline"
- ¹⁷: "thumbnail" または "not_thumbnail"
- ¹⁸: "route/fare"、"route"、または "fare"

申請フォームの項目に関するログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
文字列(1行)	追加	重要情報	[create] form_layout_string_single_add (fid:XX, iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, size:XX, max_input_size:XX, input_chars:XX, initial_type:XX, initial_text_value:XX, initial_user_value:XX, required:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
	変更	重要情報	[modify] form_layout_string_single_modify (iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, size:XX, max_input_size:XX, input_chars:XX, initial_type:XX, initial_text_value:XX, initial_user_value:XX, required:XX)
文字列(複数行)	追加	重要情報	[create] form_layout_string_multiple_add (fid:XX, iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, col_size:XX, row_size:XX, initial_value:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_string_multiple_modify (iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, col_size:XX, row_size:XX, initial_value:XX, required:XX)
メニュー	追加	重要情報	[create] form_layout_menu_string_add (fid:XX, iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, menu_items:'XX... ', initial_value:XX, menu_item_type:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_menu_string_modify (iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, menu_items:'XX ... ', initial_value:XX, menu_item_type:XX, required:XX)
ラジオボタン	追加	重要情報	[create] form_layout_radio_add (fid:XX, iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, radio_items:'XX ...', initial_value:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_radio_modify (iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, radio_items:'XX ...', initial_value:XX, required:XX)
チェックボックス	追加	重要情報	[create] form_layout_checkbox_add (fid:XX, iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, initial_value:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_checkbox_modify (iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, initial_value:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
数値	追加	重要情報	[create] form_layout_numeric_add (fid:XX, iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, input_numbers:XX, initial_value:XX, effective_figures:XX, minus_type:XX, right_align:XX, split_rank:XX, max_input_number:XX, min_input_number:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_numeric_modify (iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, input_numbers:XX, initial_value:XX, effective_figures:XX, minus_type:XX, right_align:XX, split_rank:XX, max_input_number:XX, min_input_number:XX, required:XX)
自動計算	追加	重要情報	[create] form_layout_calc_numeric_add (fid:XX, iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, effective_figures:XX, minus_type:XX, right_align:XX, split_rank:XX, not_display:XX, calc_type:XX, calc_operator_operator:XX, calc_operator_operand1_type:XX, calc_operator_operand1_value:XX, calc_operator_operand2_type:XX, calc_operator_operand2_value:XX, calc_total_values:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_calc_numeric_modify (iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, effective_figures:XX, minus_type:XX, right_align:XX, split_rank:XX, not_display:XX, calc_type:XX, calc_operator_operator:XX, calc_operator_operand1_type:XX, calc_operator_operand1_value:XX, calc_operator_operand2_type:XX, calc_operator_operand2_value:XX, calc_total_values:XX)
日付	追加	重要情報	[create] form_layout_date_add (fid:XX, iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, initial_type:XX, initial_year:XX, initial_month:XX, initial_day:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_date_modify (iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, initial_type:XX, initial_year:XX, initial_month:XX, initial_day:XX, required:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
ファイル添付	追加	重要情報	[create] form_layout_file_add (fid:XX, iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, max_files:XX, inline:XX, thumbnail:XX, thumbnail_xsize:XX, thumbnail_ysize:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_file_modify (iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, max_files:XX, inline:XX, thumbnail:XX, thumbnail_xsize:XX, thumbnail_ysize:XX, required:XX)
路線ナビ連携	追加	重要情報	[create] form_layout_route_search_add (fid:XX, iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, search_type:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_route_search_modify (iid:XX, foreign_key:XX, display_name:XX, search_type:XX, br:XX, separator:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, required:XX)
空行	追加	重要情報	[create] formlayout_blank_add (fid:XX, iid:XX)
項目	削除	重要情報	[delete] form_layout_delete (iid:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] form_layout_delete_multi ([, iids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] form_layout_delete_all (fid:XX)
	コピー	重要情報	[create] form_layout_copy (fid:XX[, iids_1:XX,...])
	順番変更	重要情報	[modify] formlayout_order (fid:XX[, iids_1:XX,...])

申請経路に関するログのプロパティ

fid: 申請フォーム ID

pid: 経路 ID

name: 経路名

type: 経路タイプ¹

foreign_key: 経路コード

richeditor: 説明の書式²

description: 説明

icon: 説明のアイコン表示³

¹: "publish" または "monopoly"

²: "text" または "edit"

³: "icon" または "not_icon"

申請経路に関するログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
経路情報	追加	重要情報	[create] path_add (fid:XX, pid:XX, name:XX, type:XX, foreign_key:XX, richeditor:XX, description:XX, icon:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
	変更	重要情報	[modify] path_modify (pid:XX, name:XX, type:XX, foreign_key:XX, richeditor:XX, description:XX, icon:XX)
共有経路	設定	重要情報	[modify] path_select (fid:XX, pid:XX)
専用経路	共有	重要情報	[modify] path_publish (pid:XX, type:XX)

経路ステップに関するログのプロパティ

pid: 経路 ID

psid: 経路ステップ ID

psids_[1 から始まる整数]: 経路ステップ ID

uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID

gids_[1 から始まる整数]: グループ ID

srids_[1 から始まる整数]: 静的ロール ID

role: 経路ステップ名

type: 経路種別¹

acceptance_type: 承認経路の種類²

change_path: 経路変更の許可³

path: 経路 ID

skip: 省略の設定⁴

applicant: 申請者フラグ⁵

chief: 上長選択フラグ⁶

change_path: 申請時の初期値変更の許可⁷

¹: "approval" または "circular"

²: "and" または "or"

³: "permission" または "not_permission"

⁴: "skip" または "not_skip"

⁵: "applicant" または "not_applicant"

⁶: "chief" または "not_chief"

⁷: "allow" または "deny"

経路ステップに関するログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
経路ステップ	追加	重要情報	[create] path_step_add (pid:XX, psid:XX, role:XX, type:XX, acceptance_type:XX, change_path:XX)
	変更	重要情報	[modify] path_step_modify (psid:XX, role:XX, path:XX, type:XX, acceptance_type:XX, change_path:XX)
	順番変更	重要情報	[modify] path_step_order (pid:XX[, psids_1:XX,...])
	削除	重要情報	[delete] path_step_delete (psid:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] path_step_delete_multi ([, psids_1:XX,...])
初期値	追加	重要情報	[create] default_add (psid:XX, [, uids_1:XX,...] [, gids_1:XX,...], [, srids_1:XX,...], skip:XX, applicant:XX)
	上長選択	重要情報	[modify] default_chief_set (rid:XX, psid:XX, chief:XX)
	省略設定	重要情報	[modify] default_skip_set (psid:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
	一括削除	重要情報	[delete] default_delete_multi (psid:XX, [, uids_1:XX,...] [, gids_1:XX,...], [srids_1:XX,...], skip:XX, applicant:XX)
	全削除	重要情報	[delete] default_delete_all (psid:XX)
	変更許可設定	重要情報	[modify] default_change_path (psid:XX, change_path:XX)

経路分岐に関するログのプロパティ

fid: 申請フォーム ID
iid: 項目 ID
sid: 経路分岐情報 ID
pcid: 経路分岐条件 ID
pcids_[1 から始まる整数]: 経路分岐条件 ID
name: 経路分岐条件名
number: 数値分岐条件
operator: 分岐条件
option: ラジオボタン分岐条件
path_skip: 飛び越し経路ステップ ID

経路分岐に関するログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
経路分岐情報	追加	重要情報	[create] path_skip_set (fid:XX, sid:XX, iid:XX)
経路分岐条件	削除	重要情報	[delete] path_skip_delete (sid:XX)
	追加	重要情報	[create] path_condition_add (sid:XX, pcid:XX, name:XX, number:XX, operator:XX, option:XX, path_skip:XX)
	変更	重要情報	[modify] path_condition_modify (pcid:XX, name:XX, number:XX, operator:XX, option:XX, path_skip:XX)
	順番変更	重要情報	[modify] path_condition_order (sid:XX[, pcids:XX,...])
	削除	重要情報	[delete] path_condition_delete (pcid:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] path_condition_delete_multi ([, pcids:XX,...])

経路の一覧に関するログのプロパティ

fid: 申請フォーム ID
iid: 項目 ID
pid: 経路 ID
pcid: 経路分岐条件 ID
pcids_[1 から始まる整数]: 経路分岐条件 ID
uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID
gids_[1 から始まる整数]: グループ ID
srids_[1 から始まる整数]: 静的ロール ID
cirids_[1 から始まる整数]: 上長ロール ID
name: 経路名
type: 経路タイプ¹
foreign_key: 経路コード²
richeditor: 説明の書式²

description: 説明
 icon: 説明のアイコン表示³
 admin_memo: 管理者用メモ
 psid: 経路ステップ ID
 role: 経路ステップ名
 type: 経路種別⁴
 acceptance_type: 承認経路の種類⁵
 change_path: 経路変更の許可⁶
 skip: 省略の設定⁷
 applicant: 申請者フラグ⁸
 chief: 上長選択フラグ
 change_path: 申請時の初期値変更の許可

- 1: "publish" または "monopoly"
- 2: "text" または "edit"
- 3: "icon" または "not_icon"
- 4: "approval" または "circular"
- 5: "and" または "or"
- 6: "permission" または "not_permission"
- 7: "skip" または "not_skip"
- 8: "applicant" または "not_applicant"
- 9: "chief" または "not_chief"
- 10: "allow" または "deny"

経路の一覧に関するログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
共有経路情報	追加	重要情報	[create] path_add (fid:XX, pid:XX, name:XX type:XX, foreign_key:XX, richeditor:XX, description:XX, icon:XX)
	変更	重要情報	[modify] path_modify (pid:XX, name:XX type:XX, foreign_key:XX, richeditor:XX, description:XX, icon:XX)
	削除	重要情報	[delete] path_delete (pid:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] path_delete_multi ([, pids_1:XX,...])
管理者メモ	変更	重要情報	[modify] admin_memo_modify (pid:XX, admin_memo:XX)
経路ステップ	追加	重要情報	[create] path_step_add (pid:XX, psid:XX, role:XX, type:XX, acceptance_type:XX, change_path:XX)
	変更	重要情報	[modify] path_step_modify (psid:XX, role:XX, path:XX, type:XX, acceptance_type:XX, change_path:XX)
	削除	重要情報	[delete] path_step_delete (psid:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] path_step_delete_multi ([, psids_1:XX,...])
	順番変更	重要情報	[modify] path_step_order (pid:XX[, psids_1:XX,...])
初期値	追加	重要情報	[create] default_add (psid:XX, [, uids_1:XX,...] [, gids_1:XX,...][, srids_1:XX,...], skip:XX, applicant:XX)
	上長選択	重要情報	[modify] default_chief_set (rid:XX, psid:XX, chief:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] default_delete_multi (psid:XX, [, uids_1:XX,...][, gids_1:XX,...][, srids_1:XX,...], skip:XX, applicant:XX)
	全削除	重要情報	[delete] default_delete_all (psid:XX)
	省略設定	重要情報	[modify] default_skip_set (psid:XX)
	変更許可設定	重要情報	[modify] default_change_path (psid:XX, change_path:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
専用経路	共有	重要情報	[modify] path_publish (pid:XX, type:XX)
区切り線	追加	重要情報	[create] path_separator_add (pid:XX)
経路または区切り線	順番変更	重要情報	[modify] path_order ([, pids_1:XX, ...])
XML ファイル	読み込み	重要情報	[import] path_import ([, pids_1:XX,...][, psids_1:XX,...], uids_1:XX,...][, gids_1:XX,...][, srids_1:XX,...] [, crids_1:XX,...], skips:XX, applicants:XX)
	書き出し	重要情報	[export] path_export

アクセス権の設定のログのプロパティ

cid: カテゴリーID

uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID

gids_[1 から始まる整数]: グループ ID

srids_[1 から始まる整数]: 静的ロール ID

drids_[1 から始まる整数]: 動的ロール ID

security_model: セキュリティモデル¹

authority: 権限²

¹: "grant" または "revoke"

²: "on" または "off"

アクセス権の設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
セキュリティモデル	変更	重要情報	[modify] access_model_modify (cid:XX, security_model)
アクセス権	追加	重要情報	[create] access_add (cid:XX[, uids_1:XX,...][, gids_1:XX,...] [, srids_1:XX,...][, drids_1:XX,...], security_model:XX, authority:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] access_delete_multi (cid:XX[, uids_1:XX,...] [, gids_1:XX,...][, srids_1:XX,...][, drids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] access_delete_all (cid:XX)

運用管理権限の設定のログのプロパティ

cid: カテゴリーID

uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID

gids_[1 から始まる整数]: グループ ID

srids_[1 から始まる整数]: 静的ロール ID

drids_[1 から始まる整数]: 動的ロール ID

tids_[1 から始まる整数]: ターゲット ID

target_types: ターゲットタイプ¹

¹: "user"、"group"、"static_role"、または "dynamic_role"

運用管理権限の設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
運用管理権限	追加	重要情報	[create] privilege_add ([, uids_1:XX,...][, gids_1:XX,...] [, srids_1:XX,...][, drids_1:XX,...])
	一括削除	重要情報	[delete] privilege_delete_multi (cid:XX[, uids_1:XX,...] [, gids_1:XX,...][, srids_1:XX,...][, drids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] privilege_delete_all (cid:XX)

申請データの管理のログのプロパティ

fid: 申請フォーム ID

pid: 申請 ID、pids_[1 から始まる整数]: 申請 ID

uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID

add_uids_[1 から始まる整数]: 追加ユーザーID

deleted_uids_[1 から始まる整数]: 削除ユーザーID

comment: コメント

申請データの管理のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
申請データ	削除	重要情報	[delete] petition_delete (pid:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] petition_delete_multi ([, pids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] petition_delete_all (fid:XX)
	印刷	重要情報	[print] petition_print
経路ステップ	処理者の変更	重要情報	[modify] petition_path_step_modify ([, add_uids_1:XX, ...] [, deleted_uids_1:XX,...], comment:XX)
CSV ファイル	書き出し	重要情報	[export] petition_export

CSV ファイルの読み込みと書き出しのログのプロパティ

uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID

parent_foreign_key: 親カテゴリーキー

foreign_key: カテゴリーキー

name: カテゴリー名

memo: メモ

item: ロール

value: セキュリティモデル

name: ロール名

authority_cellular: ケータイの利用制限¹

ctime: 利用許可時刻

¹: "1" または "0"

CSV ファイルの読み込みと書き出しのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
カテゴリー	読み込み	重要情報	[import] category_import ([, parent_foreign_key_1:XX ...] [, foreign_key_1:XX...][, name_1:XX...][, memo_1:XX...])
	書き出し	重要情報	[export] category_export
アクセス権	読み込み	重要情報	[import] category_accesses_import ([,foreign_key_1:XX...] [, item_1:XX...][, value_1:XX...][,name_1:XX...])
	書き出し	重要情報	[export] category_accesses_export
利用ユーザー	読み込み	重要情報	[import] availability_user_import ([, uids_1:XX...] [,authority_cellular_1:XX...], ctime:XX)
	書き出し	重要情報	[export] availability_user_export

申請データの作成のログのプロパティ

pid: 申請 ID

fid: 申請フォーム ID

name: 申請フォーム名

icon_type: アイコン種別¹

icon_id: アイコン ID

icon_url: アイコン URL

serial_type: 申請番号タイプ²

serial_format: 申請番号書式

serial_number: 最終申請番号

subject: 標題

¹: "0"、"1"、または "2"²: "0"、"1"、または "2"

申請データの作成のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
申請データ	作成	重要情報	[create] petition_add (pid:XX, fid:XX, name:XX, icon_type:XX, icon_id:XX, icon_url:XX, serial_type:XX, serial_format:XX, serial_number:XX, subject:XX)
	下書き保存	重要情報	[create] petition_draft_add (pid:XX, fid:XX, name:XX, icon_type:XX, icon_id:XX, icon_url:XX, serial_type:XX, serial_format:XX, serial_number:XX, subject:XX)
申請データ: 再利用	作成	重要情報	[create] petition_reuse (pid:XX, fid:XX, name:XX, icon_type:XX, icon_id:XX, icon_url:XX, serial_type:XX, serial_format:XX, serial_number:XX, subject:XX)
	下書き保存	重要情報	[create] petition_reuse_draft (pid:XX, fid:XX, name:XX, icon_type:XX, icon_id:XX, icon_url:XX, serial_type:XX, serial_format:XX, serial_number:XX, subject:XX)
申請データ: 下書き	申請	重要情報	[modify] petition_draft (pid:XX, fid:XX, name:XX, icon_type:XX, icon_id:XX, icon_url:XX, serial_type:XX, serial_format:XX, serial_number:XX, subject:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
	下書き保存	重要情報	[modify] petition_draft_draft (pid:XX, fid:XX, name:XX, icon_type:XX, icon_id:XX, icon_url:XX, serial_type:XX, serial_format:XX, serial_number:XX, subject:XX)
申請データ: 差し戻し	申請	重要情報	[modify] remand_petition (pid:XX, fid:XX, name:XX, icon_type:XX, icon_id:XX, icon_url:XX, serial_type:XX, serial_format:XX, serial_number:XX, subject:XX)

申請データの処理のログのプロパティ

pid: 申請 ID

pids_[1 から始まる整数]: 申請 ID

fid: 申請フォーム ID

foid: フォルダーID

add_uids_[1 から始まる整数]: 追加ユーザーID

deleted_uids_[1 から始まる整数]: 削除ユーザーID

comment: コメント

uid: ユーザーID

status: 申請状態¹

ptime: 取り消し時刻、または取り戻し時刻

¹: "5" または "6"

申請データの処理のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
申請データ	承認	重要情報	[modify] petition_accept (pid:XX, comment:XX)
	却下	重要情報	[modify] petition_reject (pid:XX, comment:XX)
	確認	重要情報	[modify] petition_confirm (pid:XX, comment:XX)
	差し戻し	重要情報	[modify] petition_remand (pid:XX, comment:XX)
	取り戻し	重要情報	[modify] petition_cancel (pid:XX, uid:XX, status:XX, comment:XX, ptime:XX)
	削除	重要情報	[delete] folder_relation_delete (foid:XX, pid:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] folder_relation_delete_multi (foid:XX[, pids_1:XX,...])
	印刷	重要情報	[print] petition_print
経路ステップ	処理者の変更	重要情報	[modify] petition_path_step_modify ([, add_uids_1:XX, ...] [, deleted_uids_1:XX,...], comment:XX)

代理人の設定のログのプロパティ

uid: ユーザーID

agent_petition_[1 から始まる整数]: 代理申請者ユーザーID

agent_approval_[1 から始まる整数]: 代理承認者ユーザーID

foreign_key: 委任者ユーザーID

agent: 代理人ユーザーID

代理人の設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
代理申請者	読み込み	重要情報	[import] agent_petition_import ([, foreign_key_1:XX...] [, agent_1:XX...])
	書き出し	重要情報	[export] agent_petition_export
代理承認者	読み込み	重要情報	[import] agent_approval_import ([, foreign_key_1:XX...] [, agent_1:XX...])
	書き出し	重要情報	[export] agent_approval_export
代理人	変更	重要情報	[modify] agent_modify (uid:XX[, agent_petition_1:XX, ...] [, agent_approval_1:XX, ...])

公開設定のログのプロパティ

cid: カテゴリーID

uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID

gids_[1 から始まる整数]: グループ ID

srids_[1 から始まる整数]: 静的ロール ID

drids_[1 から始まる整数]: 動的ロール ID

security_model: セキュリティモデル¹

authority: 権限²

¹: "grant" または "revoke"

²: "on" または "off"

公開設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
セキュリティモデル	変更	重要情報	[modify] public_model_modify (cid:XX, security_model:XX)
アクセス権	追加	重要情報	[create] public_add ([, uids_1:XX,...][, gids_1:XX,...] [, srids_1:XX,...][, drids_1:XX,...], security_modex:XX, authority:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] public_delete_multi (cid:XX[, uids_1:XX,...] [, gids_1:XX,...][, srids_1:XX,...][, drids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] public_delete_all (cid:XX)

ワークフローポートレットの設定のログのプロパティ

folder_type: 一覧の種類¹

font_size: 文字サイズ

number: 番号の表示²

status: 状況の表示²

transactor: 申請者、または処理者の表示²

time: 申請日の表示²

rows: 表示件数

¹: "2"、"3"、または "6"

²: "on" または "off"

ワークフローポートレットの設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
ポートレット	設定	重要情報	[config] portlet_set (folder_type:XX, font_size:XX, number:XX, status:XX, transactor:XX, time:XX, rows:XX)

申請フォームの項目のアクセス権に関するログのプロパティ

fid: 申請フォーム ID

iid: 項目 ID

psid: 経路ステップ ID

view: 閲覧権¹

edit: 編集権¹

¹: "on" または "off"

申請フォーム項目の項目のアクセス権に関するログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
項目のアクセス権の設定	設定	重要情報	[modify] item_access_modify (fid:XX, iid:XX, psid:XX, view:XX, edit:XX)

マルチレポート

利用ユーザーの設定のログのプロパティ

uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID

authority_cellular: ケータイの利用権限¹

ctime: 利用を許可した時刻

¹: "on" または "off"

利用ユーザーの設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
利用ユーザー	追加	重要情報	[create] availability_user_add ([, uids_1:XX,...], authority_cellular:XX, ctime:XX)
	変更	重要情報	[modify] availability_user_modify ([, uids_1:XX,...], authority_cellular:XX)
	削除	重要情報	[delete] availability_user_delete ([, uids_1:XX,...])
	一括削除	重要情報	[delete] availability_user_delete_multi ([, uids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] availability_user_delete_all

レポートフォームの一覧に関するログのプロパティ

cid: カテゴリーID

cids_[1 から始まる整数]: カテゴリーID

s_cid: 親カテゴリーID

fid: レポートフォーム ID

付録 C ログの出力仕様

fids_[1 から始まる整数]: レポートフォーム ID
 name: カテゴリー名またはフォーム名
 enable_follow: フォローの許可¹
 foreign_key: カテゴリーコードまたはレポートフォームコード
 memo: メモ
 forms_[1 から始まる整数]: レポートフォーム外部キー
 items_[1 から始まる整数]: 報告項目外部キー
 language_code: 言語コード

¹: "on" または "off"

レポートフォームの一覧に関するログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
カテゴリー	追加	重要情報	[create] category_add (cid:XX, name:XX, foreign_key:XX, memo:XX)
	変更	重要情報	[modify] category_modify (cid:XX, name:XX, foreign_key:XX, memo:XX)
	移動	重要情報	[modify] category_move (cid:XX, s_cid:XX)
	削除	重要情報	[delete] category_delete (cid:XX)
カテゴリー名	追加	重要情報	[create] category_local (cid:XXX, language_code:XXX, category_name:XXX)
	変更	重要情報	[modify] category_local (cid:XXX, language_code:XXX, prev_category_name:XXX, next_category_name:XXX)
	削除	重要情報	[delete] category_local (cid:XXX, language_code:XXX, category_name:XXX)
	CSV 読み込み	重要情報	[import] category_local (cid:XXX, language_code:XXX, category_name:XXX)
	CSV 書き出し	重要情報	[export] category_local (cid:XXX, language_code:XXX, category_name:XXX)
サブカテゴリー	順番変更	重要情報	[modify] category_order ([, cids_1:XX,...])
レポートフォーム	追加	重要情報	[create] form_add (cid:XX, fid:XX, name:XX, foreign_key:XX, enable_follow:XX, "enable_member:XX", memo:XX)
	コピー	重要情報	[create] form_copy ([, fids_1:XX,...])
	一括削除	重要情報	[delete] form_delete_multi ([, fids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] form_delete_all (cid:XX)
	XML 読み込み	重要情報	[import] form_import ([, forms_1:XX,...],[, items_1:XX,...])
	XML 書き出し	重要情報	[export] form_export
区切り線	追加	重要情報	[create] form_separator_add (cid:XX, fid:XX)
レポートフォームまたは区切り線	順番変更	重要情報	[modify] form_order (cid:XX[, fids_1:XX,...])

レポートフォームの詳細に関するプロパティ

cid: カテゴリーID
 cids_[1 から始まる整数]: カテゴリーID
 s_cid: 移動後カテゴリーID

fid: レポートフォーム ID
 admin_memo: 管理者用メモ
 name: レポートフォーム名
 foreign_key: レポートフォームコード
 enable_follow: フォローの使用¹
 memo: 説明
 active: 有効または無効フラグ²

¹: "on" または "off"

²: "active" または "deactive"

レポートフォームの詳細に関するログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
管理者用メモ	変更	重要情報	[modify] form_memo_modify (fid:XX, admin_memo:XX)
レポートフォーム情報	変更	重要情報	[modify] form_modify (fid:XX, name:XX, foreign_key:XX, enable_follow:XX, "enable_member: XX", memo:XX)
レポートフォーム	移動	重要情報	[modify] form_move (cid:XX, s_cid:XX, fid:XX)
	有効または無効	重要情報	[modify] form_activate (fid:XX, active:XX)
	削除	重要情報	[delete] form_delete (fid:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_memo_modify (fid:XX, admin_memo:XX)

レポートフォームの項目の設定に関するログのプロパティ

fid: レポートフォーム ID
 iid: 項目 ID
 iids_[1 から始まる整数]: 項目 ID
 data_type: 外部キー
 display_name: 項目名
 option_string_type: 前または後の文字配置
 option_string: 前または後に配置する文字列
 description_editor: 説明の書式¹
 description: 説明
 description_type: 説明のアイコン表示²
 size: 入力幅
 max_input_size: 最大入力文字数
 input_chars: 入力文字制限³
 initial_type:

- 「文字列(1行)」項目の初期値設定⁴
- 「日付」項目の日付の初期値⁵
- 「時刻」項目の時刻の初期値⁶

 initial_text_value: 手入力初期値
 initial_user_value: ユーザー情報
 required: 必須入力⁷
 col_size: 桁
 row_size: 行

initial_value: 初期値かチェックボックスの初期設定⁸
menu_items_[1 から始まる整数]: メニュー内容
menu_item_type: メニュー項目タイプ⁹
radio_items_[1 から始まる整数]: ラジオ内容
input_numbers: 入力値制限¹⁰
effective_figures: 小数点以下の有効桁数
minus_type: マイナス値の表示方法
right_align: 右寄せ表示¹¹
split_rank: 桁区切り表示¹²
max_input_number: 最大値
min_input_number: 最小値
initial_year: 年
initial_month: 月
initial_day: 日
initial_hour: 時
initial_minute: 分
unit: 時間の単位
max_files: 最大ファイル数
inline: ファイル表示¹³
thumbnail: イメージの縮小表示¹⁴
thumbnail_xsize: 幅
cid: カテゴリーID
uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID
gids_[1 から始まる整数]: グループ ID
srids_[1 から始まる整数]: 静的ロール ID
drids_[1 から始まる整数]: 動的ロール ID
security_model: セキュリティモデル¹⁵
authority: 権限¹⁶

¹: "text" または "edit"

²: "icon" または "not_icon"

³: "full"、"half"、または "no_limit"

⁴: "manual_input" または "user_info"

⁵: "now_date"、"specific_date"、または "blank_date"

⁶: "now_time"、"specific_time"、または "blank_time"

⁷: "required" または "not_required"

⁸: "checked" または "not_checked"

⁹: "0" または "1"

¹⁰: "limit" または "no_limit"

¹¹: "right_align" または "not_right_align"

¹²: "split_rank" または "not_split_rank"

¹³: "inline" または "not_inline"

¹⁴: "thumbnail" または "not_thumbnail"

¹⁵: "grant" または "revoke"

¹⁶: "on" または "off"

レポートフォームの項目の設定に関するログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
文字列(1行)	追加	重要情報	[create] form_layout_string_single_add (fid:XX, iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, size:XX, max_input_size:XX, input_chars:XX, initial_type:XX, initial_text_value:XX, initial_user_value:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_string_single_modify (iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, size:XX, max_input_size:XX, input_chars:XX, initial_type:XX, initial_text_value:XX, initial_user_value:XX, required:XX)
文字列(複数行)	追加	重要情報	[create] form_layout_string_multiple_add (fid:XX, iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, col_size:XX, row_size:XX, initial_value:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_string_multiple_modify (iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, col_size:XX, row_size:XX, initial_value:XX, required:XX)
メニュー	追加	重要情報	[create] form_layout_menu_string_add (fid:XX, iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, menu_items:'XX ...', initial_value:XX, menu_item_type:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_menu_string_modify (iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, menu_items:'XX ...', initial_value:XX, menu_item_type:XX, required:XX)
ラジオボタン	追加	重要情報	[create] form_layout_radio_add (fid:XX, iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, radio_items:'XX ...', initial_value:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_radio_modify (iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, radio_items:'XX ...', initial_value:XX, required:XX)
チェックボックス	追加	重要情報	[create] form_layout_checkbox_add (fid:XX, iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, initial_value:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_checkbox_modify (iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, initial_value:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
数値	追加	重要情報	[create] form_layout_numeric_add (fid:XX, iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, input_numbers:XX, initial_value:XX, effective_figures:XX, minus_type:XX, right_align:XX, split_rank:XX, max_input_number:XX, min_input_number:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_numeric_modify (iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, input_numbers:XX, initial_value:XX, effective_figures:XX, minus_type:XX, right_align:XX, split_rank:XX, max_input_number:XX, min_input_number:XX, required:XX)
日付	追加	重要情報	[create] form_layout_date_add (fid:XX, iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, initial_type:XX, initial_year:XX, initial_month:XX, initial_day:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_date_modify (iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, initial_type:XX, initial_year:XX, initial_month:XX, initial_day:XX, required:XX)
時刻	追加	重要情報	[create] form_layout_time_add (fid:XX, iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, unit:XX, initial_type:XX, initial_hour:XX, initial_minute:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_time_modify (iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, initial_type:XX, initial_hour:XX, initial_minute:XX, required:XX)
ファイル添付	追加	重要情報	[create] form_layout_file_add (fid:XX, iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, max_files:XX, inline:XX, thumbnail:XX, thumbnail_xsize:XX, thumbnail_ysize:XX, required:XX)
	変更	重要情報	[modify] form_layout_file_modify (iid:XX, data_type:XX, display_name:XX, option_string_type:XX, option_string:XX, description_editor:XX, description:XX, description_type:XX, max_files:XX, inline:XX, thumbnail:XX, thumbnail_xsize:XX, thumbnail_ysize:XX, required:XX)
空行	追加	重要情報	[create] formlayout_blank_add (fid:XX, iid:XX)
項目	削除	重要情報	[delete] form_layout_delete (iid:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] form_layout_delete_multi ([, iids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] form_layout_delete_all (fid:XX)
	コピー	重要情報	[create] form_layout_copy (fid:XX[, iids_1:XX,...])
	順番変更	重要情報	[modify] formlayout_order (fid:XX[, iids_1:XX,...])

アクセス権の設定のログのプロパティ

cid: カテゴリーID

uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID

gids_[1 から始まる整数]: グループ ID

srids_[1 から始まる整数]: 静的ロール ID

drids_[1 から始まる整数]: 動的ロール ID

security_model: セキュリティモデル¹

authority: 権限²

¹: "grant" または "revoke"

²: "on" または "off"

アクセス権の設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
セキュリティモデル	変更	重要情報	[modify] access_model_modify (cid:XX, ecurity_model)
アクセス権	追加	重要情報	[create] access_add (cid:XX[, uids_1:XX,...] [, gids_1:XX,...][, srids_1:XX,...][, drids_1:XX,...], security_model:XX, authority:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] access_delete_multi (cid:XX[, uids_1:XX,...] [, gids_1:XX,...][, srids_1:XX,...][, drids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] access_delete_all (cid:XX)

絞込の設定のログのプロパティ

cid: カテゴリーID

fid: 絞込 ID

name: 絞込名

and_or: 絞込条件¹

¹: "and" または "or"

絞込の設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
絞込	作成	重要情報	[create] filter_add (fid:XX, name:XX, and_or:XX)
	変更	重要情報	[modify] filter_modify (fid:XX, name:XX, and_or:XX)
	コピー	重要情報	[create] filter_copy ([, fids_1:XX,...])
	削除	重要情報	[delete] filter_delete (fid:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] filter_delete_multi ([, fids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] filter_delete_all (cid:XX)

絞込条件の設定のログのプロパティ

cid: 絞込条件 ID

fid: 絞込 ID

type: 絞込種類¹

number: 比較の基準となる数値

text: 絞込文字列

condition: 絞込条件²

¹: 文字列は次のとおりです。

- "form_name": フォーム名
- "title": 標題
- "date": 作成日
- "creator": 作成者
- "item": 項目
- "follow": フォロー

²: 絞込条件は次のとおりです。

- "include": を含む
- "not_include": を含まない
- "equal": と同じ
- "not_equal": と異なる
- "start": から始まる
- "end": で終わる
- "after": 以降
- "before": 以前
- "bigger": より大きい
- "and_over": 以上
- "smaller": より小さい
- "or_less": 以下

絞込条件の設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
絞込条件	作成	重要情報	[create] filtercondition_add (fid:XX, cid:XX[, type:XX] [, number:XX][, text:XX][, condition:XX])
	変更	重要情報	[modify] filtercondition_modify (fid:XX, cid:XX[, type:XX] [, number:XX][, text:XX][, condition:XX])
	削除	重要情報	[delete] filtercondition_delete (fid:XX, cid:XX)

運用管理権限の設定のログのプロパティー

cid: カテゴリーID

uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID

gids_[1 から始まる整数]: グループ ID

srids_[1 から始まる整数]: 静的ロール ID

drids_[1 から始まる整数]: 動的ロール ID

tids_[1 から始まる整数]: ターゲット ID

target_types: ターゲットタイプ¹

¹: "user"、"group"、"static_role"、または"dynamic_role"

運用管理権限の設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
運用管理権限	追加	重要情報	[create] privilege_add ([, uids_1:XX,...][, gids_1:XX,...] [, srids_1:XX,...][, drids_1:XX,...])
	一括削除	重要情報	[delete] privilege_delete_multi (cid:XX[, uids_1:XX,...] [, gids_1:XX,...][, srids_1:XX,...][, drids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] privilege_delete_all (cid:XX)

レポートの管理のログのプロパティ

fid: レポートフォーム ID

rid: 報告 ID

rids_[1 から始まる整数]: 報告 ID

uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID

add_uids_[1 から始まる整数]: 追加ユーザーID

deleted_uids_[1 から始まる整数]: 削除ユーザーID

レポートの管理のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
レポート	削除	重要情報	[delete] report_delete (rid:XX)
	一括削除	重要情報	[delete] report_delete_multi ([, rids_1:XX,...])
	全削除	重要情報	[delete] report_delete_all (fid:XX)

CSV ファイルの読み込みと書き出しのログのプロパティ

cid: カテゴリーコード

uids_[1 から始まる整数]: ユーザーID

parent_foreign_key: 親カテゴリーキー

foreign_key: カテゴリーキー

name または category_name: カテゴリー名

languageCode: 言語コード

memo: メモ

item: ロール

value: セキュリティモデル

name: ロール名

authority_cellular: ケータイの利用制限¹

ctime: 利用許可時刻

¹: "1" または "0"

CSV ファイルの読み込みと書き出しのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
カテゴリー	読み込み	重要情報	[import] category_import ([, parent_foreign_key_1:XX...][, foreign_key_1:XX...][, name_1:XX...][, memo_1:XX...])
	書き出し	重要情報	[export] category_export

対象	操作	深刻度	出力仕様
カテゴリー名	読み込み	重要情報	[import] category_local (cid:XX, languageCode:XX, category_name:XX)
	書き出し	重要情報	[export] category_local (cid:XX, languageCode:XX, category_name:XX)
アクセス権	読み込み	重要情報	[import] category_accesses_import ([, foreign_key_1:XX...][, item_1:XX...][, value_1:XX...][, name_1:XX...])
	書き出し	重要情報	[export] category_accesses_export
利用ユーザー	読み込み	重要情報	[import] availability_user_import ([, uids_1:XX...][, authority_cellular_1:XX...], ctime:XX)
	書き出し	重要情報	[export] availability_user_export

レポートの操作のログのプロパティ

レポート

rid: 報告 ID

uid: ユーザーID

fid: レポートフォーム ID

file_id: ファイル ID

name: レポートフォーム名

subject: 標題

private: 参加者と通知先のユーザー以外には非公開とする¹

フォロー

rid: 報告 ID

uid: ユーザーID

file_id: ファイル ID

follow_id: フォローID

version: 添付ファイルのバージョン

name: 添付ファイルの名前

¹: "private"(非公開) または "public"(公開)

レポートの操作のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
レポート	削除	重要情報	[create] report_add (rid:XX, fid:XX, name:XX, subject:XX, private:XX)
	変更	重要情報	[modify] report_modify (rid:XX, fid:XX, name:XX, subject:XX, private:XX)
	削除	重要情報	[delete] report_delete (rid:XX)
	閲覧	一般情報	[browse] report_browse (rid:XX, uid:XX)
再利用されたレポート	作成	重要情報	[create] report_reuse (rid:XX, fid:XX, name:XX, subject:XX, private:XX)
下書きのレポート	作成	重要情報	[create] report_draft_add (rid:XX, fid:XX, name:XX, subject:XX, private:XX)
	変更	重要情報	[modify] report_draft_modify (rid:XX, fid:XX, name:XX, subject:XX, private:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
	削除	重要情報	[delete] report_draft_delete (rid:XX)
フォロー	書き込み	重要情報	[create] follow_add (rid:XX, follow_id:XX, uid:XX)
	削除	重要情報	[delete] follow_delete (rid:XX, follow_id:XX)

レポートポートレットの設定のログのプロパティ

display_type: 一覧の種類¹

fid: 絞込 ID

font_size: 文字サイズ

creator: 作成者の表示

mtime: 更新日時を表示²

rows: 表示件数

¹: "receive", "send", "draft", "all", または "filter"

²: "on" または "off"

レポートポートレットの設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
ポートレット	設定	重要情報	[config] portlet_set (display_type:XX, fid:XX, font_size:XX, creator:XX, mtime:XX, rows:XX)

全文検索

システム設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
パスワード	更新	重要情報	[change] password

全文検索サーバーとの通信のログのプロパティ

product_id: プロダクト ID

url: 検索 URL

setting_url: 設定 URL

ip: IP アドレス

move: 検索対象製品の URL 変更¹

¹: 0(変更していない)または 1(変更した)

全文検索サーバーとの通信のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
全文検索サーバー	製品登録リクエスト受信	重要情報	[initialize] server (product_id:XX, url:XX, setting_url:XX, ip:XX, move:XX)
	登録変更リクエスト受信	重要情報	[modify] server (product_id:XX, url:XX, setting_url:XX, ip:XX, move:XX)

対象	操作	深刻度	出力仕様
	製品削除リクエスト受信	重要情報	[delete] server (product_id:XX)

検索時のエラーのログのプロパティ

fault_code: エラーコード

fault_string: エラーメッセージ

cause_string: 原因

guide_string: 対策

検索時のエラーのログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
全文検索サーバー	検索実行エラー	エラー	search_server_error (fault_code:XX, fault_string:XX, cause_string:XX, guide_string:XX)

ケータイ

ケータイの設定のログのプロパティ

uid: ユーザーID

ケータイの設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
利用ユーザー	登録	重要情報	[create] availability_user (uid:XX)
	削除	重要情報	[delete] availability_user (uid:XX)
	全削除	重要情報	[delete_all] availability_user
	CSV 読み込み	重要情報	[import] availability_user
	CSV 書き出し	重要情報	[export] availability_user

個人設定

パスワードの設定のログのプロパティ

uid: ユーザーID

name: ユーザー名

account: ログイン名

パスワードの設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
パスワード	変更	重要情報	[change] password (uid:XX, name:XX, account:XX)

My グループの設定のログのプロパティ

Id または mgid: My グループ ID
 owner: 作成ユーザーID
 name: My グループ名
 memo: メモ
 mgids: My グループ ID(複数)
 uids: ユーザーID(複数)

My グループの設定のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
My グループ	追加	重要情報	[create] mygroup (id:XX, owner:XX, name:XX[,memo:XX])
	変更	重要情報	[modify] mygroup (id:XX, owner:XX, name:XX[,memo:XX])
	削除	重要情報	[delete] mygroup (id:XX, owner:XX, name:XX[,memo:XX])
	順番変更	重要情報	[order] mygroup (mgids:'XX, XX, XX')
	ユーザー追加	重要情報	[user_assign] mygroup (mgid:XX, uids:'XX, XX, XX')

コマンドライン

コマンドラインによる操作のログのプロパティ

mid: メッセージ ID
 aid: 掲示 ID
 fid: フォローID
 subject: 件名
 data: 内容
 file_name_[1 から始まる整数]: 添付ファイル名
 receiver_name_[1 から始まる整数]: 受取人ユーザー名
 before_date: 削除する基準となる日付

コマンドラインによる操作のログ

対象	操作	深刻度	出力仕様
予定	削除	重要情報	[delete_all] command_line_delete_event (before_date:XX)
メッセージ	削除	重要情報	[delete] message (mid:XX, creator_name:XX, subject:XX, data:XX, file_name_1:XX, receiver_name_1:XX)
掲示	削除	重要情報	[delete] article (aid:XX, subject:XX)
添付ファイル	削除	重要情報	[delete] file (aid:XX, fid:XX)

付録D データ入力仕様

データの種類や入力文字の制限値など、ガルーンの画面で入力するデータの仕様は次のとおりです。

基本システム

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
お客様情報	法人名	文字列(1行)	100			
	法人名(よみ)	文字列(1行)	100			
	ロゴ(URL)	文字列(1行)	255			
アプリケーション	新しい名称	文字列(1行)	100	○		
ユーザー	名前-標準	文字列(1行)	100	○		
	名前-英語表記	文字列(1行)	100			英語表記の入力欄を使用する場合
	ログイン名	文字列(1行)	100	○	○	
	パスワード	文字列(1行)	64			
	パスワード(確認)	文字列(1行)	64			
	表示優先度	文字列(1行)	8			入力文字制約: 8桁までの数値 ・最小値:0 ・最大値:99999999
	よみ	文字列(1行)	100			
	在席情報	文字列(1行)	100			
	E-mail	文字列(1行)	100			
	メモ	文字列(複数行)	65535			1
	役職	文字列(1行)	100			
	連絡先	文字列(1行)	100			
	URL	文字列(1行)	255			
組織	組織名-標準	文字列(1行)	100	○		
	組織名-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	組織コード	文字列(1行)	100	○	○	
	メモ	文字列(複数行)	65535			1
ロール	ロール名	文字列(1行)	100	○	○	
	メモ	文字列(複数行)	65535			1
ユーザー情報 カスタマイズ項目	項目名	文字列(1行)	100	○		
	項目コード	文字列(1行)	100	○	○	入力文字制約: 入力可能な文字 ・半角英数字 ・_(アンダーバー)
	項目-文字列(1行)	文字列(1行)	100			
	項目-URL	文字列(1行)	255			
	項目-画像URL	文字列(1行)	255			
	項目-E-mail	文字列(1行)	100			
	項目-IP電話	文字列(1行)	100			
	項目-パスワード	文字列(1行)	64			
ログイン認証-	表示名	文字列(1行)	100	○		

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
環境変数認証	環境変数名	文字列(1行)	100	○		
	この文字列までを除 外して認証	文字列(1行)	100			
	この文字列以降を除 外して認証	文字列(1行)	100			
ログイン認証- 標準認証	表示名	文字列(1行)		○		
セッション認証- オープン統合認 証 ver.2、また はサイボウズ共 通認証	表示名	文字列(1行)	100	○		
	Cookie 名	文字列(1行)	100	○		
	認証パスワード	文字列(1行)	64	○		
	認証パスワード(確 認用)	文字列(1行)	64	○		
セッション認証- 環境認証	発行ドメイン	文字列(1行)	100			
	表示名	文字列(1行)	100	○		
	環境変数名	文字列(1行)	100	○		
	プレフィックス	文字列(1行)	100			
セッション認証- オープン統合認 証 ver.1	サフィックス	文字列(1行)	100			
	表示名	文字列(1行)	100	○		
	統合認証パスワード	文字列(1行)	64	○		
	認証統合パスワード (確認用)	文字列(1行)	64	○		
	Cookie 発行ドメイン	文字列(1行)	100			
セッション認証- 標準認証	Cookie 発行パス	文字列(1行)	100			
	表示名	文字列(1行)	100	○		
認証データベー ス	表示名	文字列(1行)	100	○		
	サーバー名	文字列(1行)	100	○		
	ポート番号	文字列(1行)	100	○		入力文字制約: 数値
	アカウント名	文字列(1行)	100	○		
	パスワード	文字列(1行)	64	○		
	パスワード(確認用)	文字列(1行)	64	○		
	検索基点 DN	文字列(1行)	100	○		
	検索フィルター	文字列(1行)	100	○		
シングルサイン オン-システム	表示名	文字列(1行)	100	○		
	システムの URL	文字列(1行)	255	○		入力文字制約: URL
	項目-変数名	文字列(1行)	100			
	項目-初期値	文字列(1行)	100			
シングルサイン オン-個人設定	項目-変数名	文字列(1行)	100			
	項目-初期値	文字列(1行)	100			
MIME タイプ	拡張子	文字列(1行)	100	○		
	MIME タイプ	文字列(1行)	100	○		
アプリケーション メニュー	アプリケーション内 へのリンク-タイトル- 標準	文字列(1行)	100	○		
	アプリケーション内 へのリンク-表示名	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	任意の URL へのリ ンク-タイトル-標準	文字列(1行)	100	○		

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
	任意の URL へのリンク-タイトル-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	任意の URL へのリンク-URL	文字列(1行)	255	○		
	任意の URL へのリンク-アイコンの URL	文字列(1行)	255			
始めるメニュー	タイトル-標準	文字列(1行)	100	○		
	タイトル-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	URL	文字列(1行)	255			
Web メール	タイトル	文字列(1行)	100	○		
	URL	文字列(1行)	1024	○		
カレンダー	カレンダー名	文字列(1行)	100	○		¹
	イベント	文字列(複数行)	65535	○		
ライセンス	お客様番号	文字列(1行)	6	○		
	ライセンスキー	文字列(1行)	5	○		
システムメールアカウント	送信メールサーバー名	文字列(1行)	100	○		
	送信メールサーバーポート番号	文字列(1行)	100	○		入力文字制約: 数値
	E-mail	文字列(1行)	100	○		
Web プロキシの設定	プロキシサーバー名	文字列(1行)	100	○		
	プロキシサーバーポート番号	文字列(1行)	100	○		入力文字制約: 数値
	例外アドレス	文字列(複数行)	100			
拠点の設定	拠点名-標準	文字列(1行)	100	○		
	拠点名-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	拠点コード	文字列(1行)	100	○	○	
ロケールの設定	ロケール名-標準	文字列(1行)	100	○		
	ロケール名-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する
	ロケールコード	文字列(1行)	100	○	○	

○: 必須、またはユニーク制約の対象

¹: 1 バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

アプリケーション

ポータル

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
システムポータル	ポータル名-標準	文字列(1行)	100	○		
	ポータル名-各言語	文字列(1行)	100			
	ポートレットグループ名	文字列(1行)	100	○		
	最初に表示するポータル	メニュー				
	ポータルの表示順	メニュー				
My ポータル	My ポータル名	文字列(1行)	100	○		

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
	My ポートレットグループ名	文字列(1行)	100	○		
	My ポータルが表示順	メニュー				
ポートレット-運用管理	表示名	文字列(1行)	100			

○:必須、またはユニーク制約の対象

¹:1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

ポートレット

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
HTML ポートレット-システム	ポートレット名-標準	文字列(1行)	100	○		
	HTML ポートレット名-各言語	文字列(複数行)	100			表示名を追加する場合
	グループ	メニュー				
	My ポータル	チェックボックス				
	ポートレットの内容	文字列(複数行)	4294967295	○		¹
	テキスト	ラジオボタン				
	書式編集	ラジオボタン				
HTML ポートレット-運用管理	ポートレット名-標準	文字列(1行)	100	○		
	ポートレット名-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	グループ	メニュー				
	My ポータル	チェックボックス				
	ポートレットの内容	文字列(複数行)	4294967295	○		¹
	テキスト	ラジオボタン				
	書式編集	ラジオボタン				
HTML ポートレット-個人	ポートレット名	文字列(1行)	100	○		
	グループ	メニュー				
	ポートレットの内容	文字列(複数行)	4294967295	○		¹
	テキスト	ラジオボタン				
	書式編集	ラジオボタン				
PHP ポートレット-システム	ポートレット名-標準	文字列(1行)	100	○		
	ポートレット名-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	My ポータル	チェックボックス				
	グループ	メニュー				
	ポートレットの内容	文字列(複数行)	4294967295	○		¹
	テキスト	ラジオボタン				
	書式編集	ラジオボタン				
アプリケーションメニューポートレット	文字サイズ	メニュー				
	折り返し	チェックボックス				
	折り返す回数	メニュー				
	形式	ラジオボタン				
お知らせポートレット	テキスト	ラジオボタン				
	書式編集	ラジオボタン				

付録 D データ入力仕様

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
	内容	文字列(複数行)	65000			1
カレンダーポ レット	文字サイズ					
	使用するシステム カレンダー					
	カレンダーの表示 形式					
	日曜日の表示					
	六曜					
	天気予報					

○: 必須、またはユニーク制約の対象

¹: 1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

スペース

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
カテゴリー	タイトル-標準	文字列(1行)	100	○		
	タイトル-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	カテゴリーコード	文字列(1行)	100	○	○	¹
	メモ	文字列(複数行)	65535			²
スペース	スペース名	文字列(1行)	100			
	メンバー	メニュー				
	メモ	文字列(複数行)	65535			²
ディスカッション	タイトル	文字列(1行)	100	○		
	本文	文字列(複数行)	65535			²
	メモ	文字列(複数行)	65535			²
共有 ToDo	ToDo 名	文字列(1行)	100	○		
	メモ	文字列(複数行)	65535			²
ディスカッション 検索	検索文字列	文字列(1行)	100			

○: 必須、またはユニーク制約の対象

¹: 1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

²: 初期値は、ガルーンが自動的に設定したコードです。

リンク集

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
共有リンク	タイトル	文字列(1行)	100	○		
	URL	文字列(1行)	255	○		
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹
	共有リンクと区切り 線の順番変更	メニュー				
	シングルサインオン	メニュー				
個人リンク	タイトル	文字列(1行)	100	○		
	URL	文字列(1行)	255	○		
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹
	リンクと区切り線の 順番変更	メニュー				

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
共有カテゴリー	タイトル-標準	文字列(1行)	100	○		
	タイトル-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	カテゴリーコード	文字列(1行)	100	○	○	
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹
	サブカテゴリーの順番変更	メニュー				
個人カテゴリー	タイトル	文字列(1行)	100	○		
	カテゴリーコード	文字列(1行)	100	○	○	
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹
	サブカテゴリーの順番変更	メニュー				
リンク集検索	検索文字列	文字列(1行)	100			
リンク集ポートレットの設定	文字サイズ	メニュー				
	表示列数	メニュー				
	カテゴリー		65535			¹
	共有または個人	ラジオボタン				
	カテゴリー検索	文字列(1行)				

○: 必須、またはユニーク制約の対象

¹: 1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

スケジュール

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
予定	タイトル-メニュー	メニュー	100			
	タイトル	文字列(1行)	100			
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹
	会社名	文字列(1行)	100			
	郵便番号	文字列(1行)	100			
	住所	文字列(1行)	65535			¹
	路線-経路	文字列(1行)	65535			¹
	路線-所要時間	文字列(1行)	100			
	路線-運賃	文字列(1行)	100			
	会社電話番号	文字列(1行)	100			
	ユーザー検索	文字列(1行)	45			
	フォロー	文字列(複数行)	65535			¹
施設予約情報の カスタマイズ項目	項目名	文字列(1行)	100	○		
	項目コード	文字列(1行)	100	○	○	
	項目-文字列(1行)	文字列(1行)	100			
	項目- 文字列(複数行)	文字列(複数行)	65535			¹
	項目-メニュー	文字列(複数行)	65535			¹
施設	施設名-標準	文字列(1行)	100	○		
	施設名-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	施設コード	文字列(1行)	100	○	○	
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹
	V-CUBE ミーティング連携	チェックボックス				V-CUBE ミーティング連携を使用する場合

付録 D データ入力仕様

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
	参加可能ユーザー数の上限	文字列(1行)	3			V-CUBE ミーティング連携を使用する場合
施設グループ	施設グループ名-標準	文字列(1行)	100	○	○	
	施設グループ名-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	施設グループコード	文字列(1行)	100		○	²
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹
スケジュール検索	検索文字列	文字列(1行)	100			
予定メニューの設定	予定メニュー	文字列(複数行)	65535			¹
予定メニュー連携	内容	文字列(複数行)	65535			¹
V-CUBE ミーティング連携の設定	連携	チェックボックス				
	招待 URL の表示	チェックボックス				
	招待 URL の E-mail 通知	チェックボックス				
	外部招待者入力欄表示行数	文字列(1行)	3			上限値:100
	V-CUBE ミーティング URL	文字列(1行)	255			³
	ログイン ID	文字列(1行)	100			³
	パスワード	文字列(1行)	64			³
予定の通知のメール転送-個人設定	メールアドレス	文字列(1行)	100			通知を受け取るメールアドレス

○:必須、またはユニーク制約の対象

¹:1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

²:何も入力しないと、自動的にコード(「(施設グループ名)_code」)が設定されます。

³:V-CUBE ミーティング連携の試用または購入を申し込んだときに指定された値を設定します。

メッセージ

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
フォルダー	フォルダー名	文字列(1行)	100	○		
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹
メッセージ	標題	文字列(1行)	100	○		
	本文	文字列(複数行)	4294967295			¹
	フォロー	文字列(複数行)	4294967295			¹
	ユーザー検索	文字列(1行)	45			メッセージの作成時に使用
メッセージ検索-ユーザー		文字列(1行)	100			
メッセージ検索-システム管理		文字列(1行)	100			
振り分け保存の設定	振り分け保存設定名	文字列(1行)	100	○		

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
	振り分け条件	文字列(1行)	100			

○: 必須、またはユニーク制約の対象

¹: 1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

掲示板

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
カテゴリー	タイトル-標準	文字列(1行)	100	○		
	イトル-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	カテゴリーコード	文字列(1行)	100	○	○	¹
	メモ	文字列(複数行)	65535			²
掲示	タイトル	文字列(1行)	100	○		
	本文	文字列(複数行)	4294967295			²
	フォロー	文字列(複数行)	4294967295			²
掲示板検索	検索文字列	文字列(1行)	100			

○: 必須、またはユニーク制約の対象

¹: 初期値は、ガルーンが自動的に設定したコードです。

²: 1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

ファイル管理

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
フォルダー	タイトル-標準	文字列(1行)	100	○		
	タイトル-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	フォルダーコード	文字列(1行)	100	○	○	¹
	メモ	文字列(複数行)	65535			²
ファイル	タイトル	文字列(1行)	100			
	ファイルの説明	文字列(複数行)	65535			²
	更新コメント	文字列(複数行)	65535			²
ファイル管理検索	検索文字列	文字列(1行)	100			

○: 必須、またはユニーク制約の対象

¹: 初期値は、ガルーンが自動的に設定したコードです。

²: 1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

メモ

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
メモ	タイトル	文字列(1行)	100			
	本文	文字列(複数行)	4294967295			¹
ファイル	タイトル	文字列(1行)	100			
	ファイルの説明	文字列(複数行)	65535			¹
	更新コメント	文字列(複数行)	65535			¹
フォルダー	タイトル	文字列(1行)	100	○		
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹
メモ検索	検索文字列	文字列(1行)	100			

○: 必須、またはユニーク制約の対象

付録 D データ入力仕様

¹:1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

電話メモ

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
電話メモ	依頼主	文字列(1行)	100			
	電話番号	文字列(1行)	100			
	伝言	文字列(複数行)	65535			¹
	検索文字列	文字列(1行)	100			
メール転送の設定	メールアドレス	文字列(1行)	100			電話メモを受け取るメールアドレス

¹:1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

タイムカード

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
タイムカード	備考	文字列(1行)	100			

ToDo リスト

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
ToDo	ToDo 名	文字列(1行)	100	○		
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹
カテゴリー	カテゴリー名	文字列(複数行)	255	○		

○:必須、またはユニーク制約の対象

¹:1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

アドレス帳

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
アドレス	標題	文字列(1行)	100	○		
	個人名-姓	文字列(1行)	100			
	個人名-名	文字列(1行)	100			
	個人名-姓-よみ	文字列(1行)	100			
	個人名-名-よみ	文字列(1行)	100			
	会社名	文字列(1行)	100			
	会社名-よみ	文字列(1行)	100			
	部課名	文字列(1行)	100			
	郵便番号	文字列(1行)	100			
	住所	文字列(1行)	4096			
	路線-経路	文字列(1行)	100			
	路線-所要時間	文字列(1行)	100			
	路線-運賃	文字列(1行)	100			
	会社電話番号	文字列(1行)	100			
	会社 FAX 番号	文字列(1行)	100			
URL	文字列(1行)	100				

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
	役職名	文字列(1行)	100			
	個人電話番号	文字列(1行)	100			
	E-mail	文字列(1行)	100			
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹
My アドレスグループ	My アドレスグループ名	文字列(1行)	100	○		
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹
ブック	ブック-標準	文字列(1行)	100	○		
	ブック-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	ブックコード	文字列(1行)	100	○	○	
アドレス帳検索	検索文字列	文字列(1行)	100			
カスタマイズ項目	項目名	文字列(1行)	100	○		
	項目コード	文字列(1行)	100	○	○	
	項目-文字列(1行)	文字列(1行)	100			
	項目-文字列(複数行)	文字列(複数行)	65535			¹
	項目-URL	文字列(1行)	255			
	項目-路線 URL	文字列(1行)	255			
	項目-E-mail	文字列(1行)	100			
	項目-IP 電話	文字列(1行)	100			

○: 必須、またはユニーク制約の対象

¹: 1 バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

メール

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
メールサーバー	メールサーバーコード	文字列(1行)	100	○	○	
	メールサーバーの名称	文字列(1行)	100	○		
	送信メールサーバー名	文字列(1行)	100	○		
	送信メールサーバーポート番号	文字列(1行)	100	○		入力文字制約: 数値
	受信メールサーバー名	文字列(1行)	100	○		
	受信メールサーバーポート番号	文字列(1行)	100	○		入力文字制約: 数値
ユーザーアカウント	ユーザーアカウントコード	文字列(1行)	100	○	○	
	ユーザーアカウント名	文字列(1行)	100			
	E-mail	文字列(1行)	100	○		
	受信メールアカウント	文字列(1行)	100	○		
	受信メールパスワード	文字列(1行)	64			

付録 D データ入力仕様

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
	送信メールアカウント	文字列(1行)	100	○		
	送信メールパスワード	文字列(1行)	64			
	ユーザー検索- ユーザーアカウント	文字列(1行)	100			
メール	To	文字列(1行)	65535			1
	Cc	文字列(1行)	65535			1
	Bcc	文字列(1行)	65535			1
	標題	文字列(1行)	255			
	本文	文字列(複数行)	4294967295			1
	署名		65535			1
フォルダー	タイトル	文字列(1行)	100	○		
	メモ	文字列(複数行)	65535			1
メール検索- ユーザー	検索文字列	文字列(1行)	100			
メール検索- システム管理	検索文字列	文字列(1行)	100			
署名	名称	文字列(1行)	100	○		
	内容	文字列(複数行)	65535			1
送信情報の設定	From行に表記する 名前	文字列(1行)	100			
振り分け保存の 設定	振り分け保存設定 名	文字列(1行)	100	○		
	振り分け条件	文字列(1行)	100			

○:必須、またはユニーク制約の対象

¹:1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

ワークフロー

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
共有経路、または 専用経路	経路名	文字列(1行)	100	○		
	経路コード	文字列(1行)	100	○	○	
	経路の説明	文字列(複数行)	65535			
	経路の説明タイプ	ラジオボタン				初期値:テキスト
	説明をアイコン表 示にする	チェックボックス				初期値:無効
管理者メモ	管理者用メモ	文字列(複数行)	65535			
経路ステップ-承 認	経路種別	ラジオボタン				・承認(全員) ・承認(誰か1人) 初期値:承認(全員)
経路ステップ-承 認、または回覧	経路ステップ名	文字列(1行)	100	○		
	経路変更の許可	チェックボックス				初期値:無効
	申請者の初期値変 更の許可	チェックボックス				初期値:有効
共有経路の読み 込み	ファイル	ファイル		○		
カテゴリー	タイトル-標準	文字列(1行)	100	○		

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
	タイトル-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	カテゴリコード	文字列(1行)	100	○	○	
	メモ	文字列(複数行)	65535			
申請フォーム	申請フォーム名	文字列(1行)	100	○		
	申請フォームコード	文字列(1行)	100	○	○	
	説明	文字列(複数行)	65535			
	申請フォームのアイコン	ラジオボタン		○		
	アイコンの URL 指定	文字列(1行)	255			
	申請番号形式	ラジオボタン				
	申請番号書式	文字列(1行)	100			<ul style="list-style-type: none"> ・全申請フォームで共通の申請番号を使用する ・申請フォームごとの申請番号を使用する ・申請番号を使用しない 初期値:全申請フォームで共通の申請番号を使用する
項目-項目タイプ 共通	タイプ	メニュー				<ul style="list-style-type: none"> ・文字列(1行) ・文字列(複数行) ・メニュー ・ラジオボタン ・チェックボックス ・数値 ・自動計算 ・日付 ・ファイル添付 ・路線ナビ連携 初期値:文字列(1行)
	項目名	文字列(1行)	100	○		
	説明タイプ	ラジオボタン				<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト ・書式編集 初期値:テキスト
	説明	文字列(複数行)	65535			1
	アイコンで表示する	チェックボックス				初期値:無効
	必須項目にする	チェックボックス				初期値:無効
	入力欄の前/後の文字	文字列(1行)	100			
	入力欄の前/後の文字-右隣に配置する	メニュー				<ul style="list-style-type: none"> ・配置しない ・前に配置 ・後に配置 初期値:配置しない
	直前の項目につづけて、右隣に配置する	チェックボックス				初期値:無効
セパレーター	文字列(1行)	100				
項目-文字列(1行)	入力幅	文字列(1行)	100	○		入力文字制約:数値
	最大入力文字数	文字列(1行)	100			入力文字制約:数値

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
	入力文字制限	ラジオボタン				・制限なし ・全角のみ ・半角のみ 初期値:制限なし
	初期値	ラジオボタン				・直接入力 ・ユーザー情報 初期値:直接入力
	直接入力	文字列(1行)				
	ユーザー情報	メニュー				・ユーザー:ID ・ユーザー:名前 ・ユーザー:ログイン名 ・ユーザー:よみ ・ユーザー:E-mail ・ユーザー:連絡先 ・ユーザー:URL ・ユーザー:メモ ・ユーザー:役職 初期値:ユーザー:ID
項目-文字列(複数行)	サイズ-桁	文字列(1行)	100	○		入力文字制約:数値 初期値:40
	サイズ-行	文字列(1行)	100	○		入力文字制約:数値 初期値:3
	初期値	文字列(複数行)	65535			1
項目-メニュー	メニュー項目	ラジオボタン				・直接入力 ・所属する組織 初期値:直接入力
	直接入力	文字列(複数行)	65535			1
	初期値	文字列(1行)	100			
項目-ラジオボタン	ラジオ項目	文字列(複数行)	65535			1
	初期値	文字列(1行)	100			
項目-チェックボックス	初期値	チェックボックス				初期値:無効
項目-数値	入力値制限	ラジオボタン				・制限なし ・制限あり 初期値:制限なし
	最大値	文字列(1行)	100			入力文字制約:数値
	初期値	文字列(1行)	100			入力文字制約:数値
	最小値	文字列(1行)	100			入力文字制約:数値
	小数点以下の有効な桁数	メニュー				・0以上、10以下 初期値:0
	マイナス値の表示方法	メニュー				・-1234 ・▲1234 ・△1234 初期値:-1234
	右寄せで表示する桁区切りを表示する	チェックボックス				初期値:無効
項目-自動計算	小数点以下の有効な桁数	メニュー				・0以上、10以下 初期値:0

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
	マイナス値の表示 方法	メニュー				<ul style="list-style-type: none"> ・-1234 ・▲1234 ・△1234 初期値:-1234
	計算内容	ラジオボタン				<ul style="list-style-type: none"> ・四則演算 ・合計 初期値:四則演算
	定数-左	メニュー				
	定数-左	文字列(1行)	100			入力文字制約:数値
	演算子	メニュー				<ul style="list-style-type: none"> ・+ ・- ・× ・÷ 初期値:+
	定数-右	文字列(1行)	100			入力文字制約:数値
	定数-右	メニュー				
	右寄せで表示する	チェックボックス				初期値:無効
	桁区切りを表示する	チェックボックス				初期値:無効
	申請フォームに計 算結果を表示しな い	チェックボックス				初期値:無効
項目-日付	初期値	ラジオボタン				<ul style="list-style-type: none"> ・入力時の現在日付に する ・特定の日付 ・指定なし(空欄) 初期値:入力時の現在 日付にする
	特定の日付	日付				
項目-ファイル添 付	最大ファイル数	メニュー				<ul style="list-style-type: none"> ・1 から 5 初期値:1
	イメージと本文を一 緒に表示する	チェックボックス				初期値:無効
	イメージを縮小する	チェックボックス				初期値:無効
	イメージを縮小する -幅	文字列(1行)	3			入力文字制約:数値 ・0 以上、999 以下
	イメージを縮小する -高さ	文字列(1行)	3			入力文字制約:数値 ・0 以上、999 以下
項目-路線ナビ連 携	取り込む情報	メニュー				<ul style="list-style-type: none"> ・経路/運賃 ・経路 ・運賃 初期値:経路/運賃
経路ステップの変 更	コメント	文字列(複数行)	65535			1
未処理申請の処 理	コメント	文字列(複数行)	65535			1
申請の取り戻し、 または取り消し	コメント	文字列(複数行)	65535			1

○: 必須、またはユニーク制約の対象

¹:1 バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

マルチレポート

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
カテゴリー	タイトル-標準	文字列(1行)	100	○		
	タイトル-各言語	文字列(1行)	100			表示名を追加する場合
	カテゴリーコード	文字列(1行)	100	○	○	
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹
レポートフォーム	レポートフォーム名	文字列(1行)	100	○		
	レポートフォーム コード	文字列(1行)	100	○	○	
	説明	文字列(複数行)	65535			¹
項目-共通	タイプ	文字列(1行)	100	○		・文字列(1行) ・文字列(複数行) ・メニュー ・ラジオボタン ・チェックボックス ・数値 ・日付 ・時刻 ・ファイル添付 初期値:文字列(1行)
	項目名	文字列(1行)	100	○		
	説明	文字列(複数行)	65535			¹ ・選択可能な入力形式 ・テキスト ・書式編集 初期値:テキスト
	アイコンで表示する	チェックボックス				
	必須項目	チェックボックス				
	入力欄の前/後の 文字	文字列(1行)	100			
	入力欄の前/後の 文字、配置する位 置	メニュー				・配置しない ・前に配置 ・後に配置 初期値:配置しない
項目-文字列(1 行)	入力幅	文字列(1行)	100	○		入力文字制約:数値
	最大入力文字数	文字列(1行)	100			入力文字制約:数値
	入力文字制限	ラジオボタン				・制限なし ・全角のみ ・半角のみ 初期値:制限なし
	直接入力	文字列(1行)	100			

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
	ユーザー情報	メニュー				<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー:ID ・ユーザー:名前 ・ユーザー:ログイン名 ・ユーザー:よみ ・ユーザー:E-mail ・ユーザー:連絡先 ・ユーザー:URL ・ユーザー:メモ ・ユーザー:役職 初期値:ユーザー:ID
項目-文字列(複数行)	サイズ-桁	文字列(1行)	100	○		入力文字制約:数値 初期値:40
	サイズ-行	文字列(1行)	100	○		入力文字制約:数値 初期値:3
	初期値	文字列(複数行)	65535			1
項目-メニュー	メニュー項目	ラジオボタン				<ul style="list-style-type: none"> ・直接入力 ・所属する組織 初期値:直接入力 「所属する組織」は、レポート作成者のユーザー情報です。
	直接入力	文字列(複数行)	65535			1
	初期値	文字列(1行)	100			
項目-ラジオボタン	ラジオ項目	文字列(複数行)	65535			1
	初期値	文字列(1行)	100			
項目-チェックボックス	初期値	チェックボックス				初期値:無効
項目-数値	入力値制限	ラジオボタン				<ul style="list-style-type: none"> ・制限なし ・制限あり 初期値:制限なし
	入力値制限-最大値	文字列(1行)	100			
	入力値制限-最小値	文字列(1行)	100			
	初期値	文字列(1行)	100			
	小数点以下の有効な桁数	メニュー				
	マイナス値の表示方法	メニュー				<ul style="list-style-type: none"> ・-1234 ・▲1234 ・△1234 初期値:-1234
	表示	チェックボックス				<ul style="list-style-type: none"> ・右寄せで表示する ・桁区切りを表示する 初期値:無効

付録 D データ入力仕様

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
項目-日付	初期値	ラジオボタン				・入力時の現在日付にする ・特定の日付 ・指定なし(空欄) 初期値:入力時の現在日付にする
	初期値-特定の日付	日付				
項目-時刻	初期値	ラジオボタン				・入力時の現在時刻にする ・特定の時刻 ・指定なし(空欄) 初期値:入力時の現在時刻にする
	初期値-特定の時刻	時刻				
項目-ファイル添付	最大ファイル数	メニュー				・1以上、5以下 初期値:1
	イメージを本文と一緒に表示する	チェックボックス				初期値:無効
	イメージを縮小する	チェックボックス				初期値:無効
	イメージを縮小する-幅	文字列(1行)		3		入力文字制約:数値 有効範囲:0以上、999以下
	イメージを縮小する-高さ	文字列(1行)		3		入力文字制約:数値 有効範囲:0以上、999以下

○:必須、またはユニーク制約の対象

¹:1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

RSSリーダー

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
共有サイト	サイト名	文字列(1行)	100			
	URL	文字列(1行)	255	○		
	メモ	文字列(複数行)	65535			¹

○:必須、またはユニーク制約の対象

¹:1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

ネット連携サービス

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
企業検索	企業名-検索文字列	文字列(1行)	100			
郵便番号検索	郵便番号-検索文字列	文字列(1行)	100			
地図検索	住所-検索文字列	文字列(1行)	100			

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
路線検索	出発地-検索文字列	文字列(1行)	100			
	目的地-検索文字列	文字列(1行)	100			

在席確認

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
在席情報	ステータスの設定	文字列(複数行)	65535			¹

¹:1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

通知一覧

項目	項目名	入力タイプ	入力制限 文字数	必須	ユニーク 制約	備考
外部通知の設定	表示名	文字列(1行)	60	○		
	外部通知コード	文字列(1行)	60	○		
	許可するURL	文字列(複数行)	4294967295	○		¹
通知検索	検索文字列	文字列(1行)	100			

○:必須、またはユニーク制約の対象

¹:1バイト文字を使用した場合の文字数です。使用する文字のバイト数によって記述できる文字数が異なります。

付録E 検索仕様

ガルーンの検索機能の仕様は、次のとおりです。

項目	検索対象	検索項目	備考	
ユーザー検索-ユーザー選択	ユーザー	名前(表示名)	複数のユーザー名、ログイン名、よみなど、それぞれのキーワードをスペースで区切ると、OR 検索ができます。	
		名前(別言語)		
		ログイン名		
		よみ		
		E-mail	ユーザー情報に登録されているメールアドレス	
ログ検索	ログ	内容	システム管理画面のみ	
		ユーザー名		
		ログイン名		
		ホスト名		
		IP アドレス		
スペース	ディスカッション	タイトル	複数のタイトル、コメントなど、それぞれのキーワードをスペースで区切ると、AND 検索ができます。	
		ユーザー名		
		本文		
		コメント		
共有リンク集、または個人リンク集	カテゴリ	カテゴリ名		
	リンク	タイトル		
		URL		
スケジュール	予定	タイトル	メニュー名と入力項目	
		会社情報	会社名	
		メモ		
		フォロー		
	ユーザー	名前(表示名)		
		名前(別言語)		
		ログイン名		
		よみ		
		E-mail		
	施設	施設	施設名	複数のキーワードをスペースで区切ると、OR 検索ができます。 ユーザーが使用する言語と同じ言語の表示名を検索できます。
メッセージ	メッセージ	標題		
		本文		
		フォロー		
		差出人		
		宛先		
掲示板	カテゴリ	カテゴリ名	ユーザーが使用する言語と同じ言語の表示名を検索できます。	
	掲示	タイトル		
		本文		
		作成者		
		フォロー		

項目	検索対象	検索項目	備考
ファイル管理	フォルダー	フォルダー名	ユーザーが使用する言語と同じ言語の表示名を検索できます。
	ファイル	タイトル	
		ファイル名	
		ファイルの説明	
		作成者	
	更新者		
メモ	メモ	タイトル	
		本文	
	ファイル	タイトル	
		ファイルの説明	
電話メモ	電話メモ	ユーザー	電話メモに表示されるユーザー
		伝言	
		作成者	
	電話メモ履歴	伝言	
		受信者名	
		発信者名	
アドレス帳-ユーザー名簿	ユーザー	名前(表示名)	
		名前(別言語)	
		ログイン名	
		よみ	
		E-mail	
アドレス帳-アドレス帳	アドレス	標題	
		個人名	項目の設定で、「使用する」に設定されている必要があります。
		個人名-よみ	
		会社名	
		会社名-よみ	
		部課名	
		郵便番号	
		住所	
		路線-経路	
		会社電話番号	
		会社 FAX 番号	
		URL	
		役職名	
		個人電話番号	
	E-mail		
	メモ		
	カスタマイズ項目	文字列(1行)	項目の設定で、「使用する」に設定されている必要があります。
		文字列(複数行)	
		URL	
		画像 URL	
E-mail			
IP 電話			
メール	メール	標題	
		本文	
		差出人	
		To	
		Cc	

項目	検索対象	検索項目	備考
		Bcc	
ワークフロー	申請データ-システム管理画面	検索対象状況	
		申請日(期間)	
		番号	
		標題	
		申請者	
		入力項目(文字列)	
		優先度	
	申請データ-ユーザー画面	番号	
		申請フォーム名(文字列)	
		標題	
		状況	
		申請日	
		申請者	
	入力項目(文字列)	閲覧の権限が設定されている必要があります。	
	優先度		
マルチレポート	カテゴリ	カテゴリ名	
	レポート-システム管理画面	標題	
		作成日	
		作成者	
		項目	次のタイプの項目が検索対象です。 ・文字列(1行) ・文字列(複数行) ・ラジオ項目
		フォロー	
		項目(詳細)	レポートフォームに設定された項目ごとに、検索条件を設定できます。
	レポート-ユーザー画面	標題	
		作成日	
		作成者	
		項目	次のタイプの項目が検索対象です。 ・文字列(1行) ・文字列(複数行) ・ラジオ項目
		フォロー	
		項目(詳細)	レポートフォームに設定された項目ごとに、検索条件を設定できます。
通知一覧	通知	標題	
		内容	
		名前	
	外部通知	標題	
		内容	
		名前	

補足

- アクセス権がないカテゴリやフォルダーは検索できません。

付録E.1 複数の表示名を持つカテゴリ名やフォルダーの検索仕様

ガルーンは、ユーザーの表示言語と同じ言語で登録されているカテゴリ名またはフォルダー名を検索します。次の条件を例として、検索結果を説明します。

- ・カテゴリ名:
 - 標準: Tokyo
 - 日本語: グループ 1
 - English: Japan
- 検索条件:
 - キーワード: 任意のカテゴリ名
 - 検索対象: カテゴリ名

検索結果

キーワード ユーザーの表示言語	Tokyo	グループ 1	Japan
日本語	×	○	×
English	×	×	○
中文(簡体)	○	×	×

○: 検索できる

×: 検索できない

付録F エラーメッセージ

ガルーンで出力されるエラーメッセージは、次のとおりです。

DB*****:データベースのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
DB00000	DB サーバーへの接続に失敗しました。	***のデータベース ***への接続に失敗しました。*****	DB サーバーが正常に動作しているか確認してください。
DB01005	DB サーバー上でテーブルの作成に失敗しました。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01030	DB サーバーのテーブルハンドラがエラーを返しました。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01040	DB サーバーへの接続クライアント数が多すぎます。	DB サーバーからの応答: *****	しばらく待って再度実行してください。この状態が長く続く場合は、サーバー管理者へご相談ください。
DB01041	DB サーバー上のリソースが不足しています。	DB サーバーからの応答: *****	DB サーバーの使用できるリソースの上限を増やしてください。
DB01042	DB サーバーがクライアントのアドレスを取得できません。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01043	DB サーバーがクライアントとハンドシェイクに失敗しました。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01051	テーブルが見つかりません。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01054	不明なカラムを指定しました。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01061	同名のインデックスが存在します。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01062	値が重複しています。	DB サーバーからの応答: *****	重複しない値を指定して再度実行してください。
DB01064	クエリの文法が不正です。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01072	インデックスの対象となるカラムは存在しません。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01091	カラム/インデックスを削除できません。	DB サーバーからの応答: *****	カラム/インデックスが存在するか確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
DB01104	非常に大量のデータを処理しようとした。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01109	DB サーバー上で不明なテーブルを使用しようとした。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01129	DB サーバーは現在接続をブロックしています。	DB サーバーからの応答: *****	サーバー管理者の方へ: mysqladmin flush-hosts を実行してください。
DB01136	カラム数と値の数が一致していません。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01146	データベースにテーブルが存在しません。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01205	DB サーバー上で、ロック獲得がタイムアウトしました。	DB サーバーからの応答: *****	再度実行してください。この状態が長く続く場合は、サーバー管理者にご相談ください。
DB01213	データベース上でデッドロックが発生しました。	DB サーバーからの応答: *****	再度実行してください。
DB01216	外部キー制約のためにオブジェクトを追加できません。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01217	外部キー制約のためにオブジェクトを削除できません。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01300	文字列中に無効な文字が存在します。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01451	外部キー制約のためにオブジェクトを削除できません。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB01452	外部キー制約のためにオブジェクトを追加できません。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB02000	DB エンジンのクライアントで異常が発生しました。	DB サーバーからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB02001	DB エンジンにて UNIX ドメインソケットの作成に失敗しました。	*** のデータベース *** への接続に失敗しました。 *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB02002	DB エンジンにてローカル接続に失敗しました。	***のデータベース *** への接続に失敗しました。*****	DB サーバーが正常に動作しているか確認してください。
DB02003	DB サーバーへの接続に失敗しました。	*** のデータベース *** への接続に失敗しました。 *****	DB サーバーが正常に動作しているか確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
DB02004	DB エンジンにて IP ソケットの作成に失敗しました。	*** のデータベース *** への接続に失敗しました。 *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB02005	不明な DB サーバーに接続しようとした。	ホスト *** の IP アドレスは不明です。 *****	サーバーの設定が正しいか確認してください。
DB02010	ローカルホストへの接続に失敗しました。	*** のデータベース *** への接続に失敗しました。 *****	サーバー管理者にご相談ください。
DB02011	DB エンジンが TCP 接続に失敗しました。	*** のデータベース *** への接続に失敗しました。 *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB02012	DB エンジンがサーバーとの接続中にハンドシェイクに失敗しました。	*** のデータベース *** への接続に失敗しました。 *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
DB02013	DB サーバーとの接続が切断されました。	DB サーバーからの応答: *****	サーバーの状態を確認してください。
DB99999	データベースでエラーが発生しました。 データベースのエラー番号:*****	データベースからの応答: *****	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。

FW*****:システムのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
FW00001	予期しないエラーが発生しました。	原因は不明です。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00002	ファイルを読み込めません。	ファイル *** を開けませんでした。	目的のファイルが選択されているかどうか、ファイルにアクセスする権限があるかどうかを確認してください。
FW00003	ファイルを書き込めません。	ファイル *** を開けませんでした。	目的のファイルが選択されているかどうか、ファイルにアクセスする権限があるかどうかを確認してください。
FW00004	処理中にエラーが発生しました。	必須項目が入力されていません。	必須項目を入力して再度実行してください。 詳細情報が出ている場合はそちらを参照の上解決してください。
FW00005	「よみ」としては不正な文字列です。	*** は「よみ」に使えない文字を含んでいます。	適切な文字列に修正して再度実行してください。 詳細情報が出ている場合はそちらを参照の上解決してください。
FW00006	ファイルの登録に失敗しました。	ファイル *** が正しく登録できませんでした。	目的のファイルを確認して、再度登録を行ってください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
FW00007	ログインできません。	パスワードまたはログイン名に誤りがあります。	パスワードまたはログイン名を確認し、再度実行してください。
FW00008	ログインできません。	ログインしようとしたユーザーのアカウントは無効です。	アカウントの使用状態をシステム管理者に確認してください。
FW00009	指定された画面はアクセスできません。	この画面または機能は、「***」権限を要求しています。現在ログイン中のユーザーには、この画面または機能に対してアクセスする権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
FW00010	確認用パスワードが正しくありません。	確認用のパスワードに誤りがあります。	入力するパスワードを確認の上、再度実行してください。
FW00011	ディスクの空き容量が不足しています。	アプリケーションの動作には最低 n MB の空きディスク容量が必要です。	*** のディスク空き容量を確保してください。
FW00012	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	n 行目の形式が不正です。	正しい形式に修正して再度実行してください。
FW00013	不正な端末からのアクセスを検出しました。	セッションを開始したクライアントと現在のクライアントが異なります。	新たに Web ブラウザーを起動してアクセスしてください。
FW00014	ドライバクラスが定義されていません。	クラス名が誤っているか、クラス定義が存在しません。	ファイル名 *** に対応するドライバクラス *** を定義してください。
FW00015	フック関数が定義されていません。	関数名が誤っているか、関数定義が存在しません。	ファイル名 *** に対応するフック関数 *** を定義してください。
FW00016	ライセンス情報が不正です。	ライセンス情報ファイルが破損している可能性があります。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00017	ライセンスドライバが存在しません。	ライセンスドライバを削除した可能性があります。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00018	ログターゲットオブジェクトが見つかりません。	ログターゲットの名前に誤りがある可能性があります。	「***」が正しいターゲット名か確認してください。
FW00019	ログカテゴリーの名前が不正です。	カテゴリー名 *** は正しい形式ではありません。	サブカテゴリーには 1 文字以上の文字列を指定してください。
FW00020	不正なログターゲットです。	ログターゲットは CB_LogTarget インターフェースを実装している必要があります。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00021	キャッシュターゲットオブジェクトが見つかりません。	キャッシュターゲットの名前に誤りがある可能性があります。	「***」が正しいターゲット名か確認してください。
FW00022	不正なキャッシュターゲットです。	キャッシュターゲットは CB_CacheTarget インターフェースを実装している必要があります。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00023	プロファイルターゲットオブジェクトが見つかりません。	プロファイルターゲットの名前に誤りがある可能性があります。	「***」が正しいターゲット名か確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
FW00024	不正なプロファイルターゲットです。	プロファイルターゲットは CB_***Target インターフェースを実装している必要があります。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00025	プロファイルに書き込めませんでした。	プロファイルターゲットは読み込みしか許可していません。	プロファイルに書き込む前に、書き込み可能かチェックしてください。
FW00026	コンテナの設定が不正です。	識別子***の設定に必須属性 class が含まれていません。	必須属性を指定してください。
FW00027	不正なコンテナ設定オブジェクトです。	適切なコンテナ設定オブジェクトを指定してください。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00028	コンテナからオブジェクトを取得できません。	識別子 ***は未設定です。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00029	この URL にはアクセスできません。	*** は公開されていません。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00030	不正な日付です。	正常な日付を入力してください。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00031	不正な時間です。	正常な時間を入力してください。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00032	タイムゾーン情報が見つかりません。	タイムゾーンの識別子に誤りがある可能性があります。	「***」が正しいタイムゾーンの識別子か確認してください。
FW00034	不正な日付時間です。	正常な日付時間を入力してください。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00036	ファイルのダウンロードに失敗しました。	ファイルが何らかの理由により削除されている可能性があります。	システム管理者に確認してください。
FW00037	処理可能な POST パラメーターのサイズを超えています。	POST パラメーターのサイズが n バイトより大きい場合、処理できません。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00038	ライセンスドライバの検証に失敗しました。	ライセンスドライバが破損している可能性があります。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW00039	処理が継続できません。	***に書き込み権限がない可能性があります。	システム管理者に確認してください。
FW00040	POP3 通信を継続できません。	メールサーバーからの応答：*****	接続先サーバーの状態を確認してください。
FW00041	IMAP 通信を継続できません。	メールサーバーからの応答：*****	接続先サーバーの状態を確認してください。
FW00042	処理が継続できません。	***を作成できません。	システム管理者に確認してください。
FW00043	ページを表示できません。	不正なリクエストが行われた可能性があります。	ページの再読み込みを行ってから、再度操作を実行してください。解決しない場合は、システム管理者に確認してください。
FW00046	指定された拠点が見つかりません。	拠点の指定が誤っているか、拠点が削除されています。	目的の拠点を確認してください。
FW00047	指定された拠点コードを設定できません。	すでに存在する拠点コードを指定しています。	重複する拠点コードは設定できません。 一意となる拠点コードを指定してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
FW00048	リクエストパラメータに不正な文字コードが使用されています。	不正なリクエストが行われた可能性があります。	リクエストの内容を確認してください。
FW00050	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	言語コードの指定が誤っています。	表示されている行番号の言語コードを確認してください。
FW10001	カラムの型とセットする値の型が一致していません。	テーブル[***]のカラム***の型は***ですが、指定された値は メールサーバーからの応答:*****でした。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW10002	不正なカラム型を指定しました。	***は正しいカラム型ではありません。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
FW10003	テーブルの変更に失敗しました。	テーブル ***は存在しません。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。

GRN_ADDR_*****:アドレス帳のエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_ADDR_22000	アドレス帳ターゲットドライバが存在しません。	アドレス帳ターゲットドライバを削除した可能性があります。	システム管理者にご相談ください。 解決できない場合は、表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_ADDR_22001	指定されたブックが見つかりません。	ブックの指定が誤っているか、ブックが削除されています。	目的のブックを確認してください。
GRN_ADDR_22002	指定されたアドレスデータが見つかりません。	アドレスデータの指定が誤っているか、アドレスデータが削除されています。	目的のアドレスデータを確認してください。
GRN_ADDR_22003	指定されたカスタマイズ項目が見つかりません。	カスタマイズ項目 ID の指定が誤っているか、カスタマイズ項目 ID が削除されています。	目的のカスタマイズ項目 ID を確認してください。
GRN_ADDR_22004	指定されたアクセス権が見つかりません。	アクセス権 ID の指定が誤っているか、アクセス権 ID が削除されています。	目的のアクセス権 ID を確認してください。
GRN_ADDR_22005	指定されたファイルが見つかりません。	ファイル ID の指定が誤っているか、ファイル ID が削除されています。	目的のファイルを確認してください。
GRN_ADDR_22006	指定されたアクセス権の対象が見つかりません。	対象が不正です。	アクセス権を付与する対象を確認してください。
GRN_ADDR_22007	指定されたアクセス権の権限が見つかりません。	アクセス権の権限の指定が誤っているか、アクセス権の権限が削除されています。	目的のアクセス権の権限を確認してください。
GRN_ADDR_22100	このブックは追加できません。	すでに設定しているブックのブックコードと重複しています。	重複するブックコードは設定できません。 一意となるブックコードを指定してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_ADDR_22101	この項目は追加できません。	すでに設定している項目の項目コードと重複しています。	重複する項目コードは設定できません。 一意となる項目コードを指定してください。
GRN_ADDR_22200	指定されたユーザー名簿ブックが見つかりません。	ユーザー名簿ブックの指定が誤っているか、ユーザー名簿ブックが削除されています。	目的のユーザー名簿ブックを確認してください。
GRN_ADDR_22201	指定された個人アドレスブックが見つかりません。	個人アドレスブックの指定が誤っているか、個人アドレスブックが削除されています。	個人アドレスブックを確認してください。
GRN_ADDR_22202	指定された共有アドレスブックが見つかりません。	共有アドレスブックの指定が誤っているか、共有アドレスブックが削除されています。	共有アドレスブックを確認してください。
GRN_ADDR_22203	指定されたアドレスデータが見つかりません。	アドレスデータの指定が誤っているか、アドレスデータが削除されています。	目的のアドレスデータを確認してください。
GRN_ADDR_22204	項目が見つかりません。	項目の指定が誤っているか、項目が削除されています。	目的の項目を確認してください。
GRN_ADDR_22205	指定された組み込み項目が見つかりません。	組み込み項目の指定が誤っているか、組み込み項目が削除されています。	目的の組み込み項目を確認してください。
GRN_ADDR_22206	指定されたカスタマイズ項目が見つかりません。	カスタマイズ項目の指定が誤っているか、カスタマイズ項目が削除されています。	目的のカスタマイズ項目を確認してください。
GRN_ADDR_22207	指定されたアクセス権が見つかりません。	アクセス権の指定が誤っているか、アクセス権が削除されています。	目的のアクセス権を確認してください。
GRN_ADDR_22208	指定されたユーザーが見つかりません。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_ADDR_22209	指定された組織が見つかりません。	組織の指定が誤っているか、組織が削除されています。	目的の組織を確認してください。
GRN_ADDR_22210	指定されたロールが見つかりません。	ロールの指定が誤っているか、ロールが削除されています。	目的のロールを確認してください。
GRN_ADDR_22211	指定されたファイルが見つかりません。	ファイルの指定が誤っているか、ファイルが削除されています。	目的のファイルを確認してください。
GRN_ADDR_22212	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	該当する行のデータを修正してください。
GRN_ADDR_22213	指定された My アドレスグループが見つかりません。	My アドレスグループの指定が誤っているか、指定された My アドレスグループは削除されています。	目的の My アドレスグループを確認してください。
GRN_ADDR_22214	指定されたアドレスを My アドレスグループに追加できません。	現在ログイン中のユーザーにはこのアドレスの取り込み先のブックに対するアクセス権がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_ADDR_22250	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	必須項目の値が指定されていません。	必須項目の値を空の状態を読み込めません。入力内容を確認してください。
GRN_ADDR_22251	CSV ファイルのデータが不正です。	CSV ファイルに入力されたデータの項目数が、決められた項目数に合っていないです。	CSV ファイルのデータの項目数と内容を確認してください。
GRN_ADDR_22252	不正な共有アドレスブックが指定されています。	***は利用できません。	指定している設定対象の内容を確認してください。
GRN_ADDR_22253	設定対象に不正な値が指定されています。	***は利用できません。	指定している設定対象の内容を確認してください。
GRN_ADDR_22254	不正な設定項目が指定されました。	***は利用できません。	指定している設定対象の内容を確認してください。
GRN_ADDR_22255	そのアクセス権は指定できません。	アクセス権の CSV 読み込みで、第 3 項目には定められた文字以外は指定できません。	以下のアクセス権を設定してください。 ・E ・B
GRN_ADDR_22300	個人アドレス帳にアクセスできません。	現在ログイン中のユーザーは、個人アドレス帳の使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_ADDR_22301	共有アドレス帳を使用できません。	共有アドレス帳が使用停止中になっているか、現在ログイン中のユーザーが使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_ADDR_22302	指定された運用管理画面にはアクセスできません。	現在ログイン中のユーザーには、共有アドレス帳ブックの運用管理画面に対してアクセスする権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_ADDR_22303	指定された共有アドレス帳のブックは閲覧できません。	現在ログイン中のユーザーには、この共有アドレス帳のブックに対するアクセス権がないため、閲覧する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_ADDR_22304	指定された共有アドレス帳のブックは編集できません。	現在ログイン中のユーザーには、この共有アドレス帳のブックに対して編集を行う権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_ADDR_22305	アクセス権を変更できません。	ログイン中の運用管理者の閲覧権限を制限しようとしています。	アクセス権の設定対象を確認してください。
GRN_ADDR_22306	アクセス権の組み合わせが正しくありません。	閲覧権限を設定していないユーザーには、他の権限を設定できません。	アクセス権の設定で「閲覧」が選択されているかどうか確認してください。
GRN_ADDR_22307	セキュリティモデルが正しくありません。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_ADDR_22408	標題が入力されていません。	標題が入力されていません。	標題を入力してください。

GRN_BLLT_*****: 掲示板のエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_BLLT_16001	掲示板を使用できません。	掲示板が使用停止中になっているか、現在ログイン中のユーザーが使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_BLLT_16002	指定されたカテゴリが見つかりません。	カテゴリの指定が誤っているか、カテゴリが削除されています。	目的のカテゴリを確認してください。
GRN_BLLT_16003	指定された掲示が見つかりません。	掲示の指定が誤っているか、掲示が削除されています。	目的の掲示を確認してください。
GRN_BLLT_16004	指定されたフォローが見つかりません。	フォローの指定が誤っているか、フォローが削除されています。	目的のフォローを確認してください。
GRN_BLLT_16005	指定された下書きが見つかりません。	下書きの指定が誤っているか、下書きが削除されています。	目的の下書きを確認してください。
GRN_BLLT_16006	掲示期間が不正です。	掲示開始日または終了日に、過去の日時を指定しているか、開始日に終了日より後の日時が指定されています。	掲示期間を確認してください。
GRN_BLLT_16007	指定された親カテゴリが見つかりません。	カテゴリの指定が誤っているか、カテゴリが削除されています。	移動先の親カテゴリを再度確認してください。
GRN_BLLT_16008	この掲示はすでに公開されています。	すでに掲示開始日を過ぎているため、公開されています。	掲示および掲示期間を確認してください。
GRN_BLLT_16009	このカテゴリは削除できません。	指定されたカテゴリには、サブカテゴリまたは掲示が存在しているため、削除できません。	カテゴリは、サブカテゴリや掲示のない状態で削除してください。
GRN_BLLT_16010	このカテゴリは削除できません。	指定されたカテゴリは、システム固有のカテゴリです。	カテゴリの指定を確認してください。
GRN_BLLT_16011	この掲示は変更できません。	掲示期間の過ぎた掲示を変更しようとしています。	目的の掲示の掲示期間を確認してください。
GRN_BLLT_16012	指定された添付ファイルが見つかりません。	添付ファイルの指定が誤っているか、添付ファイルが削除されています。	目的の添付ファイルを確認してください。
GRN_BLLT_16013	指定された添付ファイルの履歴が見つかりません。	添付ファイルの履歴の指定が誤っているか、バージョン管理機能の解除などにより、履歴が削除されています。	添付ファイルの履歴を再度確認してください。
GRN_BLLT_16014	移動先の親カテゴリの指定が不正です。	指定された親カテゴリは、移動しようとしているカテゴリと同一、または移動しようとしているカテゴリ以下の階層に存在しています。	移動先の親カテゴリを確認してください。
GRN_BLLT_16015	指定されたフォローは削除できません。	フォローを削除できるのは発言者のみです。	フォローの発言者に削除を依頼してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_BLLT_16016	このフォローは書き込めません。	フォローの内容がありません。	フォローの内容を入力してください。
GRN_BLLT_16017	このカテゴリは追加できません。	すでに設定されているカテゴリのカテゴリコードと重複しています。	重複するカテゴリコードは設定できません。 一意となるカテゴリコードを指定してください。
GRN_BLLT_16018	この掲示は閲覧できません。	掲示期間外の掲示を閲覧しようとしています。	目的の掲示を確認してください。
GRN_BLLT_16019	セキュリティモデルが正しくありません。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_BLLT_16020	アクセス権の設定対象に不明な値が指定されました。	アクセス権の設定対象の指定に誤りがあります。	アクセス権の設定対象を確認してください。
GRN_BLLT_16021	アクセス権に不明な値が指定されました。	アクセス権の設定値に誤りがあります。	アクセス権の設定値を確認してください。
GRN_BLLT_16022	カテゴリコードが不正です。	カテゴリコードが指定されていないか、指定されたコードが不正です。	カテゴリコードを確認してください。
GRN_BLLT_16050	この掲示は閲覧できません。	現在ログイン中のユーザーには、このカテゴリの掲示を閲覧する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_BLLT_16051	このカテゴリに掲示の書き込みはできません。	現在ログイン中のユーザーには、このカテゴリに掲示を書き込む権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_BLLT_16052	この掲示にフォローの書き込みはできません。	現在ログイン中のユーザーには、このカテゴリの掲示にフォローを書き込む権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_BLLT_16053	アクセス権の設定に失敗しました。	アクセス権を追加する対象が選択されていません。	追加する対象を選択してください。
GRN_BLLT_16054	運用管理権限を追加できません。	運用管理権限を追加する対象が選択されていません。	追加する対象を選択してください。
GRN_BLLT_16055	指定された画面はアクセスできません。	この操作を実行するには運用管理権限が必要です。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_BLLT_16056	アクセス権を変更できません。	アクセス権を設定しているユーザーのログイン中に、閲覧の権限を奪うことはできません。	アクセス権の設定内容を確認してください。
GRN_BLLT_16057	管理権限を変更できません。	ログインユーザーの管理権限を奪うことはできません。	管理権限の設定を確認してください。
GRN_BLLT_16058	掲示を削除できません。	削除する掲示の最終更新日の指定が不正です。	最終更新日の指定を確認してください。
GRN_BLLT_16059	削除できません。	削除が許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_BLLT_16060	移動できません。	移動が許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_BLLT_16061	移動できません。	移動先となるカテゴリがありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_BLLT_16062	掲示期間を変更できません。	現在ログイン中のユーザーには、この掲示の掲示期間を変更する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_BLLT_16063	変更できません。	変更が許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_BLLT_16064	指定されたカテゴリには、サブカテゴリがありません。	カテゴリの指定が誤っているか、カテゴリが削除されています。	目的のカテゴリを確認してください。
GRN_BLLT_16065	その更新通知設定は指定できません。	更新通知設定の CSV 読み込みで、第3項目には定められた数字以外は指定できません。	以下の更新通知を設定してください。 ・0 ・1
GRN_BLLT_16066	不正な設定項目が指定されました。	***は利用できません。	以下の項目を設定してください。 ・user ・group ・dynamic_role ・role ・force_notify
GRN_BLLT_16070	この掲示にはフォローを書き込めません。	この掲示は、フォローの書き込みが許可されていません。	目的の掲示を確認してください。

GRN_CBDN_*****:cybozu.net のエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CBDN_29001	cybozu.net を使用できません。	cybozu.net が使用停止中になっているか、現在ログイン中のユーザーが使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CBDN_29002	cybozu.net のサーバーへの接続 URL が不正です。	設定ファイルの指定が誤っているか、URL が変更になっています。	表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

GRN_CBNT_*****:ファイル管理のエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CBNT_17001	ファイル管理を使用できません。	ファイル管理が使用停止中になっているか、現在ログイン中のユーザーが使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CBNT_17002	指定されたフォルダが見つかりません。	フォルダの指定が誤っているか、フォルダが削除されています。	目的のフォルダを確認してください。
GRN_CBNT_17003	この操作はフォルダが空でなければ実行できません。	指定されたフォルダにはサブフォルダまたはファイルが存在しています。	目的のフォルダを空にして再度実行してください。
GRN_CBNT_17004	指定されたファイルが見つかりません。	ファイルの指定が誤っているか、ファイルが削除されています。	目的のファイルを確認してください。
GRN_CBNT_17005	指定されたファイルの履歴が見つかりません。	ファイル履歴の指定が誤っているか、ファイル履歴が削除されています。	目的のファイル履歴を確認してください。
GRN_CBNT_17006	移動先の親フォルダの指定が不正です。	指定された親フォルダは、移動しようとしているフォルダと同一、または移動しようとしているフォルダ以下の階層に存在しています。	移動先の親フォルダを確認してください。
GRN_CBNT_17007	アクセス権の設定に失敗しました。	アクセス権の設定で対象が選択されていません。	ユーザー/組織/ロールのいずれかを選択してください。
GRN_CBNT_17008	指定されたフォルダは閲覧できません。	現在ログイン中のユーザーには、このフォルダのファイルに対するアクセス権がないため、閲覧する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CBNT_17009	指定されたフォルダにはファイルを追加できません。	現在ログイン中のユーザーには、このフォルダにファイルを追加する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CBNT_17010	プロファイルデータの更新に失敗しました。	データベースにデータを書き込めません。	システム管理者にご相談ください。 解決できない場合は、表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_CBNT_17011	指定された親フォルダが見つかりません。	フォルダの指定が誤っているか、フォルダが削除されています。	目的の親フォルダを確認してください。
GRN_CBNT_17012	指定されたフォルダは追加できません。	すでに設定されているフォルダのフォルダコードと重複しています。	重複するフォルダコードは設定できません。 一意となるフォルダコードを指定してください。
GRN_CBNT_17013	指定されたファイルが見つかりません。	画面遷移によりセッションが消去され、一時ファイルが削除されました。	最初から操作をやり直してください。
GRN_CBNT_17014	フォルダ情報の CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号のデータを修正してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CBNT_17015	フォルダコードが不正です。	フォルダコードが指定されていないか、指定されたコードが不正です。	フォルダコードを確認してください。
GRN_CBNT_17016	セキュリティモデルが正しくありません。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_CBNT_17017	アクセス権の設定対象に不明な値が指定されました。	アクセス権の設定対象の指定に誤りがあります。	アクセス権の設定対象を確認してください。
GRN_CBNT_17018	アクセス権に不明な値が指定されました。	アクセス権の設定値に誤りがあります。	アクセス権の設定値を確認してください。
GRN_CBNT_17019	運用管理権限を追加できません。	運用管理権限を追加する対象が選択されていません。	追加する対象を選択してください。
GRN_CBNT_17020	指定された画面はアクセスできません。	この操作を実行するには運用管理権限が必要です。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CBNT_17021	アクセス権を変更できません。	アクセス権を設定しているユーザーのログイン中に、閲覧の権限を奪うことはできません。	アクセス権の設定内容を確認してください。
GRN_CBNT_17022	管理権限を変更できません。	ログインユーザーの管理権限を奪うことはできません。	管理権限の設定を確認してください。
GRN_CBNT_17023	フォルダを移動できません。	ルートフォルダは移動できません。	フォルダの指定を確認してください。
GRN_CBNT_17024	削除に失敗しました。	削除する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CBNT_17025	移動に失敗しました。	移動する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CBNT_17027	指定されたファイルを復旧できません。	対象のファイルはシステムで許可された復旧可能期間を超えています。	復旧できるのは、復旧可能な期間に削除したファイルのみです。復旧可能期間を確認してください。
GRN_CBNT_17029	その更新通知設定は指定できません。	更新通知設定の CSV 読み込みで、第 3 項目には定められた数字以外は指定できません。	以下の更新通知を設定してください。 ・0 ・1
GRN_CBNT_17030	不正な設定項目が指定されました。	***は利用できません。	以下の項目を設定してください。 ・user ・group ・dynamic_role ・role

GRN_CBWS_*****: ネット連携サービスのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CBWS_27001	ネット連携サービスを使用できません。	ネット連携サービスが使用停止中になっているか、使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CBWS_27002	ネット連携サービスのサーバーへの接続 URL が不正です。	設定ファイルの指定が誤っているか、URL が変更になっています。	表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_CBWS_27003	指定されたサービスは提供されていません。	誤ったサービス ID を指定している可能性があります。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CBWS_27004	イベントデータの更新に失敗しました。	イベントデータの取得、更新が行えません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CBWS_27005	プロフィールデータの更新に失敗しました。	データベースにデータを書き込めません。	システム管理者にご相談ください。 解決できない場合は、表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_CBWS_27006	イベントデータの更新に失敗しました。	イベントデータを取得できません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CBWS_27007	日付が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・開始と終了の日付のデータの組み合わせが正しくない	正しい日付であるかどうか確認してください。
GRN_CBWS_27008	このサービスは使用できません。	サービスが停止しているか、サービスライセンスの有効期限を過ぎています。	システム管理者にお問い合わせください。

GRN_CLLL_*****: ケータイのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CLLL_26000	不明なエラーです。	原因は不明です。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
GRN_CLLL_26001	セキュリティモデルが正しくありません。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_CLLL_26002	ログイン URL の送信に失敗しました。	システムメールアカウントが利用できません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CLLL_26003	ログイン URL の送信に失敗しました。	携帯メールアドレスが設定されていません。	ケータイ用アカウントの設定を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CLLL_26004	ログイン URL の送信に失敗しました。	ログイン URL が設定されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CLLL_26005	ページが見つかりません。	アクセス URL が誤っている可能性があります。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CLLL_26006	ケータイの利用は一時停止されています。	個人設定でケータイの利用が一時停止されています。	ケータイの利用停止設定を確認してください。
GRN_CLLL_26007	ユーザーを追加できません。	ライセンスで許可されているユーザー数を超えています。	新たにライセンスを購入するか、使用するユーザーを変更してください。
GRN_CLLL_26008	パスワードの確認に失敗しました。	パスワードに誤りがあります。	パスワードを確認し、再度実行してください。
GRN_CLLL_26009	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号のデータを修正してください。
GRN_CLLL_26010	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号の第 2 項目を確認してください。
GRN_CLLL_26011	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	指定しているユーザー、組織、またはロールが誤っているか、削除されています。	表示されている行番号の第 1 項目を確認してください。

GRN_CMMN_*****: 共通システムのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CMMN_00002	処理を中断しました。	必須項目の値が入力されていないため、処理を完了できません。	必須項目を入力してから、再度処理を行ってください。
GRN_CMMN_00003	アプリケーションを使用できません。	アクセスしようとしたアプリケーションが使用停止中になっているか、現在ログイン中のユーザーが使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CMMN_00004	アプリケーションを使用できません。	アプリケーションが使用停止中になっているか、現在ログイン中のユーザーが使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CMMN_00005	処理を実行できません。	システム管理を行う権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CMMN_00007	アプリケーションファイルの読み込みに失敗しました。	アプリケーションファイルが存在しません。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
GRN_CMMN_00008	アプリケーションファイルの読み込みに失敗しました。	不正なアプリケーションファイルです。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CMMN_00009	アプリケーションのアンインストールに失敗しました。	アンインストール不可能なアプリケーションの可能性があります。	アンインストール可能なアプリケーションであるか、またはアンインストール可能な状態であるか、ご確認ください。 解決できない場合は、表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_CMMN_00010	日付が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・開始と終了の日付のデータの組み合わせが正しくない	正しい日付であるかどうか確認してください。
GRN_CMMN_00011	ファイルの書き出しに失敗しました。	ファイルへ書き出すデータの指定が不正です。	目的のデータを確認してください。
GRN_CMMN_00012	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号のデータを修正してください。
GRN_CMMN_00019	指定された Web メールが見つかりません。	Web メールが削除されています。	メールアドレスのリンク先アプリケーションを変更するか、システム管理者にご相談ください。
GRN_CMMN_00020	CSV ファイルの書き出しに失敗しました。	書き出す言語が選択されていません。	書き出す言語を確認してください。
GRN_CMMN_00020	CSV ファイルの書き出しに失敗しました。	書き出す言語が選択されていません。	書き出す言語を確認してください。
GRN_CMMN_00113	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	指定された CSV ファイルが見つかりません。	ファイルの指定を正しく行ってください。
GRN_CMMN_00115	指定されたファイルが見つかりません。	ファイルの指定が誤っているか、ファイルが削除されています。	目的のファイルを確認してください。
GRN_CMMN_00116	ファイルの登録に失敗しました。	ファイルのデータが正しく登録できませんでした。	ファイルの登録を再度行ってください。
GRN_CMMN_00117	指定されたファイルは登録できません。	画像ファイルではないファイルを指定しています。	gif および jpeg の形式の画像を登録してください。
GRN_CMMN_00118	指定されたプロパティは登録できません。	プロパティ *** の文字数が登録できる範囲を超えています。	文字数を減らして再度登録を行ってください。
GRN_CMMN_00119	指定されたタイプが見つかりません。	タイプの指定が誤っているか、タイプが削除されています。	目的のタイプを確認してください。
GRN_CMMN_00120	指定された項目が見つかりません。	項目の指定が誤っているか、項目が削除されています。	目的の項目を確認してください。
GRN_CMMN_00151	項目コードが重複しています。	項目コード *** は他の項目ですすでに設定されているため、使用できません。	重複する項目コードは設定できません。 一意となる項目コードを指定してください。
GRN_CMMN_00152	パスワードの設定に失敗しました。	パスワードはシステム管理によって n 文字以上に設定されています。	n 文字以上のパスワードを設定してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CMMN_00153	パスワードの制限の設定に失敗しました。	空のパスワードでのログインが禁止されていますが、パスワードの文字数が 0 文字に設定されています。	パスワードの文字数を 0 文字より大きな値で再設定してください。
GRN_CMMN_00154	ユーザーを削除できません。	Administrator は削除できません。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_CMMN_00155	項目コードが不正です。	項目コード ***に不正な文字が使用されています。	半角英数字 /_(アンダーバー)を使用してください。
GRN_CMMN_00157	処理を実行できません。	ユーザーデータの削除処理は、同時に複数実行できません。	実行中の削除処理が終了してから、再度処理を実行してください。
GRN_CMMN_00158	パスワードの制限の設定に失敗しました。	使用する文字を制限していますが、パスワードの文字数が 0 文字に設定されています。	パスワードの文字数を、制限している文字列が入力できる値で再設定してください。
GRN_CMMN_00159	パスワードの設定に失敗しました。	設定されたパスワードの制限を満たしていません。	次の条件を満たすパスワードを入力してください。 *** ----- ・半角英字を含む ・半角英字(A-Z)を含む ・半角英字(a-z)を含む ・アラビア数字(0-9)を含む ・特殊文字を含む(`~!@#\$%^&*()_+ -= {} []\:";'<>?,./) ・ログイン名または名前を含まない
GRN_CMMN_00170	ファイルを選択できません。	指定されたファイル ID が不正です。	目的のファイルのファイル ID を確認してください。
GRN_CMMN_00171	ファイルを検出できません。	指定されたユーザーID が不正です。	ユーザーID を確認してください。
GRN_CMMN_00172	ファイルを選択できません。	指定されたファイルが見つかりません。	目的のファイルを確認してください。
GRN_CMMN_00173	指定された My グループが見つかりません。	My グループの指定が誤っているか、指定された My グループは削除されています。	目的の My グループを確認してください。
GRN_CMMN_00174	運用管理権限の設定に失敗しました。	運用管理権限の設定対象となるユーザー/組織/ロールが選択されていません。	ユーザー/組織/ロールのいずれかを選択してください。
GRN_CMMN_00175	不正な運用管理権限を指定しています。	ユーザー/組織/ロールの指定が誤っているか、削除されています。	ユーザー/組織/ロールのいずれかを選択してください。
GRN_CMMN_00179	処理を実行できません。	指定されたユーザーは削除されていません。	削除されていないユーザーは指定できません。 ユーザーを削除してから、再度処理を実行してください。
GRN_CMMN_00180	操作できません。	指定されたユーザーは使用停止中です。	システム管理者にご相談ください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CMMN_00201	ファイルを保存できません。	ユーザーが保存しようとするファイルのサイズが制限値 n を超えています。保存できるファイルのサイズ制限が n に設定されているため、このファイルは保存できません。	保存しようとしているファイルのサイズを制限値以下にするか、システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CMMN_00202	ファイル进行操作できません。	指定されたファイルは、他のユーザーが操作中のため、ロックされています。	現在のファイルの状態を確認してください。
GRN_CMMN_00203	ファイルの登録に失敗しました。	ファイルが指定されていません。	目的のファイルを確認して、再度登録を行ってください。
GRN_CMMN_00204	MIME タイプを追加できません。	指定された拡張子には、すでに別の MIME タイプが設定されています。	設定済みの MIME タイプを変更してください。
GRN_CMMN_00205	MIME タイプの追加に失敗しました。	必須項目である拡張子が設定されていません。	拡張子を設定してください。
GRN_CMMN_00206	MIME タイプの追加に失敗しました。	必須項目である MIME タイプが設定されていません。	MIME タイプを設定してください。
GRN_CMMN_00207	指定された MIME タイプが見つかりません。	すでに削除された MIME タイプの可能性があります。	目的の MIME タイプが存在するか確認してください。
GRN_CMMN_00301	通知サービスを使用できません。	通知サービスが使用停止中になっているか、現在ログイン中のユーザーが使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CMMN_00302	通知データを保存できません。	現在ログイン中のユーザーには、通知データを保存する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CMMN_00303	指定された確認済みの通知データを保存できません。	現在ログイン中のユーザーには、確認済みの通知データを保存する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CMMN_00304	指定された通知データは削除できません。	現在ログイン中のユーザーには、この通知データを削除する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_CMMN_00305	確認済みの通知データを削除できません。	現在ログイン中のユーザーには、データベースからデータの削除を行う権限がありません。	システム管理者にご相談ください。解決できない場合は、表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_CMMN_00306	プロファイルデータの取得に失敗しました。	現在ログイン中のユーザーには、データベースからデータの読み込みを行う権限がありません。	システム管理者にご相談ください。解決できない場合は、表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CMMN_00307	プロファイルデータの更新に失敗しました。	データベースにデータを書き込めません。	システム管理者にご相談ください。 解決できない場合は、表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_CMMN_00308	保存期間を設定できません。	設定しようとした保存期間は、システムで許可された期間を超えています。	システムで許可された範囲で期間を設定してください。
GRN_CMMN_00350	外部通知コードの変更に失敗しました。	外部通知コードが不正です。	外部通知コードには必ず 1 文字以上の文字列を指定してください。
GRN_CMMN_00352	外部通知コードを変更できません。	すでに存在する外部通知コードを指定しています。	重複する外部通知コードは設定できません。 一意となる外部通知コードを指定してください。
GRN_CMMN_01900	リクエストの読み込みを中断しました。	サーバーが理解できない不正なリクエストです。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
GRN_CMMN_02001	システム管理ロジックディレクトリが開けません。	ディレクトリ***を開けませんでした。	目的のディレクトリが選択されているかどうか、ディレクトリにアクセスする権限があるかどうかを確認してください。
GRN_CMMN_02002	アプリケーションを選択できません。指定されたアプリケーション ID が不正です。	アプリケーションの指定が誤っているか、アプリケーションが削除されています。	目的のアプリケーションを確認してください。
GRN_CMMN_02003	組織を選択できません。指定された組織 ID が不正です。	組織の指定が誤っているか、組織が削除されています。	目的の組織を確認してください。
GRN_CMMN_02004	ロールを選択できません。指定されたロール ID が不正です。	ロールの指定が誤っているか、ロールが削除されています。	目的のロールを確認してください。
GRN_CMMN_02005	ユーザーを選択できません。指定されたユーザー ID が不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_CMMN_02006	ユーザーを選択できません。	ユーザーの指定に誤りがあります。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_CMMN_02007	フォームデータを検出できません。	入力されたデータが正しくない等の理由により、その操作は行えません。	前の画面に戻り、はじめから操作しなおしてください。
GRN_CMMN_02008	指定された管理者ユーザーが見つかりません。	基本システムの管理者ユーザーがすでに削除されている可能性があります。	目的の管理者ユーザーを確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02009	指定された管理者組織が見つかりません。	基本システムの管理者組織がすでに削除されている可能性があります。	目的の管理者組織を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02010	指定された管理者ロールが見つかりません。	基本システムの管理者ロールがすでに削除されている可能性があります。	目的の管理者ロールを確認し、再度設定を行ってください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CMMN_02011	指定された管理者ユーザーが見つかりません。	アプリケーションの管理者ユーザーがすでに削除されている可能性があります。	目的の管理者ユーザーを確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02012	指定された管理者組織が見つかりません。	アプリケーションの管理者組織がすでに削除されている可能性があります。	目的の管理者組織を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02013	指定された管理者ロールが見つかりません	アプリケーションの管理者ロールがすでに削除されている可能性があります。	目的の管理者ロールを確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02014	指定されたユーザーが見つかりません。	ユーザーがすでに削除されている可能性があります。	目的のユーザーを確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02015	指定された組織が見つかりません。	組織がすでに削除されている可能性があります。	目的の組織を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02016	指定されたロールが見つかりません。	ロールがすでに削除されている可能性があります。	目的のロールを確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02017	時間帯を設定できません。	11 個以上の時間帯の項目を選択しています。	時間帯の項目を 10 個以内で設定してください。
GRN_CMMN_02101	個人設定ロジックディレクトリが開けません。	ディレクトリ***を開けませんでした。	目的のディレクトリが選択されているかどうか、ディレクトリにアクセスする権限があるかどうかを確認してください。
GRN_CMMN_02102	My グループを選択できません。指定された My グループ ID が不正です。	My グループの指定が誤っているか、My グループが削除されています。	目的の My グループを確認してください。
GRN_CMMN_02103	指定された My グループが見つかりません。	My グループの指定が誤っているか、指定された My グループは削除されています。	目的の My グループを確認してください。
GRN_CMMN_02104	My グループを追加/編集できません。	必須項目である My グループ名を入力せずに、My グループを追加または編集を行おうとしています。	My グループ名の入力内容を確認してください。
GRN_CMMN_02105	指定されたユーザー情報は変更できません。	指定されたユーザー ID が不正です。	目的のユーザーのユーザー ID を確認してください。
GRN_CMMN_02201	ヘルプの操作に失敗しました。	ヘルプの URL 中の指定が誤っているか、URL 中に指定がされていません。	ヘルプを一旦閉じて、画面のリンクから再度ヘルプを表示してください。
GRN_CMMN_02202	ヘルプの操作に失敗しました。	ヘルプのタブの指定が誤っているか、タブが指定されていません。	ヘルプを一旦閉じて、画面のリンクから再度ヘルプを表示してください。
GRN_CMMN_02203	ヘルプの操作に失敗しました。	ヘルプのカテゴリの指定が誤っているか、カテゴリが指定されていません。	ヘルプを一旦閉じて、画面のリンクから再度ヘルプを表示してください。
GRN_CMMN_02301	カレンダーの操作に失敗しました。	すでに存在するカレンダー名を指定しています。	重複するカレンダー名は設定できません。 一意となるカレンダー名を指定してください。
GRN_CMMN_02302	指定されたカレンダーが見つかりません。	カレンダーの指定が誤っているか、カレンダーが削除されています。	目的のカレンダーを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CMMN_02303	イベントの登録に失敗しました。	指定された日付にはすでにイベントが存在します。	書き込みを変更するか、または削除してから書き込みを行ってください。
GRN_CMMN_02304	イベントが見つかりません。	イベントの指定が誤っているか、指定されたイベントは削除されています。	目的のイベントを確認してください。
GRN_CMMN_02305	イベントの登録に失敗しました。	イベント内容が何も指定されていません。	イベント内容を設定してください。
GRN_CMMN_02306	カレンダー情報の CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	該当する行番号のデータを修正してください。
GRN_CMMN_02307	カレンダーの操作に失敗しました。	カレンダー名の指定が誤っているか、カレンダー名が指定されていません。	カレンダー名の入力内容を確認してください。
GRN_CMMN_02308	イベントを追加できません。	イベントタイプの値が正しくありません。	目的のイベントタイプを確認してください。
GRN_CMMN_02309	イベントの設定に失敗しました。	イベント内容の文字数が n を超えています。	イベント内容の文字数を減らして再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02310	指定されたカレンダーコードを設定できません。	すでに存在するカレンダーコードを指定しています。	重複するカレンダーコードは設定できません。 一意となるカレンダーコードを指定してください。
GRN_CMMN_02401	プロキシサーバーの設定に失敗しました。	プロキシサーバー名が不正です。	プロキシサーバー名を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02402	プロキシサーバーの設定に失敗しました。	プロキシサーバーのポート番号が不正です。	プロキシサーバーのポート番号を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02403	プロキシサーバーの設定に失敗しました。	例外アドレスの書式が不正です。	例外アドレスの書式を確認し、再度設定を行ってください。 IP アドレスを続けて入力する場合は、「;(セミコロン)」で区切ってください。
GRN_CMMN_02404	システムメールアカウントの設定に失敗しました。	送信メールサーバー名 (SMTP) が不正です。	送信メールサーバー名 (SMTP) を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02405	システムメールアカウントの設定に失敗しました。	送信メールサーバーのポート番号が不正です。	送信メールサーバーのポート番号を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02406	システムメールアカウントの設定に失敗しました。	送信用アカウント名が不正です。	送信用アカウント名を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02407	システムメールアカウントの設定に失敗しました。	受信メールサーバー名が不正です。	受信メールサーバー名を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02408	システムメールアカウントの設定に失敗しました。	受信メールサーバーのポート番号が不正です。	受信メールサーバーのポート番号を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_CMMN_02409	システムメールアカウントの設定に失敗しました。	受信用アカウント名 (POP3 アカウント) が不正です。	受信用アカウント名 (POP3 アカウント) を確認し、再度設定を行ってください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_CMMN_02410	送信メールサーバーとの接続に失敗しました。	メールサーバーからの応答: *****	システムメールアカウントの設定で、送信メールサーバー名 (SMTP)、送信メールサーバーポート番号が正しいかどうか確認してください。
GRN_CMMN_02411	受信メールサーバーとの接続に失敗しました。	メールサーバーからの応答: *****	システムメールアカウントの設定で、受信メールサーバー名 (SMTP)、受信メールサーバーポート番号が正しいかどうか確認してください。
GRN_CMMN_02500	ライセンス管理ロジックディレクトリが開けません。	ディレクトリ***を開けませんでした。	目的のディレクトリが選択されているかどうか、ディレクトリにアクセスする権限があるかどうかを確認してください。
GRN_CMMN_02601	指定されたメニューは存在しません。	メニューの指定が誤っているか、メニューがすでに削除されています。	目的のメニューを確認してください。
GRN_CMMN_02602	指定されたアイコンは存在しません。	アイコンの指定が誤っているか、アイコンがすでに削除されています。	目的のアイコンを確認してください。
GRN_CMMN_02702	指定されたファイルが見つかりません。	無効なセッションです。一時ファイルは削除されました。	最初から操作をやり直してください。

GRN_LINK_*****:リンク集のエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_LINK_12000	リンク ID が不正です。	リンクの指定が誤っているか、リンクが削除されています。	目的のリンクを確認してください。
GRN_LINK_12001	必須項目が入力されていません。	リンクの必須項目入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	リンクの必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_LINK_12002	指定されたリンクが見つかりません。	リンクの指定が誤っているか、指定されたリンクは削除されています。	目的のリンクを確認してください。
GRN_LINK_12003	指定されたリンク一覧が見つかりません。	リンクが一つも作成されていないか、全てのリンクが削除されています。	目的のリンク一覧を確認してください。
GRN_LINK_12004	追加するデータの種類が不正です。	追加するデータの種類のリンク又は区切り線以外の種類が指定されています。	追加するデータの種類を確認してください。
GRN_LINK_12200	カテゴリ ID が不正です。	カテゴリの指定が誤っているか、カテゴリが削除されています。	目的のカテゴリを確認してください。
GRN_LINK_12201	必須項目が入力されていません。	カテゴリの必須項目入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	カテゴリの必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_LINK_12202	指定されたカテゴリが見つかりません。	カテゴリの指定が誤っているか、指定されたカテゴリは削除されています。	目的のカテゴリを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_LINK_12203	指定されたカテゴリー一覧が見つかりません。	カテゴリーが一つも作成されていないか、全てのカテゴリーが削除されています。	目的のカテゴリー一覧を確認してください。
GRN_LINK_12204	指定されたカテゴリコードを設定できません。	すでに存在するカテゴリコードを指定しています。	重複するカテゴリコードは設定できません。 一意となるカテゴリコードを指定してください。
GRN_LINK_12205	カテゴリを移動できません。	ルートカテゴリは移動できません。	カテゴリの指定を確認してください。
GRN_LINK_12206	カテゴリを削除できません。	ルートカテゴリは削除できません。	カテゴリの指定を確認してください。
GRN_LINK_12207	カテゴリを変更できません。	ルートカテゴリは変更できません。	カテゴリの指定を確認してください。
GRN_LINK_12400	アクセス権 ID が不正です。	アクセス権の指定が誤っているか、アクセス権が削除されています。	目的のアクセス権を確認してください。
GRN_LINK_12401	アクセス権の対象 ID が不正です。	アクセス権の対象の指定が誤っているか、アクセス権の対象が削除されています。	目的のアクセス権の対象を確認してください。
GRN_LINK_12402	セキュリティモデルが正しくありません。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_LINK_12403	指定されたアクセス権が見つかりません。	アクセス権の指定が誤っているか、アクセス権が削除されています。	目的のアクセス権を確認してください。
GRN_LINK_12404	指定されたアクセス権一覧が見つかりません。	アクセス権が一つも作成されていないか、全てのアクセス権が削除されています。	目的のアクセス権一覧を確認してください。
GRN_LINK_12405	ユーザーID が不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_LINK_12406	組織 ID が不正です。	組織の指定が誤っているか、組織が削除されています。	目的の組織を確認してください。
GRN_LINK_12407	ロール ID が不正です。	ロールの指定が誤っているか、ロールが削除されています。	目的のロールを確認してください。
GRN_LINK_12408	指定された設定画面はアクセスできません。	現在ログイン中のユーザーには、この機能に対してアクセスする権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_LINK_12409	アクセス権を変更できません。	アクセス権を設定しているユーザーのログイン中に、閲覧の権限を奪うことはできません。	アクセス権の設定内容を確認してください。
GRN_LINK_12410	アクセス権の CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号のデータを修正してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_LINK_12600	運用管理権限を設定できません。	運用管理権限の設定対象となるユーザー/組織/ロールの指定が誤っているか、指定されたユーザー/組織/ロールは削除されています。	目的のユーザー/組織/ロールを確認してください。
GRN_LINK_12601	運用管理権限を設定できません。	運用管理権限の設定対象となるユーザー/組織/ロールの指定が誤っているか、指定されたユーザー/組織/ロールは削除されています。	目的のユーザー/組織/ロールを確認してください。
GRN_LINK_12602	運用管理権限が見つかりません。	運用管理権限の指定が誤っているか、指定された運用管理権限は削除されています。	目的の運用管理権限を確認してください。
GRN_LINK_12603	指定された運用管理権限一覧が見つかりません。	運用管理権限が一つも作成されていないか、全ての運用管理権限が削除されています。	目的の運用管理権限一覧を確認してください。
GRN_LINK_12604	ユーザーID が不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_LINK_12605	組織 ID が不正です。	組織の指定が誤っているか、組織が削除されています。	目的の組織を確認してください。
GRN_LINK_12606	ロール ID が不正です。	ロールの指定が誤っているか、ロールが削除されています。	目的のロールを確認してください。
GRN_LINK_12607	運用管理権限が制限されています。	現在ログイン中のユーザーには、この機能に対して運用管理を行う権限がありません。	システム管理者にご相談ください。

GRN_MAIL_*****:メールのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_MAIL_24001	メールを使用できません。	メールが使用停止中になっているか、現在ログイン中のユーザーが使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24002	メールを送受信できません。	メールが使用停止中になっているか、現在ログイン中のユーザーが使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24003	指定されたメールアカウントは使用できません。	現在、このアカウントは使用停止中です。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24004	不正なパラメーターを指定しています。	URL のパラメーターの指定が誤っているか、指定されたパラメーターを持つデータは削除されています。	目的の項目を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_MAIL_24021	設定データの更新に失敗しました。	現在ログイン中のユーザーには、設定データを更新する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24022	指定されたメールサーバーデータは追加できません。	現在ログイン中のユーザーには、このメールサーバーデータを追加する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24023	指定されたメールサーバーデータは更新できません。	現在ログイン中のユーザーには、このメールサーバーデータを更新する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24024	指定されたメールサーバーデータが見つかりません。	メールサーバーの指定が誤っているか、指定したメールサーバーが削除されています。	指定したメールサーバーを確認してください。
GRN_MAIL_24025	指定されたメールサーバーコードを設定できません。	すでに存在するメールサーバーコードを指定しています。	重複するメールサーバーコードは設定できません。一意となるメールサーバーコードを指定してください。
GRN_MAIL_24026	メールサーバーデータの CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	該当する行のデータを修正してください。
GRN_MAIL_24027	メールサーバーデータの CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	***が指定されていません。	***の値を空の状態を読み込めません。入力内容を確認してください。
GRN_MAIL_24028	メールサーバーデータの CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	***の値が正しくありません。	該当する行のデータを修正してください。
GRN_MAIL_24029	指定されたメールサーバーコードを設定できません。	メールサーバーコードが指定されていません。	メールサーバーコードの入力内容を確認してください。
GRN_MAIL_24051	指定されたメールサーバーデータは追加できません。	現在ログイン中のユーザーには、メールサーバーデータを追加する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24052	指定されたメールサーバーデータは変更できません。	現在ログイン中のユーザーには、メールサーバーデータを変更する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24053	指定されたメールサーバーデータは削除できません。	現在ログイン中のユーザーには、メールサーバーデータを削除する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24061	フォルダの購読設定に失敗しました。	現在ログイン中のユーザーには、フォルダの購読を設定する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24062	振り分け設定を追加できません。	現在ログイン中のユーザーには、振り分け条件設定を追加する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_MAIL_24063	指定された振り分け設定は削除できません。	現在ログイン中のユーザーには、この振り分け条件設定を削除する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24064	指定された振り分け設定が見つかりません。	振り分け設定の指定が誤っているか、指定した振り分け設定が削除されています。	指定した振り分け設定データを確認してください。
GRN_MAIL_24065	振り分け条件設定を追加できません。	現在ログイン中のユーザーには、振り分け条件設定を追加する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24071	署名設定を追加できません。	現在ログイン中のユーザーには、署名設定を追加する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24072	指定された署名設定は削除できません。	現在ログイン中のユーザーには、この署名設定を削除する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24073	指定された署名が見つかりません。	署名の指定が誤っているか、指定した署名が削除されています。	目的の署名を確認してください。
GRN_MAIL_24101	アカウントデータを追加できません。	現在ログイン中のユーザーには、アカウントデータを追加する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24102	指定されたアカウントデータは更新できません。	現在ログイン中のユーザーには、このアカウントデータを更新する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24103	指定されたアカウントデータは削除できません。	現在ログイン中のユーザーには、このアカウントデータを削除する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24104	指定されたアカウントが見つかりません。	アカウントの指定が誤っているか、指定したアカウントが削除されています。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24105	指定されたユーザーアカウントコードを設定できません。	すでに存在するユーザーアカウントコードを指定しています。	重複するユーザーアカウントコードは設定できません。一意となるユーザーアカウントコードを指定してください。
GRN_MAIL_24106	アカウントデータの CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	該当する行のデータを修正してください。
GRN_MAIL_24107	アカウントデータの CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	***が指定されていません。	***の値を空の状態を読み込めません。入力内容を確認してください。
GRN_MAIL_24108	アカウントデータの CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	***の値が正しくありません。	該当する行のデータを修正してください。
GRN_MAIL_24109	指定されたユーザーアカウントコードを設定できません。	ユーザーアカウントコードが指定されていません。	ユーザーアカウントコードの入力内容を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_MAIL_24110	アカウントデータの CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	既存のアカウントコードのログイン名、受信/送信メールアドレスは変更できません。	該当する行のデータを修正してください。
GRN_MAIL_24111	このアカウントデータは追加できません。	現在ログイン中のユーザーには、このアカウントデータを追加する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24112	指定されたアカウントデータは変更できません。	現在ログイン中のユーザーには、このアカウントデータを変更する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24113	指定されたアカウントデータは削除できません。	現在ログイン中のユーザーには、このアカウントデータを削除する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24114	メールアドレスが見つかりません。	指定されたメールアカウントにはメールアドレスが設定されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24121	フォルダデータを追加できません。	現在ログイン中のユーザーには、フォルダデータを追加する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24122	指定されたフォルダデータは削除できません。	現在ログイン中のユーザーには、このフォルダデータを削除する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24123	指定されたフォルダは削除できません。	「ガルーン」で標準の機能として用意されている、削除できないフォルダを指定しています。	目的のフォルダを確認してください。
GRN_MAIL_24124	指定されたフォルダが見つかりません。	フォルダの指定が誤っているか、フォルダが削除されています。	目的のフォルダを確認してください。
GRN_MAIL_24125	指定されたフォルダが見つかりません。	親フォルダの指定が誤っているか、親フォルダが削除されています。	目的の親フォルダを確認してください。
GRN_MAIL_24126	指定されたフォルダは移動できません。	「ガルーン」で標準の機能として用意されている、移動できないフォルダを指定しています。	目的のフォルダを確認してください。
GRN_MAIL_24127	フォルダを追加できません。	作成先のフォルダの階層が、最大数を超過しています。	フォルダが作成できるのは 20 階層までです。作成先とする目的のフォルダを確認してください。
GRN_MAIL_24128	フォルダの移動に失敗しました	移動先のフォルダの階層が、最大数を超過しています。	フォルダが作成できるのは 20 階層までです。移動先とする目的のフォルダを確認してください。
GRN_MAIL_24129	フォルダの移動に失敗しました。	移動先のフォルダの指定が誤っているか、フォルダが削除されています。	移動先とする目的のフォルダを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_MAIL_24130	フォルダの移動に失敗しました。	移動先のフォルダは、移動しようとしているフォルダ以下の階層に存在しています。	移動先には、移動しようとしているフォルダ以下の階層を指定できません。 指定するフォルダを確認してください。
GRN_MAIL_24131	送受信記録機能は使用できません。	現在ログイン中のユーザーには、送受信記録機能を使用する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24132	送受信記録データが見つかりません。	送受信記録データの指定が誤っているか、送受信記録データが削除されています。	目的の送受信記録データを確認してください。
GRN_MAIL_24151	送信メールサーバーとの接続に失敗しました。	メールサーバーからの応答： *****	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24152	メールの送信に失敗しました。	送信しようとしているメールに、差出人の情報が含まれていません。	「ガルーン」にログインしなおして、メールの再送信を行ってください。
GRN_MAIL_24153	必須項目が入力されていません。	宛先を入力せずに、メールの送信を行おうとしています。	To/Cc/Bccのいずれかの設定を確認してください。
GRN_MAIL_24154	オブジェクトの生成に失敗しました。	サーバーマシンのメモリが不足している可能性があります。	システム管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24155	メールの送信に失敗しました。	送信しようとしているメールのサイズが制限値nを超えています。 送信できるメールのサイズ制限がnに設定されているため、送信できません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24171	メールの送信に失敗しました。	メールサーバーからの応答： *****	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24201	受信メールサーバーとの接続に失敗しました。	メールサーバーからの応答： *****	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24203	受信メールサーバーの、メールデータ一覧の取得に失敗しました。	メールサーバーからの応答： *****	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24204	受信メールサーバーの、メールデータの削除に失敗しました。	メールサーバーからの応答： *****	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24251	メールデータを追加できません。	現在ログイン中のユーザーには、メールデータを追加する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24252	指定されたメールデータは削除できません。	現在ログイン中のユーザーには、このメールデータを削除する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24253	指定されたメールが見つかりません。	メールの指定が誤っているか、メールが削除されています。	目的のメールを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_MAIL_24254	指定されたメールは閲覧できません。	現在ログイン中のユーザーには、このメールを閲覧する権限がありません。	メールのデータを閲覧できるのは、アカウントとログイン情報の一致するユーザーのみです。他のユーザーのメールは閲覧できません。
GRN_MAIL_24271	添付ファイルデータを追加できません。	現在ログイン中のユーザーには、添付ファイルデータを追加する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24272	指定された添付ファイルデータは削除できません。	現在ログイン中のユーザーには、この添付ファイルデータを削除する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24273	指定された添付ファイルが見つかりません。	添付ファイルの指定が誤っているか、添付ファイルが削除されています。	目的の添付ファイルを確認してください。
GRN_MAIL_24274	指定されたメールおよびメールソースは削除できません。	現在ログイン中のユーザーには、このメールのデータを削除する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MAIL_24275	メールの送受信に失敗しました。	ユーザーが保存しようとするメールのサイズが制限値 n を超えています。 保存できるメールのサイズ制限が n に設定されているため、これ以上保存できません。	保存メールの総サイズが制限値以下になるように、不要なメールを削除してください。
GRN_MAIL_24301	ファイルの内容を読み込めませんでした。	ファイル *** の読み込みに失敗しました。	ファイルのアクセス権を確認してください。
GRN_MAIL_24302	ファイルにデータを書き込めませんでした。	ファイル *** の書き込みに失敗しました。	ファイルのアクセス権を確認してください。
GRN_MAIL_24303	指定されたファイルが見つかりません。	ファイルの指定が誤っているか、ファイルが削除されています。	目的のファイルを確認してください。
GRN_MAIL_24304	メールデータの読み込みに失敗しました。	メールデータのファイルのフォーマットが不正であるか、空の場合があります。	ファイルのフォーマットや内容を確認してください。
GRN_MAIL_24407	***に不正な値が指定されています。	***は利用できません。	指定している設定対象の内容を確認してください。
GRN_MAIL_24408	日時が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・日時が前後している ・開始と終了の日付のデータの組み合わせが正しくない	正しい開始日時/終了日時であるかどうか確認してください。
GRN_MAIL_24409	不正な操作です。	指定された値は有効な値ではありません。	入力できる値で再設定してください。
GRN_MAIL_24410	指定されたメールアカウントを設定できません。	すでに存在するメールアカウントと同じメールサーバーとアカウントを指定しています。	重複するメールアカウントは設定できません。別のメールサーバーか、一意となるメールアカウントを指定してください。

GRN_MEMO_*****:メモのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_MEMO_18000	不明なエラーです。	(無し)	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
GRN_MEMO_18001	指定されたフォルダが見つかりません。	フォルダの指定が誤っているか、フォルダが削除されています。	目的のフォルダを確認してください。
GRN_MEMO_18002	指定された親フォルダが見つかりません。	親フォルダの指定が誤っているか、親フォルダが削除されています。	目的の親フォルダを確認してください。
GRN_MEMO_18003	データの指定が正しくありません。	データの指定が誤っているか、データが削除されています。	目的のデータを確認してください。
GRN_MEMO_18004	指定されたメモが見つかりません。	メモの指定が誤っているか、メモが削除されています。	目的のメモを確認してください。
GRN_MEMO_18005	指定されたファイルが見つかりません。	ファイルの指定が誤っているか、ファイルが削除されています。	目的のファイルを確認してください。
GRN_MEMO_18006	指定された添付ファイルが見つかりません。	添付ファイルの指定が誤っているか、添付ファイルが削除されています。	目的の添付ファイルを確認してください。
GRN_MEMO_18007	復活するファイルのバージョン指定が正しくありません。	指定されたバージョンは存在しません。	目的のバージョンを確認してください。
GRN_MEMO_18008	ファイルを保存できません。	保存が可能な総ファイルサイズの制限値を超えているため、これ以上保存できません。	他のファイルを削除してから追加してください。
GRN_MEMO_18500	処理を中断しました。	対応していないリクエストがクライアントから送信されています。	表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_MEMO_18501	処理を中断しました。	メモのタイトルが指定されていないため、処理を完了できません。	メモのタイトルを指定してから、再度処理を行ってください。

GRN_MSSG_*****:メッセージのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_MSSG_15001	メッセージを使用できません。	メッセージが使用停止中になっているか、現在ログイン中のユーザーが使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MSSG_15002	指定されたフォルダが見つかりません。	フォルダの指定が誤っているか、フォルダが削除されています。	目的のフォルダを確認してください。
GRN_MSSG_15003	指定されたメッセージが見つかりません。	メッセージの指定が誤っているか、メッセージが削除されています。	目的のメッセージを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_MSSG_15004	指定されたフォローが見つかりません。	フォローの指定が誤っているか、フォローが削除されています。	目的のフォローを確認してください。
GRN_MSSG_15005	このフォローは書き込めません。	フォローの内容がありません。	フォローの内容を入力してください。
GRN_MSSG_15006	フォルダを追加、変更できません。	フォルダ名が入力されていません。	フォルダ名を入力してください。
GRN_MSSG_15007	標題が入力されていません。	標題が入力されていません。	標題を入力してください。
GRN_MSSG_15008	宛先が選択されていません。	宛先が選択されていない状態で、メッセージを操作しようとしています。	宛先が選択されているかどうか確認してください。
GRN_MSSG_15009	指定された添付ファイルが見つかりません。	添付ファイルの指定が誤っているか、指定されたメッセージはすでに削除されています。	目的の添付ファイルを確認してください。
GRN_MSSG_15010	指定された親フォルダが見つかりません。	親フォルダの指定が誤っているか、親フォルダが削除されています。	目的の親フォルダを確認してください。
GRN_MSSG_15011	更新通知の有無が指定されていません。	更新通知の指定に誤りがあります。	更新通知の有無を確認してください。
GRN_MSSG_15012	不正なパラメーターを指定しています。	URL のパラメーターの指定が誤っているか、指定されたパラメーターを持つデータは削除されています。	目的の項目を確認してください。
GRN_MSSG_15013	プロフィールデータの更新に失敗しました。	URL のパラメーターの指定に誤りがあります。	システム管理者にご相談ください。
GRN_MSSG_15014	プロフィールデータの更新に失敗しました。	データベースにデータを書き込めません。	システム管理者にご相談ください。 解決できない場合は、表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_MSSG_15015	メッセージを送信できません。	データベースにメッセージを書き込めません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MSSG_15016	指定されたメッセージは移動できません。	メッセージ/フォルダの指定が誤っているか、指定されたメッセージ/フォルダは削除されています。	目的のメッセージ/フォルダを確認してください。
GRN_MSSG_15017	振り分け保存を設定、変更できません。	振り分け保存設定名が入力されていません。	振り分け保存設定名を入力してください。
GRN_MSSG_15018	指定された振り分け保存が見つかりません。	振り分け保存の指定が誤っているか、振り分け保存が削除されています。	目的の振り分け保存を確認してください。
GRN_MSSG_15019	指定されたメッセージは削除できません。	メッセージの指定が誤っているか、指定したメッセージはすでに削除されています。	目的のメッセージを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_MSSG_15020	フォルダを作成できません。	フォルダ階層数が制限値 n を超えています。	フォルダの階層数を確認してください。
GRN_MSSG_15021	フォルダを作成できません。	URL のパラメーターの指定に誤りがあります。	目的のフォルダを確認してください。
GRN_MSSG_15022	フォルダ情報を変更できません。	指定したフォルダは、移動または削除されています。	目的のフォルダを確認してください。
GRN_MSSG_15023	フォルダを削除できません。	フォルダの指定が誤っているか、指定したフォルダはすでに削除されています。	目的のフォルダを確認してください。
GRN_MSSG_15024	フォルダが選択されていません。	フォルダが選択されていない状態で、振り分け設定の追加/編集を行おうとしています。	目的のフォルダが選択されているかどうか確認してください。
GRN_MSSG_15025	この振り分け保存設定を変更できません。	振り分け保存設定の指定が誤っているか、指定された振り分け保存設定は削除されています。	目的の振り分け保存設定を確認してください。
GRN_MSSG_15026	プロフィールデータの更新に失敗しました。	データベースにデータを書き込めません。	システム管理者にご相談ください。 解決できない場合は、表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_MSSG_15027	宛先を変更できません。	差出人は宛先から削除できません。	差出人を宛先に指定してください。
GRN_MSSG_15028	メッセージを保存できません。	現在ログイン中のユーザーには、メッセージを送信する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_MSSG_15029	メッセージを検索できません。	以下の原因等により、検索できません。 ・開始と終了の日付の組み合わせが正しくない	目的の検索期間を確認してください。
GRN_MSSG_15030	不正な操作です。	同じメッセージに対して、複数の操作は実行できません。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_MSSG_15031	不正な操作です。	指定された値が数値ではないか、有効な値の範囲ではありません。	入力できる値で再設定してください。

GRN_NTFC_*****:通知一覧のエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_NTFC_50001	通知一覧を使用できません。	通知一覧が使用停止中になっているか、現在ログイン中のユーザーが使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_NTFC_50002	プロファイルデータの更新に失敗しました。	データベースにデータを書き込めません。	システム管理者にご相談ください。 解決できない場合は、表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_NTFC_50100	外部通知コードが不正です。	外部通知の指定が誤っているか、または指定された外部通知は削除されています。	外部通知の指定を確認してください。
GRN_NTFC_50101	この外部通知は追加、または変更できません。	すでに設定している外部通知の外部通知コードと重複しています。	重複する外部通知コードは設定できません。 一意となる外部通知コードを指定してください。
GRN_NTFC_50102	指定された外部通知は見つかりません。	外部通知の指定が誤っているか、外部通知が削除されています。	目的の外部通知を確認してください。
GRN_NTFC_50103	指定された外部通知を削除できません。	外部通知の指定が誤っているか、または指定された外部通知は削除されています。	外部通知の指定を確認してください。
GRN_NTFC_50104	指定された通知データが見つかりません。	通知データの指定が誤っているか、通知データが削除されています。	目的の通知データを確認してください。
GRN_NTFC_50105	日時が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・日時が前後している ・開始と終了の日付のデータの組み合わせが正しくない	正しい開始日時/終了日時であるかどうか確認してください。
GRN_NTFC_50106	不正な操作です。	指定された値が数値ではないか、有効な値の範囲ではありません。	入力できる値で再設定してください。
GRN_NTFC_50201	通知フィルタを設定できません。	アプリケーションの指定が誤っているか、通知フィルタを使用しないアプリケーションを指定しています。 ・アプリケーション ID:***	システム管理者にご相談ください。
GRN_NTFC_50202	個人の通知フィルタの変更はできません。	このアプリケーションは、個人設定における通知フィルタの変更を許可されていません。 ・アプリケーション ID :***	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。

GRN_PHNM_*****:電話メモのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_PHNM_19000	ユーザーID が不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_PHNM_19001	電話メモ ID が不正です。	電話メモ ID の指定が誤っているか、電話メモ ID の値が指定されていません。	目的の電話メモ ID を確認してください。
GRN_PHNM_19002	指定された電話メモは確認済みできません。	電話メモを確認済みには受信者のみです。	電話メモの受信者を確認してください。
GRN_PHNM_19003	指定された電話メモは削除できません。	電話メモを削除できるのは送信者/受信者のみです。	電話メモの送信者/受信者に削除を依頼してください。
GRN_PHNM_19004	アクセス権を設定する対象が不正です。	対象の指定が誤っているか、対象が削除されています。	アクセスを設定する対象が適切か確認してください。
GRN_PHNM_19005	セキュリティモデルが正しくありません。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_PHNM_19006	シングルサインオン ID が不正です。	シングルサインオンの指定が誤っているか、シングルサインオンが削除されています。	目的のシングルサインオンを確認してください。
GRN_PHNM_19200	メール転送を設定できません。	指定メールアドレスが入力されていません。	電話メモを受け取るメールアドレスを指定したい場合は、指定メールアドレスを入力してください。
GRN_PHNM_19300	指定された電話メモは閲覧できません。	現在ログイン中のユーザーには、この組織/ユーザー/ロールの電話メモを閲覧する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_PHNM_19301	電話メモを登録できません。	現在ログイン中のユーザーには、この組織/ユーザー/ロールに電話メモを登録する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_PHNM_19302	セキュリティモデルが正しくありません。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_PHNM_19400	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	指定された CSV ファイルが見つかりません。	ファイルの指定を正しく行ってください。
GRN_PHNM_19401	CSV ファイルのデータが不正です。	CSV ファイルに入力されたデータの項目数が、決められた項目数に合いません。	CSV ファイルのデータの項目数と内容を確認してください。
GRN_PHNM_19402	そのユーザー/組織/ロールは指定できません。	アクセス権の CSV 読み込みで、第 2 項目には定められたユーザー/組織/ロール以外は指定できません。	以下のユーザー/組織/ロールを設定してください。 ・user ・group ・role
GRN_PHNM_19403	設定対象に不正な種別が指定されています。	***は利用できません。	指定している設定対象の内容を確認してください。
GRN_PHNM_19404	設定対象に不正な値が指定されています。	*** は利用できません。	指定している設定対象の内容を確認してください。
GRN_PHNM_19405	設定対象に不正な値が指定されています。	***は利用できません。	指定している設定対象の内容を確認してください。
GRN_PHNM_19406	アクセス権の設定に失敗しました。	アクセス権の設定対象となるユーザー/組織/ロールが選択されていません。	ユーザー/組織/ロールのいずれかを選択してください。

付録 F エラーメッセージ

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_PHNM_19407	そのアクセス権は指定できません。	アクセス権の CSV 読み込みで、第 4 項目には定められた文字以外は指定できません。	以下のアクセス権を設定してください。 ・E ・B

GRN_PRSC_*****:在席確認のエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_PRSC_48001	この在席情報は変更できません。	現在ログイン中のユーザーには、このユーザーの在席情報を変更する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_PRSC_48002	代理人の設定に失敗しました。	代理人の設定で対象が選択されていません。	ユーザー/組織のいずれかを選択してください。
GRN_PRSC_48003	セキュリティモデルが正しくありません。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_PRSC_48010	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	指定された CSV ファイルが見つかりません。	ファイルの指定を正しく行ってください。
GRN_PRSC_48011	CSV ファイルのデータが不正です。	CSV ファイルに入力されたデータの項目数が、決められた項目数に合っていません。	CSV ファイルのデータの項目数と内容を確認してください。
GRN_PRSC_48012	そのユーザー/組織は指定できません。	代理人の CSV 読み込みで、第 2 項目には定められたユーザー/組織以外は指定できません。	以下のユーザー/組織を設定してください。 ・user ・group
GRN_PRSC_48013	設定対象に不正な種別が指定されています。	***は利用できません。	指定している設定対象の内容を確認してください。
GRN_PRSC_48014	設定対象に不正な値が指定されています。	*** は利用できません。	指定している設定対象の内容を確認してください。
GRN_PRSC_48015	設定対象に不正な値が指定されています。	***は利用できません。	指定している設定対象の内容を確認してください。
GRN_PRSC_48016	そのアクセス権は指定できません。	アクセス権の CSV 読み込みで、第 4 項目には定められた文字以外は指定できません。	以下のアクセス権を設定してください。 ・M
GRN_PRSC_48020	操作できません。	個人設定における代理人の設定が許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。

GRN_PRTL_*****:ポータルエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_PRTL_10000	ポータル ID が不正です。	ポータルの指定が誤っているか、ポータルが削除されています。	目的のポータルを確認してください。
GRN_PRTL_10001	必須項目が入力されていません。	ポータルの必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	ポータルの必須項目の入力内容を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_PRTL_10002	指定されたポータルが見つかりません。	ポータルの指定が誤っているか、指定されたポータルは削除されています。	目的のポータルを確認してください。
GRN_PRTL_10003	指定されたポータル一覧が見つかりません。	ポータルが一つも作成されていないか、全てのポータルが削除されています。	ポータルの一覧を確認してください。
GRN_PRTL_10004	My ポータルを使用するにはログインが必要です。	ログインしていない状態で My ポータルを使用しようとしています。	ログイン状態を確認してください。
GRN_PRTL_10200	ポートレット ID が不正です。	ポートレットの指定が誤っているか、ポートレットが削除されています。	目的のポートレットを確認してください。
GRN_PRTL_10201	必須項目が入力されていません。	ポートレットの必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	ポートレットの必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_PRTL_10202	指定されたポートレットが見つかりません。	ポートレットの指定が誤っているか、指定されたポートレットは削除されています。	目的のポートレットを確認してください。
GRN_PRTL_10203	指定されたポートレット一覧が見つかりません。	ポートレットが一つも作成されていないか、全てのポートレットが削除されています。	目的のポートレット一覧を確認してください。
GRN_PRTL_10204	My ポートレットを使用するにはログインが必要です。	ログインしていない状態で My ポートレットを使用しようとしています。	ログイン状態を確認してください。
GRN_PRTL_10205	アプリケーションポートレットの登録に失敗しました。	不正なアプリケーションポートレットです。	製品が正しくインストールされていない可能性があります。製品が正しくインストールされているか確認してください。
GRN_PRTL_10206	ファイルの読み込みに失敗しました。	指定されたファイルが見つかりません。	目的のファイルを確認して、再度読み込みを行ってください。
GRN_PRTL_10207	ポートレットの内容を変更できません。	内容の文字数が制限値を超えています。 制限値は、1 バイト文字で最大 n 文字です。使用する文字のバイト数によって制限値が異なります。	内容の文字数を減らしてください。
GRN_PRTL_10250	ポートレットレイアウト ID が不正です。	指定したポートレットは、ポータル上から移動または削除されています。	ポータルの一覧でポートレットの位置を確認してください。
GRN_PRTL_10251	指定されたポートレットレイアウトが見つかりません。	ポートレットの指定が誤っているか、ポータル上から移動または削除されています。	ポータル一覧でポートレットの位置を確認してください。
GRN_PRTL_10300	ポートレットグループ ID が不正です。	ポートレットグループの指定が誤っているか、ポートレットグループが削除されています。	目的のポートレットグループを確認してください。
GRN_PRTL_10301	必須項目が入力されていません。	ポートレットグループの必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	ポートレットグループの必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_PRTL_10302	指定されたポートレットグループが見つかりません。	ポートレットグループの指定が誤っているか、ポートレットグループが削除されています。	目的のポートレットグループを確認してください。
GRN_PRTL_10303	指定されたポートレットグループ一覧が見つかりません。	ポートレットグループが一つも作成されていないか、全てのポートレットグループが削除されています。	目的のポートレットグループ一覧を確認してください。
GRN_PRTL_10304	My ポートレットグループを使用するにはログインが必要です。	ログインしていない状態で My ポートレットグループを使用しようとしています。	ログイン状態を確認してください。
GRN_PRTL_10400	アクセス権 ID が不正です。	アクセス権の指定が誤っているか、アクセス権が削除されています。	目的のアクセス権を確認してください。
GRN_PRTL_10401	ポータル ID、またはポートレット ID が不正です。	ポータル/ポートレットの指定が誤っているか、ポータル/ポートレットが削除されています。	目的のポータル/ポートレットを確認してください。
GRN_PRTL_10402	アクセス権の対象 ID が不正です。	アクセス権の対象の指定が誤っているか、アクセス権の対象が削除されています。	目的のアクセス権の対象を確認してください。
GRN_PRTL_10403	ユーザー ID が不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_PRTL_10404	アクセス権の操作対象の種類が正しくありません。	アクセス権の対象の指定が誤っているか、アクセス権の対象は削除されています。	目的のアクセス権の操作対象を確認してください。
GRN_PRTL_10405	指定されたポータル/ポートレットが見つかりません。	ポータル/ポートレットの指定が誤っているか、ポータル/ポートレットが削除されています。	目的のポータル/ポートレットを確認してください。
GRN_PRTL_10406	セキュリティモデルが正しくありません。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_PRTL_10407	アクセス権の操作対象として設定された値が正しくありません。	アクセス権の操作対象の指定が誤っているか、アクセス権の操作対象の設定に想定外の文字が使用されています。	目的のアクセス権の操作対象を確認してください。
GRN_PRTL_10408	指定されたアクセス権が見つかりません。	アクセス権の指定が誤っているか、アクセス権が削除されています。	目的のアクセス権を確認してください。
GRN_PRTL_10409	指定された設定画面はアクセスできません。	現在ログイン中のユーザーには、この設定画面に対してアクセスする権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_PRTL_10410	指定されたアクセス権が見つかりません。	アクセス権の指定が誤っているか、アクセス権が削除されています。	目的のアクセス権を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_PRTL_10411	アクセス権の設定に失敗しました。	アクセス権の設定対象となるユーザー/組織/ロールが選択されていません。	ユーザー/組織/ロールのいずれかを選択してください。
GRN_PRTL_10412	アクセス権を変更できません。	アクセス権を設定しているユーザーのログイン中に、閲覧の権限を奪うことはできません。	アクセス権の設定内容を確認してください。
GRN_PRTL_10700	運用管理権限を設定できません。	運用管理権限の設定対象となるユーザー/組織/ロールの指定が誤っているか、指定されたユーザー/組織/ロールは削除されています。	目的のユーザー/組織/ロールを確認してください。
GRN_PRTL_10701	ポータル ID、またはポートレット ID が不正です。	ポータル/ポートレットの指定が誤っているか、ポータル/ポートレットが削除されています。	目的のポータル/ポートレットを確認してください。
GRN_PRTL_10702	運用管理権限を設定できません。	運用管理権限の設定対象となるユーザー/組織/ロールの指定が誤っているか、指定されたユーザー/組織/ロールは削除されています。	目的のユーザー/組織/ロールを確認してください。
GRN_PRTL_10703	ユーザー ID が不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_PRTL_10704	組織 ID が不正です。	組織の指定が誤っているか、組織が削除されています。	目的の組織を確認してください。
GRN_PRTL_10705	ロール ID が不正です。	ロールの指定が誤っているか、ロールが削除されています。	目的のロールを確認してください。
GRN_PRTL_10706	運用管理権限を設定する対象の種類が不正です。	運用管理権限の設定対象となるユーザー/組織/ロールの指定が誤っているか、指定されたユーザー/組織/ロールは削除されています。	目的のユーザー/組織/ロールを確認してください。
GRN_PRTL_10707	ポータル/ポートレットが見つかりません。	ポータル/ポートレットの指定が誤っているか、指定されたポータル/ポートレットは削除されています。	目的のポータル/ポートレットを確認してください。
GRN_PRTL_10708	運用管理権限を設定する対象の種類が不正です。	運用管理権限の設定対象となるユーザー/組織/ロールの指定が誤っているか、正しくない値が指定されています。	目的のユーザー/組織/ロールを確認してください。
GRN_PRTL_10709	運用管理権限が見つかりません。	運用管理権限の指定が誤っているか、指定された運用管理権限は削除されています。	目的の運用管理権限を確認してください。
GRN_PRTL_10710	運用管理権限が制限されています。	現在ログイン中のユーザーには、この機能に対して運用管理を行う権限がありません。	システム管理者にご相談ください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_PRTL_10711	指定された運用管理権限は削除できません。	運用管理権限の指定が誤っているか、指定された運用管理権限は削除されています。	目的の運用管理権限を確認してください。
GRN_PRTL_10712	運用管理権限を設定できません。	運用管理権限の設定対象となるユーザー/組織/ロールが選択されていません。	ユーザー/組織/ロールのいずれかを選択してください。
GRN_PRTL_10801	指定されたポートレットにはアクセスできません。	ポートレットへのアクセス方法が不正です。	ポータルからアクセスしてください。

GRN_RPRT_*****:マルチレポートのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_RPRT_31000	カテゴリ ID が不正です。	カテゴリの指定が誤っているか、カテゴリが削除されています。	目的のカテゴリを確認してください。
GRN_RPRT_31001	必須項目が入力されていません。	カテゴリの必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	カテゴリの必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_RPRT_31002	指定されたカテゴリが見つかりません。	カテゴリの指定が誤っているか、カテゴリが削除されています。	目的のカテゴリを確認してください。
GRN_RPRT_31003	指定されたカテゴリコードを設定できません。	すでに存在するカテゴリコードを指定しています。	重複するカテゴリコードは設定できません。 一意となるカテゴリコードを指定してください。
GRN_RPRT_31005	指定されたカテゴリには、サブカテゴリがありません。	カテゴリの指定が誤っているか、カテゴリが削除されています。	目的のカテゴリを確認してください。
GRN_RPRT_31010	アクセス権 ID が不正です。	アクセス権の指定が誤っているか、アクセス権が削除されています。	目的のアクセス権を確認してください。
GRN_RPRT_31011	アクセス権の対象 ID が不正です。	アクセス権の対象の指定が誤っているか、アクセス権の対象が削除されています。	目的のアクセス権の対象を確認してください。
GRN_RPRT_31012	指定されたアクセス権の対象が見つかりません。	アクセス権の対象の指定が誤っているか、アクセス権の対象が削除されています。	目的のアクセス権の対象を確認してください。
GRN_RPRT_31013	ユーザー ID が不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_RPRT_31014	組織 ID が不正です。	組織の指定が誤っているか、組織が削除されています。	目的の組織を確認してください。
GRN_RPRT_31015	ロール ID が不正です。	ロールの指定が誤っているか、ロールが削除されています。	目的のロールを確認してください。
GRN_RPRT_31016	指定された設定画面はアクセスできません。	現在ログイン中のユーザーには、この機能に対してアクセスする権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_RPRT_31017	セキュリティモデルが正しくありません。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_RPRT_31020	運用管理権限 ID が不正です。	運用管理権限の指定が誤っているか、運用管理権限が削除されています。	目的の運用管理権限を確認してください。
GRN_RPRT_31021	運用管理権限の対象 ID が不正です。	運用管理権限の対象の指定が誤っているか、運用管理権限の対象が削除されています。	目的の運用管理権限の対象を確認してください。
GRN_RPRT_31022	指定された運用管理権限の対象が見つかりません。	運用管理権限の対象の指定が誤っているか、運用管理権限の対象が削除されています。	目的の運用管理権限の対象を確認してください。
GRN_RPRT_31023	ユーザーID が不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_RPRT_31024	組織 ID が不正です。	組織の指定が誤っているか、組織が削除されています。	目的の組織を確認してください。
GRN_RPRT_31025	ロール ID が不正です。	ロールの指定が誤っているか、ロールが削除されています。	目的のロールを確認してください。
GRN_RPRT_31026	運用管理権限が制限されています。	現在ログイン中のユーザーには、この機能に対して運用管理を行う権限がありません。	システム管理者にご相談ください。
GRN_RPRT_31027	運用管理者は未分類カテゴリにアクセスできません。	カテゴリ ID の指定が誤っているか、現在ログイン中のユーザーが未分類カテゴリに対してアクセスする権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_RPRT_31050	レポートフォーム ID が不正です。	レポートフォームの指定が誤っているか、レポートフォームが削除されています。	目的のレポートフォームを確認してください。
GRN_RPRT_31051	必須項目が入力されていません。	レポートフォームの必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	レポートフォームの必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_RPRT_31052	指定されたレポートフォームが見つかりません。	レポートフォームの指定が誤っているか、指定されたレポートフォームは削除されています。	目的のレポートフォームを確認してください。
GRN_RPRT_31053	指定されたレポートフォームコードを設定できません。	すでに存在するレポートフォームコードを指定しています。	重複するレポートフォームコードは設定できません。 一意となるレポートフォームコードを指定してください。
GRN_RPRT_31060	項目 ID が不正です。	項目の指定が誤っているか、項目が削除されています。	目的の項目を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_RPRT_31061	必須項目が入力されていません。	項目の必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	項目の必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_RPRT_31062	指定された項目が見つかりません。	項目の指定が誤っているか、項目が削除されています。	目的の項目を確認してください。
GRN_RPRT_31063	項目タイプが不正です。	存在しない項目タイプを指定して、追加または変更を行おうとしています。	項目タイプの選択操作を再度行ってください。
GRN_RPRT_31100	絞込 ID が不正です。	絞込の指定が誤っているか、絞込が削除されています。	目的の絞込を確認してください。
GRN_RPRT_31101	必須項目が入力されていません。	絞込の必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	絞込の必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_RPRT_31102	指定された絞込が見つかりません。	絞込の指定が誤っているか、絞込が削除されています。	目的の絞込を確認してください。
GRN_RPRT_31103	絞込条件の入力内容に誤りがあります。	絞込条件の入力内容が不正です。	絞込条件の入力内容を確認し、再度入力を行ってください。
GRN_RPRT_31104	絞込条件 ID が不正です。	絞込条件の指定が誤っているか、絞込条件が削除されています。	目的の絞込条件を確認してください。
GRN_RPRT_31150	レポート ID が不正です。	レポートの指定が誤っているか、レポートが削除されています。	目的のレポートを確認してください。
GRN_RPRT_31151	必須項目が入力されていません。	レポートの必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	レポートの必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_RPRT_31152	指定されたレポートが見つかりません。	レポートの指定データが誤っているか、指定されたレポートは削除されています。	目的のレポートを確認してください。
GRN_RPRT_31153	指定された下書きが見つかりません。	下書きの指定が誤っているか、下書きが削除されています。	目的の下書きを確認してください。
GRN_RPRT_31154	指定されたレポートはアクセスできません。	現在ログイン中のユーザーには、指定されたレポートに対してアクセスする権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_RPRT_31155	指定されたレポートは変更できません。	現在ログイン中のユーザーには、指定されたレポートを変更する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_RPRT_31156	指定されたレポートは削除できません。	現在ログイン中のユーザーには、指定されたレポートを削除する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_RPRT_31157	参加者が指定されていません。	レポートの登録/変更を行うには、参加者が 1 人以上必要です。	参加者を 1 人以上選択してください。
GRN_RPRT_31160	レポート項目 ID が不正です。	レポート項目の指定が誤っているか、レポート項目が削除されています。	目的のレポート項目を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_RPRT_31161	必須項目が入力されていません。	レポート項目データの必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	レポート項目データの必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_RPRT_31162	指定されたレポート項目が見つかりません。	レポート項目の指定が誤っているか、指定されたレポート項目は削除されています。	目的のレポート項目を確認してください。
GRN_RPRT_31170	添付ファイル ID が不正です。	添付ファイルの指定が誤っているか、添付ファイルが削除されています。	目的の添付ファイルを確認してください。
GRN_RPRT_31171	必須項目が入力されていません。	ファイルデータの必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	ファイルデータの必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_RPRT_31172	指定されたファイルが見つかりません。	ファイルの指定が誤っているか、指定されたファイルは削除されています。	目的のファイルを確認してください。
GRN_RPRT_31180	フォローID が不正です。	フォローの指定が誤っているか、フォローが削除されています。	目的のフォローを確認してください。
GRN_RPRT_31181	指定されたフォローが見つかりません。	フォローの指定が誤っているか、指定されたフォローは削除されています。	目的のフォローを確認してください。
GRN_RPRT_31182	指定されたフォローは削除できません。	フォローを削除できるのは発言者のみです。	フォローの発言者に削除を依頼してください。
GRN_RPRT_31183	このフォローは書き込めません。	フォローの内容がありません。	フォローの内容を入力してください。
GRN_RPRT_31190	更新通知の有無が指定されていません。	更新通知の指定に誤りがあります。	更新通知の有無を確認してください。
GRN_RPRT_31200	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV Writer が見つかりません。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
GRN_RPRT_31201	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	カテゴリコードにルートカテゴリが指定されています。 ルートカテゴリを変更することはできません。	表示されている行番号のカテゴリコードを確認してください。
GRN_RPRT_31202	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	親カテゴリコードの指定が誤っています。	表示されている行番号の親カテゴリコードを確認してください。
GRN_RPRT_31203	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号のデータを修正してください。
GRN_RPRT_31204	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号の第 2 項目を確認してください。
GRN_RPRT_31205	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号の第 3 項目を確認してください。第 3 項目に次の値を設定するか空にしてください。 ・B
GRN_RPRT_31206	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号の第 4 項目を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_RPRT_31211	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	XML ファイル中のノードが閉じていません。	XML ファイル中のノードの記述を確認して、再度読み込みを行ってください。
GRN_RPRT_31212	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	XML ファイル中のタグ名が不正か、XML ファイルが編集されています。	XML ファイルの編集は推奨されていません。正しい形式の XML ファイルを指定してください。
GRN_RPRT_31213	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	指定された XML ファイルが見つかりません。	目的のファイルを確認して、再度読み込みを行ってください。
GRN_RPRT_31214	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	XML ファイル中の項目の指定が不正です。	XML ファイル中の項目の記述を確認して、再度読み込みを行ってください。
GRN_RPRT_31215	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	レポートフォームコード *** は、すでに存在するフォームで設定されているため、使用できません。	重複するレポートフォームコードは設定できません。一意となるレポートフォームコードを設定してください。
GRN_RPRT_31216	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	カテゴリに(ルート)が指定されています。ルートカテゴリにはレポートフォームを読み込むことができません。	XML ファイル中の、カテゴリの内容を確認してください。
GRN_RPRT_31217	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	指定しているユーザー、組織、またはロールが誤っているか、削除されています。	表示されている行番号の第 1 項目を確認してください。
GRN_RPRT_31250	指定された予定にアクセスできません。	予定 ID が存在しないか、不正な形式です。	予定 ID を確認し、再度実行してください。
GRN_RPRT_31251	指定された予定にアクセスできません。	予定の指定が誤っているか、予定が削除されています。	目的の予定を確認してください。
GRN_RPRT_31252	レポートを作成できません。	すでにレポートが関連付けされています。同じ予定に対して、複数のレポートを作成できません。	既存のレポートと予定の関連を削除してください。
GRN_RPRT_31253	予定が特定できません。	日付が不正です。	予定の日付を確認し、再度実行してください。
GRN_RPRT_31300	ログイン URL の送信に失敗しました。	システムメールアカウントが利用できません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_RPRT_31301	ログイン URL の送信に失敗しました。	ログイン URL が設定されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_RPRT_31302	パスワードの確認に失敗しました。	パスワードに誤りがあります。	パスワードを確認し、再度実行してください。
GRN_RPRT_31303	ログイン URL の送信に失敗しました。	携帯メールアドレスが設定されていません。	ケータイ用アカウントの設定を確認してください。
GRN_RPRT_31304	レポートのケータイでの利用は一時停止されています。	個人設定でレポートのケータイでの利用が一時停止されています。	レポートのケータイでの利用停止設定を確認してください。
GRN_RPRT_31350	ユーザーID が不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_RPRT_31351	必須項目が入力されていません。	必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_RPRT_31352	指定された添付ファイルが見つかりません。	添付ファイルの指定が誤っているか、添付ファイルが削除されています。	目的の添付ファイルを確認してください。
GRN_RPRT_31353	ユーザーを追加できません。	ライセンスで許可されている利用ユーザー数を超えています。	新たにライセンスを購入するか、利用するユーザーを変更してください。
GRN_RPRT_31354	ユーザーを追加できません。	試用期間中はユーザーを登録できません。	新たにライセンスを購入するか、使用するユーザーを変更してください。
GRN_RPRT_31355	このフォローは書き込めません。	現在ログイン中のユーザーには、このレポートにフォローを書き込む権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_RPRT_31356	不正な操作です。	同じレポートに対して、複数の操作は実行できません。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

GRN_RSS_*****:RSS リーダーのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_RSS_28001	RSS リーダーを使用できません。	RSS リーダーが使用停止中になっているか、現在ログイン中のユーザーが使用を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_RSS_28002	サイトを設定できません。	サイト名が入力されていません。	サイト名を入力してください。
GRN_RSS_28003	サイトを設定できません。	サイトの URL が入力されていません。	サイトの URL を入力してください。
GRN_RSS_28004	指定されたサイトの詳細が見つかりません。	サイトの指定が誤っているか、指定されたサイトは削除されています。	指定しているサイトを確認してください。
GRN_RSS_28005	不正なパラメーターを指定しています。	URL のパラメーターの指定が誤っているか、指定されたパラメーターを持つデータは削除されています。	目的の項目を確認してください。
GRN_RSS_28006	指定されたファイルが見つかりません。	画面遷移によりセッションが消去され、一時ファイルが削除されました。	最初から操作をやり直してください。
GRN_RSS_28007	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	該当する行のデータを修正してください。
GRN_RSS_28008	このサイトは登録できません。	指定されたサイトはすでに登録されています。	サイト一覧で登録内容を確認してください。
GRN_RSS_28009	個人のサイト設定はできません。	個人設定においてサイトの設定を許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_RSS_28100	このサイトは登録できません。	指定されたサイトに接続できません。	指定しているサイトが正しいかどうかを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_RSS_28101	サイトの追加に失敗しました。	指定された URL は、サポートされていないプロトコルを使用しています。	http または https で始まる URL を指定してください。
GRN_RSS_28102	サイトの追加に失敗しました。	接続がタイムアウトしました。	サイトの URL を確認してください。 解決しない場合は、タイムアウト時間を変更すると追加できる場合があります。システム管理者にご相談ください。
GRN_RSS_28103	サイトの追加に失敗しました。	データの読み込みがタイムアウトしました。	タイムアウト時間を変更すると追加できる場合があります。システム管理者にご相談ください。

GRN_SCHD_*****:スケジュールのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SCHD_13001	この予定は操作できません。	予定の指定が誤っているか、予定が削除されています。	目的の予定を確認してください。
GRN_SCHD_13002	この予定は閲覧できません。	現在ログイン中のユーザーには、この予定を閲覧する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_SCHD_13003	この仮予定は、すでに確定されています。	すでに確定している仮予定を指定しています。	目的の仮予定を確認してください。
GRN_SCHD_13004	開始日付が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・開始と終了の日付のデータの組み合わせが正しくない	正しい日付であるかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13005	終了日付が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・開始と終了の時刻のデータの組み合わせが正しくない	正しい終了日付であるかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13006	日付が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・開始と終了の日付のデータの組み合わせが正しくない	正しい日付であるかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13007	開始時刻が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・開始と終了の時刻のデータの組み合わせが正しくない	正しい開始時刻であるかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13008	終了時刻が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・開始と終了の時刻のデータの組み合わせが正しくない	正しい終了日時であるかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13009	時刻が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・時刻が前後している ・開始と終了の時刻のデータの組み合わせが正しくない	正しい開始/終了時刻であるかどうか確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SCHD_13010	開始日時が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・開始と終了の日時のデータの組み合わせが正しくない	正しい開始日時であるかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13011	終了日時が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・開始と終了の日時のデータの組み合わせが正しくない	正しい終了日時であるかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13012	日時が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・日時が前後している ・開始と終了の日付のデータの組み合わせが正しくない	正しい開始日時/終了日時であるかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13013	仮予定の日時候補が設定されていません。	仮予定の日時候補を設定せずに、仮予定の登録を行おうとしています。	仮予定の日時候補を確認してください。
GRN_SCHD_13014	日付の入力がされていません。	日付を入力せずに、予定の設定または変更を行おうとしています。	日付の入力内容を確認してください。
GRN_SCHD_13015	その繰り返しの期間は使用できません。	繰り返しの期間は、nまでしか登録できない設定になっています。	範囲内で繰り返しの期間を設定してください。
GRN_SCHD_13016	繰り返しの条件が入力されていません。	繰り返しの条件が入力されていません。	繰り返しの条件を入力してから登録してください。
GRN_SCHD_13017	繰り返し予定の変更の区分が選択されていません。	繰り返しの変更区分が選択されていないため、操作を行えませんでした。	繰り返し予定の変更区分の選択内容を確認し、再度実行してください。
GRN_SCHD_13018	繰り返し予定の削除の条件が選択されていません。	繰り返し予定の削除の条件が選択されていないため、操作を行えませんでした。	繰り返し予定の削除条件の選択内容を確認し、再度実行してください。
GRN_SCHD_13019	共有予定の削除の条件が選択されていません。	共有予定の削除の条件が選択されていません。	共有予定の削除条件の選択内容を確認し、再度実行してください。
GRN_SCHD_13020	繰り返し予定の開始日を変更できません。	以降の予定を変更する場合は、繰り返し開始日を変更できません。	開始日を***にしてから変更してください。
GRN_SCHD_13021	参加者が指定されていません。	予定の登録/変更を行うには、この予定に参加者が1人以上必要です。	参加者を1人以上選択してください。
GRN_SCHD_13022	指定されたフォローが見つかりません。	フォローの指定が誤っているか、フォローが削除されています。	目的のフォローを確認してください。
GRN_SCHD_13023	指定されたフォローは削除できません。	フォローを削除できるのは発言者のみです。	フォローの発言者に削除を依頼してください。
GRN_SCHD_13024	このフォローは書き込めません。	フォローの内容がありません。	フォローの内容を入力してください。
GRN_SCHD_13025	CSV ファイルのデータが不正です。	CSV ファイルに入力されたデータの項目数が、決められた項目数に合っていないです。	CSV ファイルのデータの項目数と内容を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SCHD_13026	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	指定された CSV ファイルが見つかりません。	ファイルの指定を正しく行ってください。
GRN_SCHD_13027	スケジュールの書き出しを行えません。	スケジュールを書き出すユーザー/組織が選択されていません。	ユーザー/組織の選択内容を確認し、再度実行してください。
GRN_SCHD_13028	統計の書き出しを行えません。	統計を行うユーザー/組織が選択されていません。	ユーザー/組織の選択内容を確認し、再度実行してください。
GRN_SCHD_13029	この予定メニュー名では登録できません。	***はすでに登録されています。	登録されていないメニューで登録するか、変更を行ってください。
GRN_SCHD_13030	予定メニュー連携を設定できません。	予定メニュー名が選択されていません。	予定メニュー名を選択してください。
GRN_SCHD_13031	予定メニュー連携を設定できません。	予定メニュー名の指定が誤っているか、予定メニュー名が削除されています。	目的の予定メニューを確認してください。
GRN_SCHD_13034	アクセス権の対象 ID が不正です。	ユーザー/組織/ロールが指定されていません。	アクセス権の対象が選択されているかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13035	ユーザーID が不正です。	指定されているのは、ログインユーザーではありません。	目的のユーザーがログインユーザーであるかどうか、確認してください。
GRN_SCHD_13036	アクセス権の設定に失敗しました。	アクセス権の設定対象となるユーザー/組織/ロールが選択されていません。	ユーザー/組織/ロールのいずれかを選択してください。
GRN_SCHD_13037	指定されたユーザー/組織が見つかりません。	アクセス権の設定で対象が選択されていません。	アクセス権の対象を設定してください。
GRN_SCHD_13038	セキュリティモデルが正しくありません。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_SCHD_13039	アクセス権の設定に失敗しました。	アクセス権の設定で対象が選択されていません。	ユーザー/組織/ロールのいずれかを選択してください。
GRN_SCHD_13040	アクセス権の設定に失敗しました。	アクセス権の設定対象となるユーザー/組織/ロールが選択されていません。	ユーザー/組織/ロールのいずれかを選択してください。
GRN_SCHD_13041	アクセス権の組み合わせが正しくありません。	閲覧権限を設定していないユーザーには、他の権限を設定できません。	アクセス権の設定で「閲覧」が選択されているかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13042	この予定は閲覧できません。	現在ログイン中のユーザーには、この予定のユーザーまたは組織に対するアクセス権がないため、閲覧する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_SCHD_13043	この予定は登録できません。	現在ログイン中のユーザーには、このユーザー/組織/施設に対して登録を行う権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_SCHD_13044	この予定は変更できません。	現在ログイン中のユーザーには、このユーザー/組織/施設を変更する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SCHD_13045	指定された予定は削除できません。	現在ログイン中のユーザーには、このユーザー/組織/施設の予定を削除する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_SCHD_13046	この予定にはフォローを書き込めません。	現在ログイン中のユーザーには、この予定に対して、フォローを書き込む権限がありません。 登録/変更/削除のいずれかの権限が必要です。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_SCHD_13048	時間帯が不正です。	開始時間と終了時間が前後しています。	正しい時間帯であるかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13049	指定された予定が確認できません。	予定を確認するユーザー/組織/施設が選択されていません。	目的のユーザー/組織/施設が選択されているかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13050	指定された組織/施設グループが見つかりません。	予定の一覧表示で指定したグループIDを持つ組織/施設グループ/Myグループがありません。	目的の組織/施設グループのグループIDを確認してください。
GRN_SCHD_13051	この予定にはすでに参加しています。	すでに参加している予定に対して、参加の操作が行われました。	目的のスケジュールを確認してください。
GRN_SCHD_13052	指定された仮予定は確定できません。	現在ログイン中のユーザーには、この仮予定に対して、登録/変更/削除を行う権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_SCHD_13053	指定された仮予定は削除できません。	削除する日付が選択されていません。	削除する日付を確認してください。
GRN_SCHD_13054	指定された仮予定の日付が見つかりません。	仮予定の指定が誤っているか、仮予定が削除されています。	目的の仮予定の日付を確認してください。
GRN_SCHD_13055	指定されたユーザー/組織/施設/施設グループは選択できません。	現在ログイン中のユーザーには、このユーザー/組織/施設/施設グループの予定を閲覧する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_SCHD_13056	表示する組織/Myグループ/施設グループが選択されていません。	グループ日/週表示のポートレットで、組織のラジオボタンを選択していますが、組織/Myグループ/施設が選択されていません。	組織/Myグループ/施設を選択してください。
GRN_SCHD_13057	指定されたユーザー/組織/施設/施設グループは選択できません。	現在ログイン中のユーザーには、このユーザー/組織/施設/施設グループの予定を操作する権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SCHD_13058	そのユーザー/組織/ロール/施設区分/施設グループは指定できません。	アクセス権の CSV 読み込みで、第 1 項目には定められたユーザー/組織/ロール/施設区分/施設グループ以外は指定できません。	以下のユーザー/組織/ロール/施設区分/施設グループを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・user ・group ・role ・facility ・facilitygroup
GRN_SCHD_13059	不正な設定項目が指定されました。	*** は利用できません。	指定している設定対象の内容を確認してください。
GRN_SCHD_13060	不正なユーザー/組織/ロール/施設コード/施設グループが指定されました。	*** は利用できません。	以下のユーザー/組織/ロール/施設区分/施設グループを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・user ・group ・role ・facility ・facilitygroup ・開始と終了の時刻のデータの組み合わせが正しくない
GRN_SCHD_13061	設定対象に不正な値が指定されています。	*** は利用できません。	指定している設定対象の内容を確認してください。
GRN_SCHD_13062	そのアクセス権は指定できません。	アクセス権の CSV 読み込みで、第 4 項目には定められた文字以外は指定できません。	以下のアクセス権を設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・R ・A ・M ・D
GRN_SCHD_13063	指定された画面はアクセスできません。	この操作を実行するには運用管理権限が必要です。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_SCHD_13065	その繰り返しの期間は使用できません。	以下の原因等により、設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し条件と期間の組み合わせが正しくない 	正しい日付であるかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13066	予定データをシンクできません。	この予定は「ガルーン」で取り扱えない形式のため、シンクできません。	予定の内容を確認して再度シンクを実行するか、別途、手動で入力を行ってください。
GRN_SCHD_13067	予定データをシンクできません。	シンクできる予定のデータは、最大で前後 1 年の範囲内です。	範囲の指定を確認してください。
GRN_SCHD_13068	日時が選択されていません。	日時が選択されていない状態で、予定の登録を行おうとしています。	目的の日時が選択されているかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13069	処理を中断しました。	処理中に不正なパラメーターが見つかりました。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
GRN_SCHD_13201	施設名が入力されていません。	施設名を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	施設名を入力してから、追加または変更を行ってください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SCHD_13202	施設コードが入力されていません。	施設コードを入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	施設コードを入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_SCHD_13203	指定された施設が見つかりません。	施設の指定が誤っているか、指定された施設は削除されています。	目的の施設を確認してください
GRN_SCHD_13204	施設グループ名が入力されていません。	施設グループ名を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	施設グループ名を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_SCHD_13205	指定された施設グループが見つかりません。	施設グループの指定が誤っているか、指定された施設グループは削除されています。	目的の施設グループを確認してください。
GRN_SCHD_13206	施設を含む予定の予約期間が不正です。	予約期間は、nまでしか登録できない設定になっています。	範囲内で予約期間を設定してください。
GRN_SCHD_13207	開始時刻または終了時刻が入力されていません。	開始時刻または終了時刻を入力せずに、予定の設定または変更を行おうとしています。	開始時刻または終了時刻の入力内容を確認してください。
GRN_SCHD_13208	***の予定が他の予定と重なっています。	施設を予約する場合は、他の予定と時間が重ならないように設定する必要があります。	***の予定を確認してください。
GRN_SCHD_13209	指定された施設は削除できません。	施設の指定が誤っているか、指定された施設は削除されています。	目的の施設を確認してください。
GRN_SCHD_13210	指定された施設グループは削除できません。	施設グループの指定が誤っているか、指定された施設グループは削除されています。	目的の施設グループを確認してください。
GRN_SCHD_13211	この施設は登録できません。	すでに同じ施設コード ***を持つ施設が登録されています。	重複する施設コードは設定できません。 一意となる施設コードを指定してください。
GRN_SCHD_13212	施設の順番を変更できません。	順番の指定が行われていません。	順番の指定を行ってください。
GRN_SCHD_13213	施設グループの順番を変更できません。	順番の指定が行われていません。	順番の指定を行ってください。
GRN_SCHD_13215	指定された予定は操作できません。	現在ログイン中のユーザーには、この予定に対して、変更/削除を行う権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_SCHD_13216	予定の調整で設定した時間が他の予定と重なっています。	施設を予約する場合には、時間が重ならないように時間を設定する必要があります。	目的の施設の予定を確認してください。
GRN_SCHD_13217	この施設グループは登録できません。	すでに同じ施設グループコード ***を持つ施設グループが登録されています。	重複する施設グループコードは設定できません。 一意となる施設グループコードを指定してください。

付録 F エラーメッセージ

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SCHD_13218	施設を含む予定の最大時間を超えています。	施設の予約時間は n 分までしか登録できない設定になっています。	範囲内で予約時間を設定してください。
GRN_SCHD_13219	施設グループコードが入力されていません。	施設グループコードを入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	施設グループコードを入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_SCHD_13220	施設グループの階層の上限を超えています。	施設グループの階層は 3 階層までしか登録できません。	範囲内で施設グループを設定してください。
GRN_SCHD_13221	施設グループ情報の CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	***または***の値が指定されていません。	空でない文字列を指定するか、*を指定して省略してください。
GRN_SCHD_13222	施設グループ情報の CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	***と***の両方の値を*と指定しているため、省略になっています。	施設グループの情報を変更する場合は***を、新たに施設グループを作成する場合は***を、必ず指定してください。
GRN_SCHD_13223	指定された親施設グループが見つかりません。	親施設グループの指定が誤っているか、親施設グループが削除されています。	親施設グループの指定を確認してください。
GRN_SCHD_13224	移動先の親施設グループの指定が不正です。	指定された親施設グループは、移動しようとしている施設グループ以下の階層に存在している、または移動しようとしている施設グループと同一です。	移動先の親施設グループを確認してください。
GRN_SCHD_13225	この予定から抜けることはできません。	現在ログイン中のユーザーは、この予定に参加していません。	予定の参加者を確認してください。
GRN_SCHD_13226	指定された施設は使用できません。	現在ログイン中のユーザーには、この施設を使用して、予定を作成/変更する権限がありません。	他の施設を使用してください。 権限を変更する場合は、システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_SCHD_13227	開始日時が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・開始日時の形式が正しくない。	正しい開始日時であるかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13228	終了日時が不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・終了日時の形式が正しくない。	正しい終了日時であるかどうか確認してください。
GRN_SCHD_13300	指定されたカスタマイズ項目が見つかりません。	カスタマイズ項目の指定が誤っているか、カスタマイズ項目が削除されています。	目的のカスタマイズ項目を確認してください。
GRN_SCHD_13301	項目が見つかりません。	項目の指定が誤っているか、項目が削除されています。	目的の項目を確認してください。
GRN_SCHD_13302	指定されたカスタマイズ項目が見つかりません。	カスタマイズ項目 ID の指定が誤っているか、カスタマイズ項目 ID が削除されています。	目的のカスタマイズ項目 ID を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SCHD_13303	指定された組み込み項目が見つかりません。	組み込み項目の指定が誤っているか、組み込み項目が削除されています。	目的の組み込み項目を確認してください。
GRN_SCHD_13304	不正な操作です。	繰り返しの予定に対して、通常予定の変更を行おうとしています。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_SCHD_13305	不正な操作です。	通常予定に対して、繰り返し予定の変更を行おうとしています。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_SCHD_13306	不正な操作です。	仮予定に対して、参加／抜けるの操作は実行できません。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_SCHD_13307	不正な操作です。	同じ予定に対して、複数の操作は実行できません。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_SCHD_91021	施設が不正です。	V-CUBE システムへの連携対象施設が複数選択されています。	連携対象施設を1つにしてください。
GRN_SCHD_91022	終了日時が不正です。	過去の日時が指定されています。	未来の日時を指定してください。
GRN_SCHD_91023	タイトルが不正です。	値が入力されていません。	V-CUBE 会議室を予約する場合は値を入力してください。
GRN_SCHD_91024	タイトルが不正です。	予定メニューとタイトルの合計文字数が 99 文字を超えています。	文字数を減らして再度設定を行ってください。
GRN_SCHD_91025	メモが不正です。	値が入力されていません。	V-CUBE 会議室を予約する場合は値を入力してください。
GRN_SCHD_91026	メモが不正です。	メモの文字数が 1000 文字を超えています。	文字数を減らして再度設定を行ってください。
GRN_SCHD_91027	参加者が不正です。	V-CUBE システム用のメールアドレスが指定されていないユーザーが選択されています。	V-CUBE システム用のメールアドレスが指定されているユーザーを選択してください。
GRN_SCHD_91028	パスワードが不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・パスワードが確認用パスワードと一致していない ・半角英数字以外の文字が使用されている ・文字数が誤っている	半角英数字 6 文字以上、16 文字以内で入力してください。
GRN_SCHD_91029	外部招待者の氏名が不正です。	名前の文字数が 30 文字を超えています。	文字数を減らして再度設定を行ってください。
GRN_SCHD_91030	外部招待者のメールアドレスが不正です。	メールアドレスの文字数が 100 文字を超えています。	文字数を減らして再度設定を行ってください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SCHD_91031	外部招待者が不正です。	名前とメールアドレスの両方が指定されていません。	名前とメールアドレスを指定してください。
GRN_SCHD_91032	V-CUBE 会議室を予約できません。	個人設定で V-CUBE システム用のメールアドレスが設定されていません。	V-CUBE 会議室を予約する場合は、V-CUBE システム用のメールアドレスを設定してください。
GRN_SCHD_91033	招待者の上限を超えています。	通常ユーザは *** 人まで招待可能です。	参加者を減らして再度設定を行ってください。
GRN_SCHD_91034	招待者の上限を超えています。	通常ユーザは *** 人まで招待可能です。	参加者または外部招待者を減らして再度設定を行ってください。
GRN_SCHD_91035	通常ユーザは招待できません。	通常ユーザの招待可能人数が設定されていません。	システム管理者に確認してください。
GRN_SCHD_91036	オーディエンスの上限を超えています。	オーディエンスは *** 人まで招待可能です。	オーディエンスを減らして再度設定を行ってください。
GRN_SCHD_91037	オーディエンスは招待できません。	オーディエンスの招待可能人数が設定されていません。	システム管理者に確認してください。
GRN_SCHD_91038	施設が不正です。	施設を変更することはできません。	元の施設を選択してください。
GRN_SCHD_91039	終了日時が不正です。	未来の日時が指定されています。	過去の日時を指定してください。
GRN_SCHD_91040	開始日時が不正です。	開始日時を変更することはできません。	元の開始日時を指定してください。
GRN_SCHD_91041	招待者の上限を超えています。	通常ユーザは *** 人まで招待可能です。	この予定に参加することはできません。
GRN_SCHD_91042	この予定に参加できません。	個人設定で V-CUBE システム用のメールアドレスが設定されていません。	V-CUBE 会議に参加する場合は、V-CUBE システム用のメールアドレスを設定してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SCHD_91001	V-CUBE システムとの連携に失敗しました。	以下の原因等により、V-CUBE システムの予約を変更できませんでした。 ・V-CUBE システムに重複する予約が存在する ・予約変更に必要な設定が誤っている	V-CUBE システムの会議予約状況を確認してください。重複する予約が無い場合はシステム管理者に確認してください。
GRN_SCHD_91002	V-CUBE システムとの連携に失敗しました。	以下の原因等により、V-CUBE システムの予約を削除できませんでした。 ・V-CUBE システムへのログインに失敗した ・V-CUBE システムとの通信時にエラーが発生した	システム管理者に確認した後、再度予定の削除を行ってください。
GRN_SCHD_91003	V-CUBE システムとの連携に失敗しました。	以下の原因等により、V-CUBE システムの予約を削除できませんでした。 ・V-CUBE システムへのログインに失敗した ・V-CUBE システムとの通信時にエラーが発生した	システム管理者に確認した後、再度予定の削除を行ってください。
GRN_SCHD_91004	V-CUBE システムとの連携に失敗しました。	以下の原因等により、V-CUBE システムの予約情報を取得できませんでした。 ・V-CUBE システムへのログインに失敗した ・V-CUBE システムとの通信時にエラーが発生した ・会議予約が削除されている	システム管理者に確認してください。
GRN_SCHD_91005	V-CUBE システムとの連携に失敗しました。	以下の原因等により、V-CUBE システムの会議室を予約できませんでした。 ・V-CUBE システムへのログインに失敗した ・V-CUBE システムとの通信時にエラーが発生した ・V-CUBE システムに重複する予約が存在する ・会議予約に必要な値が誤っている	システム管理者に確認した後、再度リトライを行ってください。
GRN_SCHD_91006	V-CUBE システムへのログインに失敗しました。	V-CUBE システムへのログイン時にエラーが発生しました。	V-CUBE システムが動作するサーバーの状態を確認してください。

GRN_SPACE_*****:スペースのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SPACE_00001	指定されたスペースが見つかりません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SPACE_00002	指定されたカテゴリが見つかりません。	カテゴリの指定が誤っているか、カテゴリが削除されています。	目的のカテゴリを確認してください。
GRN_SPACE_00003	指定されたアイコンは存在しません。	アイコンの指定が誤っているか、アイコンがすでに削除されています。	目的のアイコンを確認してください。
GRN_SPACE_00004	スペースを設定できません。	スペース名が 100 文字を超えています。	スペース名は、全角、半角を問わず 100 文字以内で入力してください。
GRN_SPACE_00005	スペースのメンバーが指定されていません。	スペースを追加または変更するには、メンバーが 1 人以上必要です。	スペースのメンバーを 1 人以上指定してください。
GRN_SPACE_00006	指定されたアプリが見つかりません。	アプリの指定が誤っているか、アプリがすでに削除されています。	目的のアプリを確認してください。
GRN_SPACE_00007	kintone 連携を使用できません。	使用を許可されていないか、kintone 連携が使用停止になっています。	システム管理者にご相談ください。
GRN_SPACE_00008	指定された親カテゴリが見つかりません。	カテゴリの指定が誤っているか、カテゴリが削除されています。	移動先の親カテゴリを再度確認してください。
GRN_SPACE_00009	書式編集の情報を取得できませんでした。	不正なリクエストが行われた可能性があります。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_SPACE_00010	テキストの情報を取得できませんでした。	不正なリクエストが行われた可能性があります。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_SPACE_00011	スペースの ID を取得できませんでした。	不正なリクエストが行われた可能性があります。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_SPACE_00012	このスペースは変更できません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。
GRN_SPACE_00013	指定されたスペースにアクセスできません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。
GRN_SPACE_00014	カテゴリを削除できません。	カテゴリの指定が誤っているか、指定したカテゴリはすでに削除されています。	目的のカテゴリを確認してください。
GRN_SPACE_00015	指定されたカテゴリコードを設定できません。	すでに存在するカテゴリコードを指定しています。	重複するカテゴリコードは設定できません。 一意となるカテゴリコードを指定してください。
GRN_SPACE_00017	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	カテゴリコードにルートカテゴリが指定されています。 ルートカテゴリを変更することはできません。	表示されている行番号のカテゴリコードを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SPACE_00018	親カテゴリコードの指定が不正です。	親カテゴリコードとカテゴリコードが同じか、サブカテゴリのカテゴリコードが親カテゴリコードに指定されています。	親カテゴリコードを確認してください。

GRN_SPACE_DISCUSSION_*****:スペースのディスカッションのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SPACE_DISCUSSION_00002	指定されたスペースにディスカッションを追加できません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。
GRN_SPACE_DISCUSSION_00003	指定されたディスカッションは存在しません。	ディスカッションの指定が誤っているか、ディスカッションがすでに削除されています。	目的のディスカッションを確認してください。
GRN_SPACE_DISCUSSION_00004	タイトルが入力されていません。	タイトルを入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	タイトルを入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_SPACE_DISCUSSION_00005	このスペースのディスカッションを削除できません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。
GRN_SPACE_DISCUSSION_00006	このコメントは書き込めません。	コメントの内容がありません。	コメントの内容を入力してください。
GRN_SPACE_DISCUSSION_00007	指定されたコメントが見つかりません。	コメントの指定が誤っているか、コメントが削除されています。	目的のコメントを確認してください。
GRN_SPACE_DISCUSSION_00008	このスペースのディスカッションを変更できません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。
GRN_SPACE_DISCUSSION_00009	指定されたディスカッションは閲覧できません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。
GRN_SPACE_DISCUSSION_00010	指定されたコメントは削除できません。	コメントを削除できるのは発言者のみです。	コメントの発言者に削除を依頼してください。
GRN_SPACE_DISCUSSION_00011	ディスカッションを削除できません。	ディスカッションの指定が誤っているか、指定したディスカッションはすでに削除されています。	目的のディスカッションを確認してください。

GRN_SPACE_FILE_*****:スペースのファイルのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SPACE_FILE_00001	指定された添付ファイルが見つかりません。	添付ファイルの指定が誤っているか、添付ファイルが削除されています。	目的の添付ファイルを確認してください。
GRN_SPACE_FILE_00002	添付ファイルを追加できません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SPACE_FILE_00003	指定された添付ファイルを削除できません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。
GRN_SPACE_FILE_00004	指定された添付ファイルの情報を変更できません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。
GRN_SPACE_FILE_00005	添付ファイルを更新できません。	新しいファイルが指定されていません。	新しいファイルを指定し、もう一度更新してください。
GRN_SPACE_FILE_00006	指定したバージョンのファイルが見つかりません。	添付ファイルのバージョンの指定が誤っているか、ファイルが削除されています。	目的のファイルを確認してください。
GRN_SPACE_FILE_00007	指定したファイルのバージョンを戻せません。	ファイルの指定が誤っているか、バージョンを管理していないファイルです。	目的のファイルを確認してください。

GRN_SPACE_TODO_*****:スペースの共有 ToDo のエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SPACE_TODO_00001	指定された ToDo は存在しません。	ToDo の指定が誤っているか、ToDo がすでに削除されています。	目的の ToDo を確認してください。
GRN_SPACE_TODO_00002	ToDo を追加または変更できません。	ToDo 名が入力されていません。	ToDo 名を入力してください。
GRN_SPACE_TODO_00003	指定されたスペースに ToDo を追加できません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。
GRN_SPACE_TODO_00004	指定された ToDo は削除できません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。
GRN_SPACE_TODO_00005	このスペースの ToDo は変更できません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。
GRN_SPACE_TODO_00006	日付の指定が正しくありません。	次の原因によって締切日を設定できません。 ・開始と終了の日付が前後している。	開始日および終了日が正しいかどうか確認してください。
GRN_SPACE_TODO_00007	この ToDo は完了または再開できません。	ToDo の指定が誤っているか、担当者が変更されています。	目的の ToDo を確認してください。
GRN_SPACE_TODO_00008	ToDo の担当者を設定できません。	スペースのメンバーではないユーザーが担当者として指定されています。	ToDo の担当者にはスペースのメンバーを指定してください。
GRN_SPACE_TODO_00009	このコメントは書き込めません。	コメントの内容がありません。	コメントの内容を入力してください。
GRN_SPACE_TODO_00010	指定されたコメントが見つかりません。	コメントの指定が誤っているか、コメントが削除されています。	目的のコメントを確認してください。
GRN_SPACE_TODO_00011	指定された ToDo にコメントを書き込めません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_SPACE_TODO_00012	指定された ToDo にアクセスできません。	スペースの指定が誤っているか、スペースが削除されています。	目的のスペースを確認してください。
GRN_SPACE_TODO_00013	指定されたコメントは削除できません。	コメントを削除できるのは発言者のみです。	コメントの発言者に削除を依頼してください。

GRN_STAR_*****:お気に入りのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_STAR_49001	***を追加できません。	設定が可能な***の制限値を超えているため、これ以上追加できません。	他の***を削除してから追加してください。
GRN_STAR_49002	アプリケーションを選択できません。指定されたアプリケーション ID が不正です。	アプリケーションの指定が誤っているか、無効になっている可能性があります。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。

GRN_TMCR_*****:タイムカードのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_TMCR_20000	不明なエラーです。		お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
GRN_TMCR_20001	指定された日付の記録が見つかりません。	日付の指定が誤っているか、指定された日付の記録は削除されています。	目的の日付を確認し、システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_TMCR_20002	日付の指定が正しくありません。	日付の指定がない、または指定された日付の値が不正です。	目的の日付を確認してください。
GRN_TMCR_20003	入社/退社の時刻を設定できません。	入社時刻が指定されていないか、退社時刻が入社時刻より過去を指定しています。	時刻の指定を確認してください。
GRN_TMCR_20004	外出/復帰の時刻を設定できません。	入社時刻または外出時刻が指定されていないか、復帰時刻が外出時刻より過去を指定しています。	時刻の指定を確認してください。
GRN_TMCR_20005	出社の時刻を設定できません。	出社の時刻に退社の時刻より未来の時刻を指定しています。	時刻の指定を確認してください。
GRN_TMCR_20006	退社の時刻を設定できません。	退社の時刻に出勤の時刻より過去の時刻を指定しています。	時刻の指定を確認してください。
GRN_TMCR_20007	外出の時刻を設定できません。	外出の時刻に出勤/退社の期間外、または復帰の時刻より未来を指定しています。	時刻の指定を確認してください。
GRN_TMCR_20008	復帰の時刻を設定できません。	復帰の時刻に出勤/退社の期間外、または外出の時刻より過去を指定しています。	時刻の指定を確認してください。
GRN_TMCR_20009	外出/復帰時刻を設定できません。	外出/復帰時刻が他の不在期間と重複して設定できません。	外出/復帰時刻の指定を確認してください。

付録 F エラーメッセージ

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_TMCR_20010	復帰の時刻を設定できません。	復帰の設定されない外出を、同時に複数設定できません。	外出や復帰の時刻が正しいかどうか、確認してください。
GRN_TMCR_20011	CSV ファイルの書き出しに失敗しました。	以下の原因等により、書き出しできません。 ・開始と終了の日付の組み合わせが正しくない。	正しい開始日付であるかどうか確認してください。
GRN_TMCR_20012	CSV ファイルの書き出しに失敗しました。	以下の原因等により、書き出しできません。 ・開始と終了の日付の組み合わせが正しくない。	正しい終了日付であるかどうか確認してください。
GRN_TMCR_20013	CSV ファイルの書き出しに失敗しました。	以下の原因等により、書き出しできません。 ・開始と終了の日付の組み合わせが正しくない。	目的の書き出し期間を確認してください。

GRN_TODO_*****:ToDo リストのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_TODO_21000	不明なエラーです。		お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
GRN_TODO_21001	カテゴリを設定できません。	カテゴリ名の文字数が n 文字を超えています。	カテゴリ名を全角/半角問わず n 文字以内にしてください。
GRN_TODO_21002	指定された ToDo が見つかりません。	ToDo の指定が誤っているか、ToDo が削除されています。	目的の ToDo を確認してください。
GRN_TODO_21500	処理を中断しました。	対応していないリクエストがクライアントから送信されています。	表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_TODO_21501	処理を中断しました。	ToDo 名が指定されていません。	ToDo 名を確認してください。

GRN_UTIL_API_*****:ユーティリティ API のエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_UTIL_API_65000	SOAP リクエストの処理を実行できません。	SOAP リクエストが誤っているか、空のリクエストです。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_UTIL_API_65001	SOAP リクエストが不正です。	***が SOAP リクエストに存在しません。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_UTIL_API_65002	SOAP リクエストの処理を実行できません。	API *** は存在しません。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_UTIL_API_65003	SOAP リクエストが不正です。	SOAP リクエストの有効期限が切れています。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_UTIL_API_65004	リクエストパラメータが不足しています。	***パラメータが必要です。	サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_UTIL_API_65005	不正な操作です。	***は必須項目です。	***を入力してください。
GRN_UTIL_API_65006	ライセンスの有効期限を過ぎています。	試用期限が経過したため、ライセンス登録以外の機能が停止しています。	引き続き製品をご利用の際は新規ユーザーライセンスを購入してください。
GRN_UTIL_API_65007	処理を実行できません。	リクエストトークンが誤っています。	連携 API を使用して、リクエストトークンを取得してください。
GRN_UTIL_API_65008	ログインできません。	パスワードの有効期限が切れています。	ガルーンのパスワードを変更してください。
GRN_UTIL_API_65008	ログインできません。	パスワードの有効期限が切れています。	ガルーンのパスワードを変更してください。

GRN_WRKF_*****:ワークフローのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_WRKF_25000	カテゴリ ID が不正です。	カテゴリの指定が誤っているか、カテゴリが削除されています。	目的のカテゴリを確認してください。
GRN_WRKF_25001	必須項目が入力されていません。	カテゴリの必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	カテゴリの必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_WRKF_25002	指定されたカテゴリが見つかりません。	カテゴリの指定が誤っているか、指定されたカテゴリは削除されています。	目的のカテゴリを確認してください。
GRN_WRKF_25003	指定されたカテゴリ一覧が見つかりません。	カテゴリが一つも作成されていないか、全てのカテゴリが削除されています。	目的のカテゴリ一覧を確認してください。
GRN_WRKF_25004	指定されたカテゴリコードを設定できません。	すでに存在するカテゴリコードを指定しています。	重複するカテゴリコードは設定できません。 一意となるカテゴリコードを指定してください。
GRN_WRKF_25010	アクセス権 ID が不正です。	アクセス権の指定が誤っているか、アクセス権が削除されています。	目的のアクセス権を確認してください。
GRN_WRKF_25011	アクセス権の対象 ID が不正です。	アクセス権の対象の指定が誤っているか、アクセス権の対象が削除されています。	目的のアクセス権の対象を確認してください。
GRN_WRKF_25012	指定されたアクセス権が見つかりません。	アクセス権の指定が誤っているか、アクセス権が削除されています。	目的のアクセス権を確認してください。
GRN_WRKF_25013	指定されたアクセス権一覧が見つかりません。	アクセス権が一つも作成されていないか、全てのアクセス権が削除されています。	目的のアクセス権一覧を確認してください。
GRN_WRKF_25014	ユーザー ID が不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_WRKF_25015	組織 ID が不正です。	組織の指定が誤っているか、組織が削除されています。	目的の組織を確認してください。
GRN_WRKF_25016	ロール ID が不正です。	ロールの指定が誤っているか、ロールが削除されています。	目的のロールを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_WRKF_25017	指定された設定画面はアクセスできません。	現在ログイン中のユーザーには、この機能に対してアクセスする権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_WRKF_25018	セキュリティモデルが正しくありません。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_WRKF_25019	アクセス権を変更できません。	アクセス権を設定しているユーザーのログイン中に、閲覧の権限を奪うことはできません。	アクセス権の設定内容を確認してください。
GRN_WRKF_25020	アクセス権の CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号のデータを修正してください。
GRN_WRKF_25030	運用管理権限 ID が不正です。	運用管理権限の指定が誤っているか、運用管理権限が削除されています。	目的の運用管理権限を確認してください。
GRN_WRKF_25031	運用管理権限の対象 ID が不正です。	運用管理権限の対象の指定が誤っているか、運用管理権限の対象が削除されています。	目的の運用管理権限の対象を確認してください。
GRN_WRKF_25032	運用管理権限が見つかりません。	運用管理権限の指定が誤っているか、指定された運用管理権限は削除されています。	目的の運用管理権限を確認してください。
GRN_WRKF_25033	指定された運用管理権限一覧が見つかりません。	運用管理権限が一つも作成されていないか、全ての運用管理権限が削除されています。	目的の運用管理権限一覧を確認してください。
GRN_WRKF_25034	ユーザーID が不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_WRKF_25035	組織 ID が不正です。	組織の指定が誤っているか、組織が削除されています。	目的の組織を確認してください。
GRN_WRKF_25036	ロール ID が不正です。	ロールの指定が誤っているか、ロールが削除されています。	目的のロールを確認してください。
GRN_WRKF_25037	運用管理権限が制限されています。	現在ログイン中のユーザーには、この機能に対して運用管理を行う権限がありません。	システム管理者にご相談ください。
GRN_WRKF_25038	セキュリティモデルが正しくありません。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_WRKF_25039	アクセス権を変更できません。	アクセス権を設定しているユーザーのログイン中に、閲覧の権限を奪うことはできません。	アクセス権の設定内容を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_WRKF_25040	運用管理権限の CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号のデータを修正してください。
GRN_WRKF_25041	運用管理者は未分類カテゴリにアクセスできません。	カテゴリ ID の指定が誤っているか、現在ログイン中のユーザーが未分類カテゴリに対してアクセスする権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_WRKF_25050	申請フォーム ID が不正です。	申請フォームの指定が誤っているか、申請フォームが削除されています。	目的の申請フォームを確認してください。
GRN_WRKF_25051	必須項目が入力されていません。	申請フォームの必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	申請フォームの必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_WRKF_25052	指定された申請フォームが見つかりません。	申請フォームの指定が誤っているか、指定された申請フォームは削除されています。	目的の申請フォームを確認してください。
GRN_WRKF_25053	指定された申請フォームコードを設定できません。	すでに存在する申請フォームコードを指定しています。	重複する申請フォームコードは設定できません。 一意となる申請フォームコードを指定してください。
GRN_WRKF_25054	申請フォームを「有効」にできません。	申請経路情報がありません。	申請経路を設定し、再度申請フォームを「有効」する操作を行ってください。
GRN_WRKF_25060	項目 ID が不正です。	項目の指定が誤っているか、項目が削除されています。	目的の項目を確認してください。
GRN_WRKF_25061	必須項目が入力されていません。	項目の必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	項目の必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_WRKF_25062	指定された項目が見つかりません。	項目の指定が誤っているか、指定された項目は削除されています。	目的の項目を確認してください。
GRN_WRKF_25063	項目タイプが不正です。	存在しない項目タイプを指定して、追加または変更を行おうとしています。	項目タイプの選択操作を再度行ってください。
GRN_WRKF_25064	項目の設定に失敗しました。	項目の設定内容が不正です。	項目の設定内容を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_WRKF_25065	項目の入力内容に誤りがあります。	項目の入力内容が不正です。	項目の入力内容を確認し、再度入力を行ってください。
GRN_WRKF_25066	指定された項目はアクセスできません。	現在ログイン中のユーザーがアクセスできない項目です。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_WRKF_25067	項目の初期値に指定されたユーザー情報が不正です。	項目の初期値に指定されたユーザー情報は、存在しないか使用できません。	目的の項目を確認してください。
GRN_WRKF_25100	経路 ID が不正です。	経路の指定が誤っているか、経路が削除されています。	目的の経路を確認してください。
GRN_WRKF_25101	経路コードが不正です。	経路の指定が誤っているか、経路が削除されています。	目的の経路を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_WRKF_25102	経路ステップ ID が不正です。	経路ステップの指定が誤っているか、経路ステップが削除されています。	目的の経路ステップを確認してください。
GRN_WRKF_25103	初期値 ID が不正です。	経路ステップの初期値の指定が誤っているか、経路ステップの初期値が削除されています。	目的の経路ステップの初期値を確認してください。
GRN_WRKF_25104	経路ステップが見つかりません。	経路ステップが作成されていないか、すべての経路ステップが削除されています。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_WRKF_25105	指定された経路は追加できません。	すでに設定されている経路の経路コードと重複しています。	重複する経路コードは設定できません。 一意となる経路コードを指定してください。
GRN_WRKF_25106	共有経路が見つかりません。	共有経路が作成されていないか、すべての経路が削除されています。	目的の経路一覧を確認してください。
GRN_WRKF_25107	指定された経路が見つかりません。	経路の指定が誤っているか、経路が削除されています。	目的の経路を確認してください。
GRN_WRKF_25108	経路を変更できません。	この操作では、共有経路でない経路は変更できません。	前の画面に戻り、はじめから操作しなおしてください。
GRN_WRKF_25109	指定された経路ステップが見つかりません。	経路ステップの指定が誤っているか、指定された経路ステップは削除されています。	目的の経路ステップを確認してください。
GRN_WRKF_25110	経路を変更できません。	この操作では、専用経路でない経路は変更できません。	前の画面に戻り、はじめから操作しなおしてください。
GRN_WRKF_25111	経路を新規追加できません。	すでに専用経路が設定されている申請フォームに専用経路を追加しようとしています。	この申請フォームに設定されている経路情報を確認してください。
GRN_WRKF_25112	初期値が見つかりません。	初期値の指定が誤っているか、初期値が削除されています。	目的の初期値、または初期値に設定したユーザー/組織/ロールを確認してください。
GRN_WRKF_25113	経路の種類が不正です。	専用経路か共有経路を設定する値に想定外の文字が使用されています。	経路の種類の内容を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_WRKF_25114	経路を削除できません。	この操作では、共有経路でない経路は削除できません。	前の画面に戻り、はじめから操作しなおしてください。
GRN_WRKF_25150	経路分岐情報 ID が不正です。	経路分岐情報の指定が誤っているか、経路分岐情報が削除されています。	目的の経路分岐情報を確認してください。
GRN_WRKF_25151	指定された経路分岐情報が見つかりません。	経路分岐情報の指定が誤っているか、指定された経路分岐情報は削除されています。	目的の経路分岐情報を確認してください。
GRN_WRKF_25160	経路分岐条件 ID が不正です。	経路分岐条件の指定が誤っているか、指定された経路分岐条件は削除されています。	目的の経路分岐条件を確認してください。
GRN_WRKF_25161	指定された経路分岐条件が見つかりません。	経路分岐条件の指定が誤っているか、指定された経路分岐条件は削除されています。	目的の経路分岐条件を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_WRKF_25170	分岐条件で設定した経路ステップ ID が不正です。	経路ステップの指定が誤っているか、経路ステップが削除されています。	目的の経路ステップを確認してください。
GRN_WRKF_25171	指定された経路分岐ステップが見つかりません。	経路分岐ステップの指定が誤っているか、指定された経路分岐ステップは削除されています。	目的の経路分岐ステップを確認してください。
GRN_WRKF_25200	添付ファイルのアクセス権の ID が不正です。	添付ファイルのアクセス権の指定が誤っているか、添付ファイルのアクセス権が削除されています。	この申請フォームに対する「添付ファイルのアクセス権」を再度確認してください。
GRN_WRKF_25201	添付ファイルのアクセス権を設定できません。	添付ファイルのアクセス権はすでに設定されています。	前の画面に戻り、はじめから操作しなおしてください。
GRN_WRKF_25202	「添付ファイルのアクセス権」を設定できません。	すでに設定されている経路ステップが選択されています。	「ファイルのアクセス権の設定」画面に戻り、はじめから操作しなおしてください。
GRN_WRKF_25203	プロパティが不正です。	原因は不明です。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
GRN_WRKF_25250	ユーザーID が不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_WRKF_25251	フォルダ ID が不正です。	フォルダの指定が誤っているか、フォルダが削除されています。	目的のフォルダを確認してください。
GRN_WRKF_25252	フォルダコードが不正です。	フォルダの指定が誤っているか、フォルダが削除されています。	表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_WRKF_25253	必須項目が入力されていません。	必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_WRKF_25254	指定されたフォルダコードを設定できません。	すでに存在するフォルダコードを指定しています。	表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_WRKF_25255	指定されたフォルダが見つかりません。	フォルダの指定が誤っているか、指定されたフォルダは削除されています。	目的のフォルダを確認してください。
GRN_WRKF_25256	指定されたフォルダリレーションコードが見つかりません。	フォルダリレーションコードの指定が誤っているか、指定されたフォルダリレーションコードは削除されています。	表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_WRKF_25257	指定されたフォルダコードを設定できません。	すでに存在するフォルダコードを指定しています。	表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
GRN_WRKF_25300	申請 ID が不正です。	申請データの指定が誤っているか、申請データが削除されています。	目的の申請データを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_WRKF_25301	必須項目が入力されていません。	申請の必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	申請の必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_WRKF_25302	指定された申請データが見つかりません。	申請の指定データが誤っているか、指定された申請データは削除されています。	目的の申請データを確認してください。
GRN_WRKF_25303	開始日が不正です。	年月日のいずれかが設定されていません。	開始日を指定するときは年月日すべてを設定してください。
GRN_WRKF_25304	終了日が不正です。	年月日のいずれかが設定されていません。	終了日を指定するときは年月日すべてを設定してください。
GRN_WRKF_25305	開始日と終了日の組み合わせが不正です。	以下の原因等により、設定できません。 ・日時が前後している ・開始日と終了日のデータの組み合わせが正しくない	正しい開始日/終了日であるかどうか確認してください。
GRN_WRKF_25306	「状況」が選択されていません。	「状況」を少なくとも 1 件選択する必要があります。	「状況」を選択してください。
GRN_WRKF_25307	指定された申請データはアクセスできません。	現在ログイン中のユーザーがアクセスできない申請データです。	目的の申請の状況を確認してください。
GRN_WRKF_25310	申請項目データ ID が不正です。	申請項目データの指定が誤っているか、申請項目データが削除されています。	目的の申請項目データを確認してください。
GRN_WRKF_25311	必須項目が入力されていません。	申請項目データの必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	申請項目データの必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_WRKF_25312	指定された申請項目データが見つかりません。	申請項目データの指定が誤っているか、指定された申請項目データは削除されています。	目的の申請項目データを確認してください。
GRN_WRKF_25320	申請項目ファイルデータ ID が不正です。	申請項目ファイルデータの指定が誤っているか、申請項目ファイルデータが削除されています。	目的の申請項目ファイルデータを確認してください。
GRN_WRKF_25321	必須項目が入力されていません。	申請項目ファイルデータの必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	申請項目ファイルデータの必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_WRKF_25322	指定された申請項目ファイルデータが見つかりません。	申請項目ファイルデータの指定が誤っているか、指定された申請項目ファイルデータは削除されています。	目的の申請項目ファイルデータを確認してください。
GRN_WRKF_25330	申請を承認できません。	進行状況が「進行中」「差し戻し」でない申請は承認できません。	目的の申請の進行状況を確認してください。
GRN_WRKF_25331	申請を却下できません。	進行状況が「進行中」「差し戻し」でない申請は却下できません。	目的の申請の進行状況を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_WRKF_25332	申請を差し戻しできません。	進行状況が「進行中」「差し戻し」でない申請は差し戻しできません。	目的の申請の進行状況を確認してください。
GRN_WRKF_25333	この申請データは再申請できません。	進行状況が「差し戻し」でない申請データは再申請できません。	目的の申請データの進行状況を確認してください。
GRN_WRKF_25334	申請を取り消しできません。	進行状況が「進行中」「差し戻し」でない申請は取り消しできません。	目的の申請の進行状況を確認してください。
GRN_WRKF_25335	この申請データは申請できません。	進行状況が「下書き」でない申請データは申請できません。	目的の申請データの進行状況を確認してください。
GRN_WRKF_25336	指定された申請が見つかりません。	申請の指定が誤っているか、申請が削除されています。	目的の申請を確認してください。
GRN_WRKF_25350	経路ステップ ID が不正です。	経路ステップの指定が誤っているか、経路ステップが削除されています。	目的の経路ステップを確認してください。
GRN_WRKF_25351	処理者 ID が不正です。	処理者の指定が誤っているか、処理者が削除されています。	目的の処理者を確認してください。
GRN_WRKF_25352	申請を作成できません。	最終承認の経路ステップは省略できません。	経路ステップに処理者を設定してください。
GRN_WRKF_25353	指定された経路ステップが見つかりません。	経路ステップの指定が誤っているか、経路ステップは削除されています。	目的の経路ステップを確認してください。
GRN_WRKF_25354	指定された経路ステップは処理できません。	ユーザーが行おうとしている経路ステップの処理はすでに完了しています。	未処理一覧から再度申請データを閲覧し、目的の経路ステップの処理を確認してください。
GRN_WRKF_25355	指定された経路ステップは処理できません。	この経路ステップは(省略)のため、処理できません。	経路ステップの処理者を再度確認してください。
GRN_WRKF_25356	指定された経路ステップは処理できません。	現在ログイン中のユーザーは処理者ではありません。	経路ステップの処理者を再度確認してください。
GRN_WRKF_25357	指定された経路ステップは処理できません。	ユーザーが行おうとしている処理はすでに完了しています。	未処理一覧から再度申請データを閲覧し、目的の経路ステップの処理を確認してください。
GRN_WRKF_25358	経路を変更できません。	経路変更が禁止されている経路ステップの経路を変更しようとしています。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_WRKF_25359	この申請は取り消せません。	申請者でないユーザーが取り消しを行おうとしています。	ログインしているユーザーを確認してください。
GRN_WRKF_25360	この申請は取り消せません。	指定された申請データの一覧からは申請の取り消しは行えません。	送信一覧の申請データから取り消しを行ってください。
GRN_WRKF_25361	申請を連続処理できません。	通常の連続処理の画面遷移と異なっている可能性があります。	未処理一覧の申請データより、再度正しい方法で連続処理を行ってください。
GRN_WRKF_25362	申請を処理できません。	経路種別が「承認」でない経路ステップでは、「承認」を選択できません。	未処理一覧から再度申請データを閲覧し、目的の経路ステップの処理方法を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_WRKF_25363	申請を処理できません。	経路種別が「承認」でない経路ステップでは、「却下」を選択できません。	未処理一覧から再度申請データを閲覧し、目的の経路ステップの処理方法を確認してください。
GRN_WRKF_25364	申請を処理できません。	経路種別が「承認」でない経路ステップでは、申請を差し戻せません。	未処理一覧から再度申請データを閲覧し、目的の経路ステップの処理方法を確認してください。
GRN_WRKF_25365	申請を処理できません。	不正なデータを登録しようとしました。	未処理一覧の申請データより、再度正しい方法で処理を行ってください。
GRN_WRKF_25366	経路変更履歴がありません。	経路変更履歴の指定が誤っているか、経路変更履歴が削除されています。	目的の申請データに経路変更があるかどうか確認してください。
GRN_WRKF_25367	申請を作成できません。	処理者が設定されていない経路ステップがあります。	経路ステップには処理者か、(省略)を設定してください。
GRN_WRKF_25368	経路変更履歴 ID が不正です。	経路変更履歴の指定が誤っているか、経路変更履歴が削除されています。	目的の経路変更履歴を確認してください。
GRN_WRKF_25369	指定された経路ステップの処理者は設定できません。	すべての経路ステップの処理者を(省略)で設定しようとしました。	いずれかの経路ステップに処理者を追加してください。
GRN_WRKF_25370	経路を変更できません。	最終承認の経路ステップは省略できません。	経路ステップに処理者を設定してください。
GRN_WRKF_25400	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSVWriter が見つかりません。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
GRN_WRKF_25401	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	カテゴリコードにルートカテゴリが指定されています。ルートカテゴリを変更することはできません。	表示されている行番号のカテゴリコードを確認してください。
GRN_WRKF_25402	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	親カテゴリコードの指定が誤っています。	表示されている行番号の親カテゴリコードを確認してください。
GRN_WRKF_25403	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号のデータを修正してください。
GRN_WRKF_25404	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号の第 2 項目を確認してください。
GRN_WRKF_25405	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号の第 3 項目を確認してください。第 3 項目に次の値を設定するか空にしてください。 ・B
GRN_WRKF_25406	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	CSV ファイルの形式が不正です。	表示されている行番号の第 4 項目を確認してください。
GRN_WRKF_25408	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。	指定しているユーザー、組織、またはロールが誤っているか、削除されています。	表示されている行番号の第 1 項目を確認してください。
GRN_WRKF_25420	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	XML ファイルの形式が不正か、XML ファイルが編集されています。	XML ファイルの編集は推奨されていません。正しい形式の XML ファイルを指定してください。
GRN_WRKF_25421	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	XML ファイル中のノードが閉じていません。	XML ファイル中のノードの記述を確認して、再度読み込みを行ってください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_WRKF_25422	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	XML ファイル中のタグ名が不正か、XML ファイルが編集されています。	XML ファイルの編集は推奨されていません。正しい形式の XML ファイルを指定してください。
GRN_WRKF_25423	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	指定された XML ファイルが見つかりません。	目的のファイルを確認して、再度読み込みを行ってください。
GRN_WRKF_25424	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	XML ファイルの形式が不正か、XML ファイルが編集されています。	XML ファイルの編集は推奨されていません。正しい形式の XML ファイルを指定してください。
GRN_WRKF_25425	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	XML ファイル中の項目の指定が不正です。	XML ファイル中の項目の記述を確認して、再度読み込みを行ってください。
GRN_WRKF_25426	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	経路名が指定されていません。	XML ファイル中の、経路名の内容を確認してください。
GRN_WRKF_25427	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	経路コードが指定されていません。	XML ファイル中の、経路コードの内容を確認してください。
GRN_WRKF_25428	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	アクセス権の指定が不正です。	XML ファイル中の、アクセス権の指定の内容を確認してください。
GRN_WRKF_25429	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	経路の分岐情報が不正です。	XML ファイル中の、経路の分岐情報の内容を確認してください。
GRN_WRKF_25430	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	経路分岐名が不正です。	XML ファイル中の、経路分岐名の内容を確認してください。
GRN_WRKF_25431	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	分岐条件に指定された経路ステップが不正です。	XML ファイル中の、経路の分岐情報の内容を確認してください。
GRN_WRKF_25432	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	申請フォームコード *** は、すでに存在するフォームで設定されているため、使用できません。	重複する申請フォームコードは設定できません。一意となる申請フォームコードを設定してください。
GRN_WRKF_25433	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	経路コード ***は、共有経路か、すでに存在するフォームの専用経路で設定されているため、使用できません。	重複する経路コードは設定できません。一意となる経路コードを設定してください。
GRN_WRKF_25434	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	***という共有経路コードは存在しません。	指定している共有経路コードを確認してください。
GRN_WRKF_25435	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	カテゴリに(ルート)が指定されています。 ルートカテゴリには申請フォームを読み込むことができません。	XML ファイル中の、カテゴリの内容を確認してください。
GRN_WRKF_25436	XML ファイルの読み込みに失敗しました。	経路コード***は、専用経路で設定されているため、使用できません。	重複する経路コードは設定できません。一意となるように経路コードを設定してください。
GRN_WRKF_25450	経路分岐情報データ ID が不正です。	経路分岐情報データの指定が誤っているか、経路分岐情報データが削除されています。	目的の経路分岐情報データを確認してください。
GRN_WRKF_25451	指定された経路分岐情報データが見つかりません。	経路分岐情報データの指定が誤っているか、指定された経路分岐情報データは削除されています。	目的の経路分岐情報データを確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_WRKF_25452	経路の分岐条件を設定できません。	経路ステップが選択されていません。	経路ステップを1つ以上選択してください。
GRN_WRKF_25460	経路分岐条件データIDが不正です。	経路分岐条件データの指定が誤っているか、経路分岐条件データが削除されています。	目的の経路分岐条件データを確認してください。
GRN_WRKF_25461	指定された経路分岐条件データが見つかりません。	経路分岐条件データの指定が誤っているか、指定された経路分岐条件データは削除されています。	目的の経路分岐条件データを確認してください。
GRN_WRKF_25470	経路分岐ステップデータIDが不正です。	経路分岐ステップデータの指定が誤っているか、経路分岐ステップデータが削除されています。	目的の経路分岐ステップデータを確認してください。
GRN_WRKF_25471	指定された経路分岐ステップデータが見つかりません。	経路分岐ステップデータの指定が誤っているか、指定された経路分岐ステップデータは削除されています。	目的の経路分岐ステップデータを確認してください。
GRN_WRKF_25550	ログインURLの送信に失敗しました。	システムメールアドレスが利用できません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_WRKF_25551	ログインURLの送信に失敗しました。	ログインURLが設定されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_WRKF_25552	パスワードの確認に失敗しました。	パスワードに誤りがあります。	パスワードを確認し、再度実行してください。
GRN_WRKF_25553	ログインURLの送信に失敗しました。	ログインURLが設定されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_WRKF_25554	ワークフローのケータイでの利用は一時停止されています。	個人設定でワークフローのケータイでの利用が一時停止されています。	ワークフローのケータイでの利用停止設定を確認してください。
GRN_WRKF_25600	ユーザーIDが不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_WRKF_25601	必須項目が入力されていません。	必須項目を入力せずに、追加または変更を行おうとしています。	必須項目を入力してから、追加または変更を行ってください。
GRN_WRKF_25602	経路の分岐条件を設定できません。	経路の分岐条件の設定に必要な項目が正しく入力されていません。	項目の設定内容を確認し、再度設定を行ってください。
GRN_WRKF_25603	カラム名が空です。	原因は不明です。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
GRN_WRKF_25604	レコードがありません。	原因は不明です。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。
GRN_WRKF_25605	利用ユーザーを追加できません。	ライセンスで許可されている利用ユーザー数を超えています。	新たにライセンスを購入するか、利用するユーザーを変更してください。
GRN_WRKF_25700	代理人を取得できませんでした。	処理中にエラーが発生しました。	お手数ですが、サイボウズまでお問い合わせください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_WRK_25701	代理人を設定できません。	ユーザーによる代理人設定は許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_WRK_25702	***に失敗しました。	***というユーザーは存在しません。	指定しているユーザーの内容を確認してください。
GRN_WRK_25703	代理申請はできません。	現在ログイン中のユーザーによる代理申請は、許可されていません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_WRK_25750	公開 ID が不正です。	対象の指定が誤っているか、対象が削除されています。	ID の指定が適切か確認してください。
GRN_WRK_25751	公開対象が不正です。	対象の指定が誤っているか、対象が削除されています。	公開対象が適切か確認してください。
GRN_WRK_25753	目的の公開設定の対象が見つかりません。	対象が不正です。	公開を設定する対象を確認してください。
GRN_WRK_25754	ユーザーID が不正です。	ユーザーの指定が誤っているか、ユーザーが削除されています。	目的のユーザーを確認してください。
GRN_WRK_25755	組織 ID が不正です。	組織の指定が誤っているか、組織が削除されています。	目的の組織を確認してください。
GRN_WRK_25756	ロール ID が不正です。	ロールの指定が誤っているか、ロールが削除されています。	目的のロールを確認してください。
GRN_WRK_25757	公開が制限されています。	現在ログイン中のユーザーには、このカテゴリに対して閲覧の権限がありません。	システム管理者およびアプリケーションの運用管理者にご相談ください。
GRN_WRK_25758	セキュリティモデルが不正です。	セキュリティモデルの指定が誤っているか、セキュリティモデルの設定に想定外の文字が使用されています。	セキュリティモデルに指定する値を確認してください。
GRN_WRK_25804	ワークフローの URL が不正です。	設定する URL の末尾は、「***」である必要があります。	URL を確認し、再度実行してください。

SMARTY*****:システムのエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
SMARTY00009	テンプレートに問題があります。	エラーメッセージ:*****	テンプレートファイルをカスタマイズしている場合は、テンプレートファイルを見直してください。 カスタマイズを行っていない場合は、表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
SMARTY00010	テンプレートに問題があります。	エラーメッセージ:*****	テンプレートファイルをカスタマイズしている場合は、テンプレートファイルを見直してください。 カスタマイズを行っていない場合は、表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
SMARTY00011	テンプレートに問題があります。	エラーメッセージ:*****	テンプレートファイルをカスタマイズしている場合は、テンプレートファイルを見直してください。 カスタマイズを行っていない場合は、表示されたエラーメッセージを明記のうえ、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
SMARTY00100	テンプレートが見つかりません。	テンプレートファイル ***が存在しないか、読み込めません。	「サイボウズ ガルーン」を再度インストールするか、テンプレートファイルの読み込み権限を確認してください。 それでも回避できない場合は、サイボウズオフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

VALID*****:入力値のエラー

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
VALID01101	日付の認識に失敗しました。	年(YYYY)が、数値ではありません。	入力または選択した日付を確認してください。
VALID01102	日付の認識に失敗しました。	月(MM)が、数値ではありません。	入力または選択した日付を確認してください。
VALID01103	日付の認識に失敗しました。	日(DD)が、数値ではありません。	入力または選択した日付を確認してください。
VALID01104	日付の認識に失敗しました。	年(YYYY)が、0 から 9999 の範囲を超えています。	入力または選択した日付を確認してください。
VALID01105	日付の認識に失敗しました。	月(MM)が、1 から 12 の範囲を超えています。	入力または選択した日付を確認してください。
VALID01106	日付の認識に失敗しました。	日(DD)が、1 から n(MM月の最終日)の範囲を超えています。	入力または選択した日付を確認してください。
VALID01201	時刻の認識に失敗しました。	時間(HH)が、数値ではありません。	入力または選択した時刻を確認してください。
VALID01202	時刻の認識に失敗しました。	分(MM)が、数値ではありません。	入力または選択した時刻を確認してください。
VALID01203	時刻の認識に失敗しました。	秒(SS)が、数値ではありません。	入力または選択した時刻を確認してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
VALID01204	時刻の認識に失敗しました。	時間(HH)が、0 から 24 の範囲を超えています。	入力または選択した時刻を確認してください。
VALID01205	時刻の認識に失敗しました。	分(MM)が、0 から 59 の範囲を超えています。	入力または選択した時刻を確認してください。
VALID01206	時刻の認識に失敗しました。	秒(SS)が、0 から 59 の範囲を超えています。	入力または選択した時刻を確認してください。
VALID01207	時刻の認識に失敗しました。	時刻(HH:MM:SS)が、0:00:00 から 24:00:00 の範囲を超えています。	入力または選択した時刻を確認してください。

付録G タイムゾーン

ガルーンで使用できるタイムゾーンの一覧です。

ガルーンは、2011年11月2日に次のWebサイトで公開されたタイムゾーンデータを使用しています。

<http://pecl.php.net/package/timezonedb>

地域	値	時差
UTC-12	Etc/GMT+12	UTC-12:00
UTC-11	Etc/GMT+11	UTC-11:00
アピーア	Pacific/Apia	UTC+13:00
UTC-10	Etc/GMT+10	UTC-10:00
ホノルル	Pacific/Honolulu	UTC-10:00
アンカレッジ	America/Anchorage	UTC-09:00
UTC-9	Etc/GMT+9	UTC-09:00
ロサンゼルス	America/Los_Angeles	UTC-08:00
バハカリフォルニア	America/Santa_Isabel	UTC-08:00
ティファナ	America/Tijuana	UTC-08:00
UTC-8	Etc/GMT+8	UTC-08:00
チワワ	America/Chihuahua	UTC-07:00
デンバー	America/Denver	UTC-07:00
フェニックス	America/Phoenix	UTC-07:00
UTC-7	Etc/GMT+7	UTC-07:00
シカゴ	America/Chicago	UTC-06:00
グアテマラ共和国	America/Guatemala	UTC-06:00
メキシコシティ	America/Mexico_City	UTC-06:00
レジャイナ	America/Regina	UTC-06:00
UTC-6	Etc/GMT+6	UTC-06:00
ボゴタ	America/Bogota	UTC-05:00
インディアナポリス	America/Indiana/Indianapolis	UTC-05:00
ニューヨーク	America/New_York	UTC-05:00
UTC-5	Etc/GMT+5	UTC-05:00
カラカス	America/Caracas	UTC-04:30
アスンシオン	America/Asuncion	UTC-04:00
クイアバ	America/Cuiaba	UTC-04:00
ハリファクス	America/Halifax	UTC-04:00
ラパス	America/La_Paz	UTC-04:00
マナウス	America/Manaus	UTC-04:00
サンチアゴ	America/Santiago	UTC-04:00
UTC-4	Etc/GMT+4	UTC-04:00
セントジョンズ	America/St_Johns	UTC-03:30
ブエノスアイレス	America/Argentina/Buenos_Aires	UTC-03:00
カイエンヌ	America/Cayenne	UTC-03:00
ゴッドホープ	America/Godthab	UTC-03:00
モンテビデオ	America/Montevideo	UTC-03:00
サンパウロ	America/Sao_Paulo	UTC-03:00
UTC-3	Etc/GMT+3	UTC-03:00
南ジョージア島	Atlantic/South_Georgia	UTC-02:00

地域	値	時差
UTC-2	Etc/GMT+2	UTC-02:00
アゾレス諸島	Atlantic/Azores	UTC-01:00
カボベルデ共和国	Atlantic/Cape_Verde	UTC-01:00
UTC-1	Etc/GMT+1	UTC-01:00
カサブランカ	Africa/Casablanca	UTC+00:00
レイキヤビク	Atlantic/Reykjavik	UTC+00:00
UTC	Etc/GMT	UTC+00:00
ロンドン	Europe/London	UTC+00:00
UTC	UTC	UTC+00:00
ラゴス	Africa/Lagos	UTC+01:00
ビントフック	Africa/Windhoek	UTC+01:00
UTC+1	Etc/GMT-1	UTC+01:00
ベルリン	Europe/Berlin	UTC+01:00
ブダペスト	Europe/Budapest	UTC+01:00
パリ	Europe/Paris	UTC+01:00
ワルシャワ	Europe/Warsaw	UTC+01:00
カイロ	Africa/Cairo	UTC+02:00
ヨハネスブルグ	Africa/Johannesburg	UTC+02:00
アンマン	Asia/Amman	UTC+02:00
ベイルート	Asia/Beirut	UTC+02:00
ダマスカス	Asia/Damascus	UTC+02:00
エルサレム	Asia/Jerusalem	UTC+02:00
UTC+2	Etc/GMT-2	UTC+02:00
イスタンブール	Europe/Istanbul	UTC+02:00
キエフ	Europe/Kiev	UTC+02:00
ミンスク	Europe/Minsk	UTC+03:00
ナイロビ	Africa/Nairobi	UTC+03:00
バグダッド	Asia/Baghdad	UTC+03:00
リヤド	Asia/Riyadh	UTC+03:00
UTC+3	Etc/GMT-3	UTC+03:00
モスクワ	Europe/Moscow	UTC+04:00
テヘラン	Asia/Tehran	UTC+03:30
バクー	Asia/Baku	UTC+04:00
ドバイ	Asia/Dubai	UTC+04:00
トビリシ	Asia/Tbilisi	UTC+04:00
エレバン	Asia/Yerevan	UTC+04:00
UTC+4	Etc/GMT-4	UTC+04:00
モーリシャス	Indian/Mauritius	UTC+04:00
カブール	Asia/Kabul	UTC+04:30
カラチ	Asia/Karachi	UTC+05:00
タシケント	Asia/Tashkent	UTC+05:00
エカテリンブルグ	Asia/Yekaterinburg	UTC+06:00
UTC+5	Etc/GMT-5	UTC+05:00
コロンボ	Asia/Colombo	UTC+05:30
コルカタ	Asia/Kolkata	UTC+05:30
カトマンズ	Asia/Kathmandu	UTC+05:45
アルマトイ	Asia/Almaty	UTC+06:00
ダッカ	Asia/Dhaka	UTC+06:00
ノボシビルスク	Asia/Novosibirsk	UTC+07:00

付録 G タイムゾーン

地域	値	時差
UTC+6	Etc/GMT-6	UTC+06:00
ラングーン	Asia/Rangoon	UTC+06:30
バンコク	Asia/Bangkok	UTC+07:00
クラスノヤルスク	Asia/Krasnoyarsk	UTC+08:00
UTC+7	Etc/GMT-7	UTC+07:00
イルクーツク	Asia/Irkutsk	UTC+09:00
北京	Asia/Shanghai	UTC+08:00
シンガポール	Asia/Singapore	UTC+08:00
台北	Asia/Taipei	UTC+08:00
ウランバートル	Asia/Ulaanbaatar	UTC+08:00
パース	Australia/Perth	UTC+08:00
UTC+8	Etc/GMT-8	UTC+08:00
ソウル	Asia/Seoul	UTC+09:00
東京	Asia/Tokyo	UTC+09:00
ヤクーツク	Asia/Yakutsk	UTC+10:00
UTC+9	Etc/GMT-9	UTC+09:00
アデレード	Australia/Adelaide	UTC+09:30
ダーウィン	Australia/Darwin	UTC+09:30
ウラジオストク	Asia/Vladivostok	UTC+11:00
ブリスベン	Australia/Brisbane	UTC+10:00
ホバート	Australia/Hobart	UTC+10:00
シドニー	Australia/Sydney	UTC+10:00
UTC+10	Etc/GMT-10	UTC+10:00
ポートモレスビー	Pacific/Port_Moresby	UTC+10:00
カムチャッカ	Asia/Kamchatka	UTC+12:00
マガダン	Asia/Magadan	UTC+12:00
UTC+11	Etc/GMT-11	UTC+11:00
ガダルカナル	Pacific/Guadalcanal	UTC+11:00
UTC+12	Etc/GMT-12	UTC+12:00
オークランド	Pacific/Auckland	UTC+12:00
フィジー	Pacific/Fiji	UTC+12:00
トンガタプ	Pacific/Tongatapu	UTC+13:00

付録H 入出力可能なファイル

ファイルで入出力できるガルーンのデータと、ファイルの形式(CSV、XML、テキスト、および iCalender)は、次のとおりです。

管理または操作	データ	CSV		XML		テキスト		iCalender	
		入力	出力	入力	出力	入力	出力	入力	出力
アプリケーション共通	アクセス権	○	○	×	×	×	×	×	×
基本システムの管理	組織情報	○	○	×	×	×	×	×	×
	組織の所属ユーザー	○	○	×	×	×	×	×	×
	組織名	○	○	×	×	×	×	×	×
	ユーザー情報	○	○	×	×	×	×	×	×
	ユーザーの所属組織	○	○	×	×	×	×	×	×
	ユーザーの所持ロール	○	○	×	×	×	×	×	×
	ロール情報	○	○	×	×	×	×	×	×
	ロール所持ユーザー	○	○	×	×	×	×	×	×
	MIME タイプ	○	○	×	×	×	×	×	×
	カレンダーのイベント	○	○	×	×	×	×	×	×
	ログ	×	○	×	×	×	×	×	×
	拠点情報	×	○	×	×	×	×	×	×
	拠点の表示名	×	○	×	×	×	×	×	×
	各アプリケーションの管理	HTML ポートレット	×	×	○	○	×	×	×
HTML ポートレット名		○	○	×	×	×	×	×	×
PHP ポートレット		×	×	○	○	×	×	×	×
PHP ポートレット名		○	○	×	×	×	×	×	×
リンク集の共有リンク/区切り線		○	○	×	×	×	×	×	×
予定		○	○	×	×	×	×	×	○
施設		○	○	×	×	×	×	×	×
施設名		○	○	×	×	×	×	×	×
施設グループ名		○	○	×	×	×	×	×	×
掲示板のカテゴリ		○	○	×	×	×	×	×	×
掲示板のカテゴリ名		○	○	×	×	×	×	×	×
掲示板の通知設定		○	○	×	×	×	×	×	×
ファイル管理のフォルダ		○	○	×	×	×	×	×	×
ファイル管理のフォルダ名		○	○	×	×	×	×	×	×
ファイル管理の通知設定		○	○	×	×	×	×	×	×
タイムカード×		×	○	×	×	×	×	×	×
共有アドレス帳		○	○	×	×	×	×	×	×
メールサーバー		○	○	×	×	×	×	×	×
メールサイズの制限値		○	○	×	×	×	×	×	×
メールのユーザーアカウント		○	○	×	×	×	×	×	×
ワークフローの申請フォーム		×	×	○	○	×	×	×	×
ワークフローの共有経路		×	×	○	○	×	×	×	×
ワークフローの利用ユーザー		○	○	×	×	×	×	×	×
ワークフローのカテゴリ		○	○	×	×	×	×	×	×

管理または操作	データ	CSV		XML		テキスト		iCalender	
		入力	出力	入力	出力	入力	出力	入力	出力
管理または操作	ワークフローのカテゴリ名	○	○	×	×	×	×	×	×
	ワークフローの代理申請者	○	○	×	×	×	×	×	×
	ワークフローの代理承認者	○	○	×	×	×	×	×	×
	マルチレポートの利用ユーザー	○	○	×	×	×	×	×	×
	マルチレポートのカテゴリ	○	○	×	×	×	×	×	×
	マルチレポートのカテゴリ名	○	○	×	×	×	×	×	×
	RSS リーダーの共有サイト	○	○	×	×	×	×	×	×
	在席確認の代理人	○	○	×	×	×	×	×	×
	ケータイの利用ユーザー	○	○	×	×	×	×	×	×
ユーザーの操作	HTML ポートレット	×	×	○	○	×	×	×	×
	スケジュールデータ	○	○	×	×	×	×	×	×
	スケジュールの統計データ	×	○	×	×	×	×	×	×
	掲示	×	×	×	×	×	○	×	×
	メッセージ	×	×	×	×	×	○	×	×
	メモ	×	×	×	×	×	○	×	×
	タイムカード	×	○	×	×	×	×	×	×
	個人アドレス帳	○	○	×	×	×	×	×	×
	メール	×	×	×	×	×	○	×	×
イベントデータ	○	○	×	×	×	×	×	×	

○:可能

×:できない

補足

- ユーザーは、メールの個人設定で、次の形式のメールデータを入出力できます。
 - UNIX mbox 形式
 - eml 形式

索引

あ

アクセス権	18
権限の優先度	242
重複したアクセス権	242, 243, 244
重複した使用権限	242
使用権限	19
セキュリティモデル	19
セキュリティモデルの変更	243
アドレス帳	
My アドレスグループ	144
共有アドレス帳	144
個人アドレス帳	144
ユーザー名簿	144
アプリケーション	
名称の変更	23
RSS リーダー	
一般設定	222

か

画面	
デザインの変更	48
ヘッダーの変更	48
カレンダー	
イベントタイプ	56
就業日	56
メモ	56
共有リンク集	
追加	96
変更	97
拠点	27, 58
稼働時間	58
稼働日	58
削除	60
就業日の適用	58
タイムゾーンの設定の優先順位	59
追加	59
変更	60
掲示板	
一般設定	123
強制通知の設定	126
ケータイ	
一般設定	237
準備	235

さ

在席確認	
一般設定	225
ステータスの自動設定	225
サポート	66
スケジュール	
V-CUBE ミーティング連携の設定	117
Web 会議	117
一般設定	103
設定の継承	111
予定メニュー連携	105
スペース	92
共有 ToDo	92
ディスカッション	92
セキュリティモデル	
GRANT	242
REVOKE	242
全文検索	
対象アプリケーション	239
ファイル	239
組織	
移動	26
子組織の表示順の変更	25
削除	26
追加	24
変更	25

た

タイムカード	
一般設定	141
自動打刻	141
通知	
通知の保存期間	62
通知一覧	
許可する URL	232
未登録の外部通知	231
メールとして処理する通知	232
電話メモ	
一般設定	139
シングルサインオンの設定	139
ドロップダウンリスト	
対象が面	54
表示件数	54
履歴の削除	54

な

認証

オープン統合認証 ver.1	39
オープン統合認証 ver.2	38
環境変数認証	38
サイボウズ共通認証	38
標準認証	38

ネット連携サービス

一般設定	220
------------	-----

は

ファイル管理

一般設定	131
更新通知の設定	131
削除したファイルの復旧	134

ポータル

My ポータル	74
My ポータルの使用権限	88
アクセス権の設定	81
公開設定	81
最初に表示するポータル	82
削除	82
作成	78
システム設定ポータル	74
ポートレット一覧	74

ポートレット

アクセス権の設定	80
公開設定	80
削除	86
作成	83
使用できるキーワード	84
表示順の変更	80
変更	85
ポートレット一覧	74
ポートレットグループの削除	86
ポートレットグループの追加	83
ポートレットグループの変更	85

保守

mysqldump 使用時の注意事項	256
スケジューリングサービス	246
バックアップ対象のデータ	245
バックアップ方法	246
バックアップモード	253, 254, 255
プロセスの確認	246
リストア後のディスク使用量	253

ま

マルチレポート

一般設定	202
カテゴリの削除	207

カテゴリの追加	206
カテゴリの変更	206
絞込の推奨ユーザー	212, 213
絞込のレポートフォーム	213
レポートフォームの項目一覧	204

メール

IMAP サーバーを使用する場合の注意	154
一般設定	152
対応している文字コード	152
対応するメールサーバー	152
メールの自動受信	153

メッセージ

一般設定	121
------------	-----

メモ

一般設定	138
------------	-----

や

ユーザー

英語表記	27
削除	29
削除の取り消し	35
使用の停止	28
追加	26
表示優先度	27
変更	28
優先する組織	27

ユーザー情報の項目

削除	31
追加	29
変更	30

ら

ライセンス

サービスライセンスの内容	66
サービスライセンスの有効期間	66
試用期間	65

リンク集

削除	99
使用できる文字	97
表示順の変更	98
表示方法の設定	96

ローカライズ

印刷用のロケール	69
日本語と中国語を併用する場合の注意点	→
優先順位	59, 69

ロール

あらかじめ設定されているロール	31
削除	33
静的ロール	32
追加	31
動的ロール	31

表示順の変更	33
変更	32
ロールの所持ユーザーの削除	33
ロールの所持ユーザーの追加	32
ロケール	27
削除	73
追加	72
変更	72

わ

ワークフロー	
一般設定	163
書き出す項目の設定	171
カテゴリの削除	172
カテゴリの追加	166, 171
カテゴリの変更	171
共有経路の作成	167, 180, 184
経路ステップの初期値の設定	168, 182, 183
経路分岐条件	190, 191
経路分岐情報	190
経路変更履歴	193
項目のアクセス権	171, 178
処理者の初期設定	168
処理者の変更	193
申請データの公開	195
申請データの自動書き出し	166, 194
申請の流れ	161
申請番号の初期化	177
申請番号の書式	176
申請番号の年次切替	163, 177
申請フォームの項目一覧	169
申請フォームの有効化	169
用語一覧	162

発行日 2013年1月 第4.5版発行

発行者 サイボуз株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 12F

Copyright (C) 2011 - 2013 Cybozu